

設 計 書

工事名称 松戸市立寒風台小学校ほか8校体育館空調設備設置建築工事

工事場所 松戸市松戸新田316番地の25ほか8か所

期 間 自 令和 7年 月 日
至 令和 8年 3月19日

設計年月日 令和 7年 7月 日

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W2,100xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	31.3	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	49	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.1	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	16.1	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	16.1	m			
外壁 フルキジアルボード	t=8	15.3	m ²			
SD-1上部 照明器具	取り外し・再取付	4	か所			
SD-1上部 設備ボックス	取り外し・再取付	4	か所			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	38	m ²			
内壁 珪合板	t=9 下張:構造用合板t=12	17.8	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	8.4	m			
巾木 木製	H=60	7.7	m			
幕板 木製	25x180	16.1	m			
壁 見切縁	アルミ製	16.8	m			
小計						
【塗装改修】						
EP-G塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種	13.8	m ²			
SOP塗り	木部 工程A種 塗料1種 素地B種	14.5	m ²			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W2,100xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	16.1	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	47.4	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.1	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	16.1	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	16.7	m			
外壁 フルキジフルコート	t=8	15.3	m ²			
SD-1上部 照明器具	取り外し・再取付	4	か所			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	19.1	m ²			
壁下地木製胴縁	45x45 @300 縦横	38.1	m ²			
内壁 珪合板	t=9 下張:構造用合板t=12	15.6	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	8.4	m			
巾木 木製	H=60	8.3	m			
幕板 木製	25x180	16.7	m			
壁 見切縁	アルミ製	16.8	m			
小計						
【塗装改修】						
E P-G塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種	13.8	m ²			
S O P塗り	木部 工程A種 塗料1種 素地B種	15.6	m ²			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W2, 100xH1, 900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	16.1	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	47.4	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.1	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	16.1	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	16.7	m			
外壁 フルキジアルボード	t=8	15.3	m ²			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.9	m ²			
壁下地木製胴縁	45x45 @300 縦横	18.2	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	8.4	m			
幕板 木製	25x180	16.1	m			
小計						
【塗装改修】						
E P - G塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種	13.8	m ²			
S O P塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	16.1	m			
小計						
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	15.2	m			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ボ-ト下地 突付け - -	16.5	m ²			
外装薄塗材 E	ケイカル板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	m ²			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	m ²			
壁下地木製胴縁	45x45 @300 縦横	19.2	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	16.7	m			
小計						
【塗装改修】						
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	15.2	m			
小計						
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	15.2	m			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ボ-ト下地 突付け - -	16.5	m ²			
外装薄塗材 E	ケイカル板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	m ²			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	m ²			
壁下地木製胴縁	45x45 @300 縦横	19.2	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	15	m			
小計						
【外階段】						
根切り	入力士工 - -	0.1	m ³			
残土処分	場内敷き均し	1	式			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.1	m ³			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 18N/mm ² スランプ 15cm	0.1	m ³			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 24N/mm ² スランプ 18cm	0.3	m ³			

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 - -	0.1	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	0.3	m ³			
型枠（複合合板）	小型構造物用型枠 - - -	3.2	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	1	式			別紙 00-0046
柱穴 ボルト型枠	内径100φ L=300	8	か所			
柱穴埋め 珪砂充填	100φ x H300 柱:□-75x75 0.0009m ³ /か所	8	か所			
床 防水珪砂塗り	珪砂仕上げ t=30	0.4	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.4	m ²			
小計						
【出入口屋根】						
厚板鋼板 （材料）	SS400 6≦t≦100mm	0.04	t			
等辺山形鋼 (SS400) （材料）	JIS G 3101 6*75*75	0.01	t			
軽量形鋼(SSC400) （材料）	JIS G 3350 C-75*45*15*2.3	0.18	t			
構造用角型鋼管 STKR400 正方形 （材料）	正方形(3.2×60×60)	0.13	t			
丸鋼	SR235 φ9	0.01	t			
ターナックル	（両フック型）φ9用	4	個			
中ボルト	SS400 M12 L=35	40	本			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り	軽量 60m ² /t程度 鉄鋼面 工程B種 鉛・クロム酸-さび止め 素地C種	0.35	t			
鉄骨運搬	6t車	1	式			別紙 00-0047
軽量鉄骨加工 ・組立	母屋、胴縁の類 一般 普通ボルト締共	0.35	t			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	15	m			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ボ-ト下地 突付け - -	16.5	m ²			
外装薄塗材 E	ケイカル板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	m ²			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	m ²			
壁下地木製胴縁	45x45 @300 縦横	19.2	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	15	m			
小計						
【外階段】						
砂利地業	再生クラッシャー	0.2	m ³			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 18N/mm ² スラブ 15cm	0.2	m ³			
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 24N/mm ² スラブ 18cm	0.4	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	0.2	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	0.4	m ³			

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
型枠（複合合板）	小型構造物用型枠 ー ー	4.8	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	1	式			別紙 00-0058
柱穴 ボルト型枠	内径100φ L=300	12	か所			
柱穴埋め モルタル充填	100φ xH300 柱:□-75x75 0.0009m ³ /か所	12	か所			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	1.4	m ²			
小計						
【出入口屋根】						
厚板鋼板 （材料）	S S 4 0 0 6≦t≦100mm	0.1	t			
等辺山形鋼 (SS400) （材料）	JIS G 3101 6*75*75	0.02	t			
軽量形鋼(SSC400) （材料）	JIS G 3350 C-75*45*15*2.3	0.36	t			
構造用角型鋼管 STKR400 正方形 （材料）	正方形(3.2×75×75)	0.24	t			
丸鋼	SR235 φ9	0.02	t			
ターナックル	(両フック型) φ9用	12	個			
中ボルト	SS400 M12 L=35	34	本			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り	軽量 60m ² /t程度 鉄鋼面 工程B種 鉛・クロムフッ素び止め 素地C種	0.74	t			
鉄骨運搬	6t車	1	式			別紙 00-0059
軽量鉄骨加工 ・組立	母屋. 胴縁の類 ー 般 普通ボルト締共	0.74	t			
鉄骨現場錆止め 塗料塗り	軽量 60m ² /t程度 鉄鋼面 工程B種 鉛・クロムフッ素び止め 1回目別途	0.74	t			
屋根 ガルバリウム鋼板	重ね式 t=0.6 H=85	68.8	m ²			
折板役物 （材工共）	山高 85用 タイフレーム	64.6	m			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		鋼製戸改修		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【鋼製戸廻り】						
SD-1 引き分けハガ-戸 (材工共)	W1,800xH1,900	4	か所			
建具周囲防水 珪藻土充填	外部建具	15	m			
建具周囲(外部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	45.2	m			
建具周囲(内部) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 25×15	38.2	m			
建具周囲(内部下 枠) シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×20	15	m			
建具下外部立上り 珪藻土金ゴテ	H=125	15	m			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ボ-ト下地 突付け - -	16.5	m ²			
外装薄塗材 E	ケイカル板面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	16.5	m ²			
軽量鉄骨壁下地	C-100x50x20x2.3	2.7	m ²			
壁下地木製胴縁	45x45 @300 縦横	19.2	m ²			
沓摺 ステンレス曲加工	t=1.2 W200xH20	7.2	m			
幕板 木製	25x180	15	m			
小計						
【塗装改修】						
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	15	m			
小計						
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生(外壁改修)		36	m			
養生(内部改修)	個別改修	62.1	m			
養生(内部改修)	複合改修	36	m			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	134	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (外壁改修)		36	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	62.1	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	36	m			
計						
内部足場	脚立足場 直列	1	式			別紙 00-0003
内部足場	脚立足場 直列	54	m			
計						
ギヤリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り W4, 000xH2, 500	1	式			別紙 00-0004
ギヤリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り W4, 000xH2, 500	12	か所			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築物工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0010
養生(外壁改修)		36	m			
養生(内部改修)	個別改修	62.1	m			
養生(内部改修)	複合改修	36	m			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	134	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0011
整理清掃後片付け (外壁改修)		36	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	62.1	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	36	m			
計						
内部足場	脚立足場 直列	1	式			別紙 00-0012
内部足場	脚立足場 直列	54	m			
計						
ギャリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り W4, 000xH2, 500	1	式			別紙 00-0013
ギャリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り W4, 000xH2, 500	12	か所			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0019
養生(外壁改修)		61.2	m			
養生(内部改修)	複合改修	36	m			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	72	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0020
整理清掃後片付け (外壁改修)		61.2	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	36	m			
計						
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0021
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	217	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	28.8	m			
計						
災害防止	養生シート張り	1	式			別紙 00-0022
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類	172	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0029
養生(外壁改修)		48	m			
養生(内部改修)	個別改修	92.2	m			
養生(内部改修)	複合改修	48	m			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	188	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0030
整理清掃後片付け (外壁改修)		48	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	92.2	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	m			
計						
内部足場	脚立足場 直列	1	式			別紙 00-0031
内部足場	脚立足場 直列	60.5	m			
計						
ギヤリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り H3, 000	1	式			別紙 00-0032
ギヤリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り H3, 000	74.8	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0038
墨出し(外壁改修)	タイル・珧外塗替等 一般	0.9	m			
計						
養生		1	式			別紙 00-0039
養生(外壁改修)		116	m			
養生(内部改修)	個別改修	91.2	m			
養生(内部改修)	複合改修	48	m			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	187	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0040
整理清掃後片付け (外壁改修)		116	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	91.2	m			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	m			
計						

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0041
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	848	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	68.4	m			
計						
災害防止	養生シート張り	1	式			別紙 00-0042
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 II類	424	m			
計						
ギヤリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り H3, 000	1	式			別紙 00-0043
ギヤリ-落下防止	単管パイプ、ネット張り H3, 000	74	m			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0044
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	31.9	m			
計						
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	1	式			別紙 00-0045
折板屋根 取外し再取付け	渡り廊下部分	30	m			
計						

[illegible]

建築工事		発生材処分		積込・運搬		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0048
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0049
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 10.5km以下	0.5	m3			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		発生材処分		積込・運搬		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0060
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	0.5	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0061
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボート類 DID区間有り 10.5km以下	0.5	m3			
計						

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0064
養生(外壁改修)		102	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	91.2	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	48	m ²			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	187	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0065
整理清掃後片付け (外壁改修)		102	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	91.2	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	48	m ²			
計						
外部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0066
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	796	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	68.4	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0074
養生(外壁改修)		30	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	50	m ²			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	80	m ²			
桢組足場下 床養生	構造用合板t=12	17.3	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0075
整理清掃後片付け (外壁改修)		30	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	50	m ²			
計						
内部足場	手摺先行式桢組足場	1	式			別紙 00-0076
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢 900×1700 布桢500+240 12m未満	201	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	桢組本足場用	30	m			
計						
開口部養生	合板張り養生	1	式			別紙 00-0077
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	23.9	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		直接仮設		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0082
養生(内部改修)	個別改修	29.7	m			
床面養生 (敷込・撤去共) (材工共)	ブルーシート敷き	29.7	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0083
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	29.7	m			
計						
内部足場	手摺先行式枠組足場	1	式			別紙 00-0084
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	68	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	12.6	m			
計						
内部足場	脚立足場 直列	1	式			別紙 00-0085
内部足場	脚立足場 直列	3.5	m			
計						

[illegible]

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	49.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	33	個			
コーンバナー	L=2,000	32	本			
交通誘導員B	交通誘導員B（その他率含む）	4	人			
小計	寒風台小学校					
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	49.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	15	個			
コーンバナー	L=2,000	13	本			
交通誘導員B	交通誘導員B（その他率含む）	4	人			
小計	牧野原小学校					
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	49.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	8	個			
コーンバナー	L=2,000	7	本			
交通誘導員B	交通誘導員B（その他率含む）	6	人			
枝払い		2	人			
小計	貝の花小学校					
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	57.6	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	43	個			
コンバナー	L=2,000	40	本			
交通誘導員B	交通誘導員B (その他率含む)	4	人			
小計	金ヶ作小学校					
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	57.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	23	個			
コンバナー	L=2,000	22	本			
交通誘導員B	交通誘導員B (その他率含む)	6	人			
枝払い		5	人			
小計	八ヶ崎第二小学校					
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共	57.6	m			
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	62	個			
コンバナー	L=2,000	61	本			
交通誘導員B	交通誘導員B (その他率含む)	6	人			
枝払い		5	人			
小計	六実第二小学校					
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	57.6	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	15	個			
コーンバナー	L=2,000	13	本			
交通誘導員B	交通誘導員B（その他率含む）	6	人			
小計	幸谷小学校					
ガードフェンス	ガードフェンス H=1,800 損料、掛け払い・運搬共	37.8	m			
ガードフェンス	H=1.8m 扉付き	7.2	m			
カラーコーン	H=700	6	個			
コーンバナー	L=2,000	5	本			
交通誘導員B	交通誘導員B（その他率含む）	4	人			
小計	新松戸西小学校					
カラーコーン	H=700	23	個			
コーンバナー	L=2,000	20	本			
交通誘導員B	交通誘導員B（その他率含む）	4	人			
小計	東松戸小学校					
計						

現場説明書

1. 工事名称 松戸市立寒風台小学校ほか8校体育館空調設備設置建築工事

2. 工事場所 松戸市松戸新田316番地の25ほか8か所

3. 説明事項

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
- ・ 騒音、振動が発生する作業を行う場合は、事前に学校関係者と十分協議し作業を行うこと。
- ・ 関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
- ・ 同時期に電気設備工事・機械設備工事の体育館空調設備設置工事も行われるため、工程及び資材置き場等、工事間の調整を密に行うこと。

<工程について>

- ・ 工事の日程等は、施設管理者及び関係者に事前に周知を図ること。

<共通仮設について>

- ・ 材料搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。
- ・ 児童、職員及び施設利用者の安全や動線に配慮した仮設計画とし、安全管理を十分に行うこと。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、週休2日工事（発注者指定方式）である。
- ・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。

なお、予定価格には4週8休達成相当の経費を補正している。

- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。

検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。

落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

松戸市立寒風台小学校ほか 8 校体育館空調設備設置建築工事

	松戸市立寒風台小学校			松戸市立牧野原小学校			松戸市立貝の花小学校	
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】			【意匠図】			【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale	A-01	特記仕様書（1）	No Scale	A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale	A-02	特記仕様書（2）	No Scale	A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale	A-03	特記仕様書（3）	No Scale	A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale	A-04	特記仕様書（4）	No Scale	A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500	A-05	配置図・案内図	1/500・2500	A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100	A-06	【改修前】各階平面図	1/100	A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100	A-07	【改修後】各階平面図	1/100	A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（1）	1/50	A-08	【改修】建具表（1）	1/50	A-08	【改修】建具表（1）	1/50
A-09	【改修】建具表（2）	1/20	A-09	【改修】建具表（2）	1/20	A-09	【改修】建具表（2）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図 1（参考図）	1/2	A-10	【新設】鋼製建具詳細図 1（参考図）	1/2	A-10	【新設】鋼製建具詳細図 1（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図 2（参考図）	1/2	A-11	【新設】鋼製建具詳細図 2（参考図）	1/2	A-11	【新設】鋼製建具詳細図 2（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300	A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・400	A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立金ヶ作小学校			松戸市立八ヶ崎第二小学校			松戸市立六実第二小学校	
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】			【意匠図】			【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（1）	No Scale	A-01	特記仕様書（1）	No Scale	A-01	特記仕様書（1）	No Scale
A-02	特記仕様書（2）	No Scale	A-02	特記仕様書（2）	No Scale	A-02	特記仕様書（2）	No Scale
A-03	特記仕様書（3）	No Scale	A-03	特記仕様書（3）	No Scale	A-03	特記仕様書（3）	No Scale
A-04	特記仕様書（4）	No Scale	A-04	特記仕様書（4）	No Scale	A-04	特記仕様書（4）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500	A-05	配置図・案内図	1/500・2500	A-05	配置図・案内図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100	A-06	【改修前】各階平面図	1/100	A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100	A-07	【改修後】各階平面図	1/100	A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（1）	1/50	A-08	【改修】建具表（1）	1/50	A-08	【改修】建具表（1）	1/50
A-09	【改修】建具表（2）	1/20	A-09	【改修】建具表（2）	1/20	A-09	【改修】建具表（2）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図 1（参考図）	1/2	A-10	【新設】鋼製建具詳細図 1（参考図）	1/2	A-10	【新設】鋼製建具詳細図 1（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図 2（参考図）	1/2	A-11	【新設】鋼製建具詳細図 2（参考図）	1/2	A-11	【新設】鋼製建具詳細図 2（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300	A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/25	A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/40
			A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300	A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

	松戸市立幸谷小学校			松戸市立新松戸西小学校			松戸市立東松戸小学校	
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】			【意匠図】			【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-00	表紙・図面リスト	No Scale	A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale	A-01	特記仕様書（１）	No Scale	A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale	A-02	特記仕様書（２）	No Scale	A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale	A-03	特記仕様書（３）	No Scale	A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale	A-04	特記仕様書（４）	No Scale	A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	配置図・案内図	1/500・2500	A-05	配置図・案内図	1/500・2500	A-05	配置図・案内図	1/500・2000
A-06	【改修前】各階平面図	1/100	A-06	【改修前】各階平面図	1/100	A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100	A-07	【改修後】各階平面図	1/100	A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50	A-08	【改修】建具表（１）	1/50	A-08	【改修】建具表	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20	A-09	【改修】建具表（２）	1/20	A-09	仮設計画図（参考図）	1/200・300
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2	A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2			
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2	A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2			
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300	A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300			

松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】銅製建具詳細図 1（参考図）	1/2
A-11	【新設】銅製建具詳細図 2（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

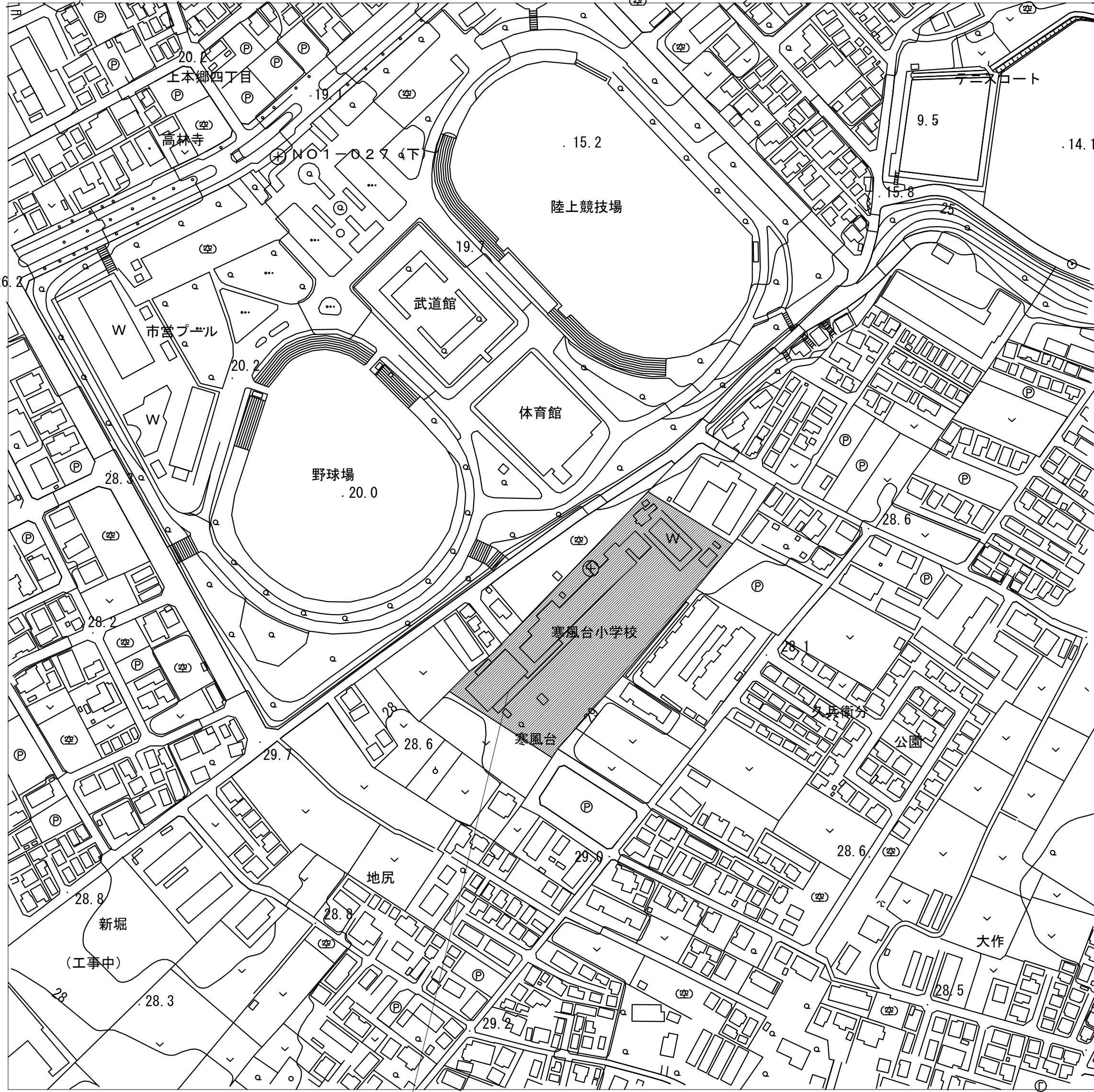
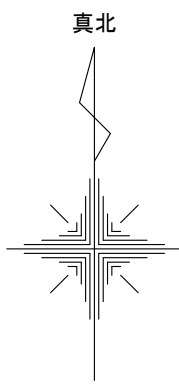
工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立寒風台小学校 体育館空調設備設置建築工事		工事設計図		令和6年1月31日	
仕 様 書		I 工事概要		1. 工事場所 松戸市松戸新田316番地25	
		2. 敷地面積		11,140㎡	
		3. 改修建物概要		用 途：小学校(体育館) 構 造：S造 階 数：地上2階 建築面積： 延べ面積：497㎡ 最高高さ：10.00m(軒高さ：8.00m)	
		4. 工事内容			
		工事種目	工事範囲		
		2 仮設工事	仮囲い・資材置場		
		3 防水改修工事	シーリング充填		
		4 外壁改修工事	-		
		5 建具改修工事	外部建具の新設(内外壁含む)、フィルム新設		
		6 内装改修工事	一部壁張替え		
		7 塗装改修工事	EP-G・SOP		
		8 耐震改修工事	-		
		9 環境配慮改修工事	-		
		10 その他			
II 建築工事仕様		1. 共通仕様		(1) 図面及び特記仕様に記載されいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)囻国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。	
		2. 特記仕様		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は共に適用する。 (3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ㊦印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。	
松戸市建築工事現場表示板仕様		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		(1) 材料 1) 耐水合板(ラウン厚み12mm SOP仕上げ) 2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は横、縦とも450mm以内とすること。 (2) 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。	
		⑨ 特別な材料の工法			
		⑩ 技能士		[1.6.2]	
		11 化学物質の濃度測定		[1.6.9]	
		⑫ 完成図等		[1.8.1~3][表1.8.1]	
		⑬ 完成写真		13 完成写真	
		⑭ 設備工事との取合い		⑭ 設備工事との取合い	
		⑮ 設計GL		⑮ 設計GL	
		⑯ 工事写真		⑯ 工事写真	
		⑰ ワンデーレスボンスの実施		⑰ ワンデーレスボンスの実施	
		⑱ 火災保険等		⑱ 火災保険等	
		⑳ 仮設工事		⑳ 仮設工事	
		㉑ 養生		㉑ 養生	
		㉒ 仮設間仕切り		㉒ 仮設間仕切り	
		㉓ 監督職員事務所		㉓ 監督職員事務所	
		㉔ 工事電力		㉔ 工事電力	
		㉕ 防音パネル		㉕ 防音パネル	
		㉖ 仮門		㉖ 仮門	
		㉗ 仮囲い		㉗ 仮囲い	
		㉘ 仮設道路		㉘ 仮設道路	
		㉙ 1 アスファルト防水		㉙ 1 アスファルト防水	
		㉚ 2 改質アスファルトシート防水		㉚ 2 改質アスファルトシート防水	
		㉛ 3 防水改修工事		㉛ 3 防水改修工事	
		㉜ 4 外壁改修工事		㉜ 4 外壁改修工事	
		㉝ 5 脱気装置		㉝ 5 脱気装置	
		㉞ 6 シーリング		㉞ シーリング	
		㉟ 7 とい		㉟ 7 とい	
		㊀ 8 アルミニウム製笠木		㊀ 8 アルミニウム製笠木	
		㊁ 9 折板葺		㊁ 9 折板葺	
		㊂ 4 外壁改修工事		㊂ 4 外壁改修工事	
		㊃ 共通事項		㊃ 共通事項	
		㊄ 1 施工数量調査		㊄ 1 施工数量調査	
		㊅ 調査範囲		㊅ 調査範囲	
		㊆ 調査内容		㊆ 調査内容	
		㊇ ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。モルタル塗仕上及びタイル張り仕上については浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはげ及び剥落を壁面に表示する。塗り仕上については、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗り材との適合性を確認する。調査報告書の部数 ※2部		[1.5.2]	
		㊈ 工事名		松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事	
		㊉ 図面名		特記仕様書(1)	
		㊐ 作成年月日		令和7年2月1日 変更年月日	
		㊑ 縮尺		No Scale 図面番号 A-01	
		㊒ 設計		株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号	
		㊓ 松戸市 街づくり部 建築保全課			

		特記事項								特記事項								特記事項																																																																															
4-2 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル 保水率 (％) 単位容積質量 (kg/ l) 接着強さ (N/?) 長さ変化率 (％) 曲げ強さ (N/?) 70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以上 4.0以上 ・ バテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 2.0N/?以上 6.0N/?以上 50.0N/?以上 30.0N/?以上 3.0(％)以上 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 性能 常温物性 低温性 加熱変化 引張接着性 引張強さ 1.0N/?以上 1.0N/?以上 1.0N/?以上 1.0N/?以上 1.0N/?以上 伸び 30.0%以上 30.0%以上 30.0%以上 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ タイル部分張替え工法用材料 接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強度 (N/?) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 凝集破壊率(％) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上 皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ (N/?) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 伸び(％) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/㎡でも安定していること。 a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. すれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル 接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ 1.0N/?以上 20.0N/?以上 10.0N/?以上 a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等 曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ (N/?) (N/?) (N/?) (N/?) 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 長さ変化率(収縮) 引張接着性(材齢28日) 曲げ性能(材齢28日) 吸水性(72時間) 耐久性(劣化曲げ強さ) 3以上 3.0%以下 0.5N/? 5.0N/? 15%以下 6.0N/? 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・ 吸水調整材 項目 全固形分(％) 吸水性(g) 接着強度 (N/?) 界面破壊率 (％) 品質・性能 表示値±1%以内 30分で1g以下 0.98以上 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。						4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁						・ 行う(※監督職員の指示による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 注入工法の種類 品質・規格等 備考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)。 ・ バテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・ 監督職員の指示による) 3 欠損部改修工法 4 浮き部改修工法						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁						4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁 1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・ 張り付けモルタルまで ・ タイルのみ 2 ひび割れ部改修工法 改修箇所 ※既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面(・ コンクリート面 ・ モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料 品質・規格等 備考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 3 欠損部改修工法 ・ タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。 ・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置 ※改修構仕表4.5.1による ・ 図示						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/					

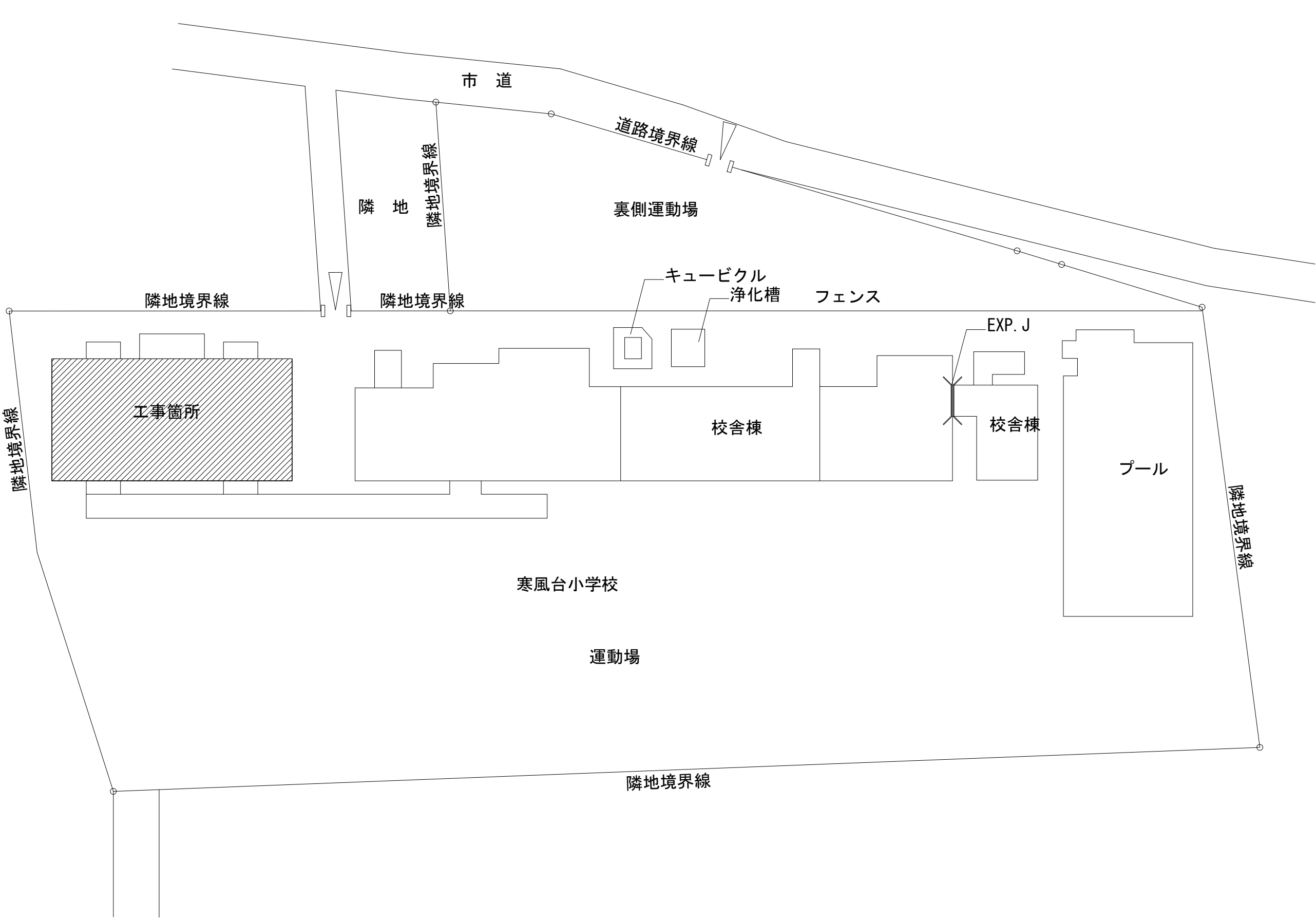
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑦ 塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7. 1. 2～3] 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7. 1. 8] 監督職員と協議する。	9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9. 1. 3] ・ 封じ込め処理 ・ 囲い込み処理除去工法 ・ 除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示 分析によるアスベスト (ｱｸｼﾄﾗｲﾄ、ﾌｴｼﾞﾄ、ﾌｧﾌﾞﾘｸﾞﾗｲﾄ、ｸﾘｼﾞｱﾙ、ｸﾛﾛﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾓﾗｲﾄ) 含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・ U3-2 [9. 4. 2]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	②下地調整	[7. 2. 2～7] [表7. 2. 1～7] <table><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整の種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td>新規面はRA種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>亜鉛めつき鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>モルタル、プラスチック面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート、ALC及び押出成形</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>セメント板面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>せっこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr></table> 既存下地面等のひび割れ部補修 ※行う ・ 行わない [表7. 2. 5～6] ※錆止め JIS K 5674		下地面の種類	下地調整の種別		備考	木部	・ RA種 ※RB種	新規面はRA種	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種		亜鉛めつき鋼面	・ RA種 ※RB種		モルタル、プラスチック面	・ RA種 ※RB種		コンクリート、ALC及び押出成形	・ RA種 ※RB種		セメント板面	・ RA種 ※RB種		せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種		2 アスベスト含有吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数</th><th>備考</th></tr><tr><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>2又は3点</td><td></td></tr><tr><td>処理作業中</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>2点</td><td>全工区共通</td></tr><tr><td>処理作業後</td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>1点</td><td>空気の流れを確認</td></tr><tr><td></td><td>負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td><td>1点</td><td>除塵装置の性能確認</td></tr><tr><td>処理作業後 (隔離シート撤去前)</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>処理作業室内</td><td>2点</td><td>全工区共通</td></tr></table> (注) 処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。 建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	測定時期	測定場所	測定点数	備考	処理作業前	処理作業室内	2又は3点		処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通	処理作業後	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認		負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認	処理作業後 (隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			処理作業室内	2点	全工区共通	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9. 6. 2]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	下地面の種類	下地調整の種別		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	木部	・ RA種 ※RB種		新規面はRA種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	亜鉛めつき鋼面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	モルタル、プラスチック面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	コンクリート、ALC及び押出成形	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	セメント板面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
測定時期	測定場所	測定点数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
処理作業前	処理作業室内	2又は3点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
処理作業後	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
処理作業後 (隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	処理作業室内	2点	全工区共通																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
③合成樹脂調査 ペイント塗り (SOP)	[7. 4. 3] [表7. 4. 1] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516	鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516	3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	経鉄天下地は、吊りボルトを使わないタイプ (核スタッド工法 65φ@300) とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時にを行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 ―内部測定点内訳― ＜1階： 点、2階： 点、3階： 点＞ 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。	9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 ※再生クラッシュラン (RC-40) ・ クラッシュラン (C-40) 又はクラッシュランスラグ (CS-40) 透水性の高いものを使用する。 道断層及び凍上抑制層の材料 ・ 道断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン 切込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 [9. 7. 3] [表9. 7. 1] 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰() ・ 消石灰() 添加量 kg/㎡ (目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト [9. 7. 6] [表9. 7. 5] 透水性舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う [9. 7. 9]	10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 図示 (22. 5. 2) (表22. 5. 1) <table><tr><th>部 位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>所定のスランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>24</td><td>8</td><td>砂利の場合25又は40 碎石の場合20又は25</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>18</td><td>8</td><td>砂利の場合25 碎石の場合20</td></tr></table> ・ 図示 砂利敷き 種別 ・ A種 ・ B種 (22. 9. 2) (表22. 9. 1) 植樹 ・ 図示 (22. 3. 2) <table><tr><th>樹 種</th><th>寸 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 碎石の場合20又は25	歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 碎石の場合20	樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 碎石の場合20又は25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 碎石の場合20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
④鉄鋼面耐候性塗料塗り (DP)	[7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>鉄面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>亜鉛めつき面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5658</td></tr><tr><td>下塗り JASS 18 M-109</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	亜鉛めつき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658	下塗り JASS 18 M-109				4 アスベスト成形板の処理工事	処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・ 仕上表による [9. 1. 5] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ (mm)</th><th>処理を行う範囲</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。 アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・ 部分除去 ・ 全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾏｽｶﾞｰ工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
亜鉛めつき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下塗り JASS 18 M-109																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑤つや有合成樹脂 エマルション ペイント塗り (EP-G)	[7. 9. 2] [表7. 9. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660	5 アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・ 部分除去 ・ 全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾏｽｶﾞｰ工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	2 植栽工事	植樹 ・ 図示 (22. 3. 2) <table><tr><th>樹 種</th><th>寸 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
6 合成樹脂 エマルション ペイント塗り (EP)	[7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム</td><td>・ フェノールフォーム</td></tr><tr><td>・ ロックウール</td><td>・ グラスウール</td></tr></table> 外装材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th></th><th>防火性能</th></tr><tr><td>既存外壁仕上材の撤去</td><td>・ 有り ・ 無し</td></tr><tr><td>下地面の清掃及び下地調整</td><td>※断熱材製造所の指定する仕様</td></tr></table> 通気層 ・ 有り(mm) ・ なし [9. 3. 4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。	材料名	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム	・ ロックウール	・ グラスウール		防火性能	既存外壁仕上材の撤去	・ 有り ・ 無し	下地面の清掃及び下地調整	※断熱材製造所の指定する仕様	8 耐震改修工事	『耐震補強工事構造特記仕様書』による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料名	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ ロックウール	・ グラスウール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
既存外壁仕上材の撤去	・ 有り ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
下地面の清掃及び下地調整	※断熱材製造所の指定する仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7 合成樹脂 エマルション 模様塗料塗り (EP-T)	[7. 11. 2] [表7. 11. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの場合 <table><tr><th>既存塗膜</th><th>下地調整</th><th>種別</th></tr><tr><td>合成樹脂エマルション模様塗り</td><td>※RB種</td><td>※A種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>※C-3種</td></tr><tr><td>平滑な塗料塗り</td><td>※RB種</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>・ C-1種 ・ C-2種</td></tr></table> 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種		・ RC種	※C-3種	平滑な塗料塗り	※RB種	・ A種 ・ B種		・ RC種	・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
既存塗膜	下地調整	種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ RC種	※C-3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
平滑な塗料塗り	※RB種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ RC種	・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-04
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



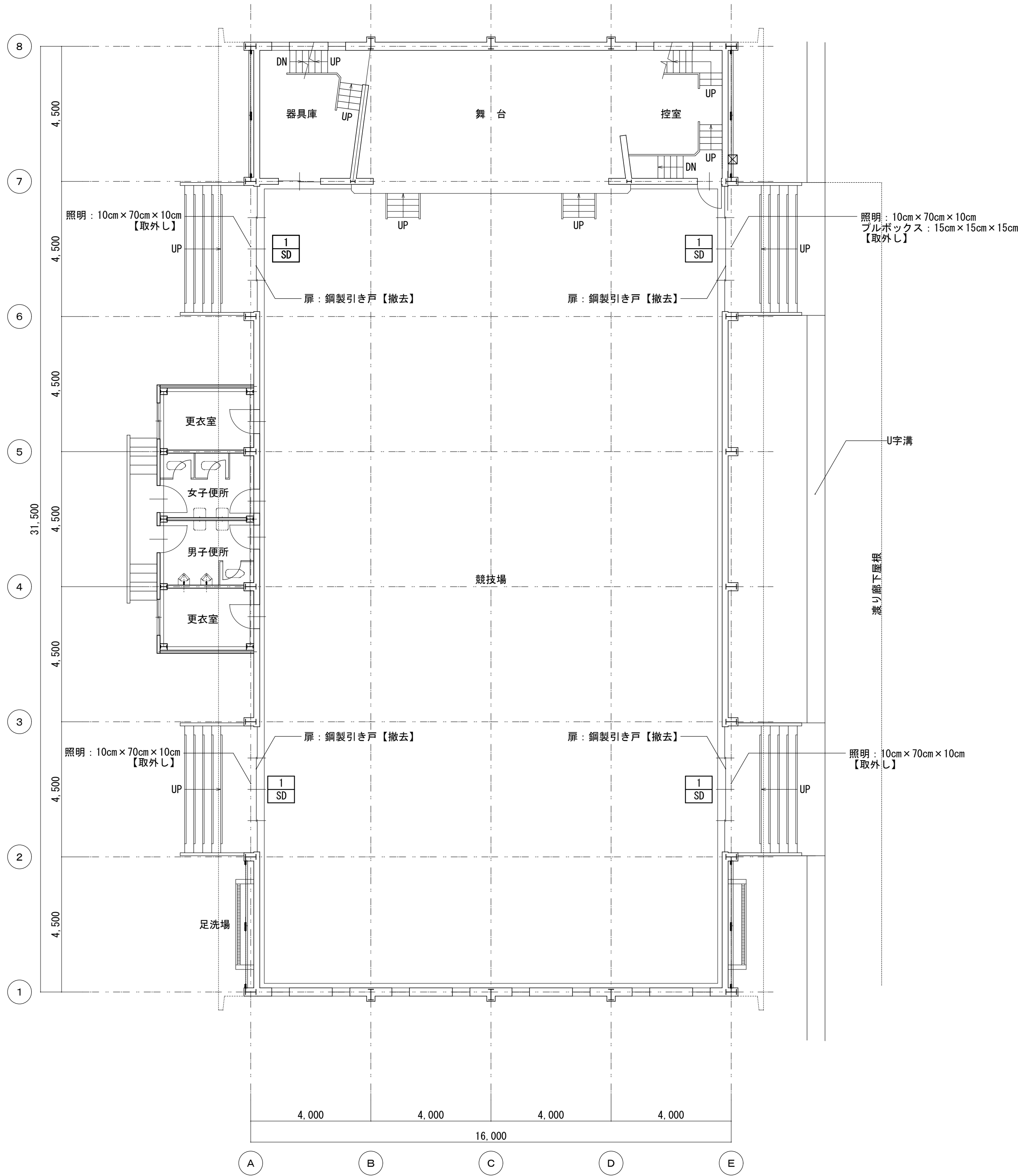
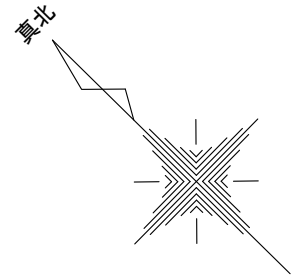
工事場所：松戸市立寒風台小学校
地名地番：松戸市松戸新田316番地の25

案内図 1/2500
工事場所を示す

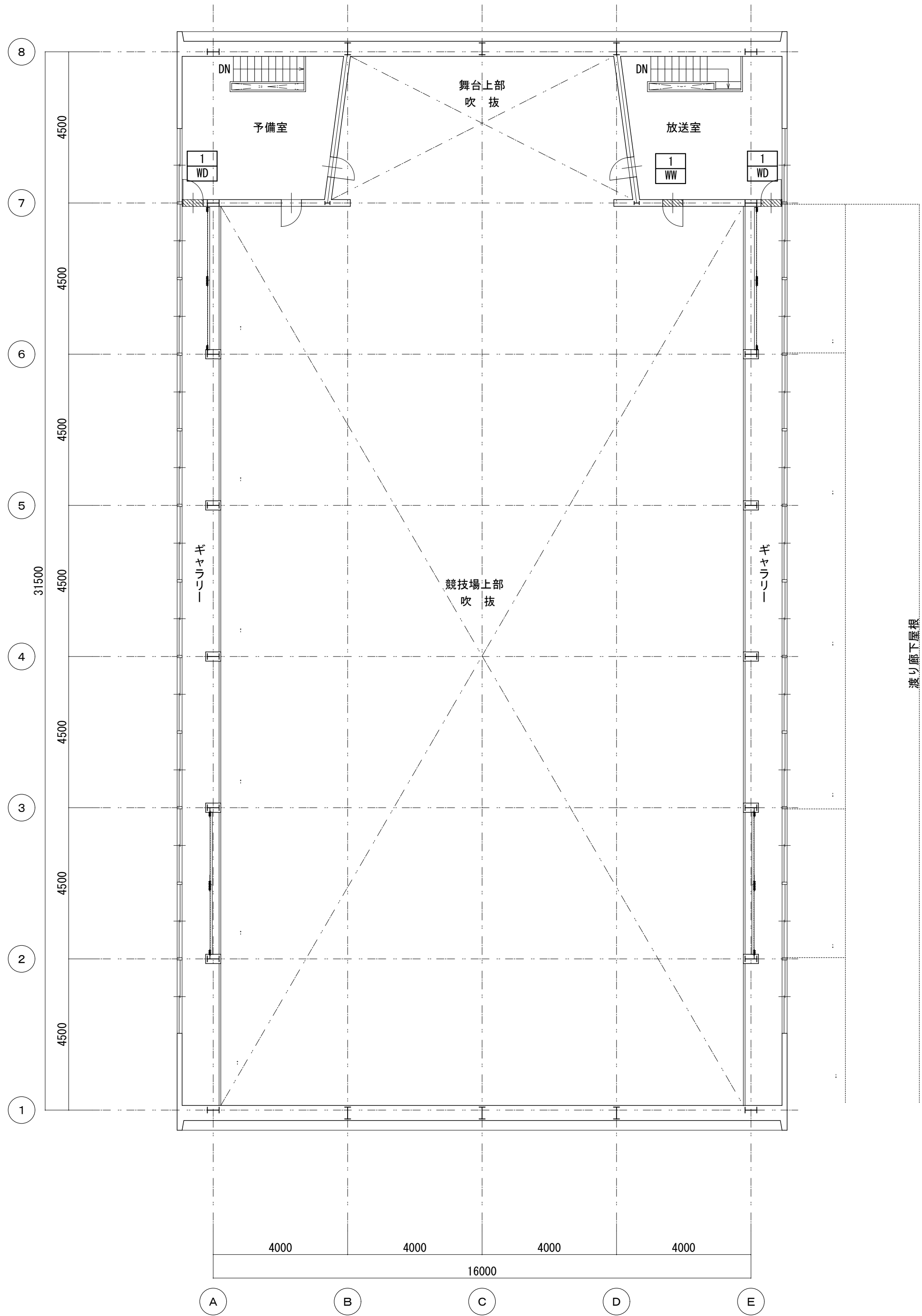


配置図 1/500
工事箇所を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1 階平面図 1/100

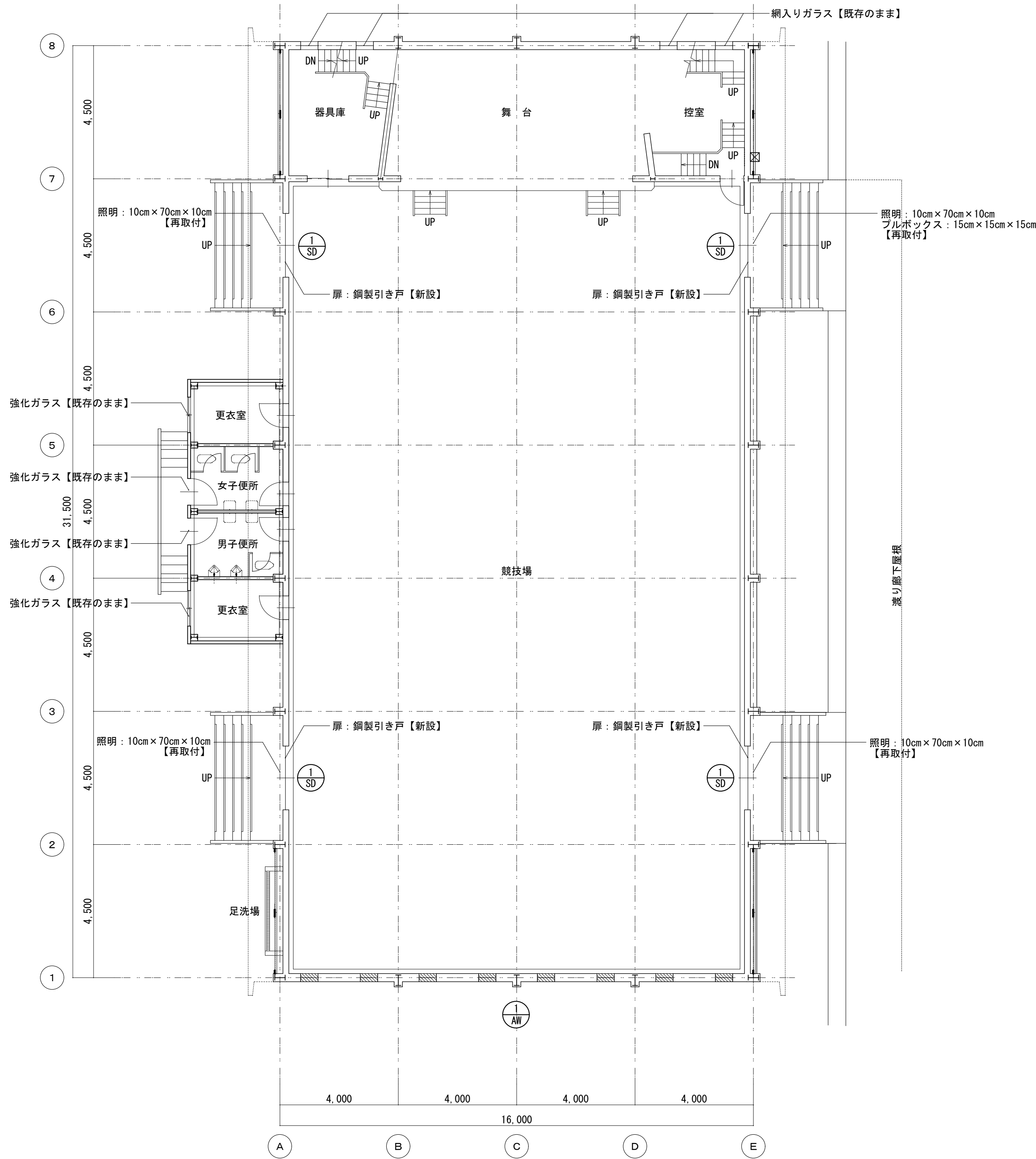
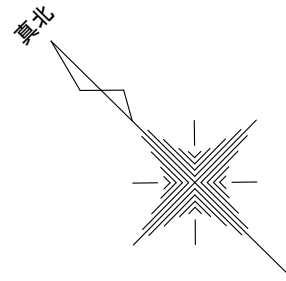


2 階平面図 1/100

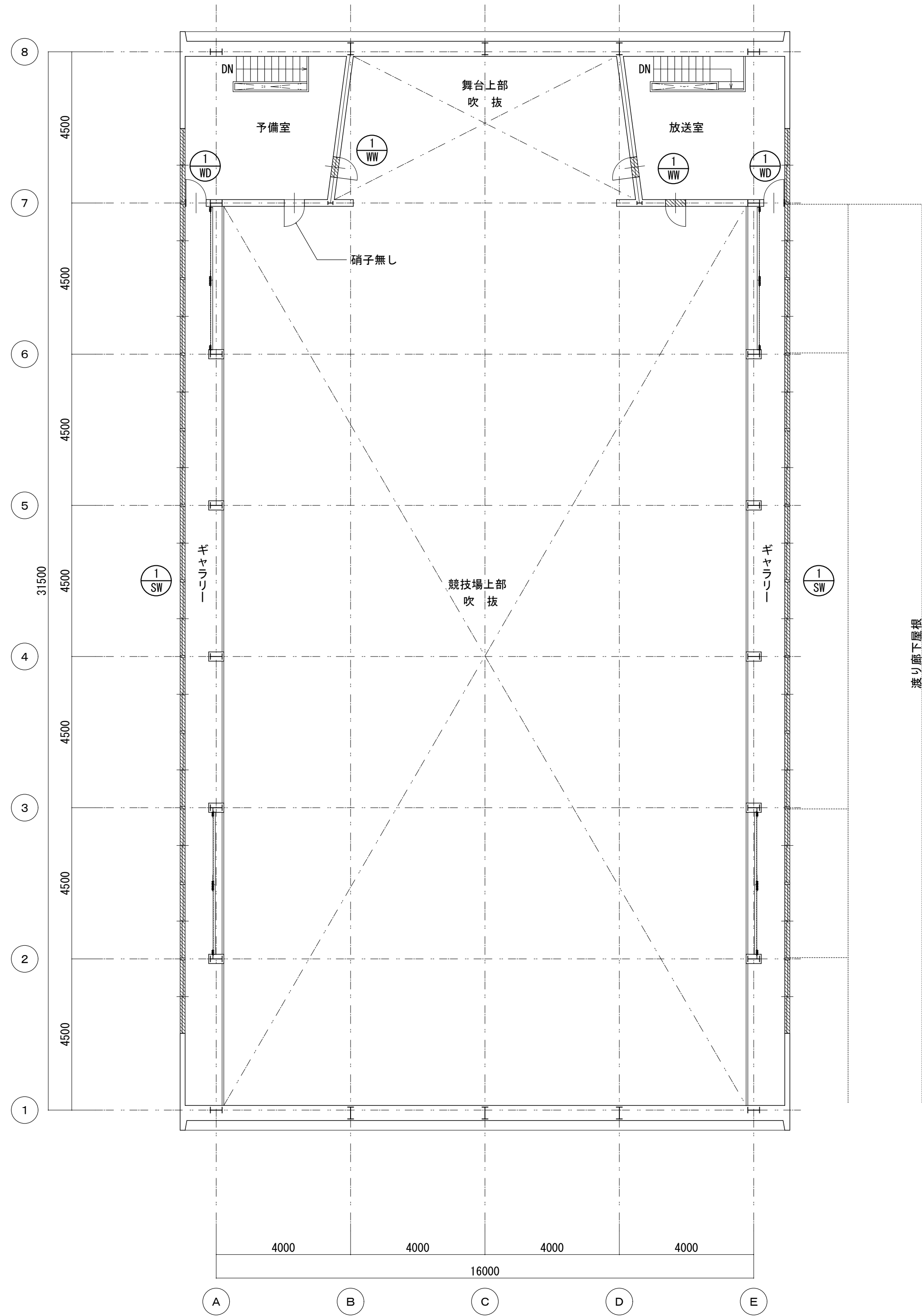
建具名	既存フィルム撤去面積	計1.14㎡
1 WW	0.6m×0.6m×1枚=0.36㎡	
1 WD	0.645m×0.6m×2枚=0.774㎡	

 フィルム撤去範囲を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



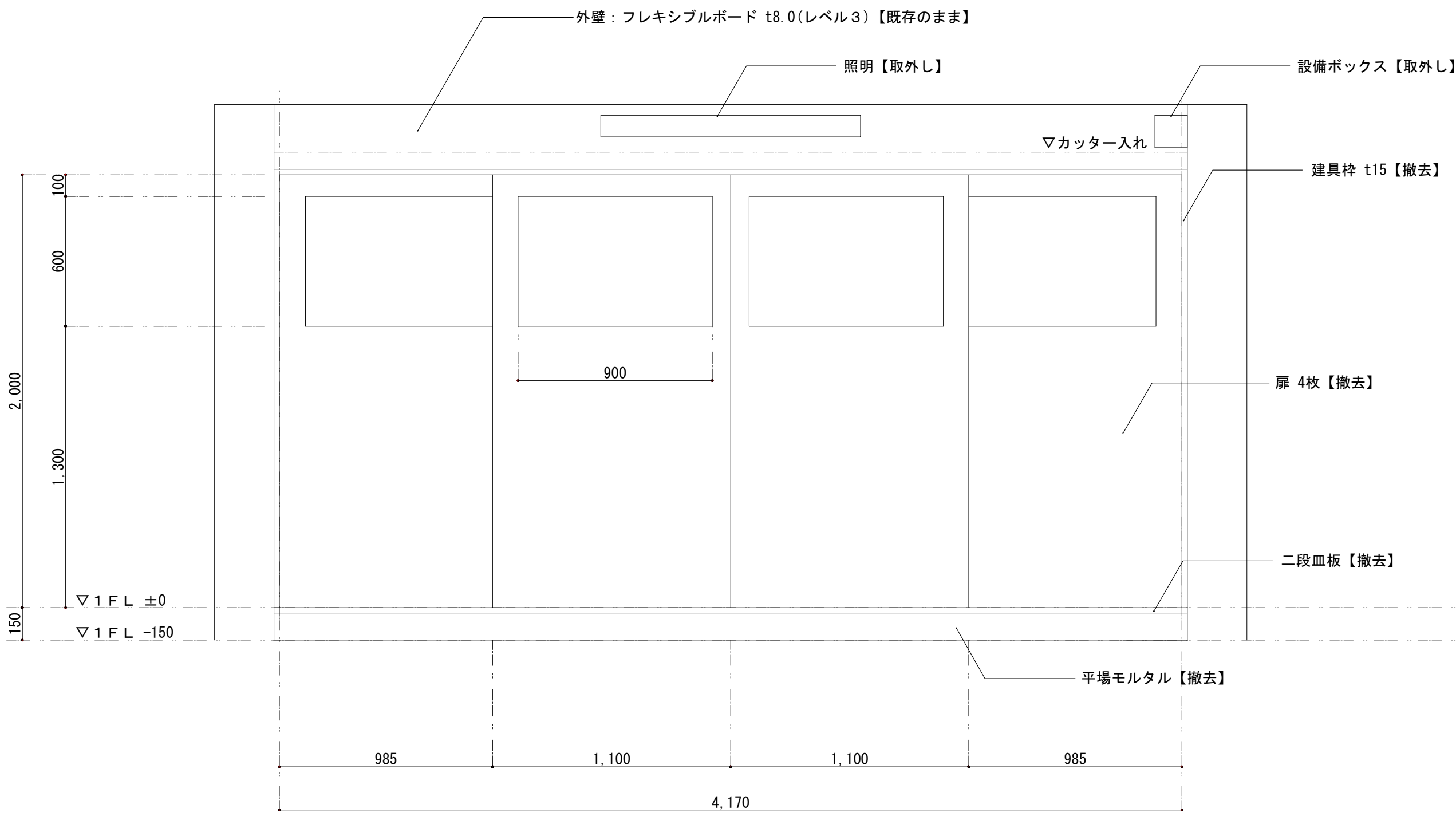
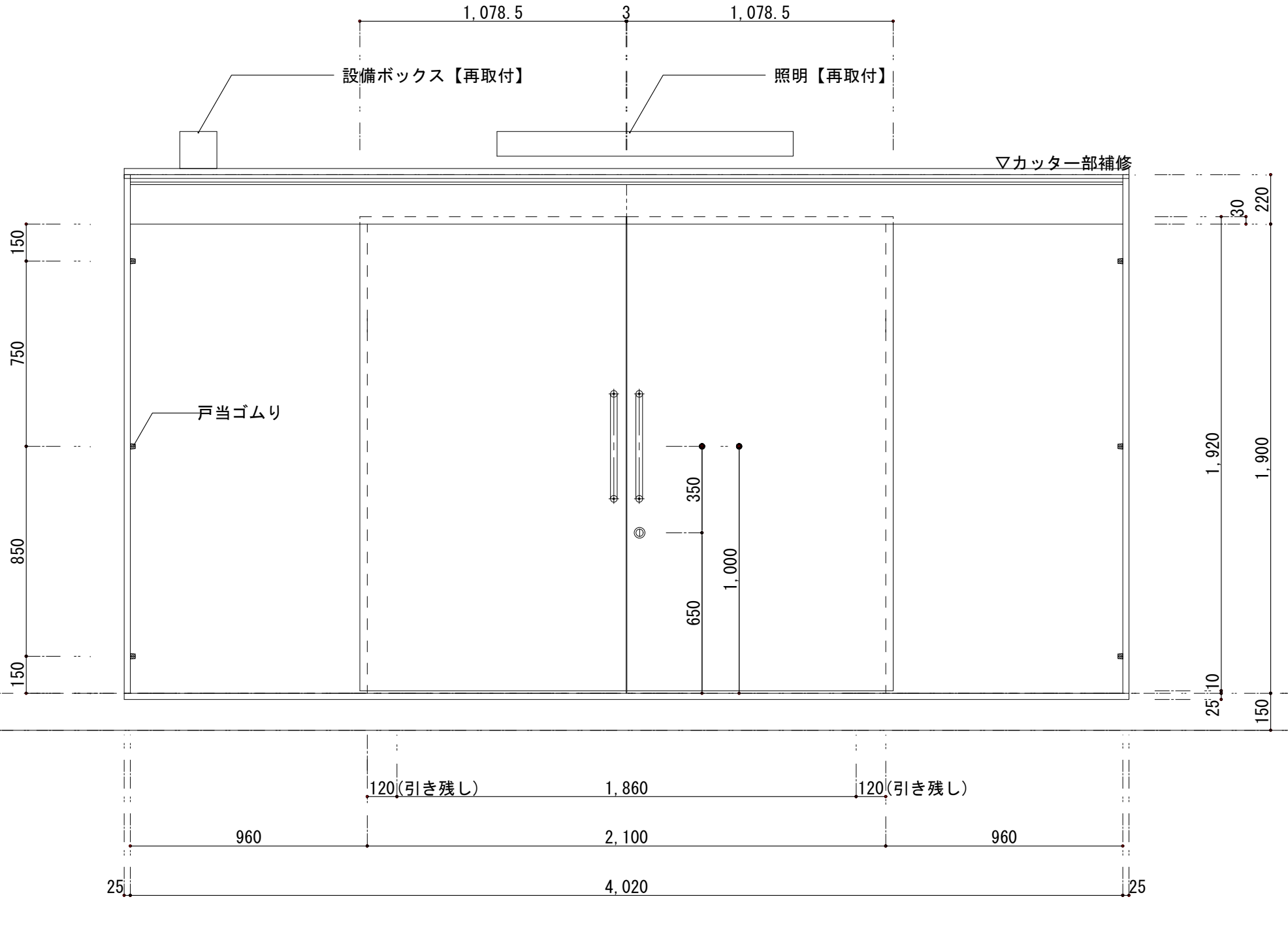
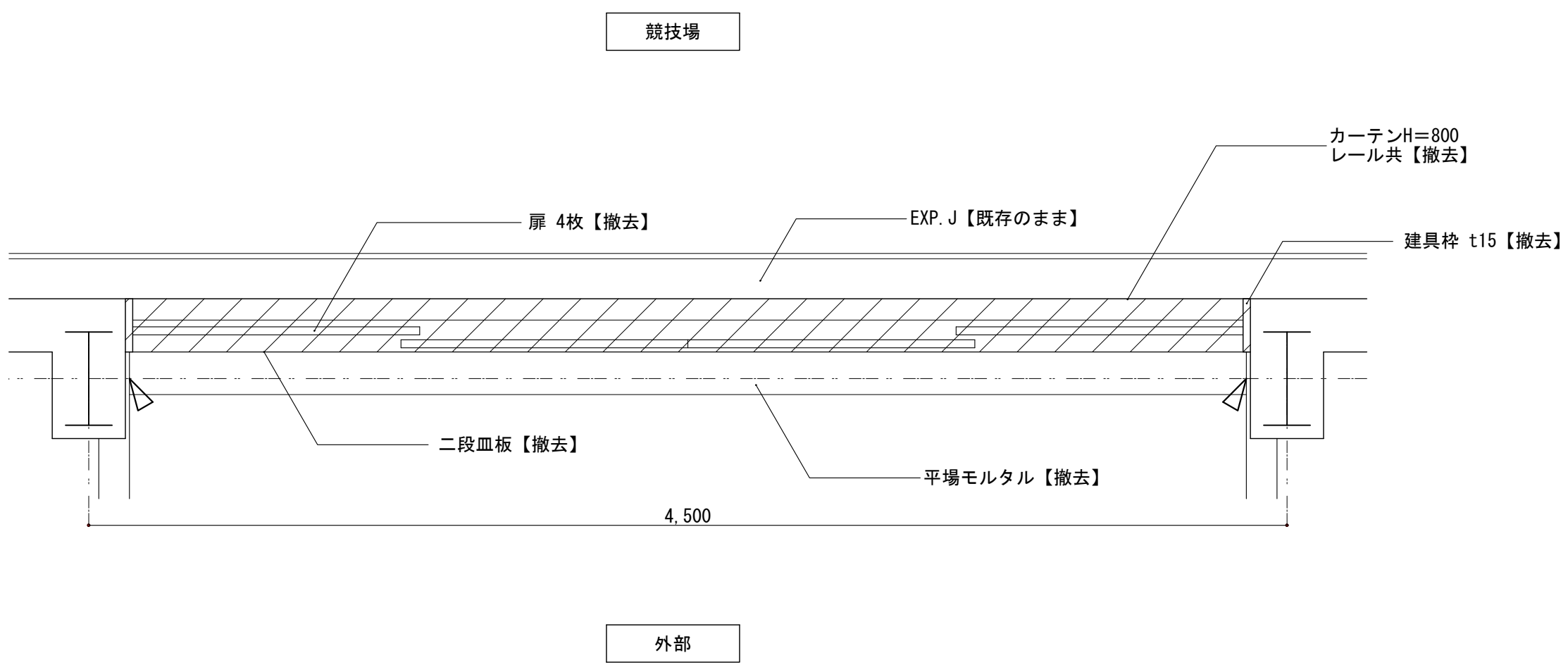
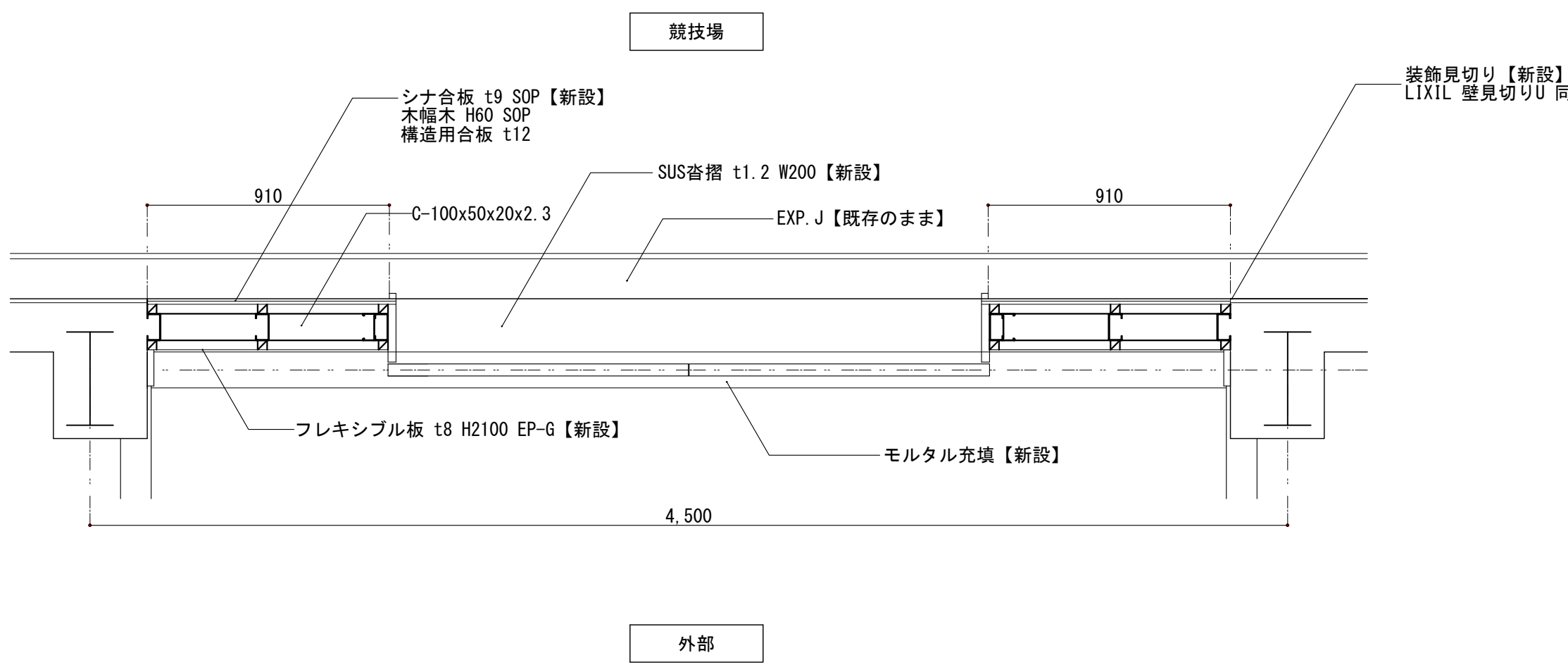
1 階平面図 1/100

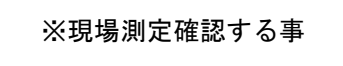


2 階平面図 1/100

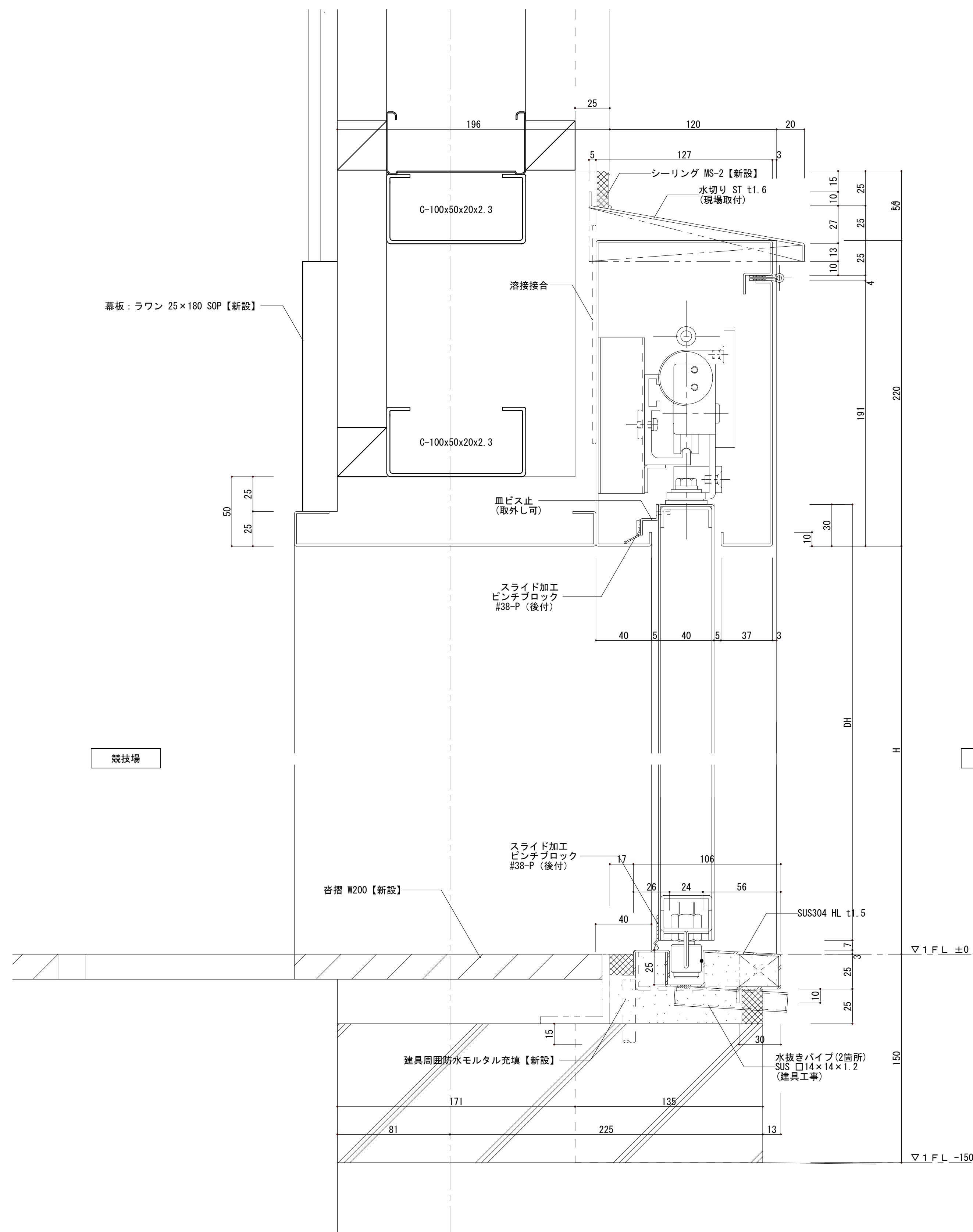
建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計1.86㎡
① WW	0.6m×0.6m×3枚=	1.08㎡	
① WD	0.645m×0.6m×2枚=	0.774㎡	
建具名	遮熱フィルム新設面積	内貼	計86.33㎡
① SW	(1.10+0.55) m×2.18m×24枚=	86.33㎡	
建具名	遮熱フィルム新設面積	外貼	計3.81㎡
① AW	0.6m×0.795m×8枚=	3.81㎡	
フィルム新設範囲を示す			

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修後〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・数量	1 SD × 4箇所【撤去】	1 SD × 4箇所【新設】																									
姿図・寸法																											
使用場所	競技場入口	競技場入口																									
形式・名称	4枚引き違い戸	2枚引き分けハンガー戸																									
材質・仕上	特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊垂鉛メッキ鋼板																									
ガラス	網入りガラス 6.8mm	-																									
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番																									
備考																											
平面図	 【改修前】平面図 1/20 凡例 カッター入れ 建具撤去範囲を示す	 【改修後】平面図 1/20 凡例 カッター入れ 建具撤去範囲を示す	<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">【改修】建具表（2）</td></tr><tr><td>作成年月日</td><td>令和7年2月1日</td><td>変更年月日</td><td></td></tr><tr><td>縮尺</td><td>A1:1/20 A3:1/40</td><td>図面番号</td><td>A-09</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="3">株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号</td></tr><tr><td colspan="4">松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>	工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事			図面名	【改修】建具表（2）			作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日		縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09	設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号			松戸市 街づくり部 建築保全課			
工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事																										
図面名	【改修】建具表（2）																										
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日																									
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09																								
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号																										
松戸市 街づくり部 建築保全課																											

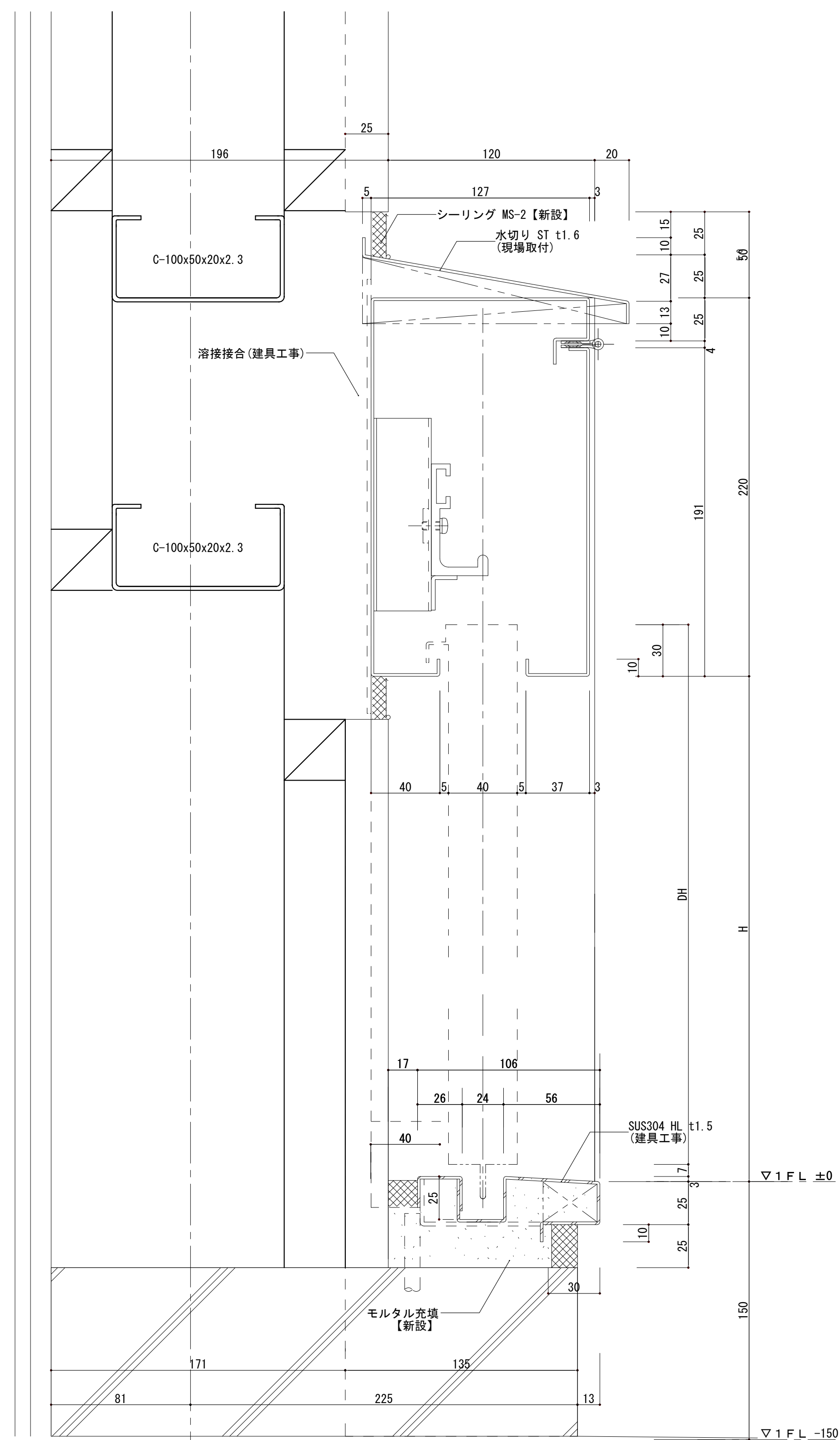


工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第 1 - 2 3 0 6 - 2 6 8 6 号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第 2 7 2 4 9 8 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



A-A' 建具断面詳細図 1/2

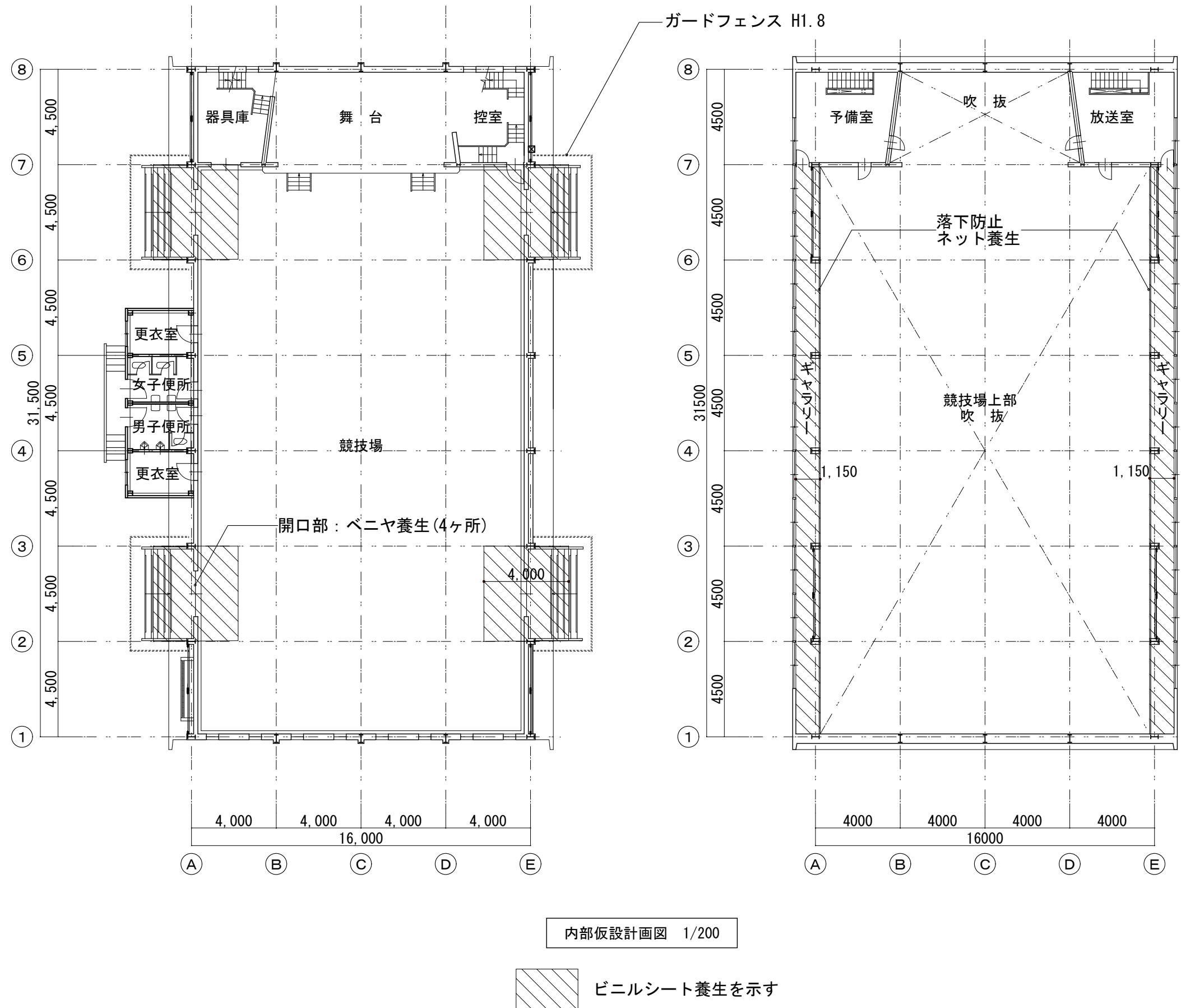
※現場測定確認する事



B-B' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 2 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1 - 2 3 0 6 - 2 6 8 6 号 山岡 治 一級建築士大匠登録第 2 7 2 4 9 8 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



＜全体仮設計画＞

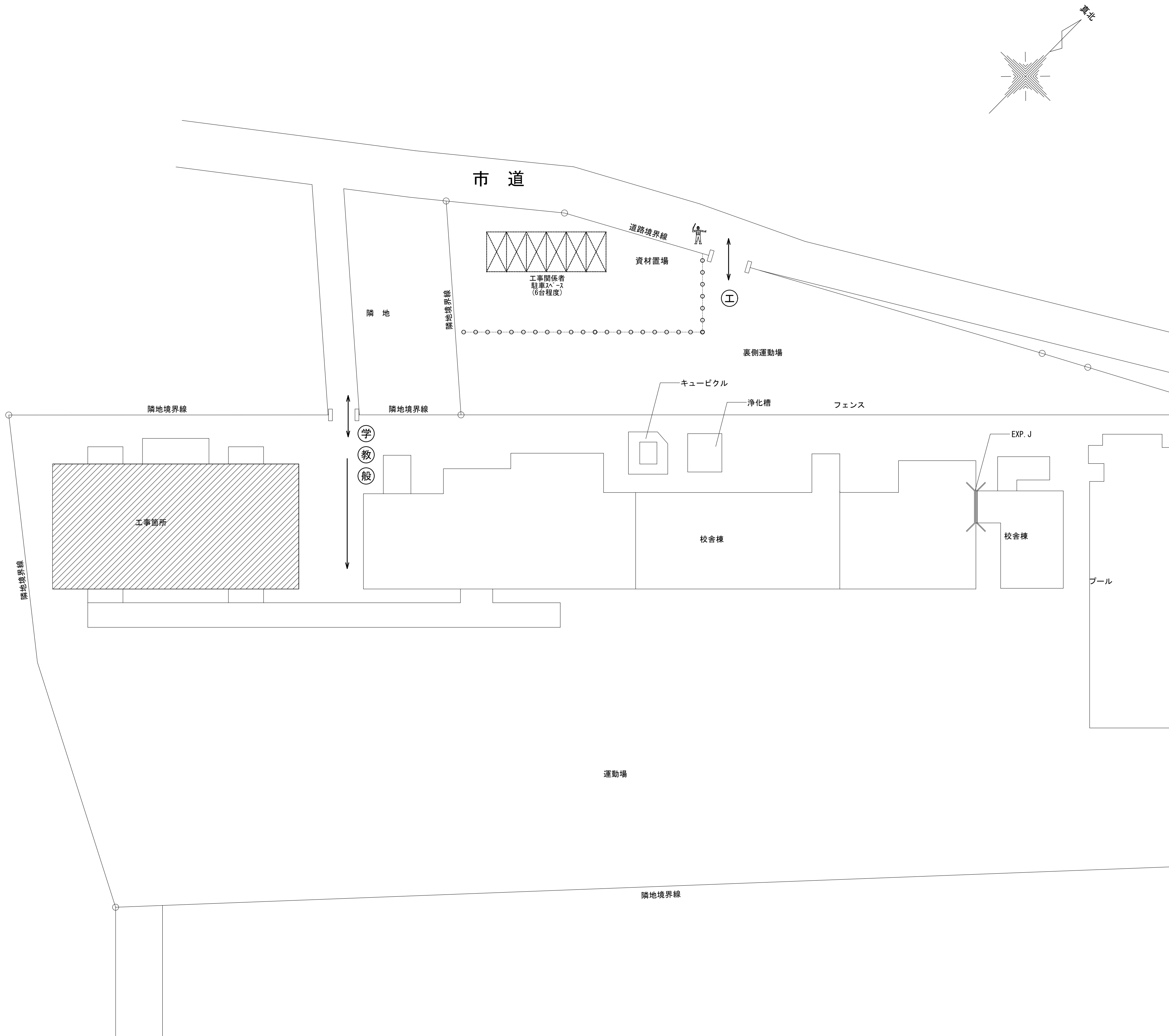
1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

- ・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- ・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

- 敷鉄板 t=22 1.5m×6.0
- 枠組足場：ネット養生シート（防災1類）W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート（防災1類）W=914
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 44m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 65m
- 工事用仮門：パネルキャスターゲート W4.0×H2.0（2箇所）
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す
- 学 生徒・学校関係者を示す
- 教 教員車両を示す
- 般 一般車両を示す 工 工事車両を示す



全体仮設計計画 1/300

工事箇所を示す

工事名	松戸市立寒風台小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計面図(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】銅製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】銅製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・400

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立牧野原小学校 体育館空調設備設置建築工事		工事設計図		令和6年1月31日	
仕 様 書		章		特 記 事 項	
I 工事概要		① 一般 共通 事項	① 運用基準等	○ 松戸市建築工事に関する提出書類 ○ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ○ 松戸市建築工事現場表示板仕様	
1. 工事場所			② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する	
2. 敷地面積			③ 施工計画書	○ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 ○ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ○ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○ 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。	
3. 改修建物概要			4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。	
4. 工事内容			⑤ 施工条件	※ 現場説明書による	
			⑥ 発生材の処理等	※ 現場説明書による ○ 場外搬出適正処理	
			⑦ 材料の品質等	[1.4.2]	
			⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	
			⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	
			⑩ 技能士	[1.6.2]	
II 建築工事仕様		章	1. 共通仕様	(1) 図面及び特記仕様に記載されいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標仕」という）による。	
2. 特記仕様			(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は共に適用する。 (3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ㊦印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。		
松戸市建築工事現場表示板仕様			① 防水改修工事	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 仕上がり塗料等 使用分類 ・ POS工法 ・ S-F1 ・ S-M1 ・ カラー ※非歩行 ・ S4S工法 ・ S-F2 ・ S-M2 ・ シルバー ・ 軽歩行 ・ S3S工法 ・ M4S工法 ・ S1-F1 ・ S1-M1 ・ S3S1工法 ・ S1-F2 ・ S1-M2 ・ S4S1工法 ・ S1-M3 ・ M4S1工法 脱気装置 ※設けない ・ 設ける [3.5.3] 目地処理 PCコンクリート [3.5.4]	
			② 塗装防水	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 ※ 図示 ・ 設計GL＝現状GL ※ 着工前、完成及び立会写真2部 工事工程写真1部	
			③ 脱気装置	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。 ※ 火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。	
			④ シーリング	シーリング充填 ・ シーリング再充填工法 ・ シーリング打替え ・ 拡張シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2] [表3.7.1] ※ 下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする	
			7 とい	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1] 種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 充てん材 塗 装 ・ A種 ※軽量鉄骨 ・ 合板(※9.0 ・ ラワン) ※無し ・ B種 ・ 木下地 ※せっこうボード(※12.5 ・) 厚さ mm ・ 片面 ・ C種 ・ 単管下地 防炎シート ・ 仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し ・ 鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・ 有り	
			8 アルミニウム製笠木	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。 [2.4.1] 構内既存の施設 ・ 利用できない ※利用できる ※有償 ・ 無償 [2.4.1] ※子メータを設置する。	
			9 折板葺	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる ※有償 ・ 無償 [2.4.1] ※アルミ製(解体作業期間)	
			4 外壁改修工事	1 施工数量調査 [1.5.2] 調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上裏含む) ・ 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部	
			11 化学物質の濃度測定	③ 1 アスファルト防水 [3.3.2] [表3.1.1] [表3.3.3～10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 保 ※PIB ※B-1 ※B-2 護 ・ PIB1 ・ T1B1 ・ B1-1 ※B1-2 防 ・ P2AI ・ AI-1 ※AI-2 水 ※P2A ・ A-1 ※A-2 露出 ・ M4C ・ C-1 ※C-2 防水 ・ M3D ・ POD ・ D-1 ※D-2 屋内 ・ PIE ・ P2E ・ E-1 ※E-2 防水 (保護層は図示による) アスファルトの種類 ※3種 ・ 4種 [3.2.2] [3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ・ 普通コンクリート(18N/? S=18mm) [3.3.2] [8.11.1] (溶接金網 径6mm 100mm×100mm敷設) POD工法の二重ドレン ※設けない ・ 設ける [3.2.5] M3D、POD工法の脱気装置 ※設けない ・ 設ける [3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・ 除去する [3.2.6] 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・ [3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。 立上り部の保護 [3.3.2] ・ れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形 コンクリートブロックとする。 ・ 乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm	
			2 改質アスファルトシート防水	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 厚さ(mm) ・ M4AS工法 ・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3 ・ M3AS工法 ・ AS-4 ・ AS-5 ・ AS-6 ・ POAS工法 ・ M3ASI工法 ・ ASI-1 ・ ASI-2 ・ M4ASI工法 ・ POASI工法 脱気装置 ※設けない ・ 設ける	
			⑫ 完成図等	※作成する ・ 作成しない [1.8.1～3] [表1.8.1] ※完成図 提出部数 ※現場製本図 3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・ 黒 金文字製本図 1部 ・ 施工図 提出部数 ※ 部	

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事							
図面名	特記仕様書（1）							
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日						
縮 尺	No Scale	図面番号	A-01					
設 計	株式会社 山岡設計事務所							
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号							
	山岡 治							
一級建築士大臣登録第272498号								
松戸市 街づくり部 建築保全課								

4
外
壁
改
修
工
事

共
通
事
項

2
改
修
材
料

・ 既製調合モルタル
保水率 (％)
70. 0以上
単位容積質量 (kg/ l)
1. 80程度
接着強さ (N/?)
標準時 温冷繰り返し後
0. 60以上 0. 40以上
長さ変化率 (％)
0. 20以上
曲げ強さ (N/?)
4. 0以上
・ パテ状エポキシ樹脂
初期硬化性(標準) 接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率
2. 0N/?以上 6. 0N/?以上 50. 0N/?以上 30. 0N/?以上 3. 0(％)以上
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15％～85％)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
・ 可とう性エポキシ樹脂
性能 常温物性 低湿性 加熱変化 引張接着性
引張強さ 1. 0N/?以上 1. 0N/?以上 1. 0N/?以上 1. 0N/?以上
伸び 30. 0％以上 30. 0％以上 30. 0％以上 破断時の伸び 10. 0％以上
比重 表示値±0. 10
押出し性 60秒以下
スランプ 3mm以下
加熱減量 5％以下
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45％～85％)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
・ タイル部分張替え工法用材料
接着強さ 標準 低湿硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化
強度(N/?) 0. 60以上 0. 40以上 0. 40以上 0. 40以上 0. 40以上
凝集破壊率(％) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上
皮膜物性 標準 高温 低湿 アルカリ温水 熱劣化
引張強さ(N/?) 1. 00以上 1. 00以上 1. 00以上 1. 00以上 1. 00以上
伸び(％) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上
貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9. 8Nおもりで安定していること。
a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20％)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e. ずれ抵抗性があること。
f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。
・ エポキシ樹脂モルタル
接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ
1. 0N/?以上 20. 0N/?以上 10. 0N/?以上
a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20％)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
・ ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢系等
曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ(N/?)
(N/?) (N/?) (N/?)
標準時 標準時 標準時 低湿時
6. 0以上 20. 0以上 1. 0以上 0. 8以上 0. 5以上
表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
・ ポリマーセメントスラリー
広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性
(cm/s) (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (変化曲げ強さ)
3以上 3. 0％以下 0. 5N/? 5. 0N/? 15％以下 6. 0N/?
0. 35～0. 55
0. 50～1. 00
・ 吸水調整材
項目 全面積(％) 吸水性(g) 接着強度(N/?) 界面破壊率 (％)
品質・性能 表示値±1％以内 30分で1g以下 0. 98以上 50％以下
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-2
外
壁
改
修
工
事

モ
ル
タ
ル
塗
り
仕
上
げ
外
壁

1 既存モルタル塗りの撤去

2 ひび割れ部改修工法

3 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

5 巾木モルタル塗

・ 行う(※監督職員の指示による)

・ 既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)
※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 7] [4. 5. 8]
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0. 2以上～1. 0未満 ※200～300 ※
樹脂注入工法
・ 手動式エポキシ樹脂 0. 2以上～0. 3未満 ※50～100 ※40 ・
注入工法 0. 3以上～0. 5未満 ※100～200 ※70 ・
・ 機械式エポキシ樹脂 0. 5以上～1. 0未満 ※150～250 ※130 ・
注入工法
注入材料 [4. 2. 2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き) ※行わない [4. 3. 4]
・ 行う(抜き取り部の補修方法：)
・ Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]
充填材料 品質・規格等 備 考
・ シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024
・ 既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 8] [4. 5. 9]
改修工法の種類 材 料 品 質・規格等
・ 充填工法 エポキシ樹脂モルタル
・ モルタル塗替え工法 改修幅は4. 2. 2(7)による 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示
[4. 1. 4] [4. 5. 9～15] [表4. 4. 3～4]
改修工法の種類 アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量
一般部 指定部 一般部 指定部 注入量
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml
ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※25ml
注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml
注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml
注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml
ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 [4. 2. 2]
注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。
・ 樹脂モルタル T3

4-3
外
壁
改
修
工
事

タ
イ
ル
張
り
仕
上
げ
外
壁

1 既存タイル張りの撤去

2 ひび割れ部改修工法

3 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

5 巾木モルタル塗

・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 ・ 4-1による
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・ 張り付けモルタルまで ・ タイルのみ [4. 5. 2]
改修箇所 ※既存タイル張り面
・ 既存タイル撤去面(・ コンクリート面 ・ モルタル面)
※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 7] [4. 5. 8]
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考
0. 2以上～1. 0未満 ※200～300 ※
樹脂注入工法
・ 手動式エポキシ樹脂 0. 2以上～0. 3未満 ※50～100 ※40 ・
注入工法 0. 3以上～0. 5未満 ※100～200 ※70 ・
・ 機械式エポキシ樹脂 0. 5以上～1. 0未満 ※150～250 ※130 ・
注入工法
注入材料 [4. 2. 2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き) ※行わない [4. 3. 4]
・ 行う(抜き取り部の補修方法：)
・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5～6]
充填材料 品質・規格等 備 考
・ シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024
・ タイル部分張替え工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 7] [4. 5. 8]
接着剤の種類 品質・規格等 備 考
※ポリマーセメントモルタル
・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1であり監督職員の承諾するもの又は特記による。

4-4
外
壁
改
修
工
事

塗
り
仕
上
げ
外
壁

1 既存塗装等の撤去及び下地処理

2 下地調整材

3 仕上げ塗材仕上げ

4 その他の仕上げ

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4-4
外
壁
改
修
工
事

塗
り
仕
上
げ
外
壁

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

4 浮き部改修工法

5 見本の製作等

6 アルミ製建具

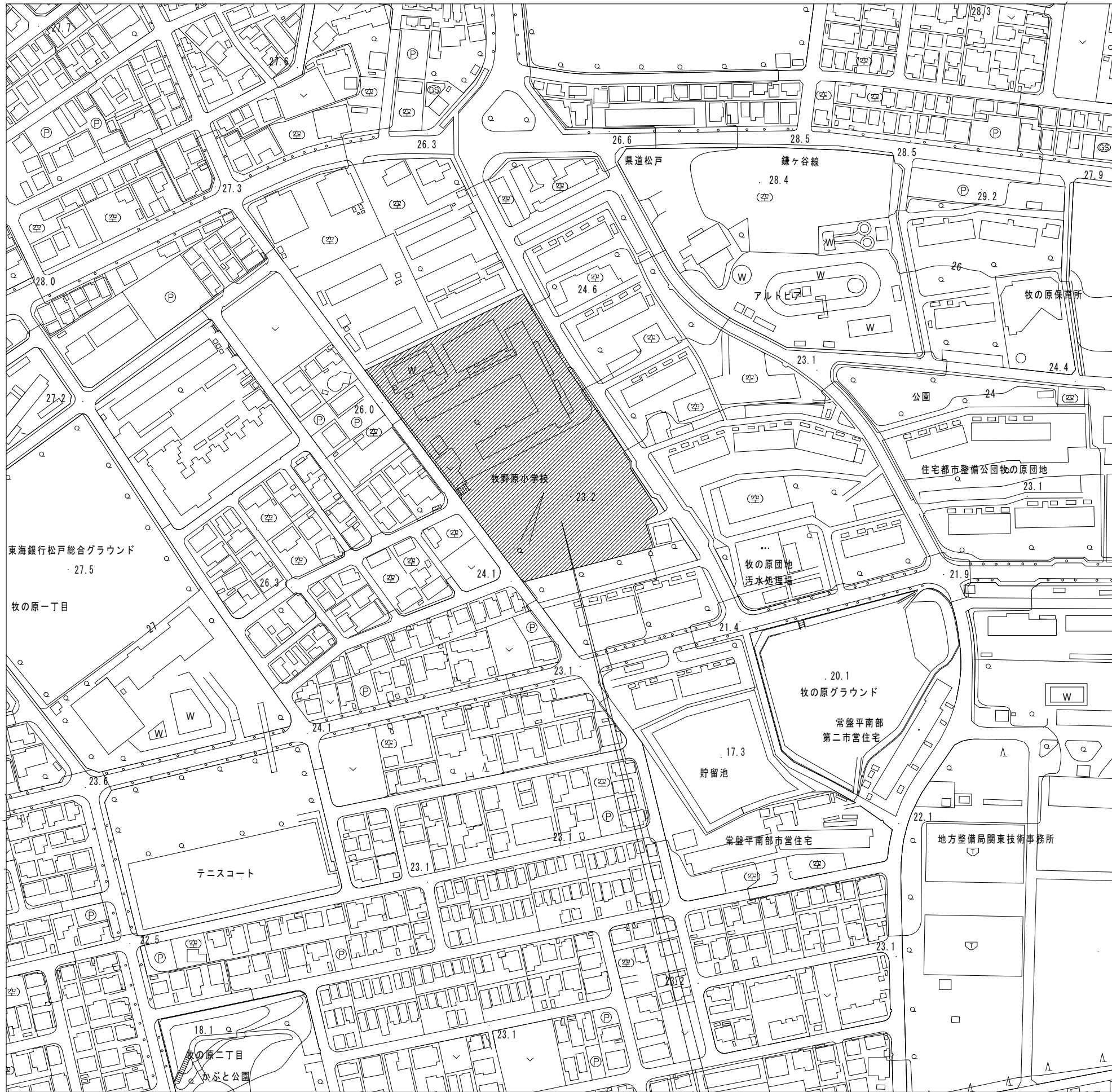
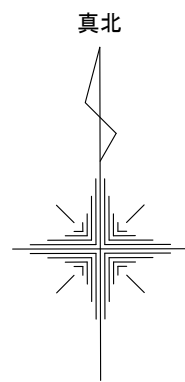
4 浮き部改修工法

5

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
5 建具 改修 工事	17 オーバーヘッド ドア	[5. 12. 2～5][表5. 12. 1～2] セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ 開閉方式 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304) 耐風圧性能()N/m ² JIS A 4715	16 合成樹脂塗床	[6. 10. 2～3][表6. 10. 1～8] 種 類 ・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床材 仕上の種類 ※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ ・薄膜流しのペ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのペ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑) ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆	24 モルタル塗り	吸水調整材 [6. 15. 3] 全固形分(%) 表示値±1.0%以内 吸水量(g) 30分間で1g以下 接着強度(N/?) 1.0以上 界面破壊率(%) 50以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用モルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水性 セメント質量の5% JIS R 5201の試験において 70%以上 95%以上 80%以上 以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内 膨張性のひび割れ及びそりがないこと。 既製目地材 ※適用しない・適用する	36 表示	衝突防止表示 ・図示(市販品・ステンレス製 径約30mm・) (・両面・片面) ・無し 表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進出口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所。
	18 かざ箱	市販品 形 式 ・30組用・60組用・120組用・	17 フローリング張り	[6. 11. 2～7][表6. 11. 1～6] 種 別 ・天然木化粧複合フローリング ・大型積層フローリング ・単層フローリング 材 種 ・ガバ ・ブナ ・ガバ ・ブナ 工 法 ※直張り工法(C種) ・特殊張り(体育館床) ・特殊張り(体育館床) ・モルタル埋め込み ・直張り 仕上塗装等 ※塗装品 ※無塗装品 ※無塗装品 備考	25 タイル張り	タイルの種類 [6. 16. 3] 施工箇所 形状寸法 き ぎ うわぐすり 役物 色 再生材の 適用[6] 備考	37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法: ・新設する [2. 3. 1][5. 1. 6] [20. 2. 12] 形 式 種 類 スラットの材質 スラットの幅(mm) ※ギヤ式・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25 ※縦形 ※1本操作コード ・アルミスラット ・クロススラット ・80 ・100
⑥ 内装 改修 工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲	18 畳敷き	[6. 12. 2～3][表6. 12. 1] 下地の種類 改修構仕 表6. 5. 10による床組 ※B種・ ポリスチレンフォーム床下地 ※C種・	26 セルフレベリング 材塗り	セルフレベリング材の種類 [6. 17. 2][表6. 17. 1] 種 類 フロ―値 凝結時間 圧縮強度 下地接着強度 床面接着強度 長さ変化 (%) 割れ及び セメント系 19以上 45以上 20以上 20以上 0. 7以上 0. 5以上 0. 12以下 ないこと 試験方法: 日本建築学会品質規程JASS 15 M-103による。	38 ロールスクリーン	防炎性能 ※有り 製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20. 2. 13) 施工箇所 装 置 電 動 手 引 性 能 防炎性能 備 考
	2 既存床の撤去並びに 下地補修	ビニル床シート等の除去 ・仕上材のみ(接着剤とも) ・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て) カラードフロアの撤去 ・機械的除去工法 ・目直し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の案内・	19 ポリスチレン フォーム床下地材	畳下地 厚さ(mm) ※40・65・80 フローリング類 厚さ(mm) ※80・95	27 断熱材	[19. 9. 2～3] 種 類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 ・押出法 ※2種b ※一般部 ※25 特定フロンを使用しない もの ポリスチレン フォーム ※3種b (スキム層付) ・接部分 ※25 ・現場発泡断熱材 ※断熱材補修部分 ※一般部 ※25 特定フロンを使用しない もの 難燃性※3級・2級	39 カーテン (暗幕、縦帳等)	・既存再使用する(養生方法: 取外し再取付) ・新設する [2. 3. 1][5. 1. 6] [20. 2. 14] 施工箇所 形 式 片引 引 分 装 置 電 動 ひも引 手 引 ひだの種類 性 能 備 考 片ひだ 遮光 防炎仕様
5 集材等 [6] (顔縁等)	5 集材等 [6] (顔縁等)	[6. 5. 2] 品 名 規格・品質 芯材の種類 化粧単板の樹種 ※集材材 ※一般材 ・米褐・なら・しおじ ・構造用集材材 ・1種 ※2種・3種 ・造作用集材材 ※1等・2等 ・タモ ・化粧ばり造作用集材材 ※1等・2等 ・ ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆	20 カーベット敷き	[6. 9. 2～3][表6. 9. 1～2] ・織じゅうたん 種 別 バイル系の種類 帯電性 色柄等 備考 ・A種 ・B種 ・C種				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																
⑦ 塗装改修工事	① 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7. 1. 2～3] 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7. 1. 8] 監督職員と協議する。	9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9. 1. 3] ・ 封じ込め処理 ・ 囲い込み処理除去工法 ・ 除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示 分析によるアスベスト (ｱｸｼｱｲﾄ、ﾌｴｲﾄ、ﾌｧｲﾌﾞﾗｲﾄ、ｸﾘｯｸｲﾄ、ｸﾚﾄﾞｲﾄ、ﾄﾓｲﾄ) 含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・ U3-2 [9. 4. 2]																																																	
	② 下地調整	[7. 2. 2～7] [表7. 2. 1～7] <table><tr><th colspan="2">下地面の種類</th><th>下地調整の種類</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td>新規面はRA種</td><td></td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>垂鉛めつき鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>モルタル、プラスチック面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンクリート、ALC及び押出成形</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>セメント板面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>せつこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td><td></td></tr></table> 既存下地面等のひび割れ部補修 ※行う ・ 行わない ※錆止め JIS K 5674		下地面の種類			下地調整の種類	備考	木部	・ RA種 ※RB種	新規面はRA種		鉄鋼面	・ RA種 ※RB種			垂鉛めつき鋼面	・ RA種 ※RB種			モルタル、プラスチック面	・ RA種 ※RB種			コンクリート、ALC及び押出成形	・ RA種 ※RB種			セメント板面	・ RA種 ※RB種			せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種			2 アスベスト含有吹付材除去工事	アスベスト粉塵濃度測定 ※行う	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9. 6. 2]																
	下地面の種類			下地調整の種類	備考																																																			
	木部	・ RA種 ※RB種		新規面はRA種																																																				
	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種																																																						
	垂鉛めつき鋼面	・ RA種 ※RB種																																																						
	モルタル、プラスチック面	・ RA種 ※RB種																																																						
	コンクリート、ALC及び押出成形	・ RA種 ※RB種																																																						
	セメント板面	・ RA種 ※RB種																																																						
	せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種																																																						
③ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	[7. 4. 3] [表7. 4. 1] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>下塗り JASS 18 M-304</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td rowspan="2">・ A種 ※B種</td><td rowspan="2">※B種</td><td>中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr><tr><td>穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110</td></tr><tr><td colspan="4">中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304	鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種	中塗り及び上塗り JIS K 5516	穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110	中塗り及び上塗り JIS K 5516				測定時期及び場所等については下表による。 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数 (各処理事業室毎)</th><th>備考</th></tr><tr><td>処理事業室前</td><td>処理事業室内</td><td>2又は3点</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">処理事業室中</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>2点</td><td>全工区共通</td></tr><tr><td>処理事業室内</td><td>2点</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>1点</td><td>空気の流れを確認</td></tr><tr><td>負圧・除塵装置の排出口 (処理事業室外の場合)</td><td>1点</td><td>除塵装置の性能確認</td></tr><tr><td rowspan="2">処理事業室後 (隔離シート撤去前)</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td></td></tr><tr><td>処理事業室内</td><td>2点</td><td></td></tr><tr><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td>全工区共通</td><td></td></tr></table> (注) 処理事業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理事業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理事業室毎)	備考	処理事業室前	処理事業室内	2又は3点		処理事業室中	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通	処理事業室内	2点			セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認	負圧・除塵装置の排出口 (処理事業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認	処理事業室後 (隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		処理事業室内	2点		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通		9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 ※再生クラッシャーラン (RC-40) ・ クラッシャーラン (C-40) 又はクラッシャーランスラグ (CS-40) 透水性の高いものを使用する。 道断層及び凍上抑制層の材料 ・ 道断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン 切込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 [9. 7. 3] [表9. 7. 1] 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰() ・ 消石灰() 添加量 kg/㎡ (目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う [9. 7. 6] [表9. 7. 5] [9. 7. 9]		
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																																					
木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304																																																					
鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種	中塗り及び上塗り JIS K 5516																																																					
			穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110																																																					
中塗り及び上塗り JIS K 5516																																																								
測定時期	測定場所	測定点数 (各処理事業室毎)	備考																																																					
処理事業室前	処理事業室内	2又は3点																																																						
処理事業室中	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通																																																					
	処理事業室内	2点																																																						
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																																					
	負圧・除塵装置の排出口 (処理事業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認																																																					
処理事業室後 (隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																						
	処理事業室内	2点																																																						
施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																																																						
④ 鉄鋼面耐候性塗料塗り (DP)	[7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>鉄面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>垂鉛めつき面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5658</td></tr><tr><td colspan="4">下塗り JASS 18 M-109</td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	垂鉛めつき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658	下塗り JASS 18 M-109				3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	経鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ (核スタッド工法 65形#300) とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 —内部測定点内訳— 〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。	10 その他	11 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 図示 (22. 5. 2) (表22. 5. 1) <table><tr><th>部 位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>所定のスランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">車路及び駐車場</td><td rowspan="2">24</td><td rowspan="2">8</td><td>砂利の場合25又は40</td></tr><tr><td>碎石の場合20又は25</td></tr><tr><td rowspan="2">歩行者用通路</td><td rowspan="2">18</td><td rowspan="2">8</td><td>砂利の場合25</td></tr><tr><td>碎石の場合20</td></tr></table> ・ 図示 砂利敷き 種別 ・ A種 ・ B種 (22. 9. 2) (表22. 9. 1) 植樹 ・ 図示 (22. 3. 2) <table><tr><th>樹 種</th><th>寸 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40	碎石の場合20又は25	歩行者用通路	18	8	砂利の場合25	碎石の場合20	樹 種	寸 法	数 量	備 考												
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																																					
鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																																					
垂鉛めつき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																																					
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658																																																					
下塗り JASS 18 M-109																																																								
部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																					
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40																																																					
			碎石の場合20又は25																																																					
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25																																																					
			碎石の場合20																																																					
樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																					
⑤ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	[7. 9. 2] [表7. 9. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660	4 アスベスト成形板の処理工事	9. 1. 5 <table><tr><th colspan="2">処理を行うアスベスト成形板の仕様等</th><th>仕上表による</th></tr><tr><th>材料名</th><th>厚さ (mm)</th><th>処理を行う範囲</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	処理を行うアスベスト成形板の仕様等		仕上表による	材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲										2 植栽工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 図示 (22. 5. 2) (表22. 5. 1) <table><tr><th>部 位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>所定のスランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">車路及び駐車場</td><td rowspan="2">24</td><td rowspan="2">8</td><td>砂利の場合25又は40</td></tr><tr><td>碎石の場合20又は25</td></tr><tr><td rowspan="2">歩行者用通路</td><td rowspan="2">18</td><td rowspan="2">8</td><td>砂利の場合25</td></tr><tr><td>碎石の場合20</td></tr></table> ・ 図示 砂利敷き 種別 ・ A種 ・ B種 (22. 9. 2) (表22. 9. 1) 植樹 ・ 図示 (22. 3. 2) <table><tr><th>樹 種</th><th>寸 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40	碎石の場合20又は25	歩行者用通路	18	8	砂利の場合25	碎石の場合20	樹 種	寸 法	数 量	備 考																		
処理を行うアスベスト成形板の仕様等		仕上表による																																																						
材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																																						
部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																					
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40																																																					
			碎石の場合20又は25																																																					
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25																																																					
			碎石の場合20																																																					
樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																					
6 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	[7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	5 アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・ 部分除去 ・ 全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾍﾞｲｽｸﾗｯﾀﾞｰ工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	8 耐震改修工事	『耐震補強工事構造特記仕様書』による。																																																			
7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	[7. 11. 2] [表7. 11. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの場合 <table><tr><th>既存塗膜</th><th>下地調整</th><th>種別</th></tr><tr><td>合成樹脂エマルション模様塗り</td><td>※RB種</td><td>※A種</td></tr><tr><td rowspan="2">平滑な塗料塗り</td><td>※RC種</td><td>※C-3種</td></tr><tr><td>※RB種</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>・ C-1種 ・ C-2種</td></tr></table> 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種	平滑な塗料塗り	※RC種	※C-3種	※RB種	・ A種 ・ B種		・ RC種	・ C-1種 ・ C-2種	6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th colspan="2">材料名</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td><td></td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム</td><td>・ フェノールフォーム</td><td></td></tr><tr><td>・ ロックウール</td><td>・ グラスウール</td><td></td></tr></table>	材料名		厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム		・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム		・ ロックウール	・ グラスウール		9 オイルステイン塗り (OS)	[7. 13. 2] [表7. 13. 1] ワトコオイル製品同等品とする。	10 木材保護塗料塗り (WP)	[7. 14. 2] [表7. 14. 1] ・ A種 ※B種 JASS 18 M-307																							
既存塗膜	下地調整	種別																																																						
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種																																																						
平滑な塗料塗り	※RC種	※C-3種																																																						
	※RB種	・ A種 ・ B種																																																						
	・ RC種	・ C-1種 ・ C-2種																																																						
材料名		厚さ (mm)																																																						
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																							
・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム																																																							
・ ロックウール	・ グラスウール																																																							
8 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	[7. 12. 2] [表7. 12. 1] ・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502			11 ポリウレタン樹脂塗装 (2-UC)	フローリングブロック面の塗り種別 ・ A種 ※B種																																																			

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事				
図面名	特記仕様書（４）				
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日			
縮 尺	No Scale	図面番号	A-04		
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号				
	松戸市 街づくり部 建築保全課				



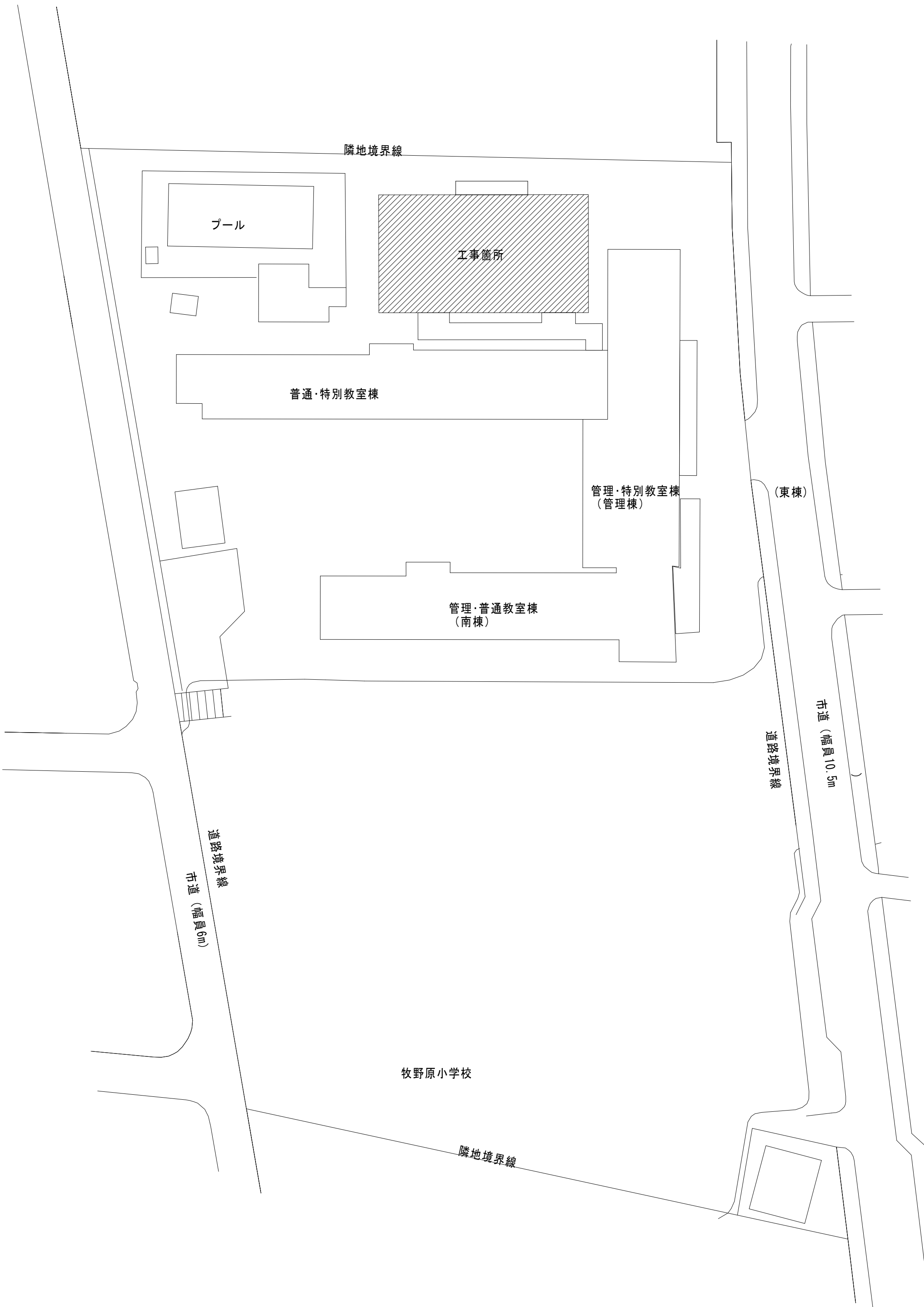
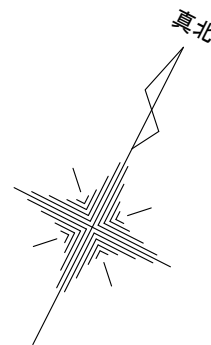
工事場所：松戸市立牧野原小学校
地名地番：松戸市牧の原435番地の1

案内図 1/2500

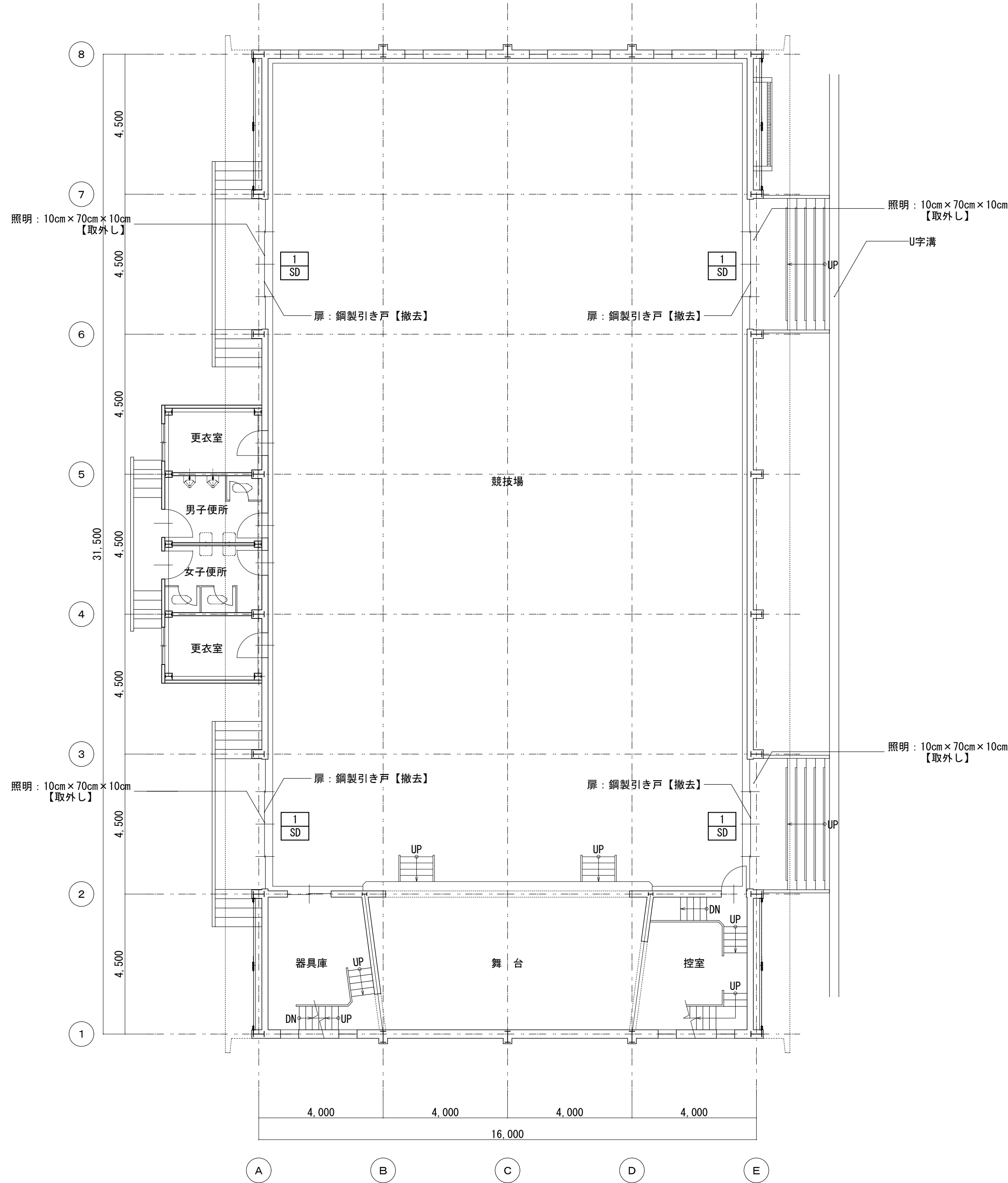
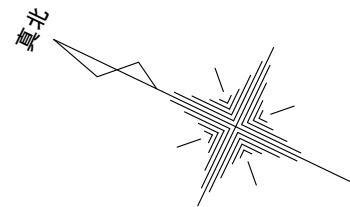
工事場所を示す

配置図 1/500

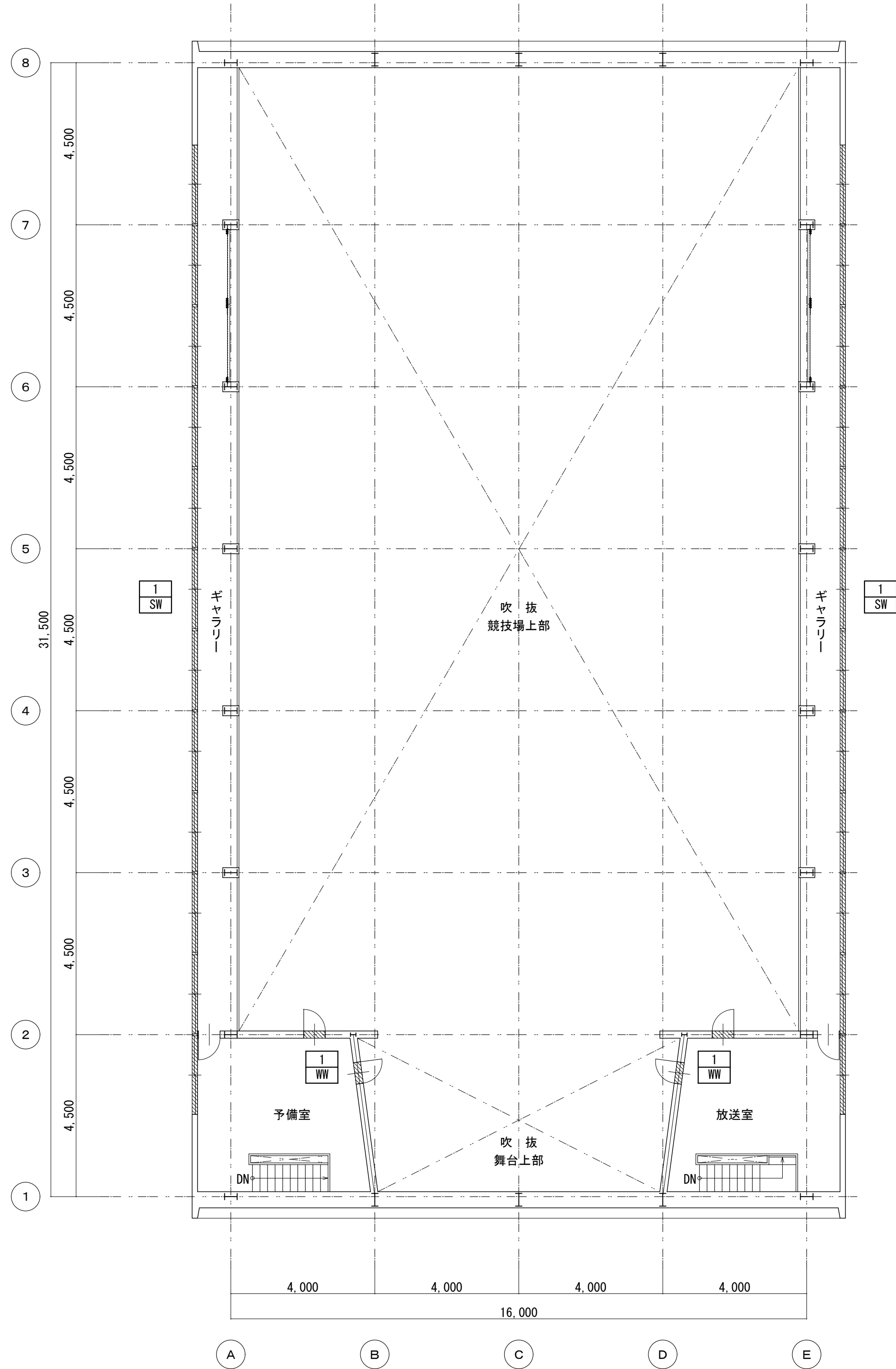
工事箇所を示す



工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

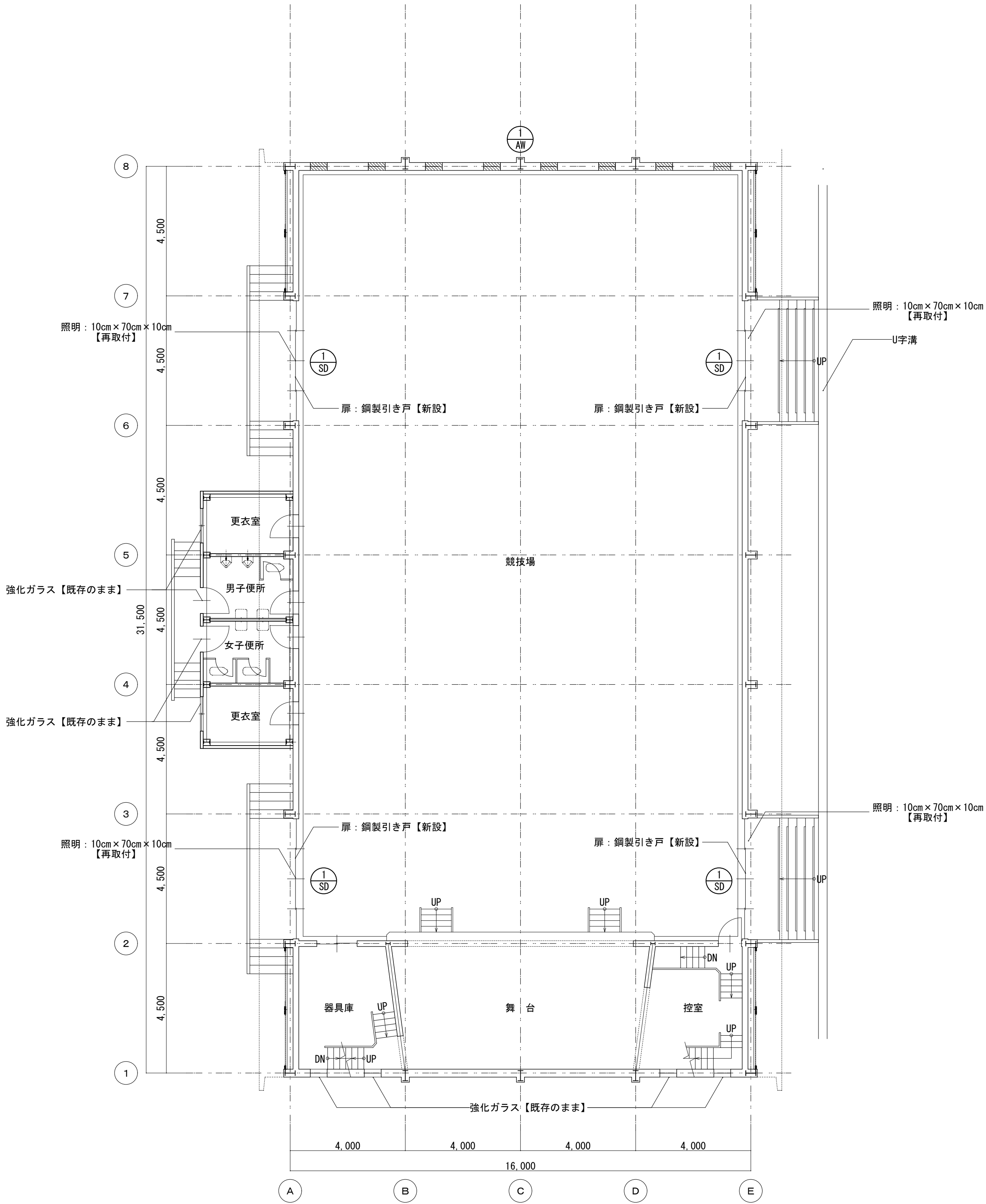
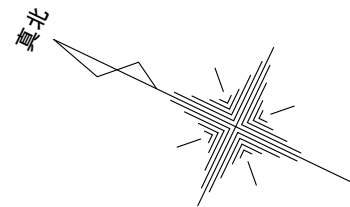
建具名	既存フィルム撤去面積	計93.00㎡
1 SW	1.75m×2.18m×24枚=91.56㎡	
1 WW	0.6m×0.6m×4枚=1.44㎡	

 フィルム撤去範囲を示す

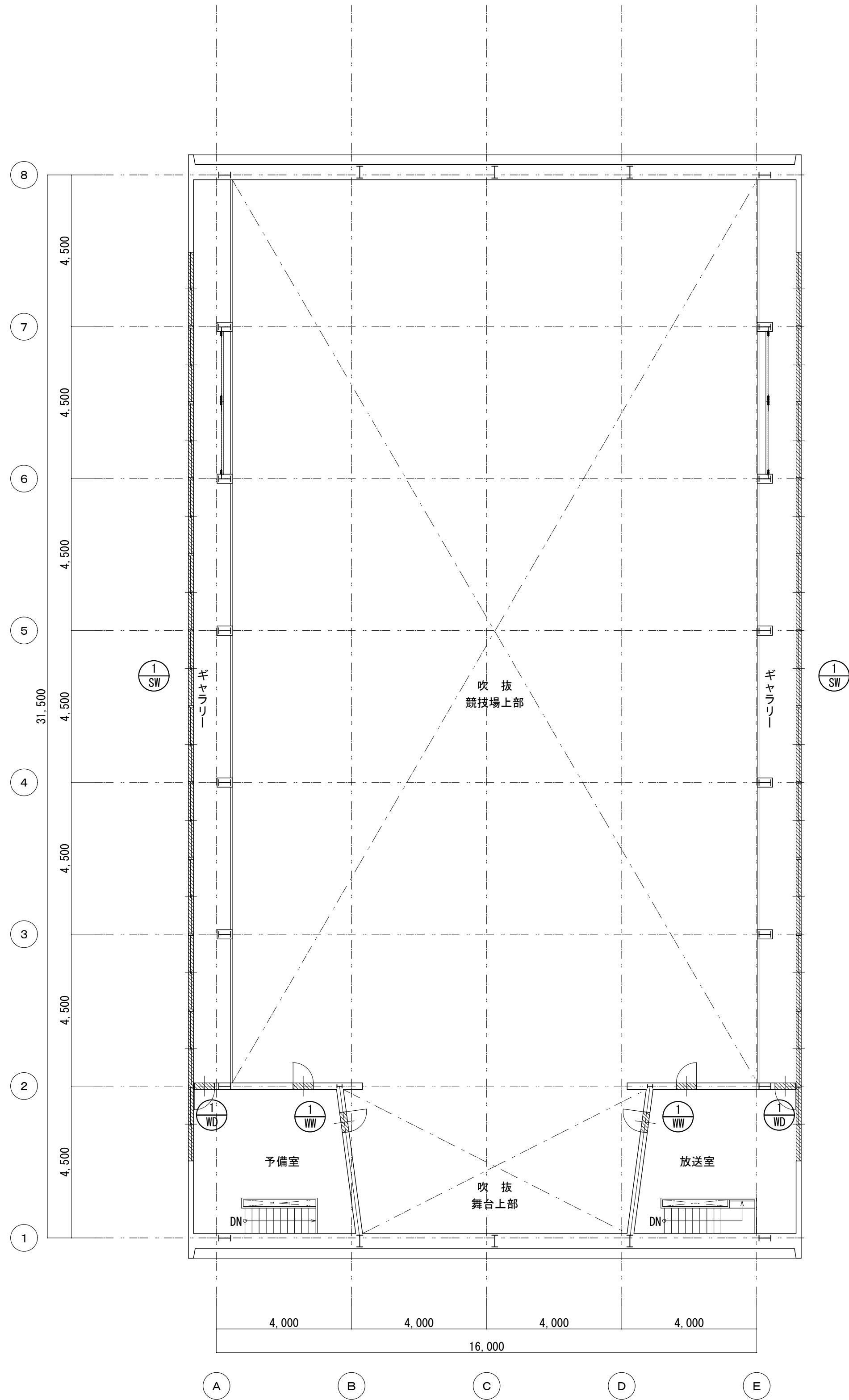
建具名	割れガラス撤去面積	計6.91㎡
1 SW	0.83m×1.04m×8枚=6.9056㎡	

※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計2.22㎡
1 WW	0.6m×0.6m×4枚=	1.44㎡	
1 WD	0.65m×0.6m×2枚=	0.774㎡	

建具名	遮熱フィルム新設面積	内貼	計91.56㎡
1 SW	1.75m×2.18m×24枚=	91.56㎡	

建具名	遮熱フィルム新設面積	外貼	計3.81㎡
1 AW	0.6m×0.795m×8枚=	3.81㎡	

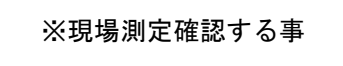
フィルム新設範囲を示す

建具名	割れガラス新設面積	計6.91㎡
1 SW	0.83m×1.04m×8枚=	6.9056㎡

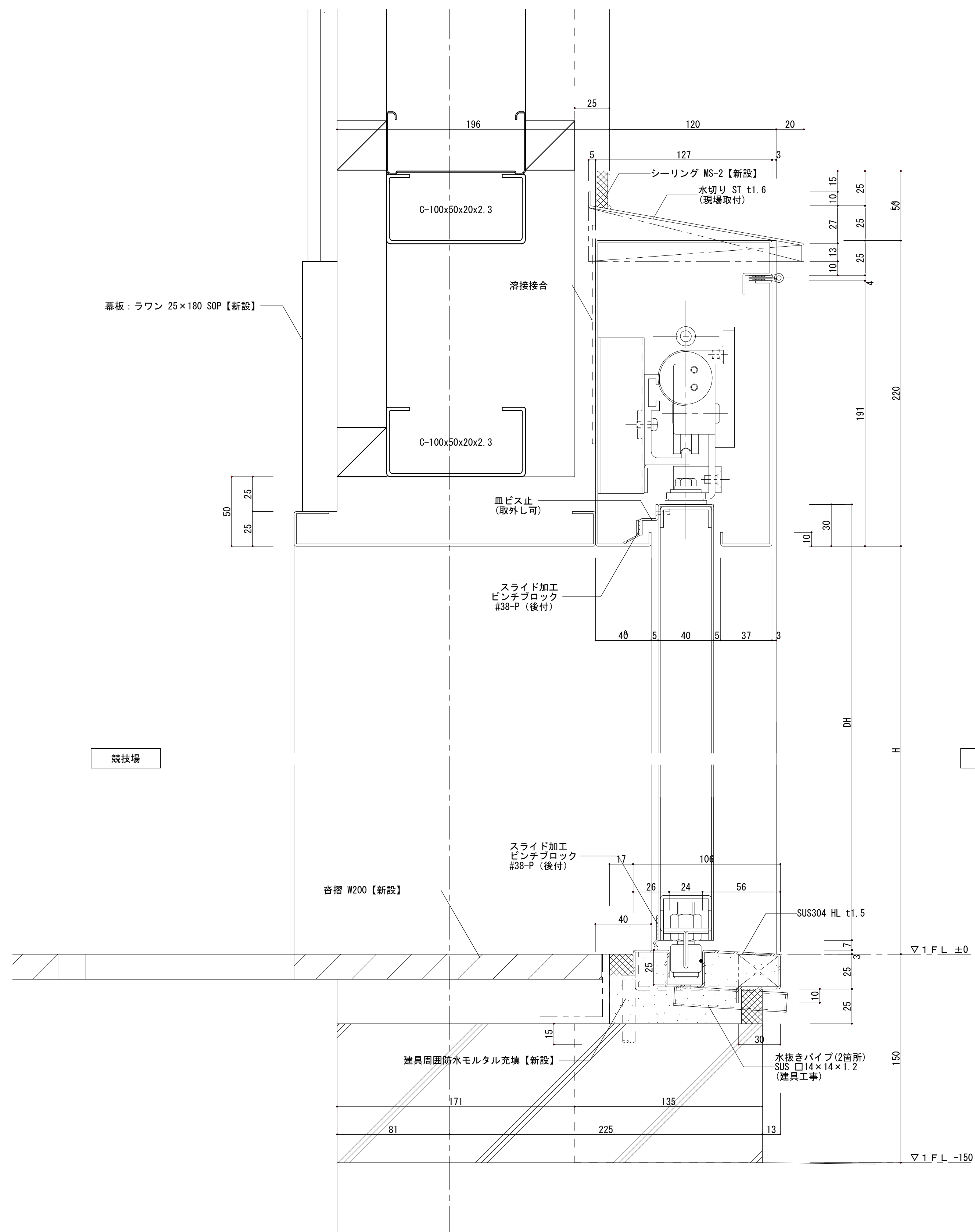
※新設箇所について建具表参照

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修後〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1 SD × 4箇所【撤去】	1 SD × 4箇所【新設】
姿図・寸法	</	

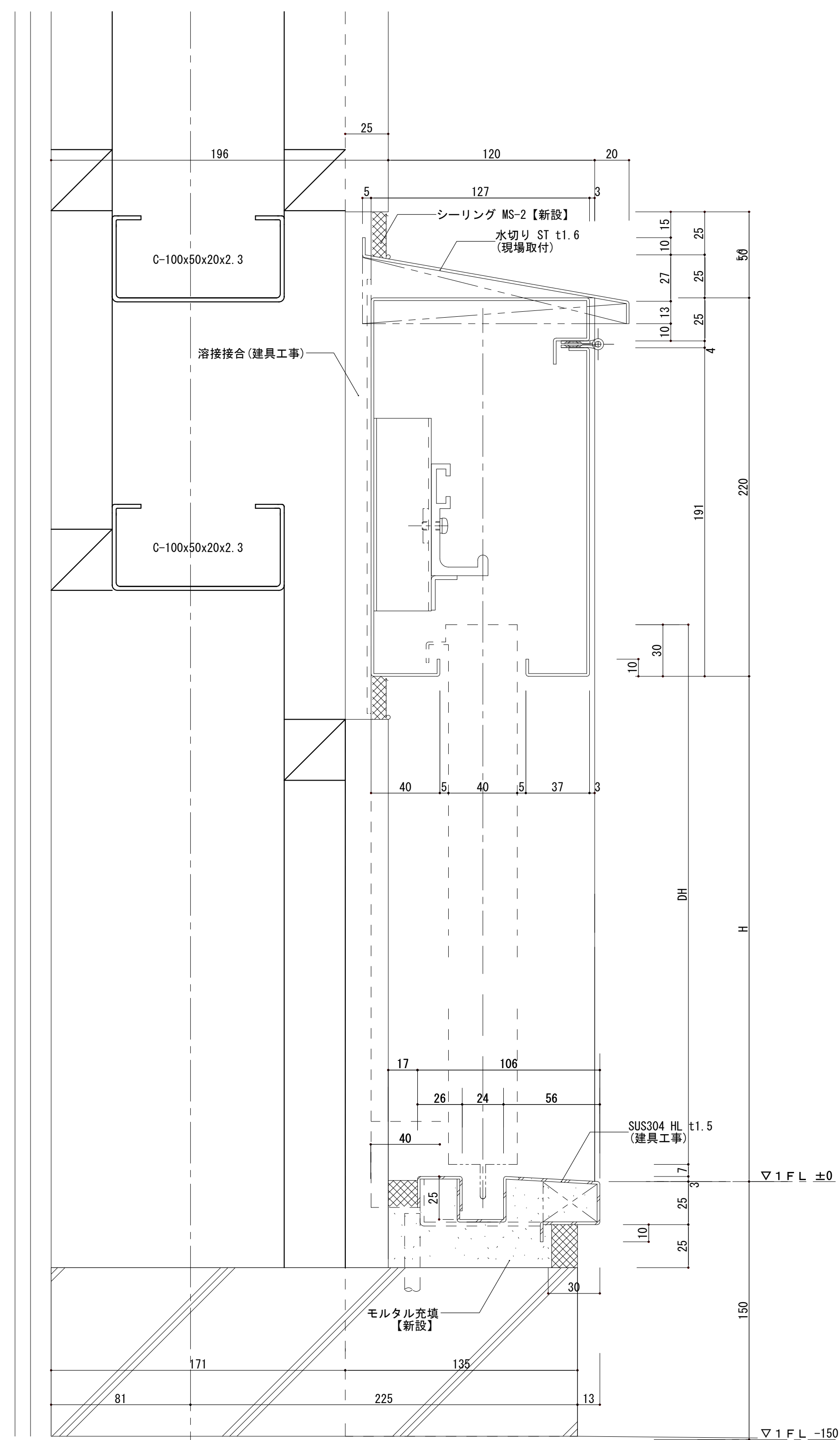


工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第 1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第 272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



A-A' 建具断面詳細図 1/2

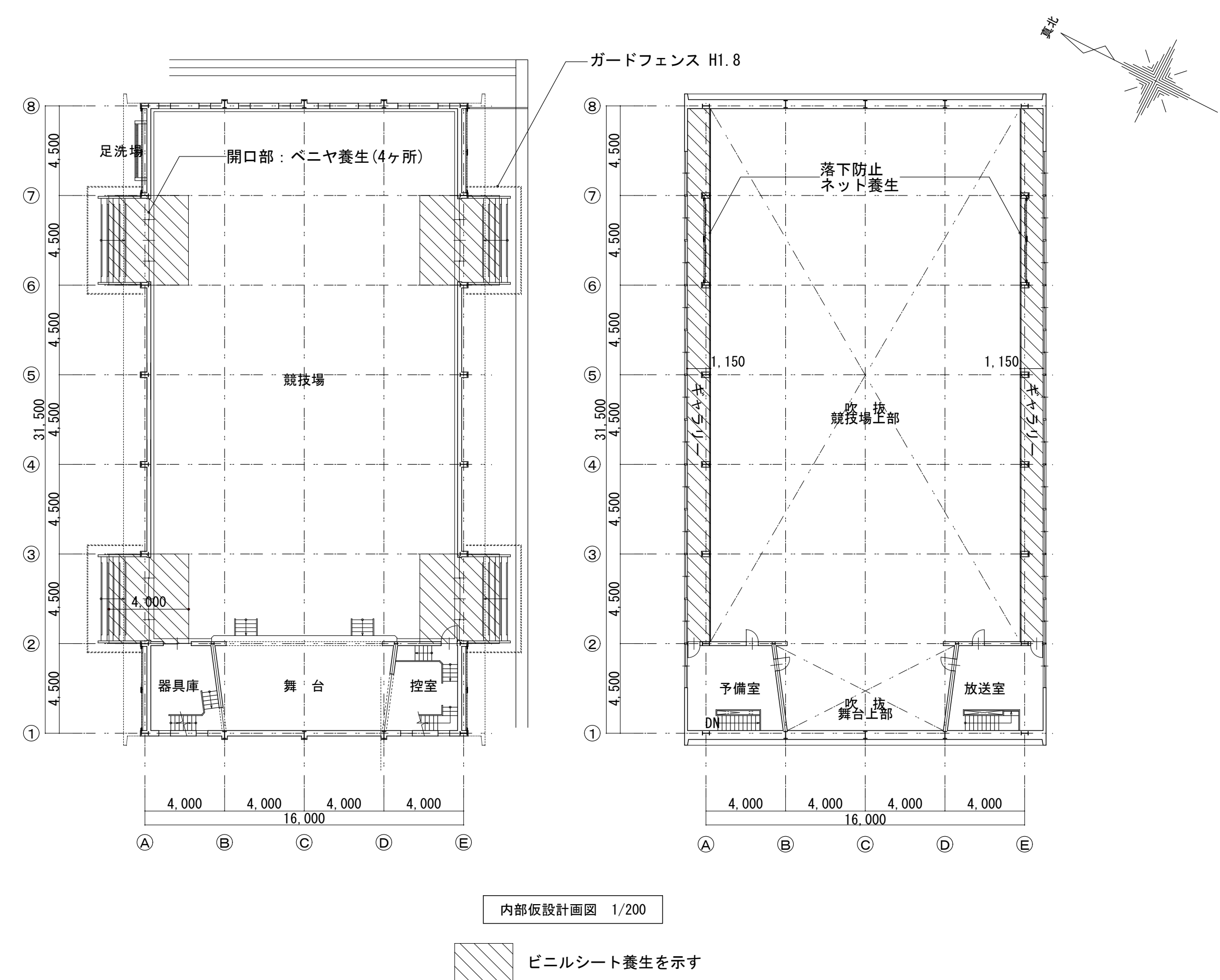
※現場測定確認する事



B-B' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 2 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大匠登録第 272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



<全体仮設計計画>

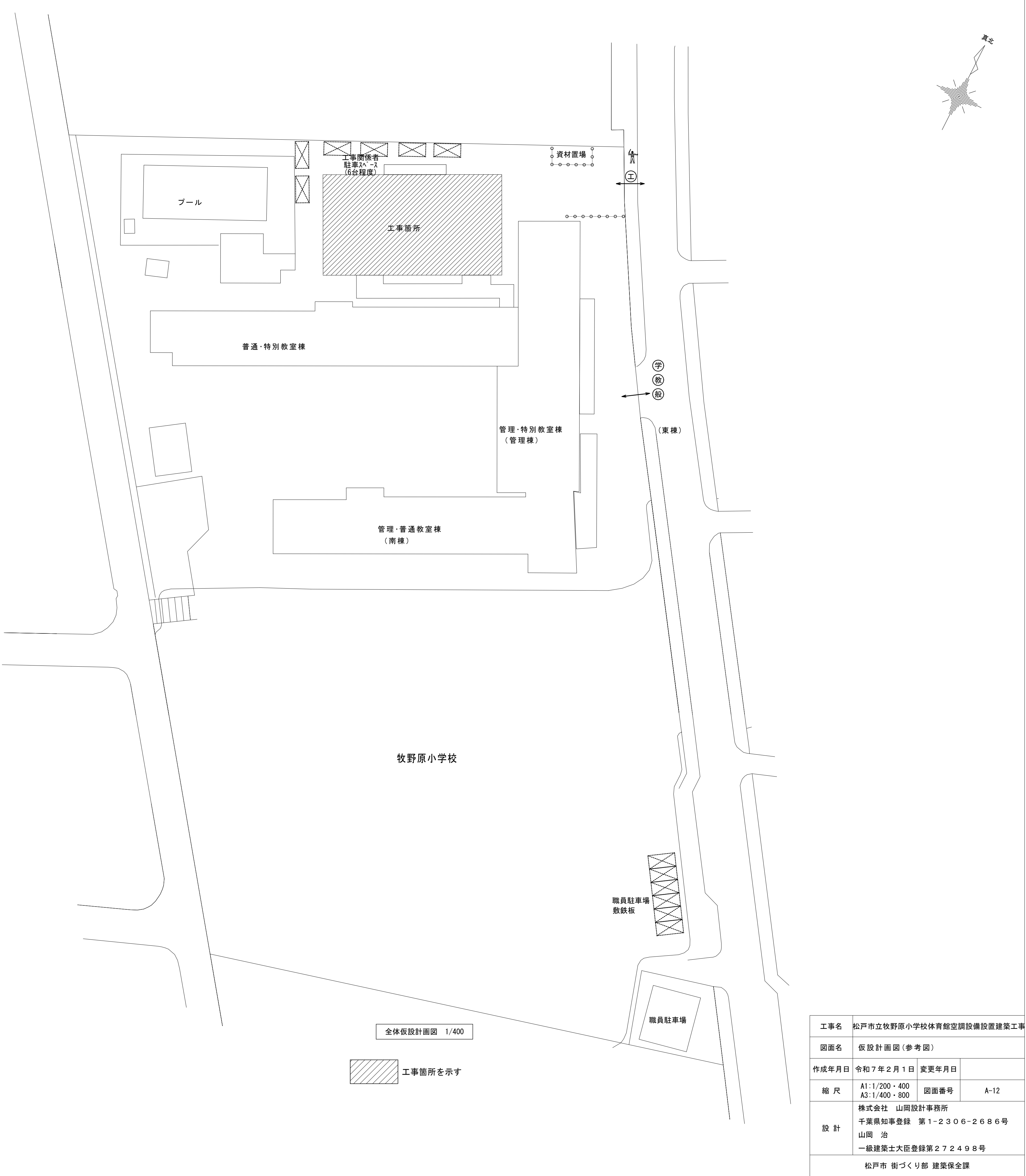
1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

<特記事項>

- ・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- ・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

- 敷鉄板 t=22
- 枠組足場：ネット養生シート(防災1類) W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート(防災1類) W=914
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 44m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 30m
- 工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す
- 学 生徒・学校関係者を示す
- 教 教員車両を示す
- 般 一般車両を示す 工 工事車両を示す



工事名	松戸市立牧野原小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計計画図(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200・400 A3:1/400・800	図面番号	A-12
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

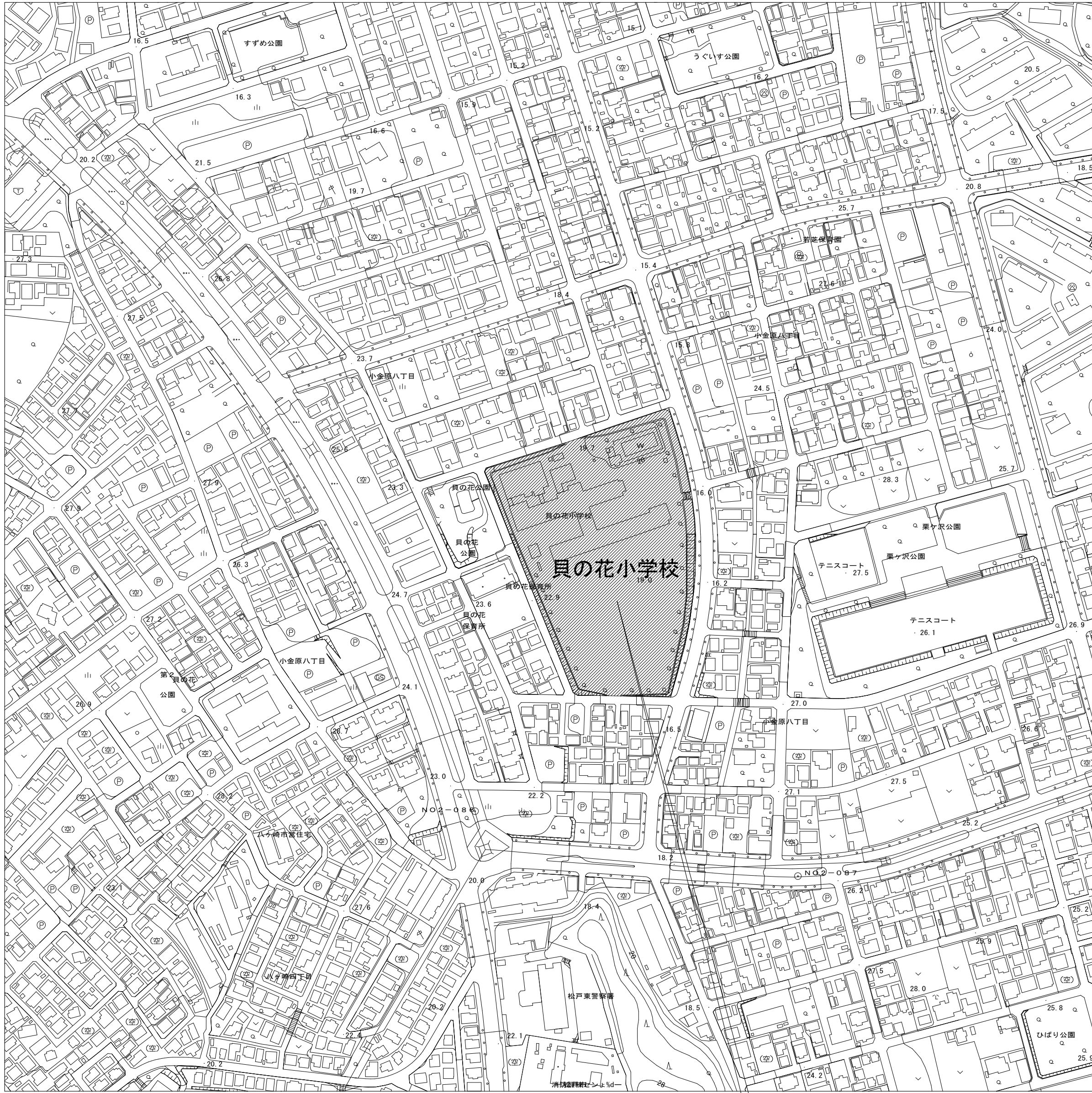
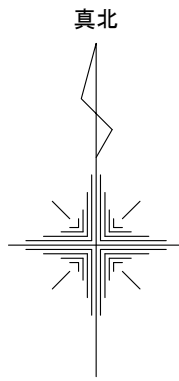
松戸市立員の花小学校 体育館空調設備設置建築工事		工事設計図		令和6年1月31日	
仕 様 書		章 項 目		特 記 事 項	
I 工事概要		① 一般共通事項	① 運用基準等	○ 松戸市建築工事に関する提出書類 ○ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ○ 松戸市建築工事現場表示板仕様	
1. 工事場所			② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する	
2. 敷地面積			③ 施工計画書	○ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 ○ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ○ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○ 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。	
3. 改修建物概要			4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、 電気工作物の保安の業務を行うものとする。	
用 途：小学校(体育館) 構 造：S造 階 数：地上2階 建築面積： 延べ面積：497㎡ 最高高さ：10.00m（軒高さ：8.00m）			⑤ 施工条件	※ 現場説明書による	
4. 工事内容			⑥ 発生材の処理等	※ 現場説明書による ○ 場外搬出適正処理	
工事種目			⑦ 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	
2 仮設工事			⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEco規格品 ④旧JASのFco規格品	
3 防水改修工事			⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	
4 外壁改修工事			⑩ 技能士	[1. 6. 2]	
5 建具改修工事			11 化学物質の濃度測定	[1. 6. 9]	
6 内装改修工事			⑪ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
7 塗装改修工事			⑫ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
8 耐震改修工事			⑬ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
9 環境配慮改修工事			⑭ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
10 その他			⑮ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
II 建築工事仕様			⑯ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
1. 共通仕様			⑰ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
(1) 図面及び特記仕様に記載されないない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標仕」という。）による。			⑱ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
2. 特記仕様			⑲ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。			⑳ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。			㉑ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。			㉒ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
○印と※印の付いた場合は共に適用する。			㉓ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。			㉔ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。			㉕ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
(5) ㊼印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。			㉖ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
松戸市建築工事現場表示板仕様			㉗ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
① 材料 1) 耐水合板(ラワン厚み12mm S0P仕上げ) 2) 枠及び棟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。 (2) 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉘ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
② 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉙ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
③ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉚ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
④ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉛ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑤ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉜ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑥ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉝ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑦ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉞ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑧ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㉟ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑨ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊱ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑩ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊲ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑪ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊳ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑫ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊴ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑬ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊵ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑭ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊶ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑮ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊷ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑯ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊸ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑰ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊹ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑱ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊺ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑲ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊻ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
⑳ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊼ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉑ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊽ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉒ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊾ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉓ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			㊿ 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉔ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			1 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉕ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			2 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉖ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			3 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉗ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			4 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉘ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			5 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉙ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			6 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉚ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			7 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉛ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			8 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉜ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			9 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉝ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			10 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉞ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			11 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㉟ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			12 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊱ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			13 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊲ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			14 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊳ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			15 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊴ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			16 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊵ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			17 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊶ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			18 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊷ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			19 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊸ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			20 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊹ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			21 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊺ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			22 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊻ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			23 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊼ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			24 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊽ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			25 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊾ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			26 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
㊿ 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。			27 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
1 完成図等			28 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
2 完成図等			29 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
3 完成図等			30 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
4 完成図等			31 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
5 完成図等			32 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
6 完成図等			33 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
7 完成図等			34 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
8 完成図等			35 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
9 完成図等			36 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
10 完成図等			37 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
11 完成図等			38 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
12 完成図等			39 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
13 完成図等			40 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
14 完成図等			41 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
15 完成図等			42 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
16 完成図等			43 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
17 完成図等			44 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
18 完成図等			45 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
19 完成図等			46 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
20 完成図等			47 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
21 完成図等			48 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
22 完成図等			49 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
23 完成図等			50 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
24 完成図等			51 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
25 完成図等			52 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
26 完成図等			53 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
27 完成図等			54 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
28 完成図等			55 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
29 完成図等			56 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
30 完成図等			57 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
31 完成図等			58 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
32 完成図等			59 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
33 完成図等			60 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
34 完成図等			61 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
35 完成図等			62 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
36 完成図等			63 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
37 完成図等			64 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
38 完成図等			65 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
39 完成図等			66 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
40 完成図等			67 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
41 完成図等			68 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
42 完成図等			69 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
43 完成図等			70 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
44 完成図等			71 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
45 完成図等			72 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
46 完成図等			73 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
47 完成図等			74 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]	
48 完成図等		75 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
49 完成図等		76 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
50 完成図等		77 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
51 完成図等		78 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
52 完成図等		79 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
53 完成図等		80 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
54 完成図等		81 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
55 完成図等		82 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
56 完成図等		83 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
57 完成図等		84 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
58 完成図等		85 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
59 完成図等		86 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
60 完成図等		87 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
61 完成図等		88 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
62 完成図等		89 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
63 完成図等		90 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
64 完成図等		91 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
65 完成図等		92 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
66 完成図等		93 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
67 完成図等		94 完成図等	[1. 8. 1～3][表1. 8. 1]		
68 完成図等		95 完成図等			

		特 記 事 項					章 項 目		特 記 事 項							特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																
4 外 壁 改 修 工 事 共 通 事 項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル <table><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/ l)</th><th colspan="2">接着強さ (N/?)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強さ (N/?)</th></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以上</td><td>4.0以上</td></tr></table> ・ バテ状エポキシ樹脂<table><tr><td>初期硬化性(標準)</td><td>接着強さ(標準)</td><td>圧縮強さ</td><td>曲げ強さ</td><td>硬化収縮率</td></tr><tr><td>2.0N/?以上</td><td>6.0N/?以上</td><td>50.0N/?以上</td><td>30.0N/?以上</td><td>3.0(%)以上</td></tr></table>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ 可とう性エポキシ樹脂<table><tr><td>性能</td><td>常温物性</td><td>低温性</td><td>加熱変化</td><td>引張接着性</td></tr><tr><td>引張強さ</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr></table>比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ タイル部分張替え工法用材料<table><tr><td>接着強さ</td><td>標準</td><td>低温硬化</td><td>アルカリ温水</td><td>冷熱水中繰返し</td><td>熱劣化</td></tr><tr><td>強度 (N/?)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率 (%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></table>皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ (N/?) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 伸び (%) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/㎡でも安定していること。 a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. すれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル<table><tr><td>接着強さ</td><td>圧縮強さ</td><td>曲げ強さ</td></tr><tr><td>1.0N/?以上</td><td>20.0N/?以上</td><td>10.0N/?以上</td></tr></table>a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等<table><tr><td>曲げ強さ (N/?)</td><td>圧縮強さ (N/?)</td><td>標準時 (N/?)</td><td>湿潤時 (N/?)</td><td>低温時 (N/?)</td></tr><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table>表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー<table><tr><td>広がり速度 (cm/s)</td><td>長さ変化率 (収縮)</td><td>引張接着性 (材齢28日)</td><td>曲げ性能 (材齢28日)</td><td>吸水性 (72時間)</td><td>耐久性 (劣化曲げ強さ)</td></tr><tr><td>3以上</td><td>3.0%以下</td><td>0.5N/?</td><td>5.0N/?</td><td>15%以下</td><td>6.0N/?</td></tr></table>保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・ 吸水調整材<table><tr><td>項目</td><td>全固形分 (%)</td><td>吸水性 (g)</td><td>接着強度 (N/?)</td><td>界面破壊率 (%)</td></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr></table>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上	接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化	強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上	曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?	項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下	4-2 外 壁 改 修 工 事 モ ル タ ル 塗 り 仕 上 げ 外 壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う(※監督職員の指示による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.5] <table><tr><td>注入工法の種類</td><td>ひび割れ幅(mm)</td><td>注入口間隔(mm)</td><td>注入量(ml/m)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] <table><tr><td>注入工法の種類</td><td>品質・規格等</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table> ・ シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)。 ・ バテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 既存塗りを仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・ 監督職員の指示による)	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300			・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・	注入工法の種類	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		4 浮き部改修工法	・ 行う(※監督職員の指示による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.5] <table><tr><td>注入工法の種類</td><td>ひび割れ幅(mm)</td><td>注入口間隔(mm)</td><td>注入量(ml/m)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] <table><tr><td>注入工法の種類</td><td>品質・規格等</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table> ・ シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)。 ・ バテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 既存塗りを仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・ 監督職員の指示による)	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300			・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・	注入工法の種類	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		5 目地改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・ 伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16] シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1] 種類 ※改修仕様表3.7.1による	6 陶磁器タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8] <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状寸法</th><th>きじ</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>再生材の適用</th><th>備考</th></tr><tr><td>外壁</td><td>小口二丁掛け</td><td>磁器 せつ器 陶器</td><td>施ゆう 無ゆう</td><td>あり なし</td><td>標準 特注</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、厚膜)の役物は一体成形とする。 タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う 壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4] 外装タイル ・ 密着張り ・ マスク張り タイルの試験張り ※行わない ・ 行う	施工箇所	形状寸法	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	備考	外壁	小口二丁掛け	磁器 せつ器 陶器	施ゆう 無ゆう	あり なし	標準 特注																																																																		
		保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)																																																																																																																																																																																																																																																									
		70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上																																																																																																																																																																																																																																																									
		初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																																																																																																																																																																																																										
		2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上																																																																																																																																																																																																																																																										
		性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																																																																																																																																																																										
		引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上																																																																																																																																																																																																																																																										
		伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																																																																																																																																																										
		接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化																																																																																																																																																																																																																																																									
		強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																																																																																																																																																																									
凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																																																																																																																																																																											
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																																																																																																																																																																																																														
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上																																																																																																																																																																																																																																																														
曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)																																																																																																																																																																																																																																																												
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																																																																																																																																																												
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																																																											
3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?																																																																																																																																																																																																																																																											
項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																												
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																																																																																																																																																																												
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																																																																																												
注入工法の種類	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																																																																																																																																																															
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																																																																																												
注入工法の種類	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	形状寸法	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
外壁	小口二丁掛け	磁器 せつ器 陶器	施ゆう 無ゆう	あり なし	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																											
4-1 外 壁 改 修 工 事 塗 り 仕 上 げ 外 壁	2 欠損部改修工法 (鉄筋爆製補修含む)	1 既存塗装等の撤去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] <table><tr><th>工 法</th><th>処理範囲</th><th>下地面の補修</th></tr><tr><td>・ サンダー工法</td><td>※補強範囲 図示</td><td>・ ひび割れ部改修工法</td></tr><tr><td>※高圧水洗工法</td><td>※塗替え範囲 図示</td><td>・ 浮き部改修工法</td></tr><tr><td>加圧力 ※12MPa程度</td><td></td><td>・ 欠損部改修工法</td></tr><tr><td>・ 塗膜はく離工法</td><td>※既存仕上面全体</td><td></td></tr><tr><td>・ 水洗い工法</td><td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体</td><td></td></tr></table> 塗装はく離剤 [4.2.2] ※下地調整材O-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面)	工 法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※補強範囲 図示	・ ひび割れ部改修工法	※高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法	加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法	・ 塗膜はく離工法	※既存仕上面全体		・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体		2 下地調整材	種類、仕上げる形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] <table><tr><th>種 類</th><th>呼び名</th><th>仕上げる形状</th></tr><tr><td>・ 薄付け仕上塗材</td><td>・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・ さざ波状 ・ ゆず肌状・ さざ波状・ 凸凹状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・ 凸凹処理・ 凸凹模様</td></tr><tr><td>・ 複層仕上塗材</td><td>・ 複層塗材CE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS</td><td>耐候性 ※耐候形3種 ・ 耐候形1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系・ウレタン系 外観 ※つやあり・つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ※行う</td></tr><tr><td>・ 可とう形改修用仕上塗材</td><td>・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE</td><td>・ 平たん状 ・ さざ波状 ※ゆず肌状</td></tr></table> 防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。	種 類	呼び名	仕上げる形状	・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・ さざ波状 ・ ゆず肌状・ さざ波状・ 凸凹状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・ 凸凹処理・ 凸凹模様	・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS	耐候性 ※耐候形3種 ・ 耐候形1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系・ウレタン系 外観 ※つやあり・つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ※行う	・ 可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状 ※ゆず肌状	4 その他の仕上げ	・ コンクリート打放し保護仕上塗材 ※エスケー化研㈱ セラミクリートTR-Si同等とする ・ トップコート 下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材) 使用箇所：屋上笠木、庇上等等 JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材																																																																																																																																																																																																																											
		工 法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ サンダー工法	※補強範囲 図示	・ ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																												
		※高圧水洗工法	※塗替え範囲 図示	・ 浮き部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																												
		加圧力 ※12MPa程度		・ 欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ 塗膜はく離工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																													
		・ 水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																													
		種 類	呼び名	仕上げる形状																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・ さざ波状 ・ ゆず肌状・ さざ波状・ 凸凹状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・ 凸凹処理・ 凸凹模様																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS	耐候性 ※耐候形3種 ・ 耐候形1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系・ウレタン系 外観 ※つやあり・つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状 ※ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																																																														
4-1 外 壁 改 修 工 事 コ ン ク リ ー ト 打 放 し 仕 上 げ 外 壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] <table><tr><td>注入工法の種類</td><td>ひび割れ幅(mm)</td><td>注入口間隔(mm)</td><td>注入量(ml/m)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td></td><td>※製造所の仕様による</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※ 50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] <table><tr><td>充填材料</td><td>品質・規格等</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table> ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		※製造所の仕様による	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40	・	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・	充填材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		2 欠損部改修工法 (鉄筋爆製補修含む)	3 浮き部改修工法	4 巾木モルタル塗	4-3 外 壁 改 修 工 事 タ イ ル 張 り 仕 上 げ 外 壁	1 既存タイル張りの撤去	・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 ・ 4-1による [4.5.2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・ 張り付けモルタルまで ・ タイルのみ	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面(・ コンクリート面 ・ モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] <table><tr><td></td><td>ひび割れ幅(mm)</td><td>注入口間隔(mm)</td><td>注入量(ml/m)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] <table><tr><td>充填材料</td><td>品質・規格等</td><td>備 考</td></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table> ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル		ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・	充填材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		3 欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] <table><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr><tr><td>・ タイル部分張替え工法用接着剤</td><td>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。</td></tr></table> ・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修仕様表4.5.1による ・ 図示	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル		・ タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。																																																																																																																																																																										
		注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																										
		※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300		※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100	※40	・																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																																																																																										
		充填材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																																																																																																																																																													
			ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																																																																																												
充填材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																																																																																																																																																															
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																																																															
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																
・ タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。																																																																																																																																																																																																																																																															
2 欠損部改修工法 (鉄筋爆製補修含む)</																																																																																																																																																																																																																																																																

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
5 建具 改修 工事	17 オーバーヘッド ドア	[5. 12. 2～5][表5. 12. 1～2] セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ 開閉方式 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304) 耐風圧性能()N/m ² JIS A 4715	16 合成樹脂塗床	[6. 10. 2～3][表6. 10. 1～8] 種 類 仕上の種類 ・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂系塗床材 ・薄膜流しのペ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのペ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑) ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆	24 モルタル塗り	吸水性調整材 [6. 15. 3] 全固形分(%) 吸水量(g) 接着強度(N/?) 界面破壊率(%) 表示値±1.0%以内 30分間で1g以下 1.0以上 50以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 防水剤(防水モルタル塗りの混入時) 防水剤の種類 建築用モルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水性 セメント質量の5% JIS R 5201の試験において 70%以上 95%以上 80%以上 以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内 膨張性のひび割れ及びそりがないこと。 既製目地材 ※適用しない・適用する	36 表示	衝突防止表示 ・図示(市販品・ステンレス製 径約30mm・) (・両面・片面) ・無し 表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所。
	18 かざ箱	市販品 形式・30組用・60組用・120組用・	17 フローリング張り	[6. 11. 2～7][表6. 11. 1～6] 種 別 材 種 工 法 仕上塗装等 備考 ・天然木化粧複合フローリング ※なら ※直張り工法(C種) ※塗装品 ・大型積層フローリング ・ガバ ・特殊張り(体育館床) ※無塗装品 ・単層フローリング ・ブナ ・特殊張り(体育館床) ※無塗装品 ・ガバ ・モルタル埋め込み ・塗装品 ・フローリングブロック ・ブナ ・直張り ※塗装品 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	25 タイル張り	タイルの種類 [6. 16. 3] 施工箇所 形状寸法 き うわぐすり 役物 色 再生材の適用 備考	37 ブラインド	・既存再使用する(養生方法:) [2. 3. 1][5. 1. 6] ・新設する (20. 2. 12) 形 式 種 類 スラットの材質 スラットの幅(mm) ※ギヤ式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25 ・縦形 ・1本操作コード ・アルミスラット ・80 ※2本操作コード ・クロススラット ・100
⑥ 内装 改修 工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6. 1. 3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま。 ・図示の範囲	18 畳敷き	[6. 12. 2～3][表6. 12. 1] 下地の種類 畳の種類 改修構仕 表6. 5. 10による床組 ※B種・ ポリスチレンフォーム床下地 ※C種・		38 ロールスクリーン	防炎性能 ※有り 製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20. 2. 13) 施工箇所 装 置 性 能 電動 手引 防炎性能 備考	
	2 既存床の撤去並びに 下地補修	ビニル床シート等の除去 ・仕上材の目(接着剤とも) ・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て) [6. 2. 2] カラードフロアの撤去 ・機械的除去工法 ・目視し工法 改修後の床の清掃箇所の案内・	19 ポリスチレン フォーム床下地材	畳下地 厚さ(mm) ※40・65・80 フローリング類 厚さ(mm) ※80・95		39 カーテン (暗幕、縦横等)	・既存再使用する(養生方法:取外し再取付) [2. 3. 1][5. 1. 6] ・新設する (20. 2. 14) 施工箇所 形 式 装 置 ひだの種類 性 能 備考 片引 引分 電動 ひも引 手引 片ひだ 遮光 防炎仕様	
	③ 既存壁の撤去並びに 下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2][4. 4. 9] ○図示 ・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う・行わない)	20 カーベット敷き	・織じゅうたん [6. 9. 2～3][表6. 9. 1～2] 種 別 パイル系の種類 帯電性 色柄等 備考 ・A種 ・羊毛系 人体帯電圧 ※3kV以下 ・B種 ・紡毛系 ・C種 ・紡毛系 帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3kV以下	26 セルフレベリング 材塗り	セルフレベリング材の種類 [6. 17. 2][表6. 17. 1] 種類 フロー値 凝結時間 圧縮強度 下地接着強度 表面接着強度 長さ変化 衝撃 備考 割れ及び 割れがれ せっこう系 19以上 45以上 20以上 15以上 0.5以上 0.4以上 セメント系 20以上 0.7以上 0.5以上 0.12以下 ないこと 試験方法:日本建築学会品質標準JASS 15 H-103Cによる。	40 カーテンレール	・既存再使用する [5. 1. 6] ・新設する (20. 2. 14) 材 種 JIS A 4802・アルミニウム製 ※ステンレス製 形 式・片引き・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)
5 集材等 ④ (顔縁等)	[6. 5. 2] 品 名 規格・品質 芯材の種類 化粧単板の樹種 ※集材材 ※一般材 ・米褐・なら・しおじ ・構造用集材材 ・1種 ※2種・3種・ ・造作用集材材 ※1等・2等 ・タモ ・化粧ばり造作用集材材 ※1等・2等 ・ ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・		・タフテッドカーベット(JIS L 4405) [6. 9. 2～3][表6. 9. 1～2] パイル形状 パイル長(mm) 工 法 備考 ・カットパイル ※5～7・ ※全面接着工法 ・レベラーアップパイル ※4～6・ ・グリッパー工法 ・カット、ループ併用 ※4・ 帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3kV以下	27 断熱材	[19. 9. 2～3] 種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 ・押出法 ※2種b ※一般部 ※25 特定フロンを使用しないもの ポリスチレン ※3種b ・接部分 ※25 フォーム ・現場発泡断熱材 ※断熱材補修部分 ―― ※25 特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級・2級	41 カーテンボックス 及びブラインド ボックス	※既存再使用する。 [5. 1. 6] ・新設する。 (20. 2. 14) ・市販品(アルミニウム製) 溝幅×深さ(mm)・90×150・※20×150・150×80・ 色 彩 ※B-1・B-2(ブラウン・ブラック・ステンレスカラー) ※図示	
6 接着剤	[6. 5. 3] ※F☆☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤		・タイルカーベット [6. 9. 2～3][表6. 9. 1～2] パイル形状 種 類 規 格 総厚さ(mm) 備 考 ※ループパイル ※第一種 ※500×500 ※6. 5 ・カットパイル ・第二種 ・ ・カットパイル ・カット、ループ併用 帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)	28 浴室天井材	市販品 材 質 表面仕上げ 性能 幅(mm) ※アルミニウム製 ※焼付け塗装品 ・準不燃品 ※200 廻縁は焼付きとし ・アルマイト処理品 ・100 製造所の標準品 ・塗装品 ※300 とする。 ・硬質塩化ビニル ・木目調 ・100	42 天井点検口	材 質・アルミニウム製(・顔縁タイプ・目地タイプ)・既存取外し、再取付	
7 防霉、防蟻処理	[6. 5. 5] 行う箇所() 防霉処理 ※行う(※図示) 防蟻処理 ※行う(※図示) 防霉、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存剤(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。		[6. 13. 2][表6. 13. 1] 種 類 厚さ(mm) 規格 ・硬質毛毛セメント板 ④ ・15・20・25・ ・普通毛毛セメント板 ④ ・15・20・25・ ・ケイ酸カルシウム板 ・4・5・6・8・9・10・12 ・ロックウール化粧吸音板 ※フラットタイプ (※9(不燃)・12・) ・凸凹タイプ (※12(不燃)・15・19・)	29 フリーアクセス フロア	[20. 2. 2] 施工箇所 構 法 仕上り高 (mm) 通用地震時 水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材 備考 ・パネル構法 ・1.0 G ・3,000 G ・パネル構法 ・1.0 G ・3,			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																							
⑦ 塗装改修工事	① 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7. 1. 2～3] 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7. 1. 8] 監督職員と協議する。	9 環境配慮（グリーン）改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9. 1. 3] ・ 封じ込め処理 ・ 囲い込み処理除去工法 ・ 除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示 分析によるアスベスト (ｱｸｼﾄﾗｲﾄ、ﾌｴﾅｲﾄ、ﾌｧﾝﾌﾗｲﾄ、ｸﾘｯｸﾀｲﾙ、ｸﾚﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾓﾀｲﾄ) 含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・ U3-2 [9. 4. 2]																																								
	② 下地調整	[7. 2. 2～7] [表7. 2. 1～7] <table><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整の種類</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td>新規面はRA種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>モルタル、プラスター面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート、ALC及び押出成形セメント板面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>セメント板面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>せつこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr></table> 既存下地面等のひび割れ部補修 ※行う ・ 行わない ※錆止め JIS K 5674		下地面の種類	下地調整の種類		備考	木部	・ RA種 ※RB種	新規面はRA種	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種		亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※RB種		モルタル、プラスター面	・ RA種 ※RB種		コンクリート、ALC及び押出成形セメント板面	・ RA種 ※RB種		セメント板面	・ RA種 ※RB種		せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種		2 アスベスト含有吹付材除去工事	2 アスベスト含有吹付材除去工事	8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9. 6. 2]															
	下地面の種類	下地調整の種類		備考																																											
	木部	・ RA種 ※RB種		新規面はRA種																																											
	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種																																													
	亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※RB種																																													
	モルタル、プラスター面	・ RA種 ※RB種																																													
	コンクリート、ALC及び押出成形セメント板面	・ RA種 ※RB種																																													
	セメント板面	・ RA種 ※RB種																																													
	せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種																																													
3 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	[7. 4. 3] [表7. 4. 1] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516 穴埋め及びパテかき JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td></td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516 穴埋め及びパテかき JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516	鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種			9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 [9. 7. 3] [表9. 7. 3] ※再生クラッシュラン (RC-40) ・ クラッシュラン (C-40) 又はクラッシュランスラグ (CS-40) 透水性の高いものを使用する。 道断層及び凍上抑制層の材料 [9. 7. 3] ・ 道断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン 切込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9. 7. 3] [表9. 7. 1] ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 路床安定処理 [9. 7. 3] [表9. 7. 2] ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰() ・ 消石灰() 添加量 kg/㎡ (目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う アスファルト混合物 [9. 7. 6] [表9. 7. 5] 車道部 ※改質アスファルトⅠ型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9. 7. 9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う	10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 図示 (22. 5. 2) (表22. 5. 1) <table><tr><th>部 位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>所定のスランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>24</td><td>8</td><td>砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>18</td><td>8</td><td>砂利の場合25 砕石の場合20</td></tr></table> ・ 図示 砂利敷き (22. 9. 2) (表22. 9. 1) 種別 ・ A種 ・ B種 植樹 ・ 図示 (22. 3. 2) <table><tr><th>樹 種</th><th>寸 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25	歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20	樹 種	寸 法	数 量	備 考												
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																												
木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516 穴埋め及びパテかき JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516																																												
鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種																																													
部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																												
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25																																												
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20																																												
樹 種	寸 法	数 量	備 考																																												
4 鉄鋼面耐候性塗料塗り (DP)	[7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>鉄面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5658</td></tr></table> 下塗り JASS 18 M-109	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考	鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	亜鉛めっき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658		2 植栽工事																												
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考																																												
鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																												
亜鉛めっき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																												
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658																																												
⑤ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	[7. 9. 2] [表7. 9. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660		3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ (核スタッド工法 65形#300) とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 ―内部測定点内訳― ＜1階： 点、2階： 点、3階： 点＞ 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。																																											
6 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	[7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663		4 アスベスト成形板の処理工事	処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・ 仕上表による [9. 1. 5] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ (mm)</th><th>処理を行う範囲</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。	材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																								
材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																													
7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	[7. 11. 2] [表7. 11. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの場合 <table><tr><th>既存塗膜</th><th>下地調整</th><th>種別</th></tr><tr><td>合成樹脂エマルション模様塗り</td><td>※RB種</td><td>※A種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>※C-3種</td></tr><tr><td>平滑な塗料塗り</td><td>※RB種</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>・ C-1種 ・ C-2種</td></tr></table> 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種		・ RC種	※C-3種	平滑な塗料塗り	※RB種	・ A種 ・ B種		・ RC種	・ C-1種 ・ C-2種		5 アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・ 部分除去 ・ 全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾏｲｽｸﾗﾞｰ工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。																												
既存塗膜	下地調整	種別																																													
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種																																													
	・ RC種	※C-3種																																													
平滑な塗料塗り	※RB種	・ A種 ・ B種																																													
	・ RC種	・ C-1種 ・ C-2種																																													
8 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	[7. 12. 2] [表7. 12. 1] ・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502		6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム</td><td>・ フェノールフォーム</td></tr><tr><td>・ ロックウール</td><td>・ グラスウール</td></tr></table> 外装材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th></th><th>防火性能</th></tr><tr><td>既存外壁仕上材の撤去</td><td>・ 有り ・ 無し</td></tr></table> [9. 3. 3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・ 有り (mm) ・ なし [9. 3. 4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。	材料名	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム	・ ロックウール	・ グラスウール		防火性能	既存外壁仕上材の撤去	・ 有り ・ 無し																															
材料名	厚さ (mm)																																														
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム																																														
・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム																																														
・ ロックウール	・ グラスウール																																														
	防火性能																																														
既存外壁仕上材の撤去	・ 有り ・ 無し																																														
9 オイルステイン塗り (OS)	[7. 13. 2] [表7. 13. 1] ワトコオイル製品同等品とする。																																														
10 木材保護塗料塗り (WP)	[7. 14. 2] [表7. 14. 1] ・ A種 ※B種 JASS 18 M-307																																														
11 ポリウレタン樹脂塗装 (Z-UC)	フローリングブロック面の塗り種別 ・ A種 ※B種																																														
8 耐震改修工事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。																																													

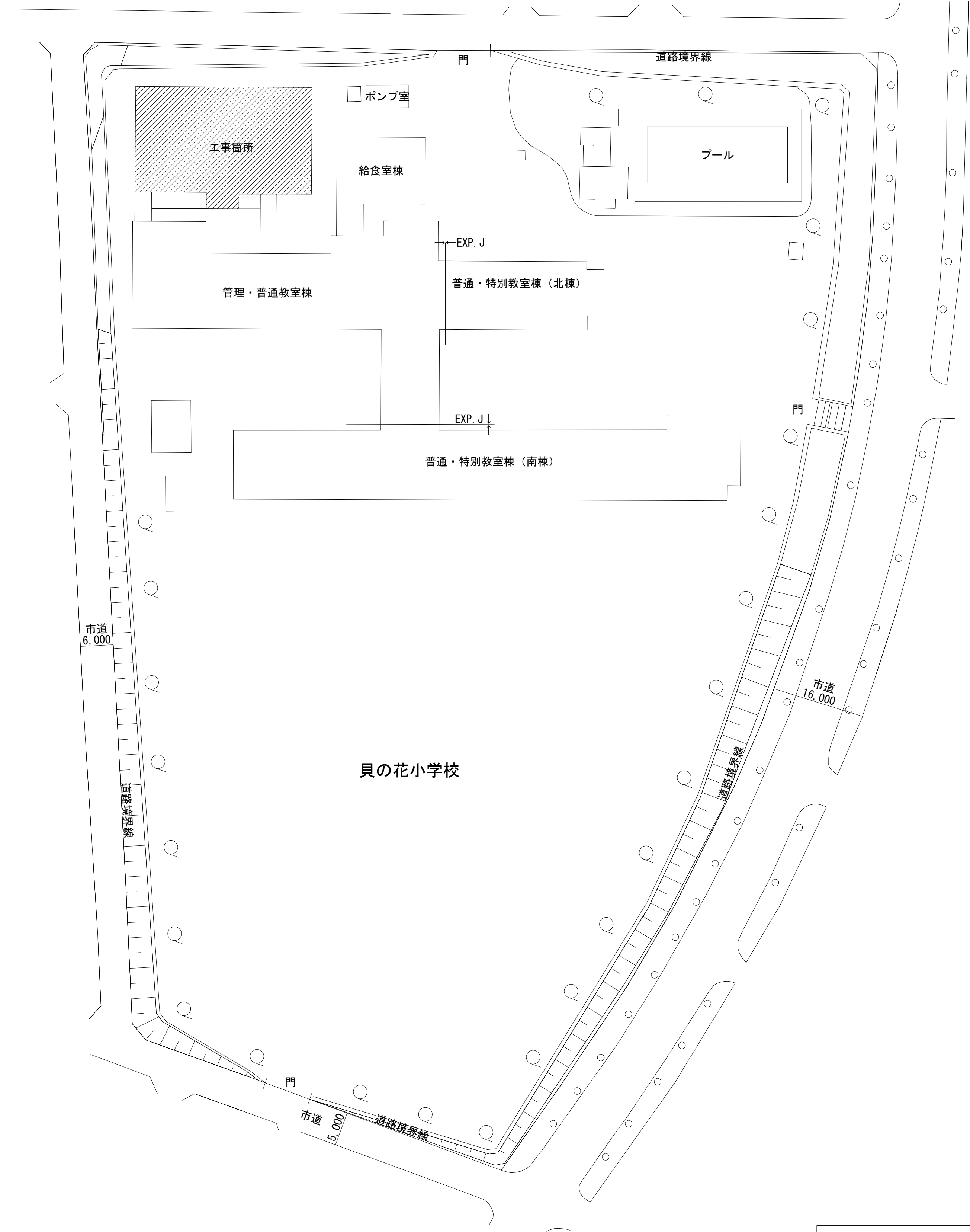
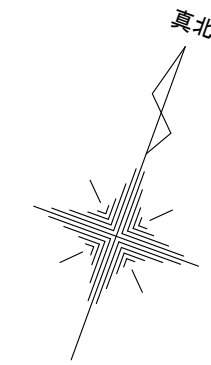
工事名	松戸市立員の花小学校体育館空調設備設置建築工事
図面名	特記仕様書（４）
作成年月日	令和7年2月1日 変更年月日
縮 尺	No Scale 図面番号 A-04
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
	松戸市 街づくり部 建築保全課



工事場所：松戸市立貝の花小学校
地名地番：松戸市小金原八丁目10番地

案内図 1/2500

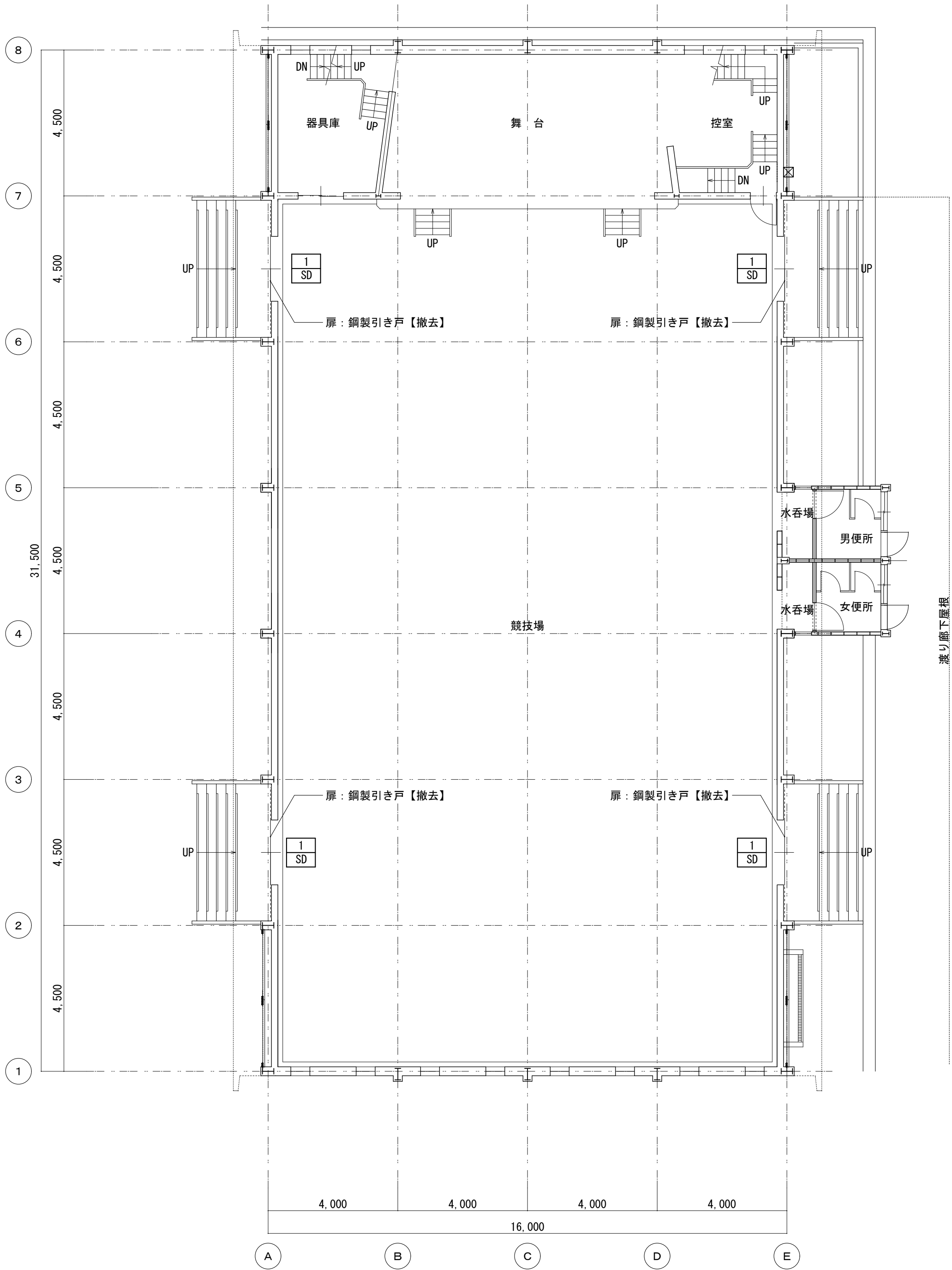
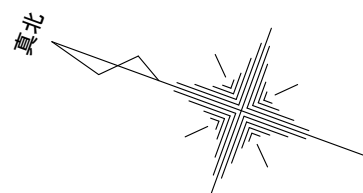
工事場所を示す



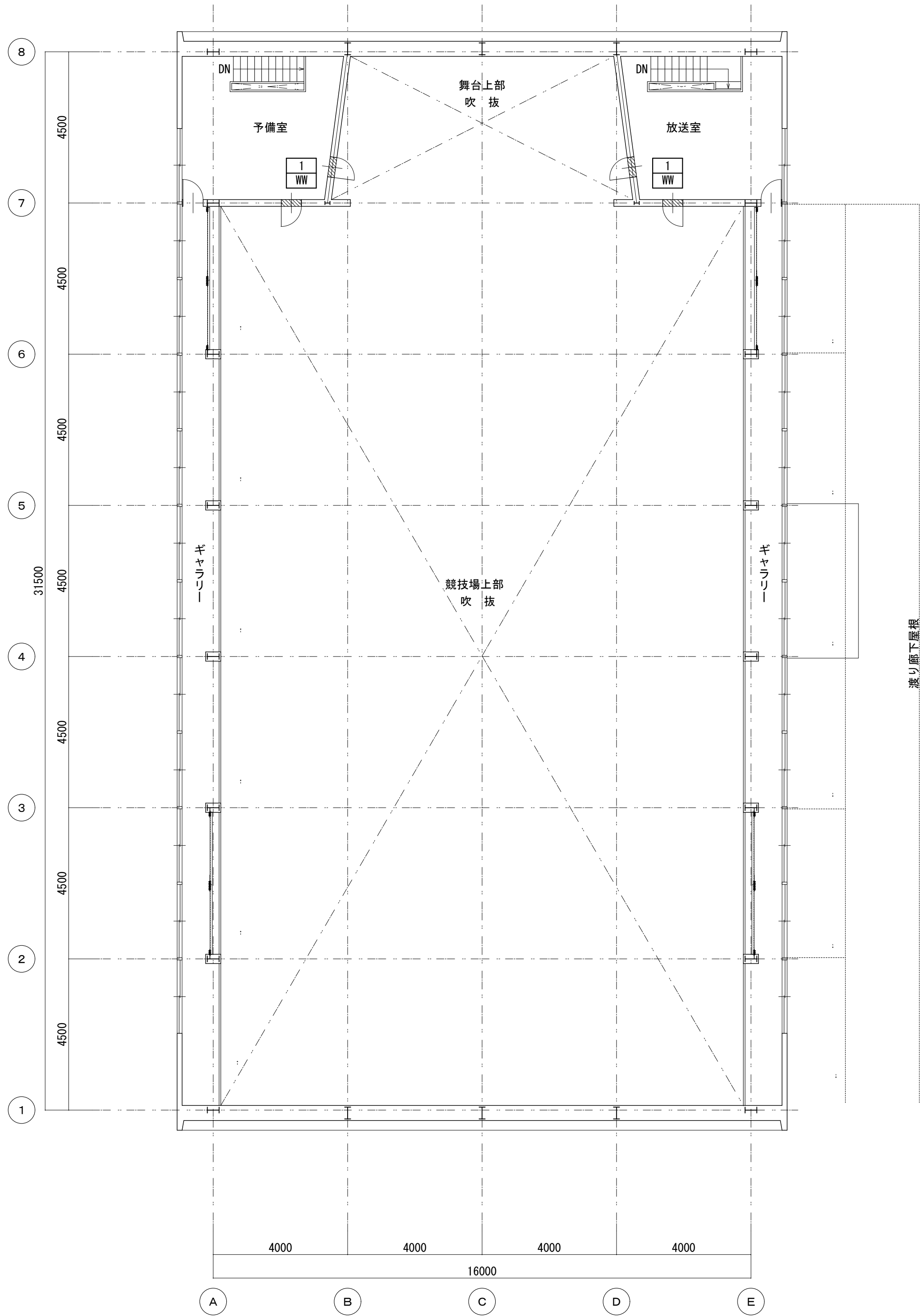
配置図 1/500

工事箇所を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500, 2500 A3:1/1000, 5000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1 階平面図 1/100

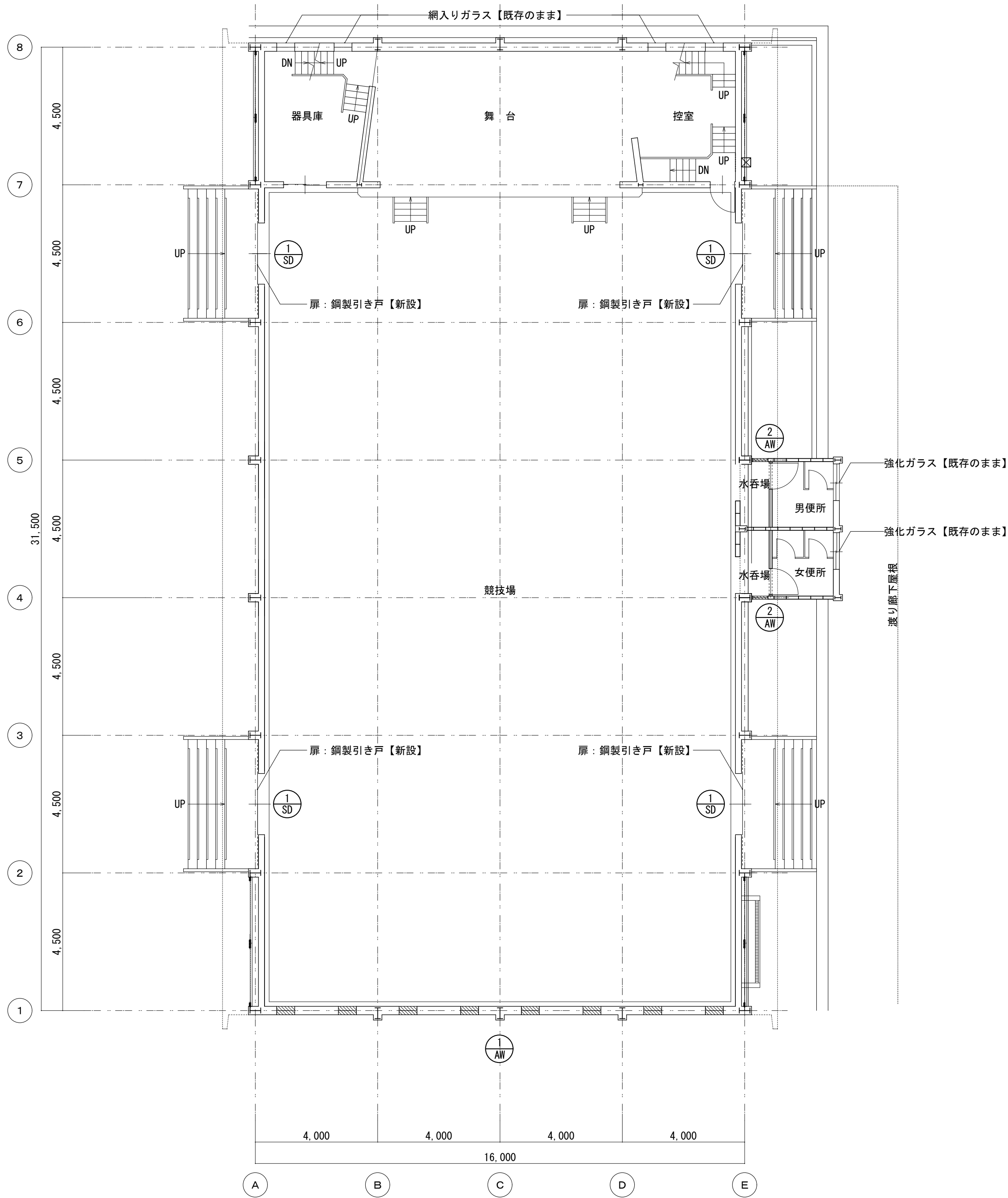
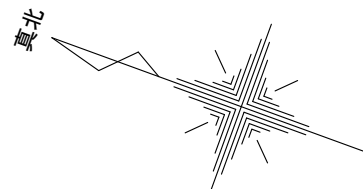


2 階平面図 1/100

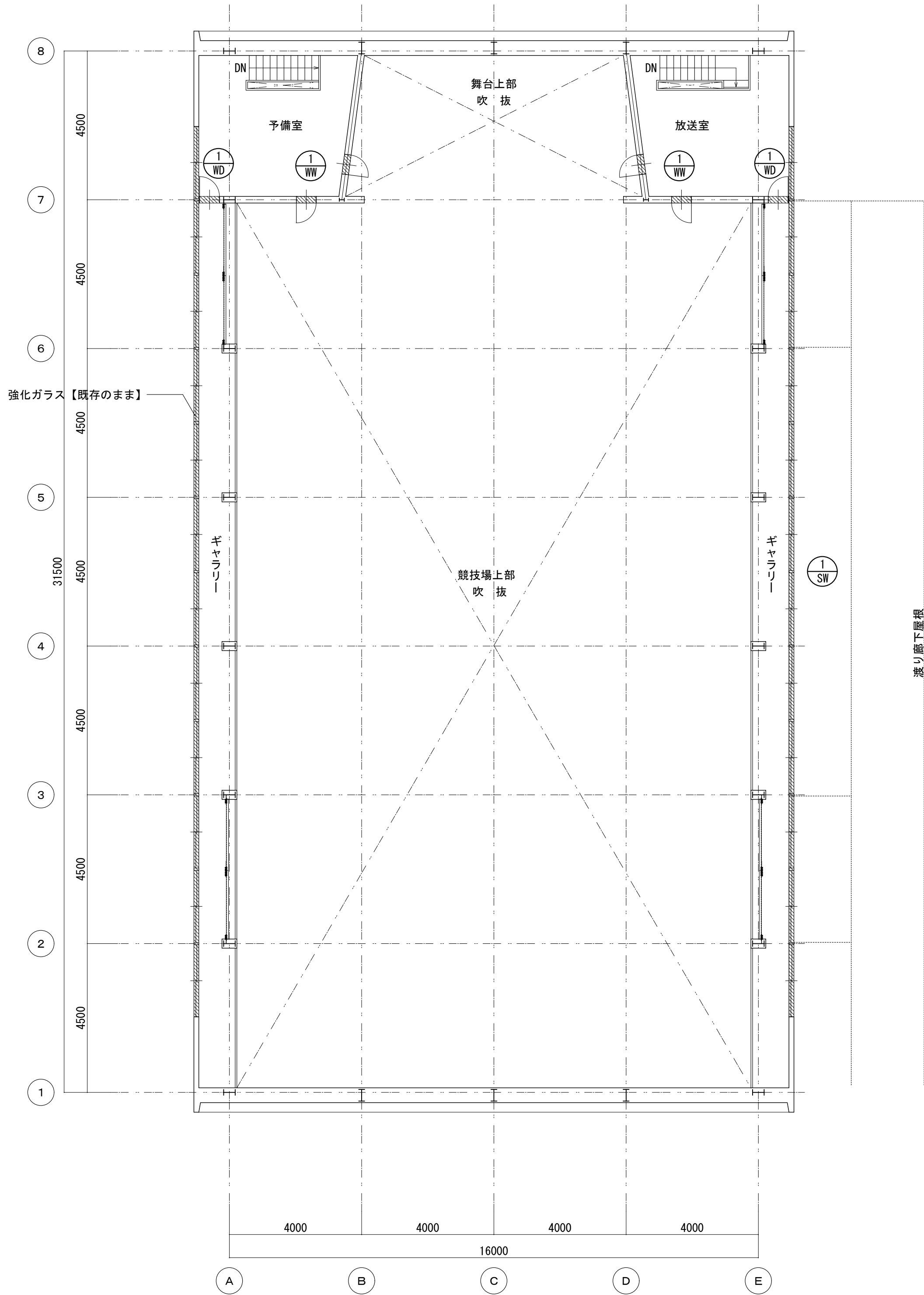
建具名	フィルム撤去面積	計1.44㎡
1 WW	0.6m×0.6m×4枚=1.44㎡	

 フィルム撤去範囲を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修前〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1 階平面図 1/100



2 階平面図 1/100

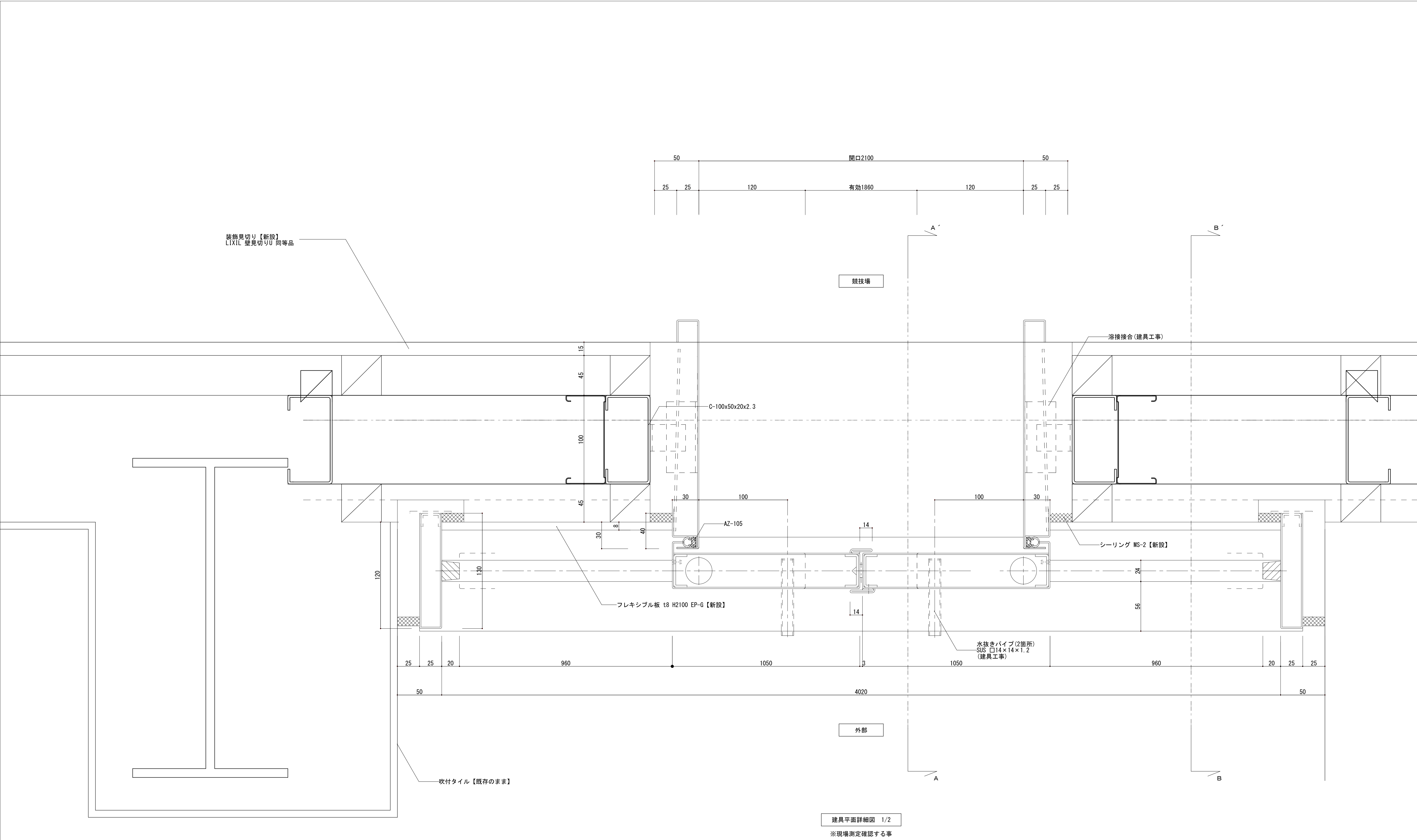
建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計2.16㎡
① WW	0.6m×0.6m×4枚=	1.44㎡	
① WD	0.6m×0.6m×2枚=	0.72㎡	

建具名	遮熱フィルム新設面積	外貼	計50.39㎡
① AW	0.6m×0.795m×8枚=	3.81㎡	
② AW	0.5m×0.795m×2枚=	0.795㎡	
① SW	1.75m×2.18m×12枚=	45.78㎡	

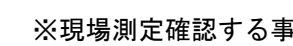
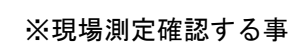
フィルム新設範囲を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修後〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・数量		1SD × 4箇所【撤去】		1SD × 4箇所【新設】																									
姿図・寸法																													
使用場所	競技場入口			競技場入口																									
形式・名称	2枚引き違い戸			2枚引き分けハンガー戸																									
材質・仕上	特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm			特殊垂鉛メッキ鋼板																									
ガラス	-			-																									
付属金物	2段皿板			ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番																									
備考																													
平面図																													
	【改修前】平面図 1/20 凡例 カッター入れ 建具撤去範囲を示す 壁撤去範囲を示す			【改修後】平面図 1/20																									
				<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">【改修】建具表（2）</td></tr><tr><td>作成年月日</td><td>令和7年2月1日</td><td>変更年月日</td><td></td></tr><tr><td>縮尺</td><td>A1:1/20 A3:1/40</td><td>図面番号</td><td>A-09</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="3">株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号</td></tr><tr><td colspan="4">松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>		工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事			図面名	【改修】建具表（2）			作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日		縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09	設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号			松戸市 街づくり部 建築保全課			
工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事																												
図面名	【改修】建具表（2）																												
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日																											
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09																										
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号																												
松戸市 街づくり部 建築保全課																													



工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2306-2686 号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第 272498 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工事名	松戸市立員の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 2 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1 - 2 3 0 6 - 2 6 8 6 号 山岡 治 一級建築士大匠登録第 2 7 2 4 9 8 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

仮設凡例

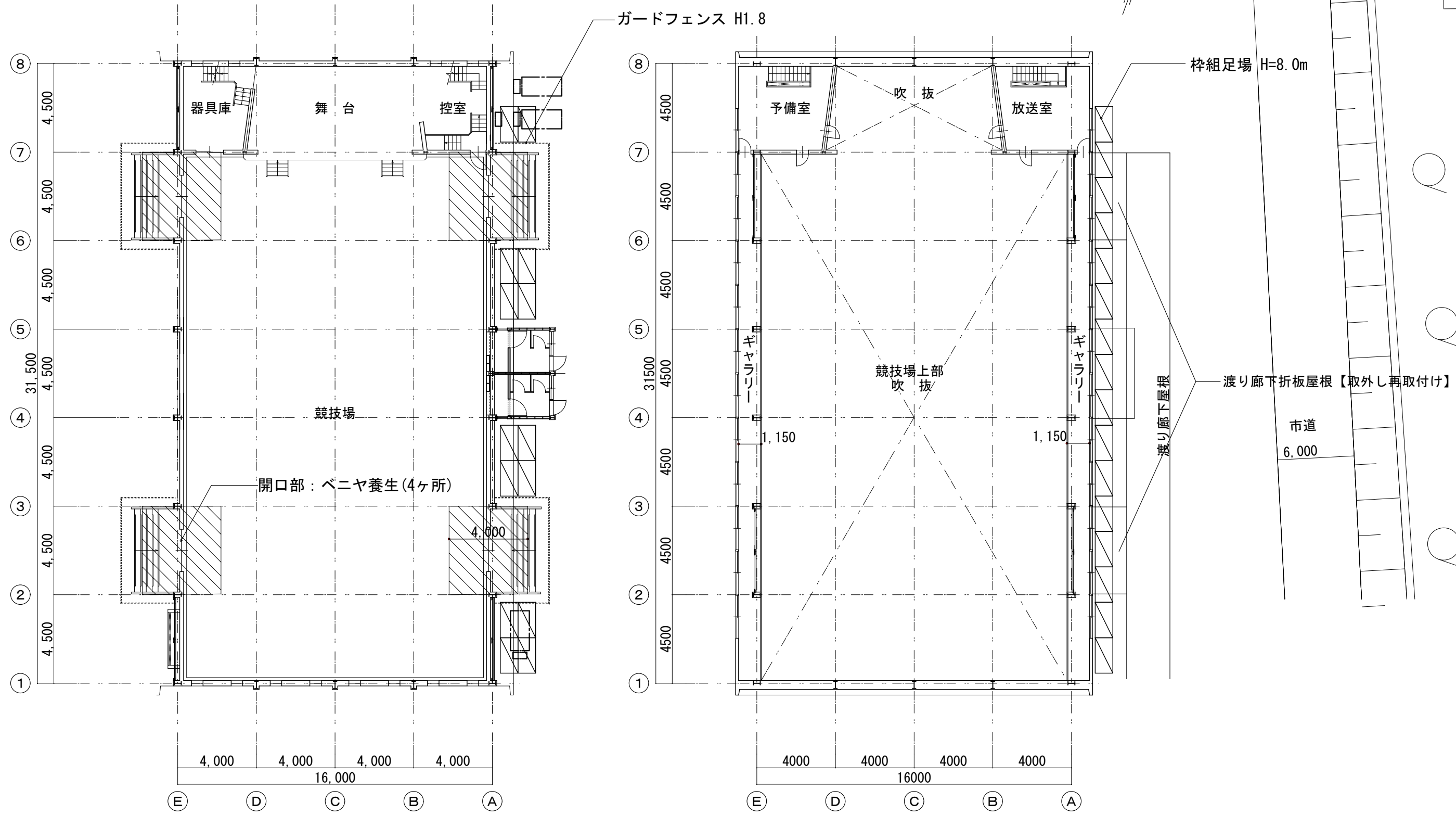
- 敷鉄板 t=22 1.5m×6.0
- 枠組足場：ネット養生シート(防災2類)、金網敷養生柵 W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート(防災1類) W=914
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 44m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離
- 工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0 (2箇所)
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す (学) 生徒・学校関係者を示す
- (教) 教員車両を示す
- (般) 一般車両を示す (工) 工事車両を示す

＜全体仮設計画＞

- 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・パー）を設置する
- 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
- 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
- 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
- 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

- 本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- 仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



内部仮設計計画図 1/200

ビニルシート養生を示す

全体仮設計計画図 1/300

工事箇所を示す

工事名	松戸市立貝の花小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計面図(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・学校リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立金ヶ作小学校 体育館空調設備設置建築工事		工事設計図		令和6年1月31日		
仕 様 書		I 工事概要		1. 工事場所 松戸市金ヶ作3 1 7番地		
		2. 敷地面積		17,485 m ²		
		3. 改修建物概要		用 途：小学校(体育館) 構 造：S造 階 数：地上2階 建築面積： 延べ面積：638㎡ 最高高さ：9.30m(軒高さ：7.50m)		
		4. 工事内容				
		工事種目	工事範囲			
		2 仮設工事	仮囲い・資材置場			
		3 防水改修工事	シーリング充填			
		4 外壁改修工事	-			
		5 建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)、フィルム新設			
		6 内装改修工事	-			
		7 塗装改修工事	-			
		8 耐震改修工事	-			
		9 環境配慮改修工事	-			
		10 その他				
II 建築工事仕様		1. 共通仕様		(1) 図面及び特記仕様に記載されいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標仕」という。)&及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という)による。		
		2. 特記仕様		(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と※印の付いた場合は共に適用する。 (3)特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5)㊦印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。		
松戸市建築工事現場表示板仕様		ライン(白) 工事名称 発注者 松戸市 設計 監理 施工 建築 電気 機械 緊急連絡先 文字(白) 下地(青) ライン(白) 1800 900		(1)材料 1)耐水合板(ラウン厚み12mm S0P仕上げ) 2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。 (2)注意事項 1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。		
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
① 一般共通事項	① 運用基準等	○ 松戸市建築工事に関する提出書類 ○ 工事写真の撮り方 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 松戸市建築工事現場表示板仕様		13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 撮影部数 原版の大きさ(mm) ・カラー ※キャビネ版 ・べた焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) ※カラー半切木製パネル 324×400(mm) 外部() 内部() ※1 ・6 ・電子データ 外部() 内部() ※2 ※100×125以上 ※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめ焼を提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員が承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)	
	② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する			設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 ※図示 ・設計GL＝現状GL ※着工前、完成及び立会写真2部 工事工程写真1部	
	③ 施工計画書	○ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 ○ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ○ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○ 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。			ワンデーレスポンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。 ※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。	
	4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。			② 設備工事との取合い ⑬ 設計GL ⑭ 工事写真 ⑮ ワンデーレスポンスの実施	
	⑤ 施工条件	※ 現場説明書による			⑯ 火災保険等	
	⑥ 発生材の処理等	※ 現場説明書による ○場外搬出適正処理				
	⑦ 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。				
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブテル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品				
⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。					
⑩ 技能士	適用工事種別 技能検定の職種 鉄筋工事 ・鉄筋施工(鉄筋組立作業) コンクリート工事 ・型枠施工 ・コンクリート圧送 鉄骨工事 ・とび ブロック・ALCパネル工事 ・ブロック建築 ・ALCパネル施工 防水工事 ・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・ウレタン系塗装防水工事作業 ・シーリング 防水工事作業 石工事 ・石材施工(石張り施工) タイル工事 ・タイル張り 木工事 ○建築大工 屋根及びとい工事 ・建築板金(内外装板金作業) 金属工事 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) 左官工事 ・左官 建具工事 ○サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 カーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工 塗装工事 ○塗装(建築塗装作業) 内装工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業) 植栽工事 ・造園					
11 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う 測定対象室 ・体育館 測定箇所数 ・1箇所 着工後の測定 ・行う 測定対象室 ・体育館 測定箇所数 ・1箇所 ※作成する ・作成しない [1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図 提出部数 ※現場製本図 3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒 金文字製本図 1部 ・施工図 提出部数 ※ 部					
⑫ 完成図等	※作成する ・作成しない [1.8.1～3][表1.8.1] ※完成図 提出部数 ※現場製本図 3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒 金文字製本図 1部 ・施工図 提出部数 ※ 部					
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
3 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	
	・POS工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行	
	・S4S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行	
	・S3S工法					
	・M4S工法		・S-M1 ・S-M2			
	・POS1工法		・S1-F1 ・S1-M1			
	・S3S1工法		・S1-F2 ・S1-M2			
	・S4S1工法		・S1-M3			
・M4S1工法						
脱気装置	※設けない	・設ける			[3.5.3]	
目地処理	PCコンクリート				[3.5.4]	
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
4 塗膜防水	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	
	・POX工法	屋根		・X-1(絶縁工法)		
	・L4X工法	屋根		・X-2(密着工法)		
	既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)		・活膜を残す		[3.2.6]	
	脱気装置	※設けない	・設ける		[3.6.3]	
	章 項 目		特 記 事 項		章 項 目	
	5 脱気装置	種 類	材 質	設置数量		
		・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂	・約50㎡当たり1箇所		
・立上り部脱気型		・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	・()㎡当たり1箇所			
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
⑥ シーリング		シーリング改修工法の種類				[3.1.4] [表3.1.2]
		○シーリング充填	・シーリング再充填工法	・シーリング打替え		
		・拡幅シーリング再充填工法	・ブリッジ工法			
		シーリング材の種類、施工箇所				[3.7.2] [表3.7.1]
	※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする					
	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)				
	・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)				
	○建具廻り、金属取合い	○変成シリコン系(MS-2)(仕上げなし)				
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)					
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
7 とい	との材種				[3.8.2] [表3.8.1]	
	・配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) ㊦				[3.8.2] [表3.8.3]	
	銅管製との防露					
	・次の箇所は行わない()					
	防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・					
	掃 除 口 ※有り ・無し ・				[3.8.3]	
	たてどい受金物の取付け					
	・ 図示					
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
8 アルミニウム製笠木	種 類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考	
	・250形	※1.6以上	・240 ・250	固定方法及び間隔は品質計画で定めるもの	隅角部及び突当り部等に	
	・300形	※1.8以上	※300		隅は本体製造所の仕様に	
	・350形	※2.0以上	※350		よる。	
	板材折曲げ形の取付工法	・図示			[3.9.3] (13.3.2～3)	
	形 式	※重ね形	・はせ絡め形 ・			
	形状(mm)	山高() 山ピッチ() 板厚 ・0.6 ※0.8				
	材 料	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (規格等) (GLCCR-20-AZ150)				
軒先面戸板	※有り ・無し					
断 熱 材	・有り(種別) 厚さ： (mm) ※無し					
耐火性能	・30分耐火 ※無し					
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
9 折板葺	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類			
	保 護	※PIB	・B-1 ※B-2			
	護 膜	・PIB1 ・T1B1	・B1-1 ※B1-2			
	防 水	・P2A1	・A1-1 ※A1-2			
	水 露出	※P2A	・A-1 ※A-2			
	露出	・MAC	・C-1 ※C-2			
	防水	・M3D ・POD	・D-1 ※D-2			
	屋内防水	・PIE ・P2E	・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)			
アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2][表3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ・普通コンクリート(18N/? S=18mm) [3.3.2][表3.3.2] (溶接金網 径6mm 100mm×100mm敷設)						
P0D工法の二重ドレン	※設けない ・設ける			[3.2.5]		
M3D、POD工法の脱気装置	※設けない ・設ける			[3.3.3]		
既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)	・除去する			[3.2.6]		
断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・				[3.3.2]		
ただし、特定フロンを含まないもの。						
立上り部の保護				[3.3.2]		
・れんがの種類	※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。					
・乾式保護材の材料	※押出成形セメント板 厚さ15mm					
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
2 改質アスファルトシート防水	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)		
	・M4AS工法		・AS-1 ・AS-2 ・AS-3			
	・M3AS工法		・AS-4 ・AS-5 ・AS-6			
	・POAS工法					
	・M3ASI工法		・AS1-1 ・AS1-2			
	・MAASI工法					
	・POASI工法					
	脱気装置	※設けない	・設ける			
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
3 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	
	・POS工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行	
	・S4S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行	
	・S3S工法					
	・M4S工法		・S-M1 ・S-M2			
	・POS1工法		・S1-F1 ・S1-M1			
	・S3S1工法		・S1-F2 ・S1-M2			
	・S4S1工法		・S1-M3			
・M4S1工法						
脱気装置	※設けない	・設ける			[3.5.3]	
目地処理	PCコンクリート				[3.5.4]	
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
4 塗膜防水	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	
	・POX工法	屋根		・X-1(絶縁工法)		
	・L4X工法	屋根		・X-2(密着工法)		
	既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)		・活膜を残す		[3.2.6]	
	脱気装置	※設けない	・設ける		[3.6.3]	
	章 項 目		特 記 事 項		章 項 目	
	5 脱気装置	種 類	材 質	設置数量		
		・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂	・約50㎡当たり1箇所		
・立上り部脱気型		・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	・()㎡当たり1箇所			
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		
⑥ シーリング		シーリング改修工法の種類				[3.1.4] [表3.1.2]
		○シーリング充填	・シーリング再充填工法	・シーリング打替え		
		・拡幅シーリング再充填工法	・ブリッジ工法			
		シーリング材の種類、施工箇所				[3.7.2] [表3.7.1]
	※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする					
	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)				
	・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)				
	○建具廻り					

[illegible]

工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-02
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章

5

17

建具改修工事

項目

オーバーヘッドドア

特記事項

項目

18

かぎ箱

特記事項

項目

⑥

内装改修工事

項目

①改修範囲

特記事項

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲
ビニル床シート等の除去
・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て)
カラーフロアの撤去
・機械的除去工法
・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲
・改修箇所内

項目

③

既存壁の撤去並びに下地補修

特記事項

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
○図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強※行う・行わない)

項目

4

木下地等(AP-1、2)

特記事項

木材の品質 図示
※改修標準仕様書6.5.2による・市販品
代用樹種 ※改修標準仕様6.5.4による
・代用樹種を適用しない箇所()
保存処理木材を適用する箇所()

項目

5

集材材等⑥(縦線等)

特記事項

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧標準の樹種
※集材材	※一般材	・米桐・なら・しおじ	
・構造用集材材	・1種 ※2種・3種	・	
・造作用集材材	※1等・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集材材	※1等・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

6

接着剤

特記事項

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

項目

7

防霉、防蟻処理

特記事項

行う箇所()
防霉処理 ※行う(※図示)
防蟻処理 ・行う(※図示)
防霉、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

項目

8

床板張り

特記事項

フローリング及び縁板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10]
※無し
下張り用床板 ※合板 t12mm
・有リ
・パーティクルボード t15mm
床板 ※単層フローリング ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・
(共仕9.19.5.2による) ※F☆☆☆☆・
・縁甲板 ※ひきの

項目

⑨

軽量鉄骨天井下地(縦線等)

特記事項

野縁等の種類 屋外(※19形・25形 ※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート ・使用する(※使用しない)
あと施工アンカーの確認試験 ・行う ※行わない
・図示
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

項目

10

軽量鉄骨壁下地

特記事項

項目

11

ビニル床シート張り

特記事項

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC	※無地・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの	※納物・無地	・	
・防滑性ビニル床シート	・NF・NC	・納物・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法 ※熱溶接工法・突付け(施工箇所:)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

12

ビニル床タイル張り

特記事項

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	QT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	QTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

13

帯電防止床タイル張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2	・体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	・1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、 漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		・1.0×10 ¹⁰ Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

14

視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)

特記事項

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内 ※塩化ビニル製・磁器又は石器質タイル(※300・)
・レンジョコンクリート製
屋外 ※レンジョコンクリート製・磁器又は石器質タイル(※300・)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

15

ビニル幅木

特記事項

高さ(mm) ・60 ・75 ・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

16

合成樹脂塗床

特記事項

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのエ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのエ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆・

項目

17

フローリング張り

特記事項

種類	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・フナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・フナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

18

畳敷き

特記事項

下地の種類	畳の種類
改修標準仕様表6.5.10による床組	※B種・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種・

項目

19

ポリスチレンフォーム床下地材

特記事項

畳下地	厚さ(mm)	※40・65・80
フローリング類	厚さ(mm)	※80・95

項目

20

カーペット敷き

特記事項

・縦じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1~2]

種別	パイル系の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・羊毛系	人体帯電圧 ※3kV以下	※無地	
・B種	・紡毛系		・納物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3kV以下・

項目

21

石膏ボードその他のボード張り

特記事項

・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2~3][表6.9.1~2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5~7	※全面接着工法	
・レベールーフパイル	※4~6	・グリッパバー工法	
・カット、ループ併用	※4		

帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電圧値3kV以下・

項目

22

吸音材

特記事項

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25

項目

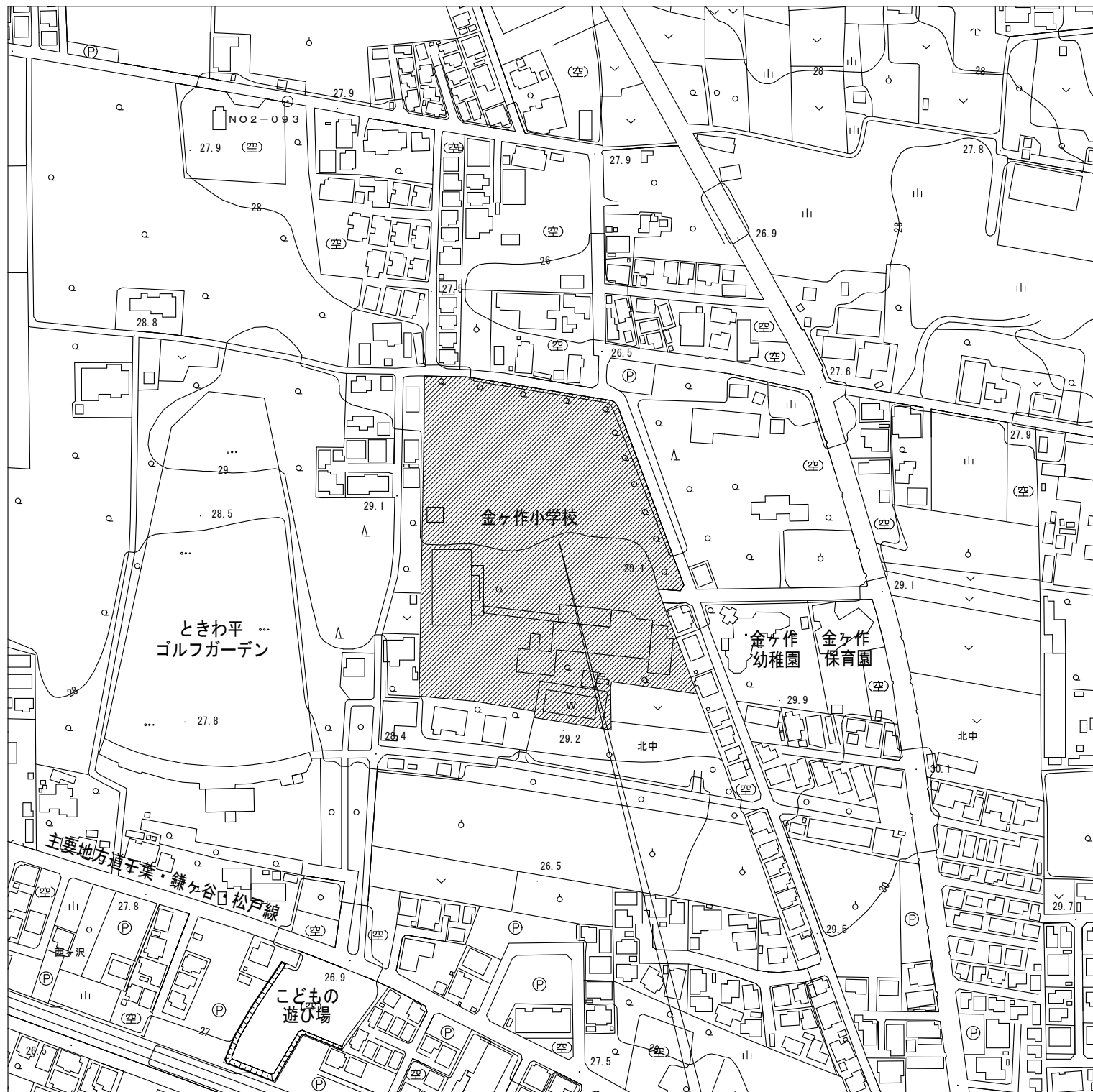
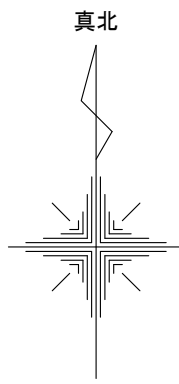
23

壁紙張り(提示用クロス)

特記事項

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25

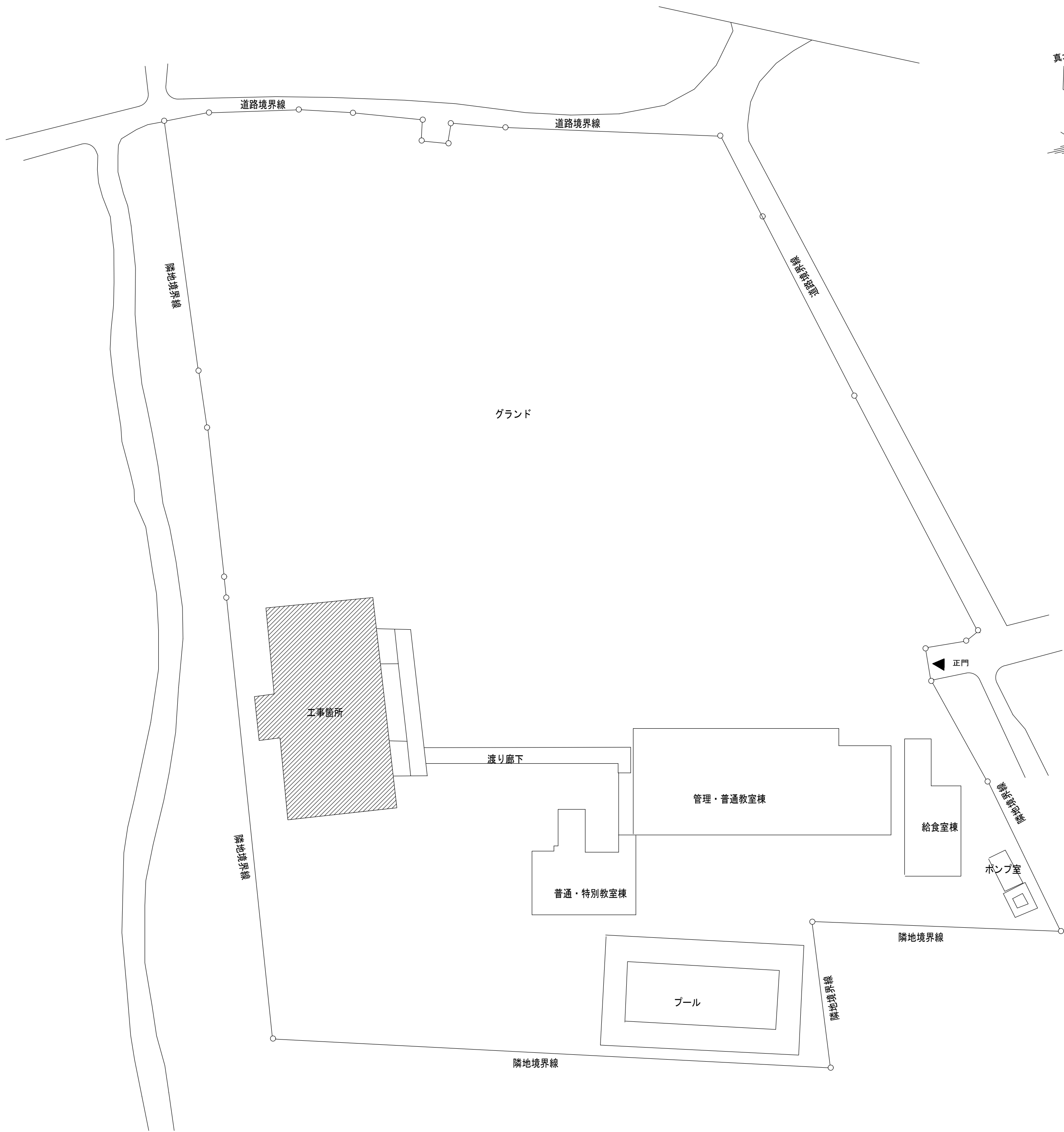
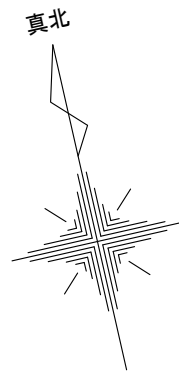
[illegible]



工事場所：松戸市立金ヶ作小学校
地名地番：松戸市金ヶ作317番地

案内図 1/2500

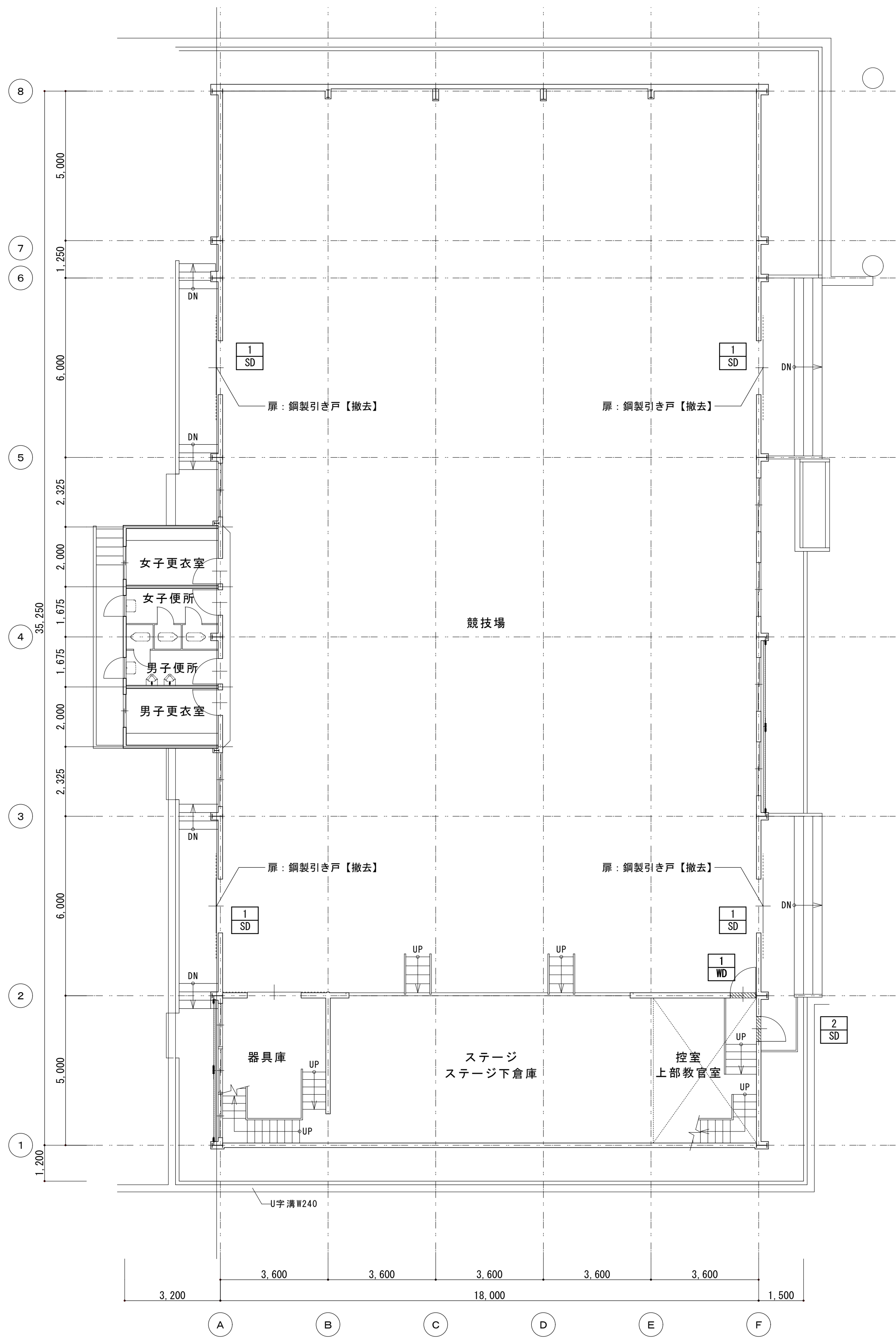
工事場所を示す



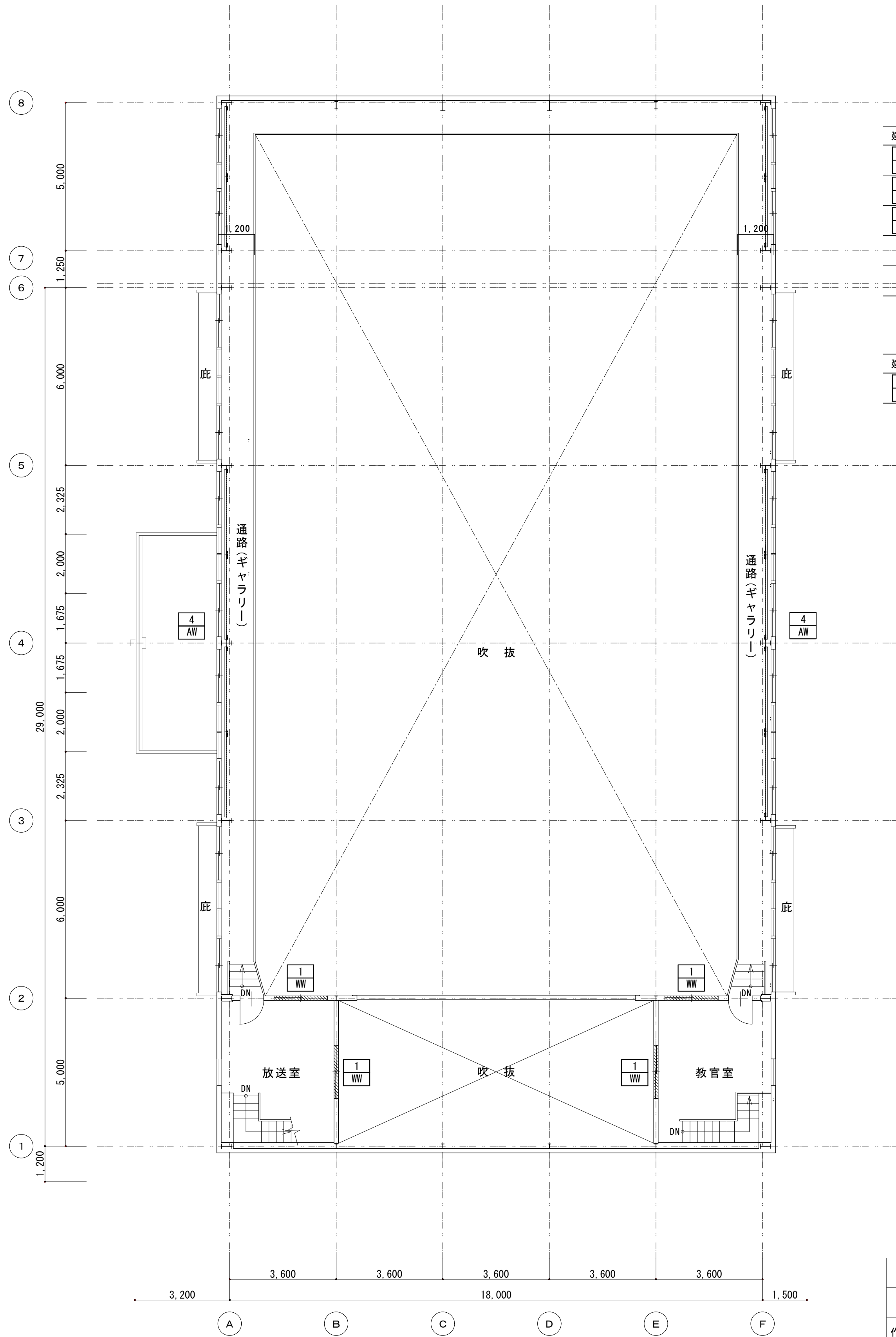
配置図 1/500

工事箇所を示す

工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

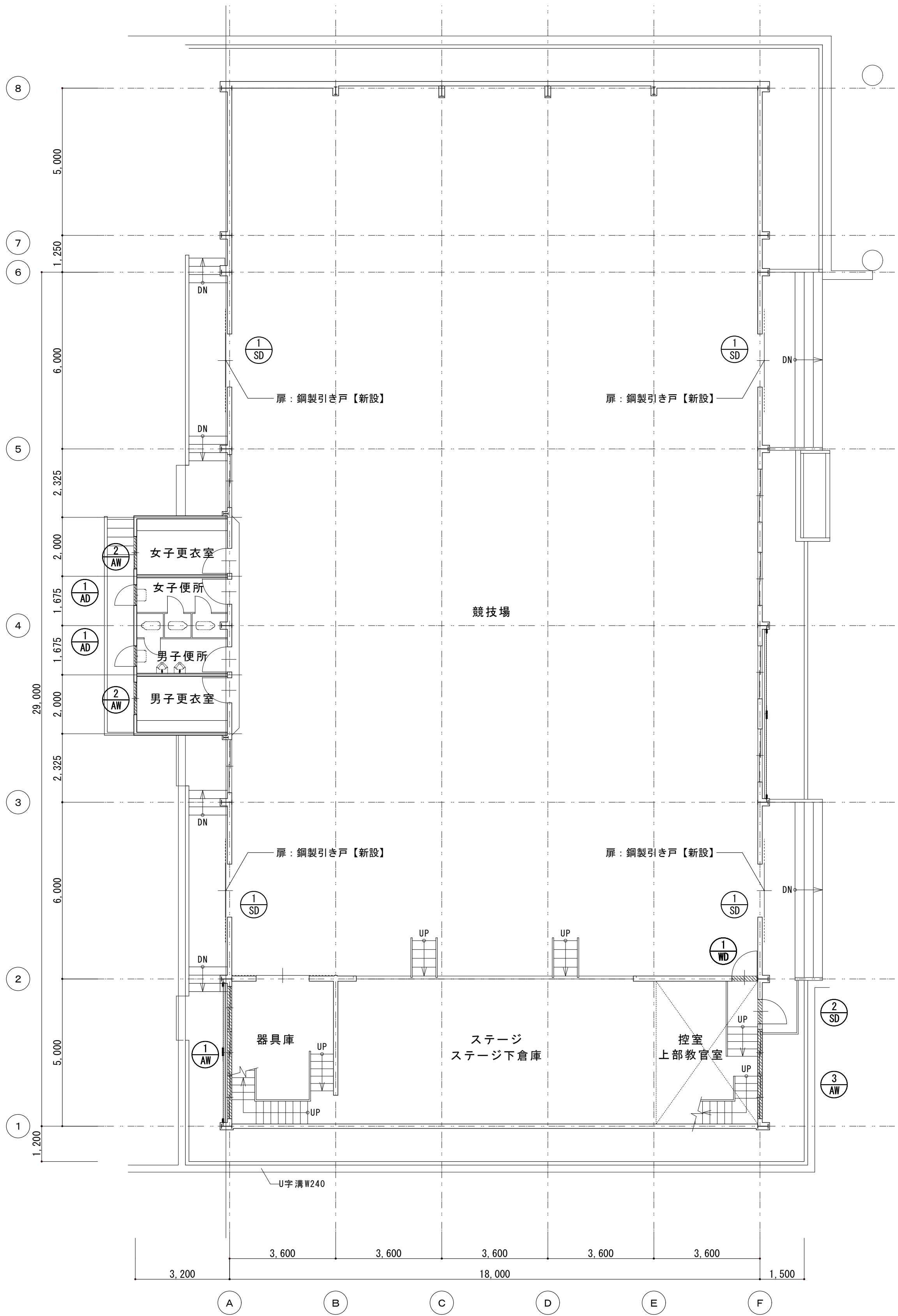
建具名	フィルム撤去面積	計4.78㎡
1 WW	0.6m×1.8m×4枚=4.32㎡	
1 WD	0.8m×0.15m=0.12㎡	
2 SD	0.4m×0.85m×1枚=0.34㎡	

フィルム撤去範囲を示す

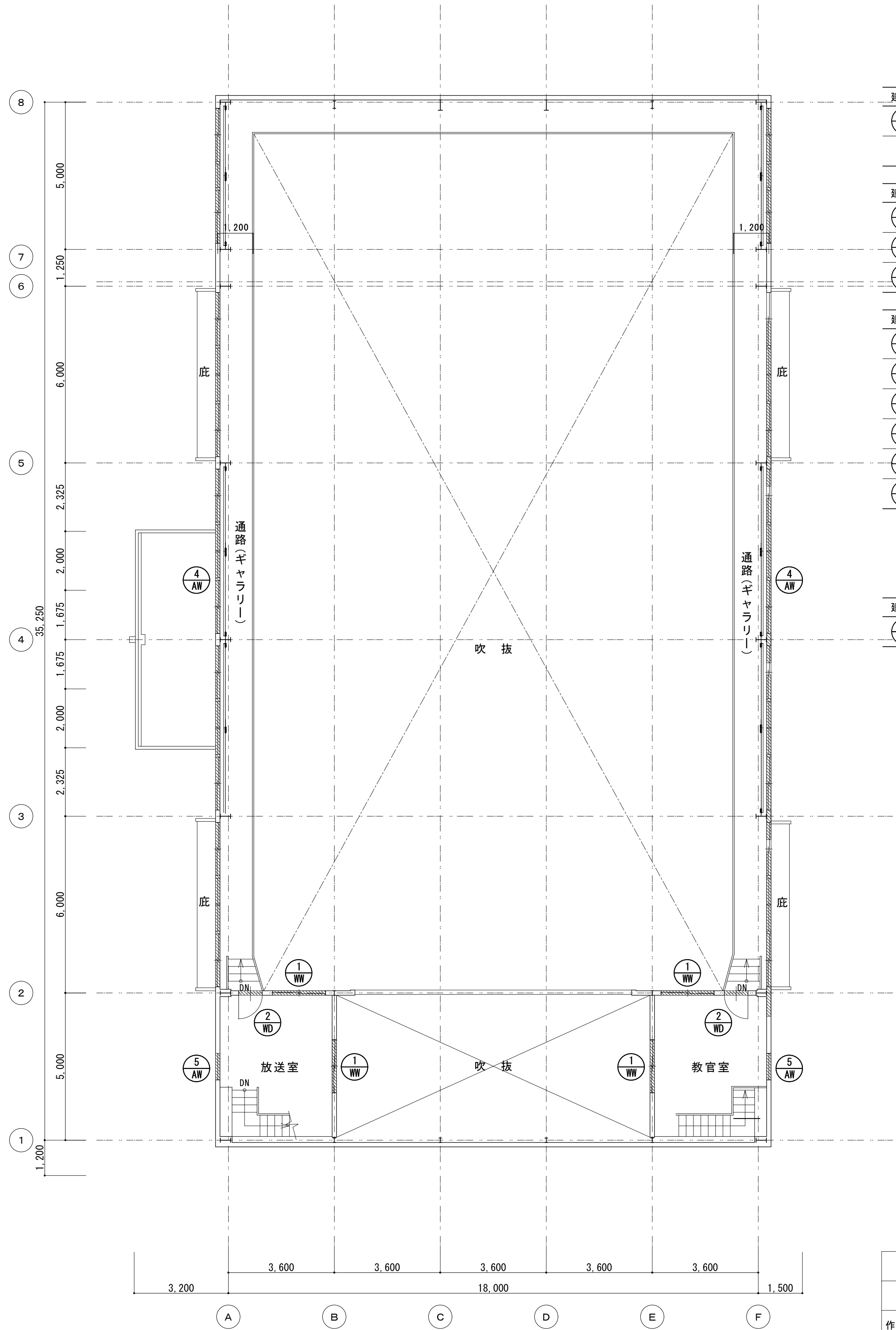
建具名	割れガラス撤去面積	計3.33㎡
4 AW	1.0m×0.9m×1枚+0.9m×0.9m×3枚=3.33㎡	

※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

建具名	遮熱フィルム新設面積	内貼	計
4 AW	2.8m×1.8m×28枚+2.8m×0.9×2枚		146.16㎡

建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計
1 WW	0.6m×1.8m×4枚		4.32㎡
1 WD	0.8m×0.15m		0.12㎡
2 WD	0.63m×0.17m×2枚		0.21㎡

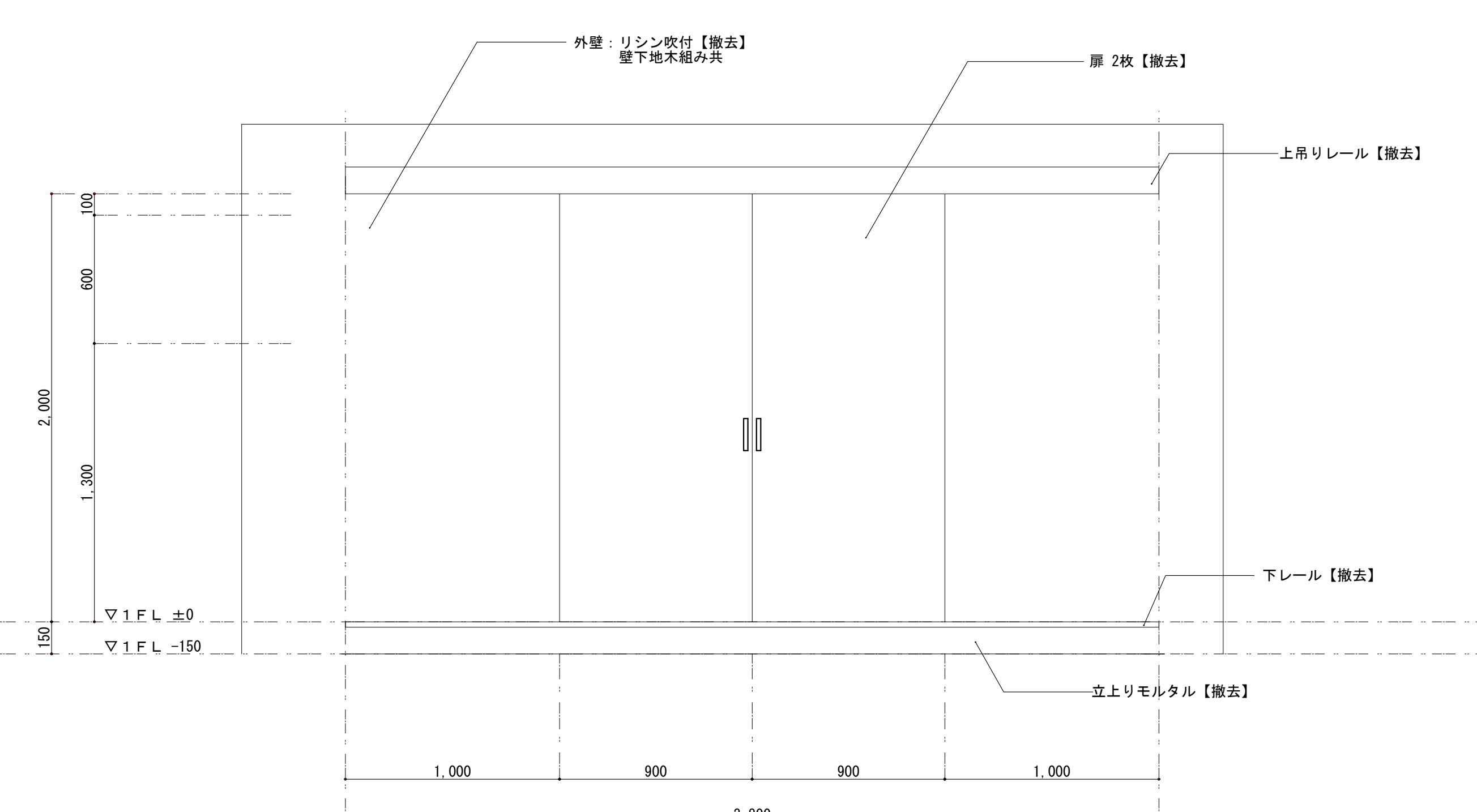
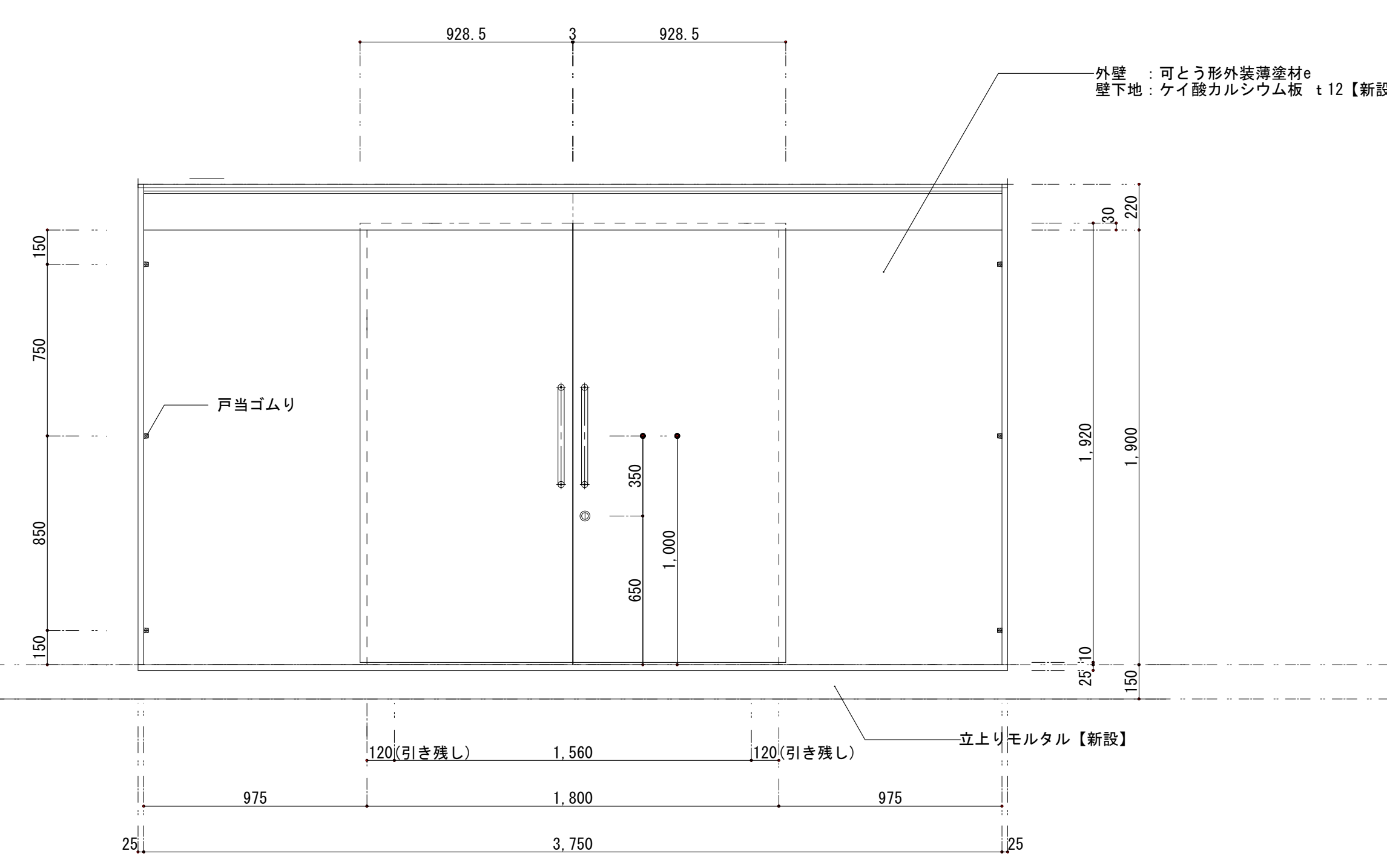
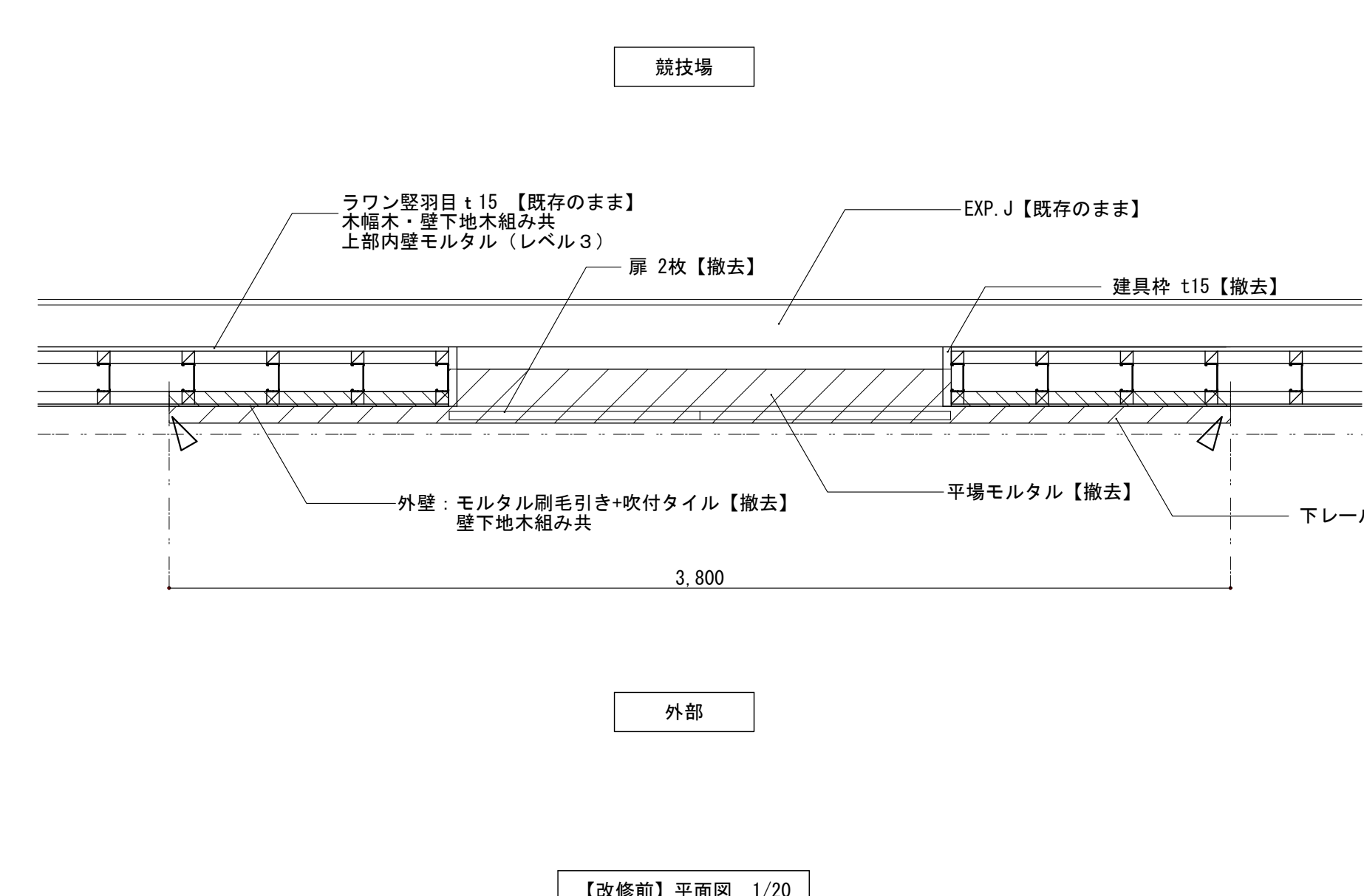
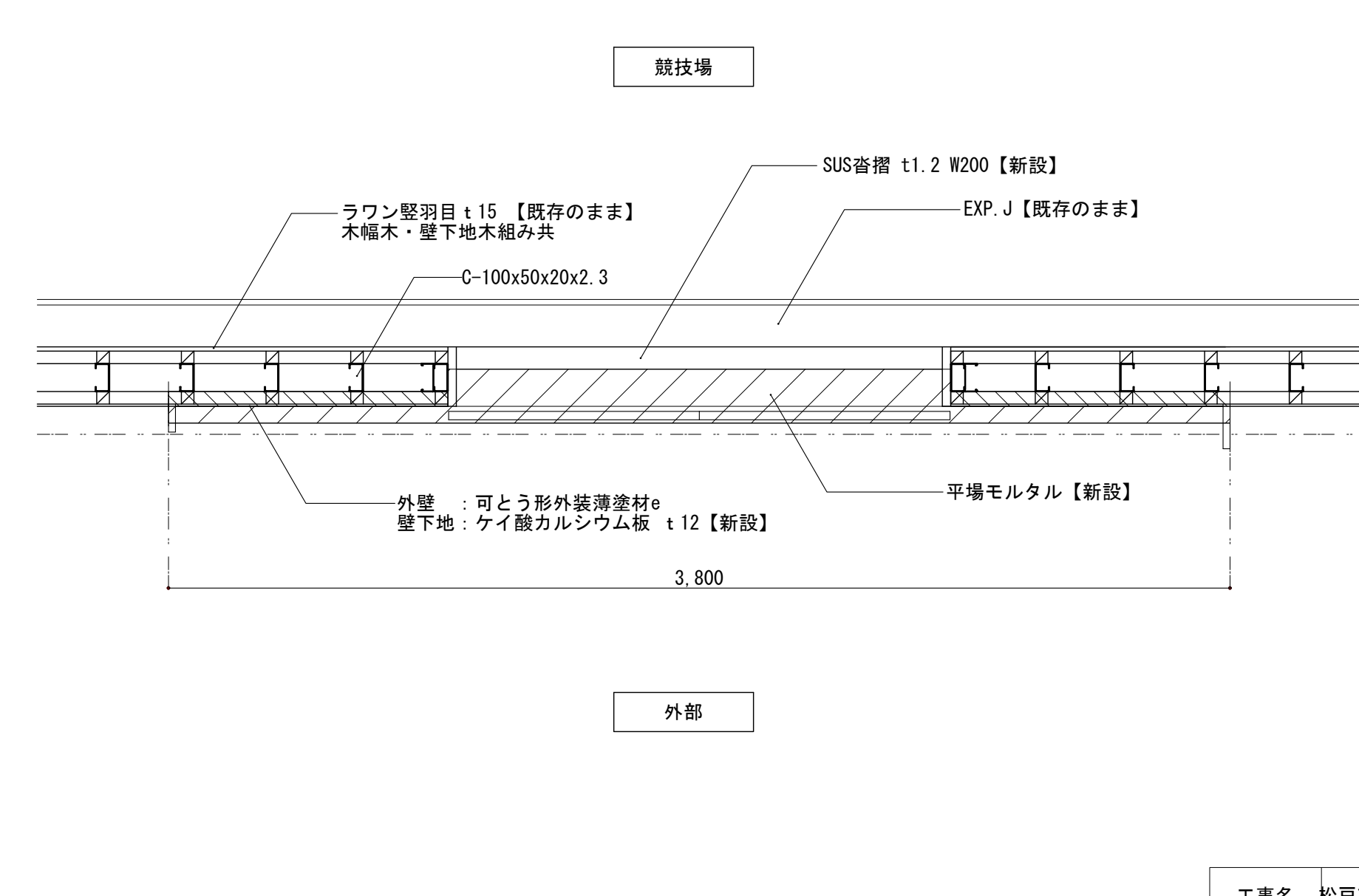
建具名	飛散フィルム新設面積	外貼	計
1 AW	1.45m×0.4m×3枚		1.74㎡
2 AW	1.07m×0.49m×2枚		1.04㎡
3 AW	1.45m×0.4m×2枚		1.16㎡
5 AW	2.2m×0.9m×2枚		3.96㎡
1 AD	0.77m×0.77m×2枚		1.85㎡
2 SD	0.4m×0.85m×1枚		0.34㎡

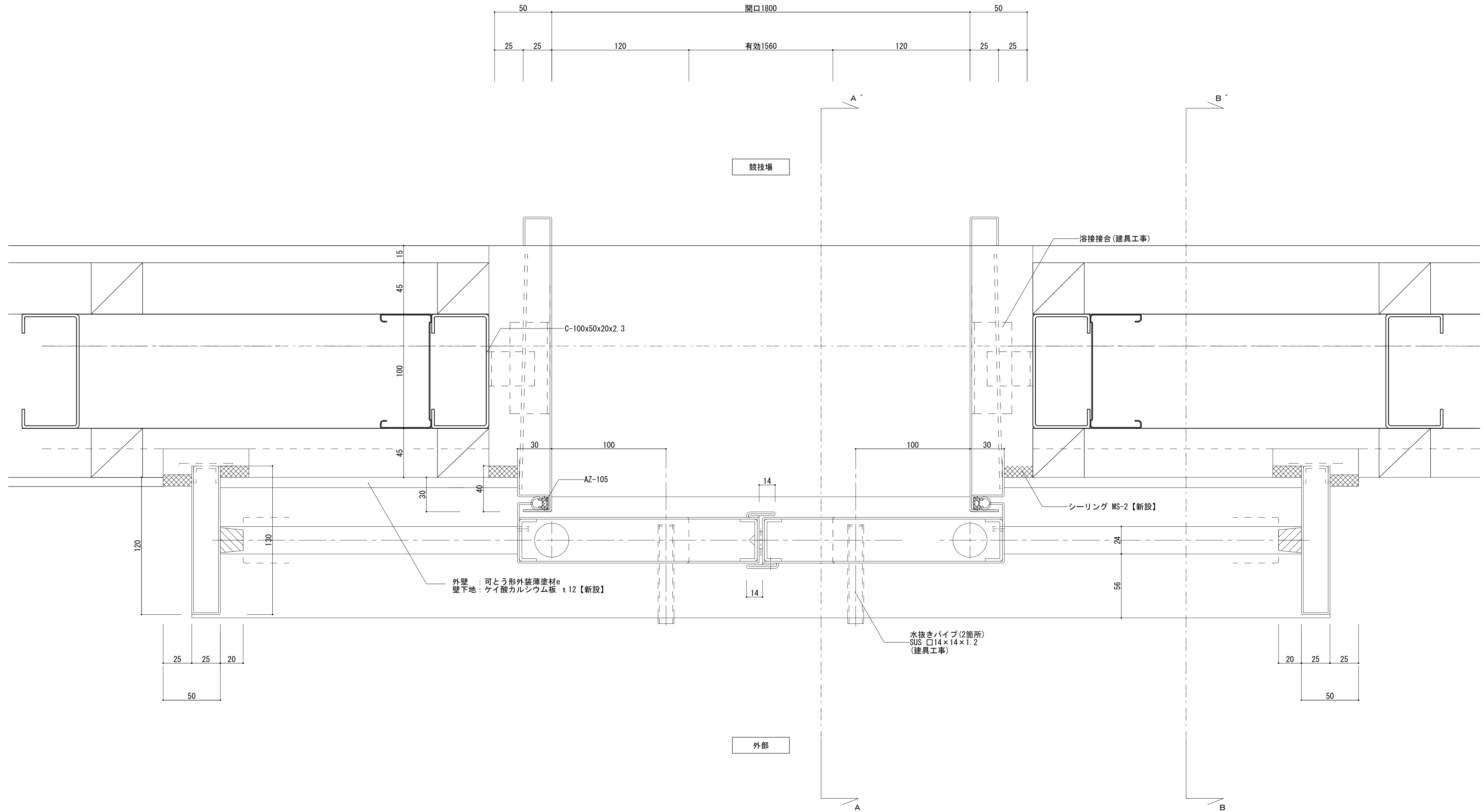
フィルム新設範囲を示す

建具名	割れガラス新設面積	計
4 AW	1.0m×0.9m×1枚+0.9m×0.9m×3枚	3.33㎡

※新設箇所について建具表参照

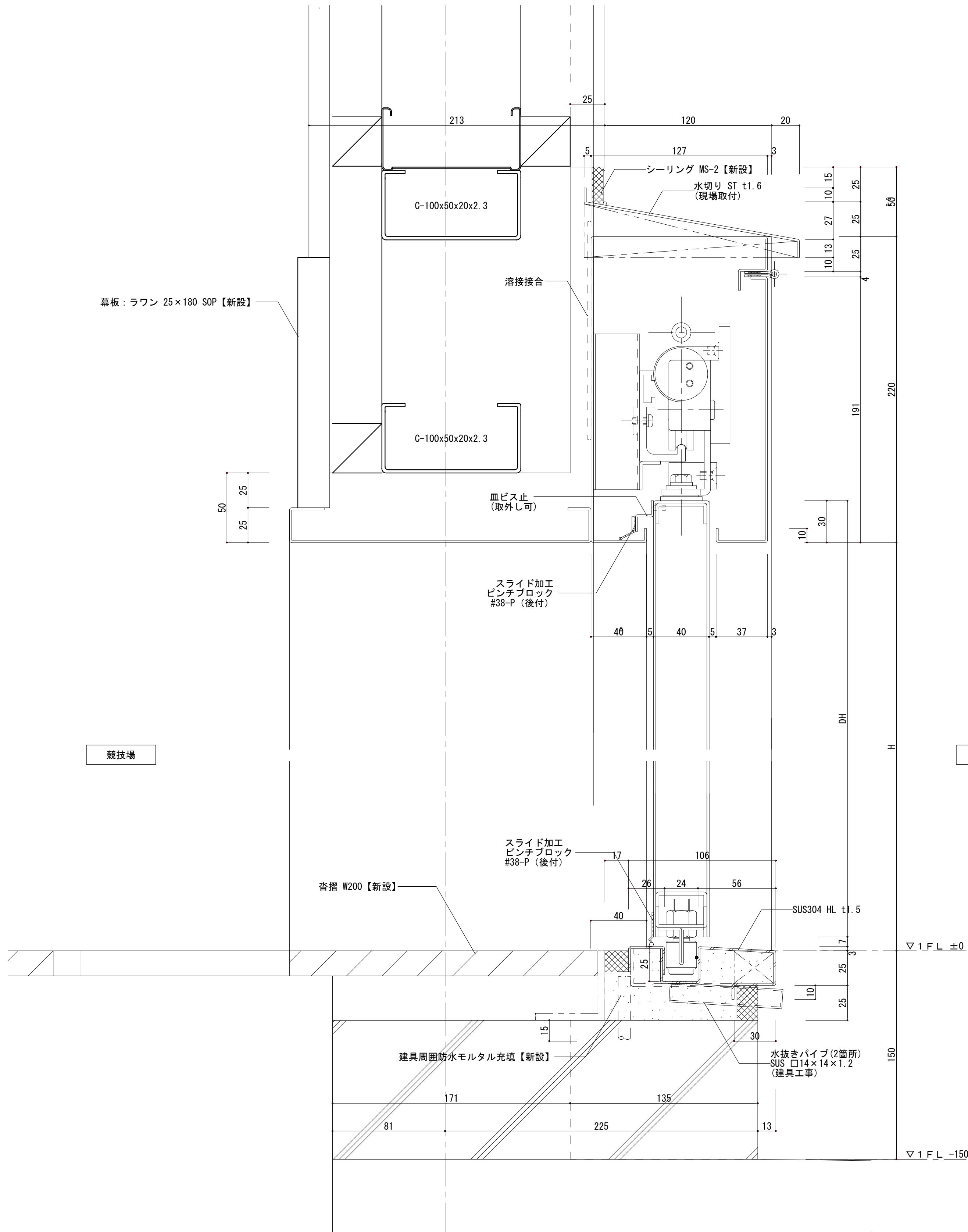
工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修後]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量	1 SD × 4箇所【撤去】	1 SD × 4箇所【新設】																								
姿図・寸法	 外壁：リシン吹付【撤去】 壁下地木組み共 扉 2枚【撤去】 上吊りレール【撤去】 下レール【撤去】 立上りモルタル【撤去】 ▽1 F L ±0 ▽1 F L -150 1,000 900 900 1,000 3,800	 外壁：可とう形外装薄塗材e 壁下地：ケイ酸カルシウム板 t12【新設】 戸当ゴムリ 立上りモルタル【新設】 928.5 3 928.5 150 750 850 150 120(引き残し) 1,560 120(引き残し) 975 1,800 975 3,750																								
使用場所	競技場入口	競技場入口																								
形式・名称	2枚引き分け戸	2枚引き分けハンガー戸																								
材質・仕上	特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊垂鉛メッキ鋼板																								
ガラス	-	-																								
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番																								
備考																										
平面図	 競技場 ラウン壁羽目 t15【既存のまま】 木幅木・壁下地木組み共 上部内壁モルタル（レベル3） 扉 2枚【撤去】 EXP. J【既存のまま】 建具枠 t15【撤去】 外壁：モルタル刷毛引き+吹付タイル【撤去】 壁下地木組み共 平場モルタル【撤去】 下レール【撤去】 3,800 外部 【改修前】平面図 1/20 凡例 カッター入れ 建具撤去範囲を示す 壁撤去範囲を示す	 競技場 ラウン壁羽目 t15【既存のまま】 木幅木・壁下地木組み共 SUS沓摺 t1.2 W200【新設】 EXP. J【既存のまま】 C-100x50x20x2.3 外壁：可とう形外装薄塗材e 壁下地：ケイ酸カルシウム板 t12【新設】 平場モルタル【新設】 3,800 外部 【改修後】平面図 1/20 <table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">松戸市立金ヶ作小学校校体育館空調設備設置建築工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">【改修】建具表（2）</td></tr><tr><td>作成年月日</td><td>令和7年2月1日</td><td>変更年月日</td><td></td></tr><tr><td>縮尺</td><td>A1:1/20 A3:1/40</td><td>図面番号</td><td>A-09</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="3">株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号</td></tr><tr><td colspan="4">松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>	工事名	松戸市立金ヶ作小学校校体育館空調設備設置建築工事			図面名	【改修】建具表（2）			作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日		縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09	設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号			松戸市 街づくり部 建築保全課			
工事名	松戸市立金ヶ作小学校校体育館空調設備設置建築工事																									
図面名	【改修】建具表（2）																									
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日																								
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09																							
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号																									
松戸市 街づくり部 建築保全課																										



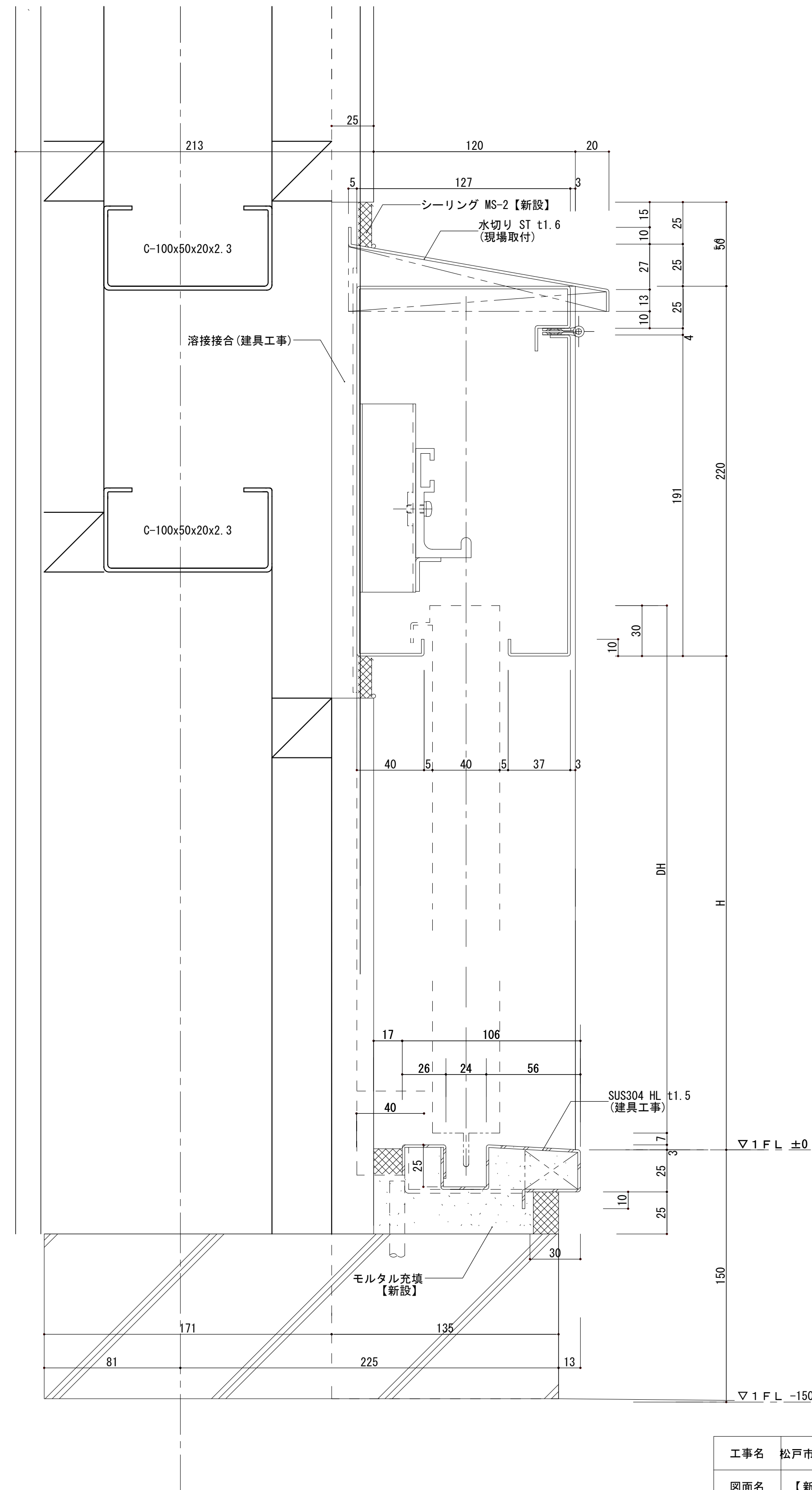
建具平面詳細図 1/2
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1 - 2 3 0 6 - 2 6 8 6 号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第 2 7 2 4 9 8 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



A-A' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事



B-B' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 2 (参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

仮設凡例

- 敷鉄板 t=22 1.5m×6.0
- 枠組足場：ネット養生シート(防災2類)、金網敷養生枠 W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート(防災1類) W=914
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離
- 工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0（2箇所）
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す
- 学

生徒・学校関係者を示す
- 教

教員車両を示す
- 般

一般車両を示す
- 工

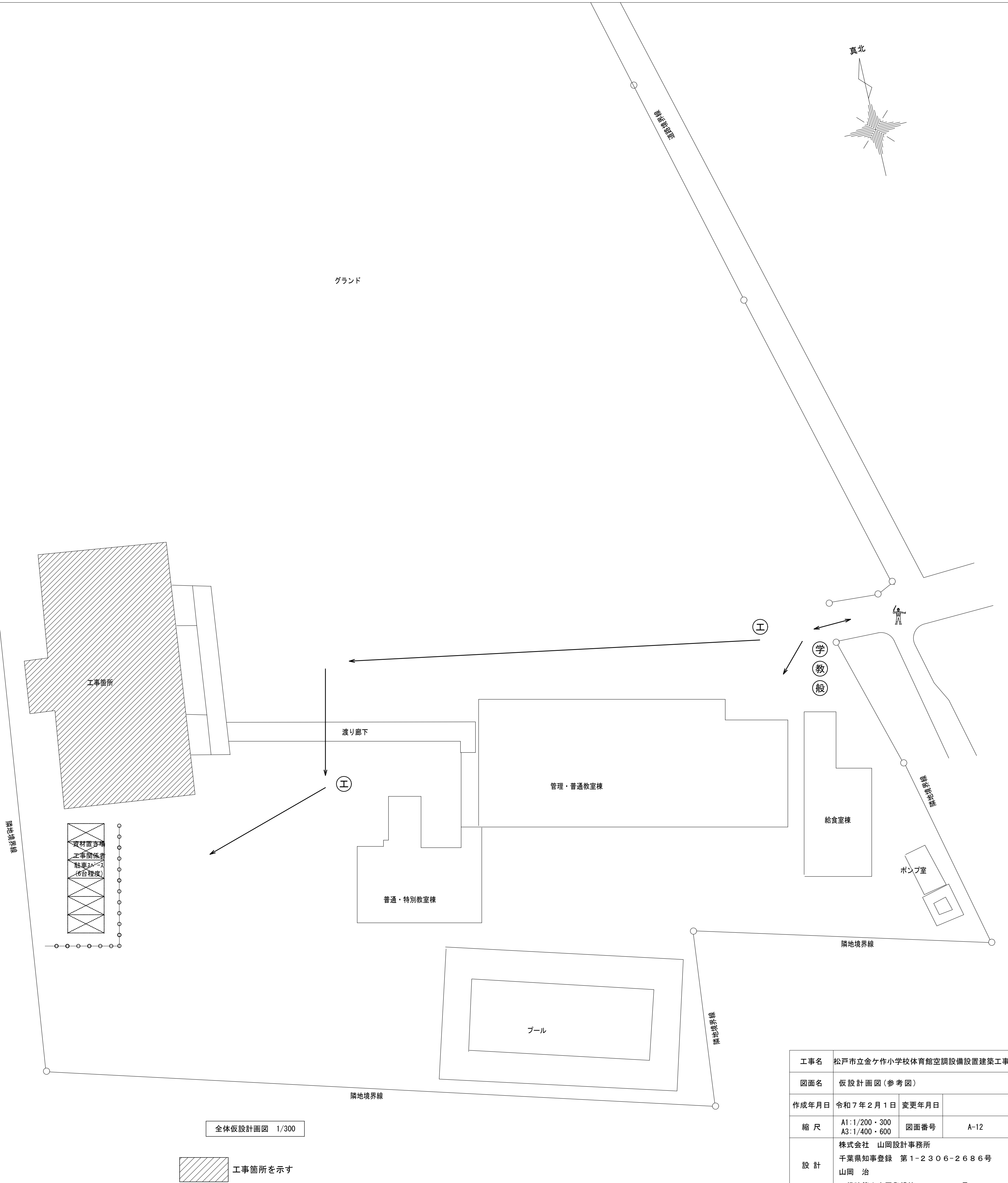
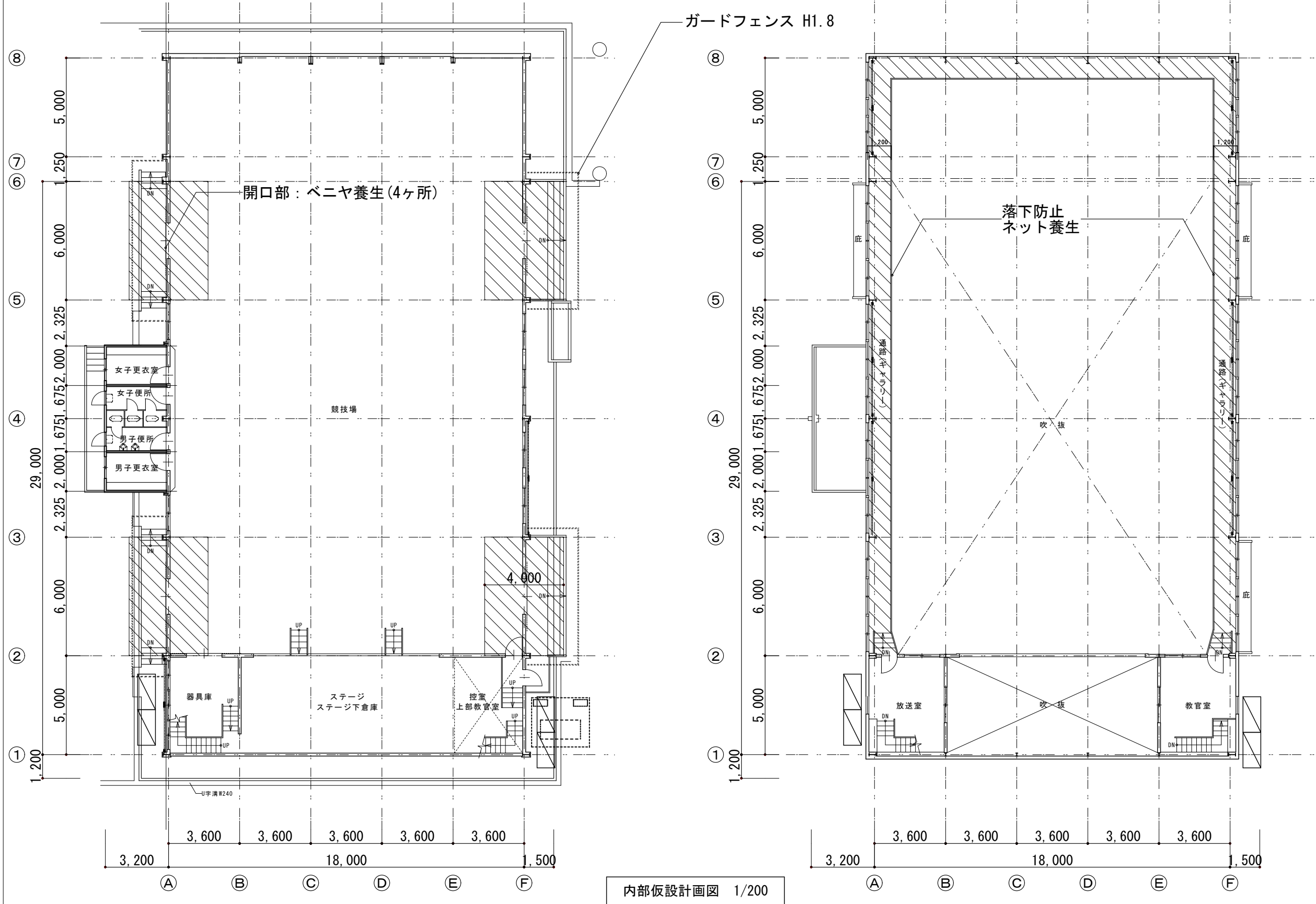
工事車両を示す

＜全体仮設計画＞

- 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・パー）を設置する
- 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
- 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
- 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
- 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

- 本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- 仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



工事名	松戸市立金ヶ作小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計面図(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立八ヶ崎第二小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図	1/25
A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立八ヶ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

30.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

60.00

4-2

外壁改修工事

共通事項

2

改修材料

・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)	標準時 温冷繰り返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0 (%)以上

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力 1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重 表示値±0.10
押出し性 60秒以下
スランプ 3mm以下
加熱減量 5%以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上

皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e. ずれ抵抗性があること。
f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル

ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢系等

曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	接着強さ (N/?)	標準時 温湿時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (変化(曲げ強さ)	吸水性 (72時間)	耐久性 (変化(曲げ強さ)
3以上	3.0%以下	0.5N/?以上	5.0N/?以上	15%以下	6.0N/?以上

保水係数 0.35～0.55
粘弾係数 0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全面割合 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1

外壁改修工事

コンクリート打放し仕上り外壁

1

ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・

注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き) ※行わない
・行う(抜き取り部の補修方法:)

・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去部分)

充填材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024	

・シール工法

・パテ状エポキシ樹脂 (JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂 (JIS A 6024)

2

欠損部改修工法

(鉄筋腐蝕補修含む)

・充填工法

・エポキシ樹脂モルタル (JIS A 6024)
・ポリマーセメントモルタル

3

浮き部改修工法

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木、パラペット天端部分)

・樹脂モルタル T3

4

巾木モルタル塗

1

既存モルタル塗りの撤去

・既存モルタル塗りの撤去 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)

・樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・

注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア抜き) ※行わない
・行う(抜き取り部の補修方法:)

・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去部分)

充填材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・タイル部分張替え工法

接着剤の種類	品質・規格等	備 考
※ポリマーセメントモルタル		
・タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1 であり監督職員の承諾するもの又は特記による。	

・タイル張替え工法 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修仕様表4.5.1による ・図示

2

見本の製作等

3

アルミ製建具

4

浮き部改修工法

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮目地改修工法

・シーリング用材料

種類 ※改修仕様表3.7.11による

5

目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮目地改修工法

・シーリング用材料

種類 ※改修仕様表3.7.11による

6

陶磁器タイル張り

・既存モルタル面の欠損部

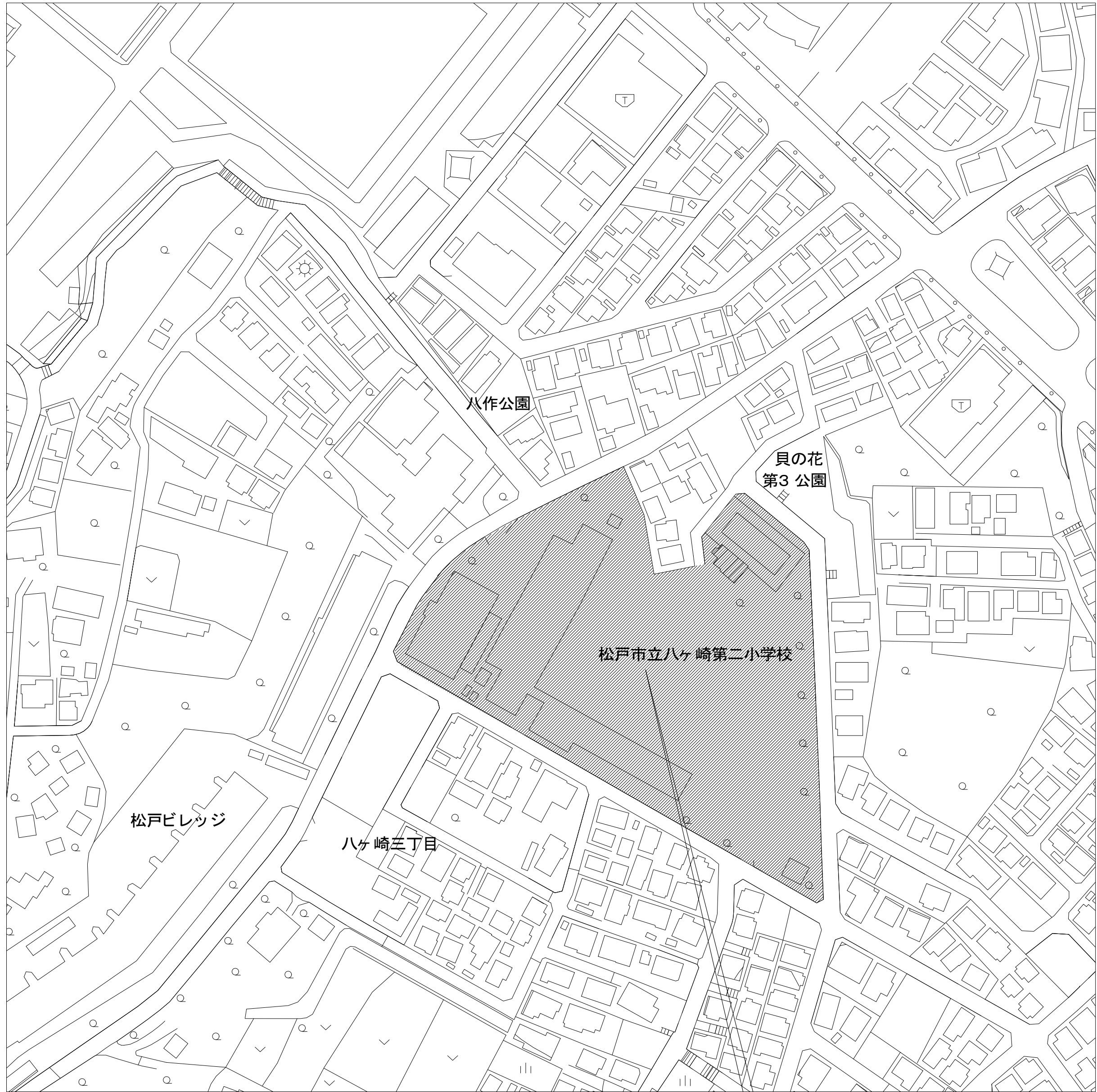
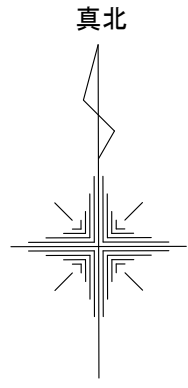
改修工法の種類	材 料	品 質・規格等
・充填工法	エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修仕様4.2.2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

・既存モルタル面の欠損部 (※シール工法の範囲 ・監督職員の指示による)

・既存モルタル

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
7 塗 装 改 修 工 事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は 監督職員と協議する。	9 環 境 配 慮 （ グ リ ー ン ） 改 修 工 事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 ・ 封じ込め処理 ・ 囲い込み処理除去工法 ・ 除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示 分析によるアスベスト (ｱｸｼﾌﾗｲﾄﾞ、ﾌﾚｲﾄﾞ、ﾌｨﾌﾞﾗｲﾄﾞ、ｸﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ、ｸﾛｯﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾓﾀｲﾄ) 含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・ U3-2	
	2 下地調整	下地面の種類 木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 モルタル、プラスチック面 コンクリート、ALC及び押出成形 セメント板面 せっこうボード、その他ボード面 既存下地面等のひび割れ部補修 ※行う ・ 行わない ※錆止め JIS K 5674		2 アスベスト含有吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。		8 屋上緑化改修工事	特記事項は図示
	3 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	下地の種類 木部 鉄鋼面		3 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	経鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ (核スタッド工法 65形#300) とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 ―内部測定点内訳― ＜1階： 点、2階： 点、3階： 点＞ 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。		9 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 ※再生クラッシュラン (RC-40) ・ クラッシュラン (C-40) 又はクラッシュランスラグ (CS-40) 透水性の高いものを使用する。 道断層及び凍上抑制層の材料 ・ 道断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン 切込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ガルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰() ・ 消石灰() 添加量 kg/㎡ (目標CBR ※5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固めの試験 ※行う アスファルト混合物 車道部 ※改質アスファルト I 型 歩道部 ※ストレータアスファルト 透水性舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う
	4 鉄鋼面耐候性塗料塗り (DP)	下地の種類 鉄面 亜鉛めっき面 コンクリート、押出成形セメント板面 下塗り JASS 18 M-109		4 アスベスト成形板の処理工事	処理工を行うアスベスト成形板の仕様等 ・ 仕上表による		10 1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 図示 部 位 設計基準強度 (N/mm2) 所定のスランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm) 車路及び駐車場 24 8 砂利の場合25又は40 歩行者用通路 18 8 砕石の場合20又は25 砕石の場合20 ・ 図示 砂利敷き 種別 ・ A種 ・ B種
	5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗り替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660		5 アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・ 部分除去 ・ 全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾏｲｸｽｶﾝﾀﾞｰ工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。		2 植栽工事	植樹 ・ 図示 樹 種 寸 法 数 量 備 考
	6 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663		6 外断熱改修工事	断熱材の種類 材料名 厚さ (mm) ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ 硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム ・ ロックウール ・ グラスウール 外装材の種類 防火性能 既存外壁仕上材の撤去 ・ 有り ・ 無し 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・ 有り (mm) ・ なし 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。			
	7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗り替えの場合 既存塗膜 下地調整 種別 合成樹脂エマルション模様塗り ※RB種 ※A種 平滑な塗料塗り ※RB種 ・ A種 ・ B種 RC種 ・ C-1種 ・ C-2種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663						
	8 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502						
	9 オイルステイン塗り (OS)	ワトコオイル製品同等品とする。						
	10 木材保護塗料塗り (WP)	・ A種 ※B種 JASS 18 M-307						
11 ポリウレタン樹脂塗装 (2-UC)	フローリングブロック面の塗り種別 ・ A種 ※B種							
8 耐 震 改 修 工 事		『耐震補強工事構造特記仕様書』による。						

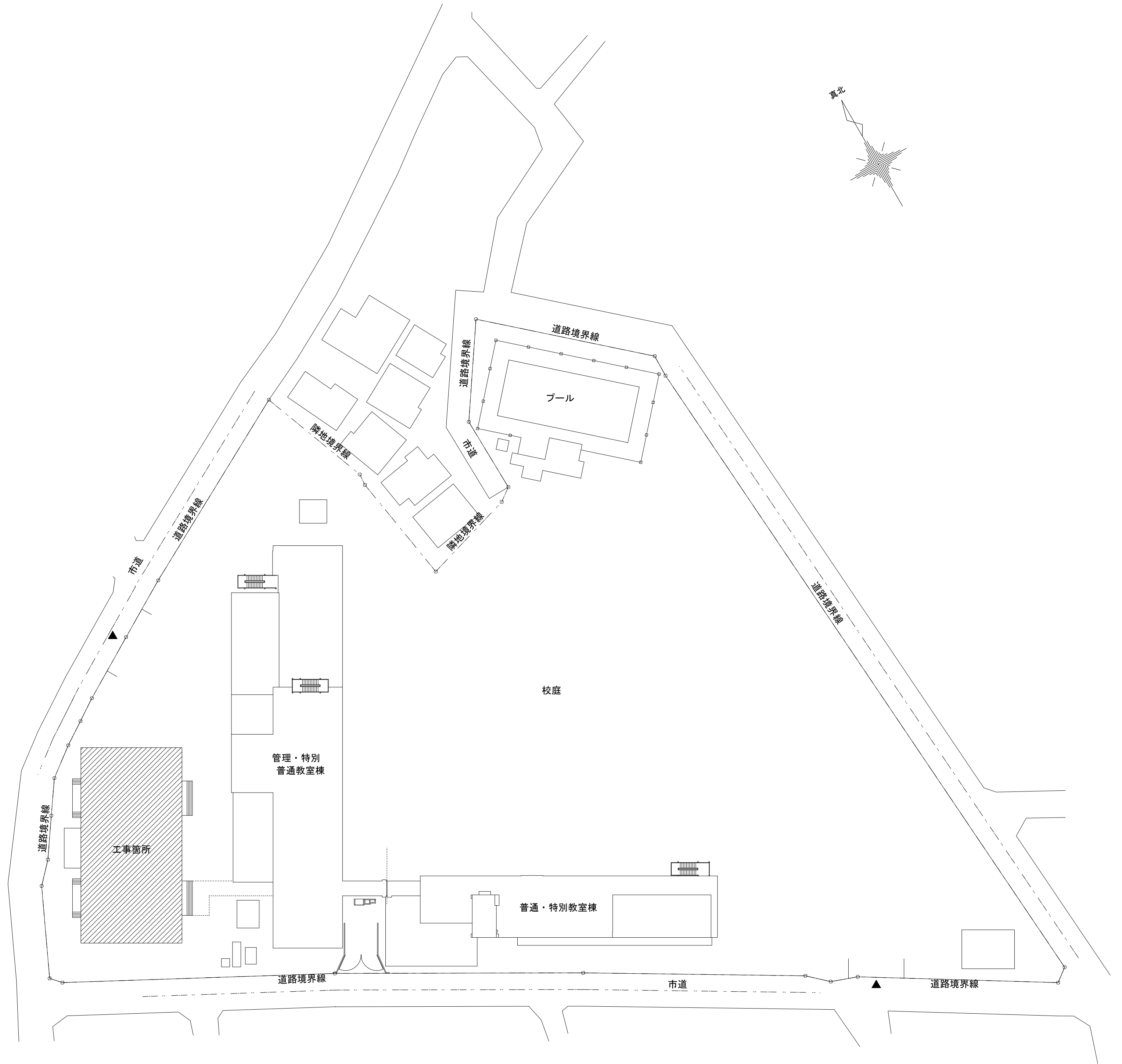
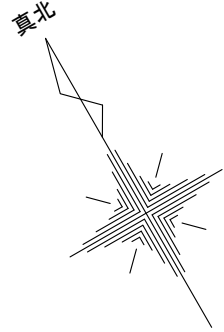
工事名	松戸市立八ヶ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-04
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工事場所：松戸市立ハケ崎第二小学校
地番地名：松戸市ハケ崎三丁目3番地の1

案内図 1/2500

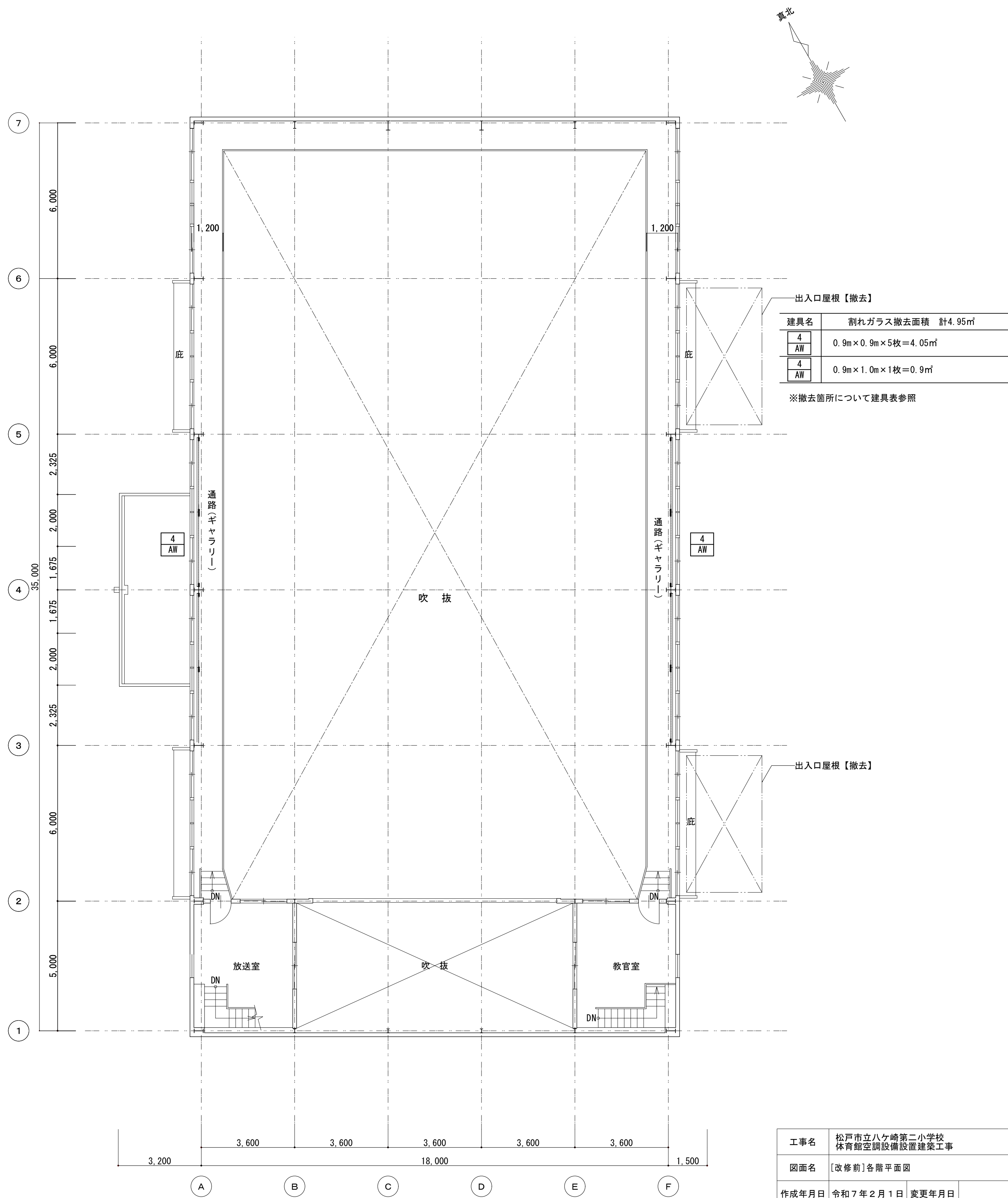
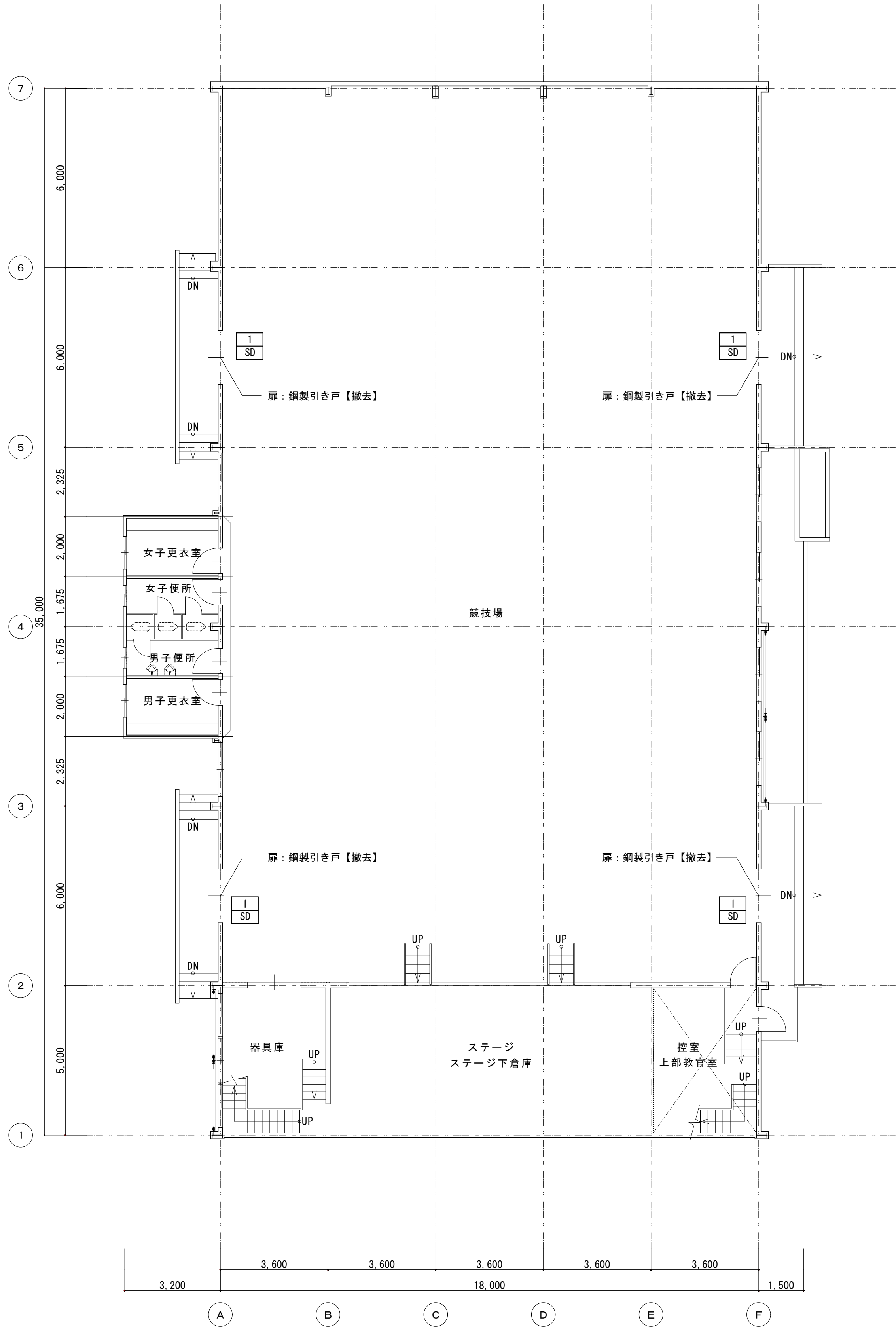
工事箇所を示す



配置図 1/500

工事箇所を示す

工事名	松戸市立ハケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

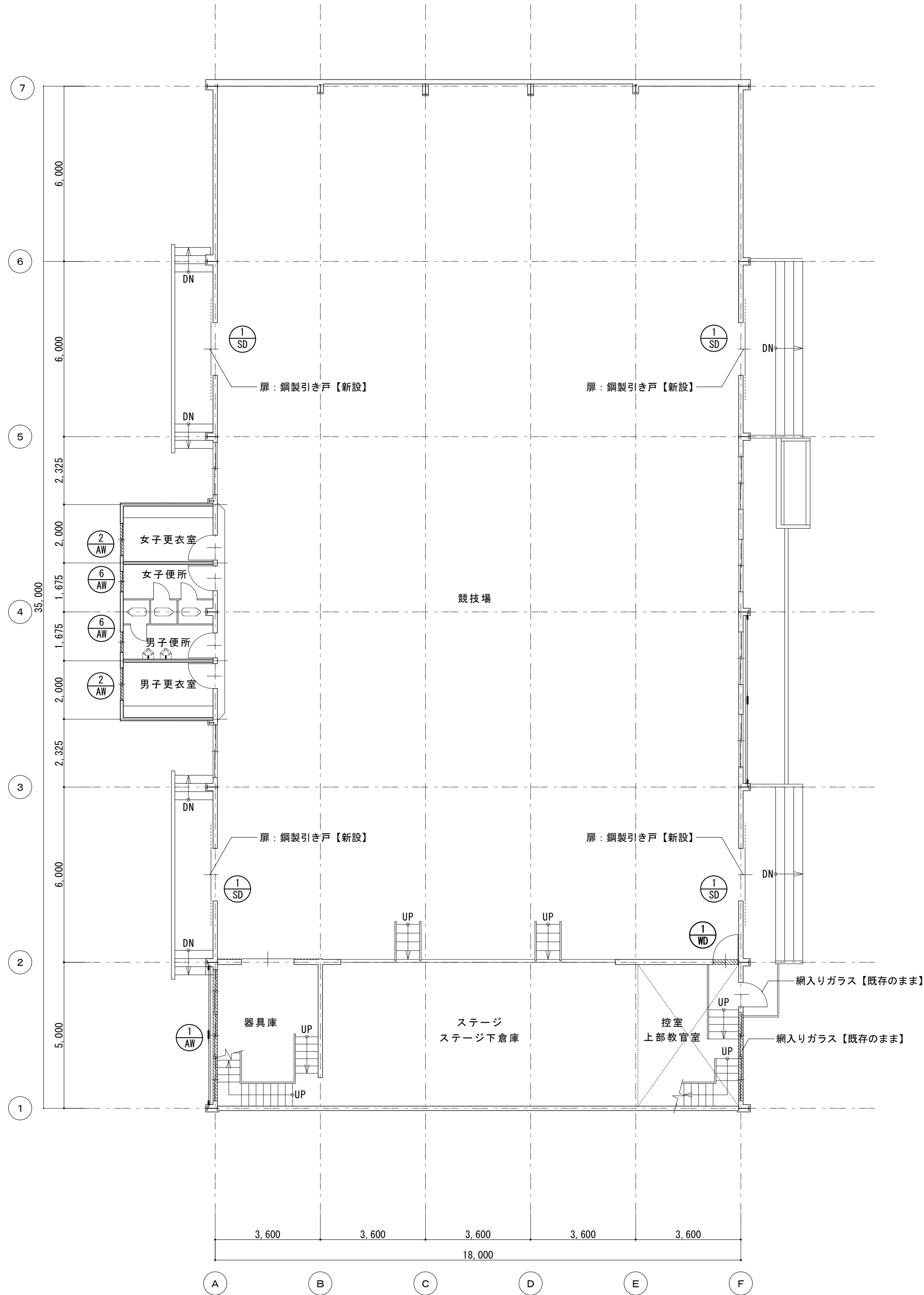


出入口屋根【撤去】

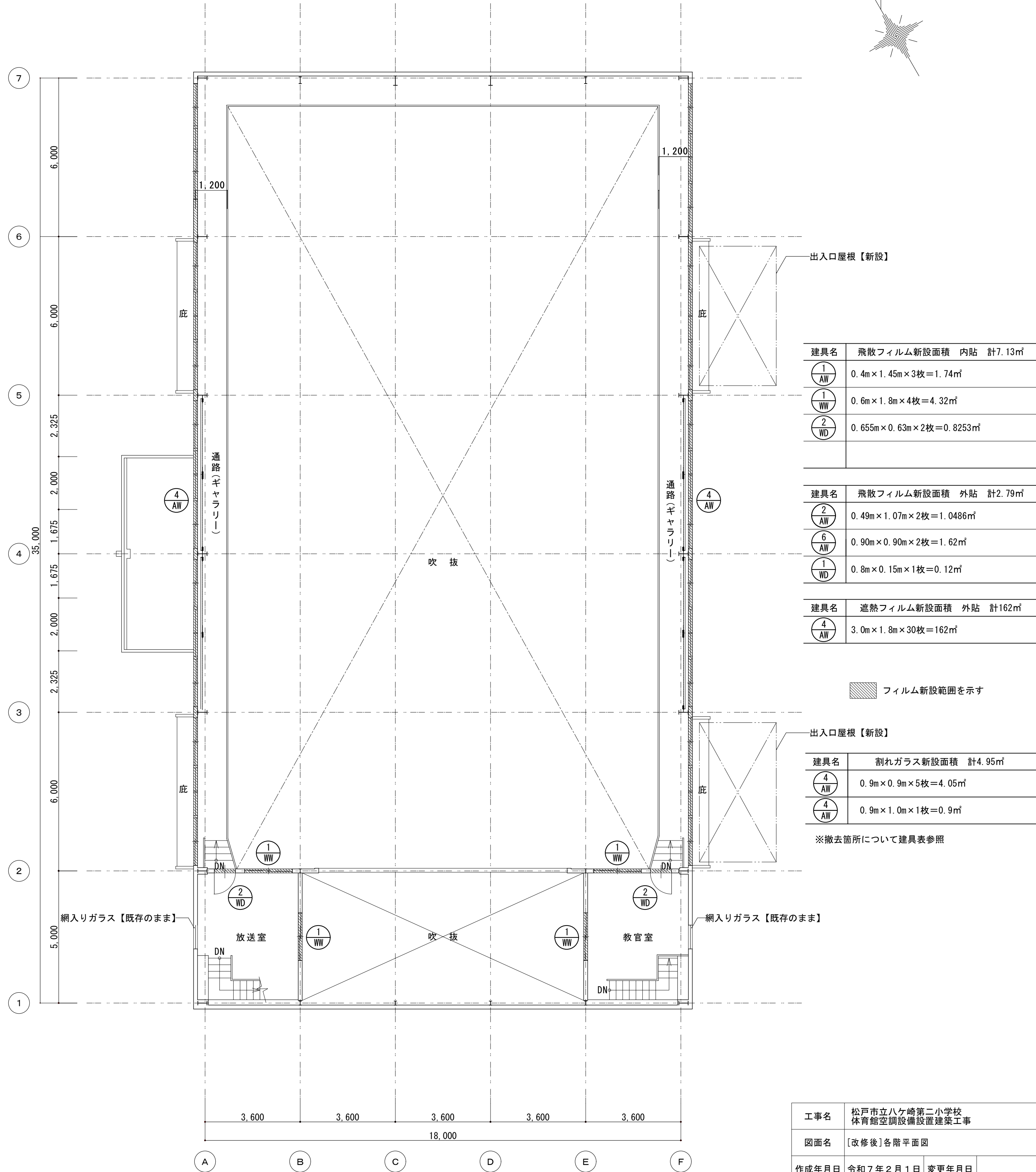
建具名	割れガラス撤去面積	計
4 AW	0.9m×0.9m×5枚＝4.05㎡	
4 AW	0.9m×1.0m×1枚＝0.9㎡	

※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立八ヶ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計
1 AW	0.4m×1.45m×3枚=1.74㎡		
1 WW	0.6m×1.8m×4枚=4.32㎡		
2 WD	0.655m×0.63m×2枚=0.8253㎡		

建具名	飛散フィルム新設面積	外貼	計
2 AW	0.49m×1.07m×2枚=1.0486㎡		
6 AW	0.90m×0.90m×2枚=1.62㎡		
1 WD	0.8m×0.15m×1枚=0.12㎡		

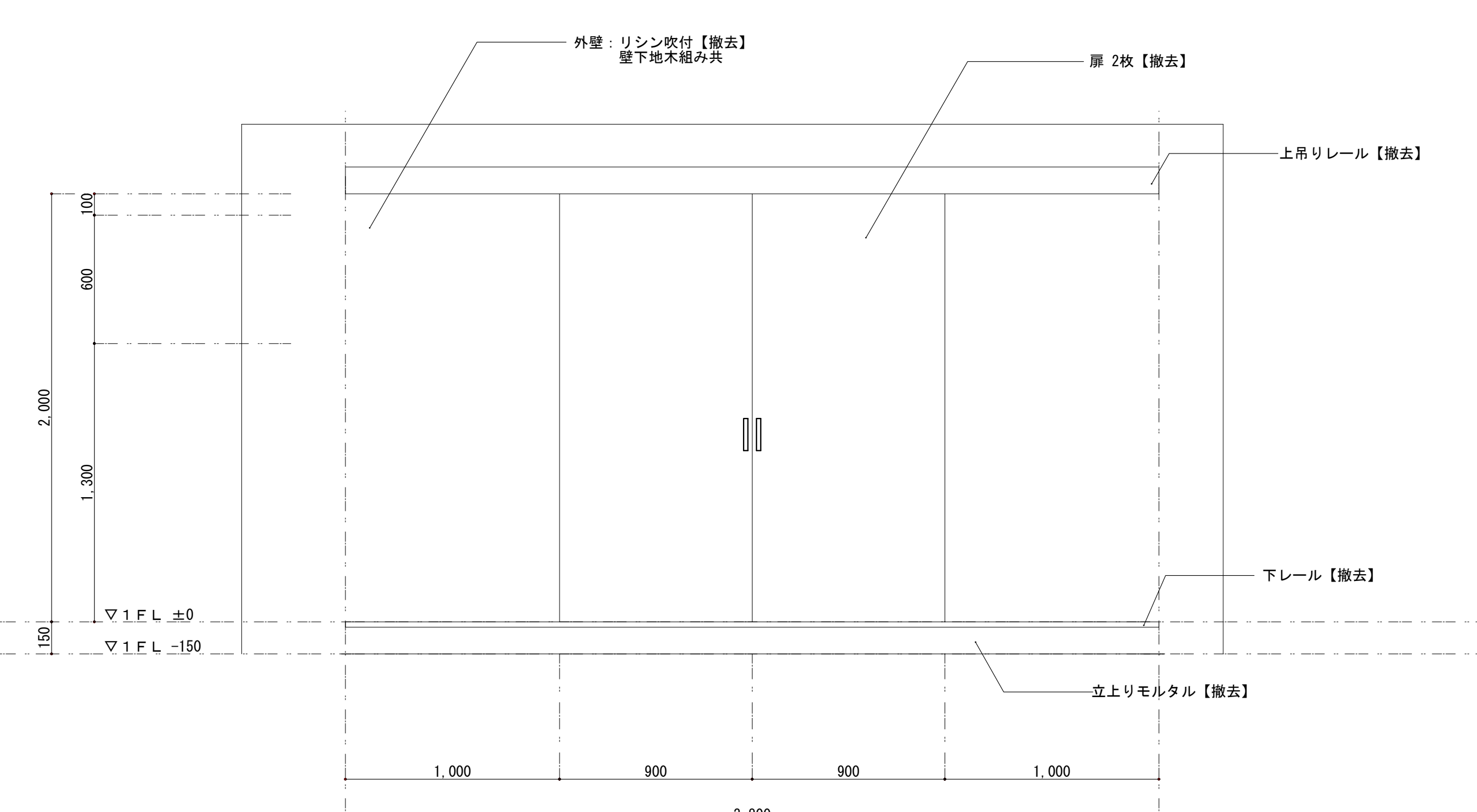
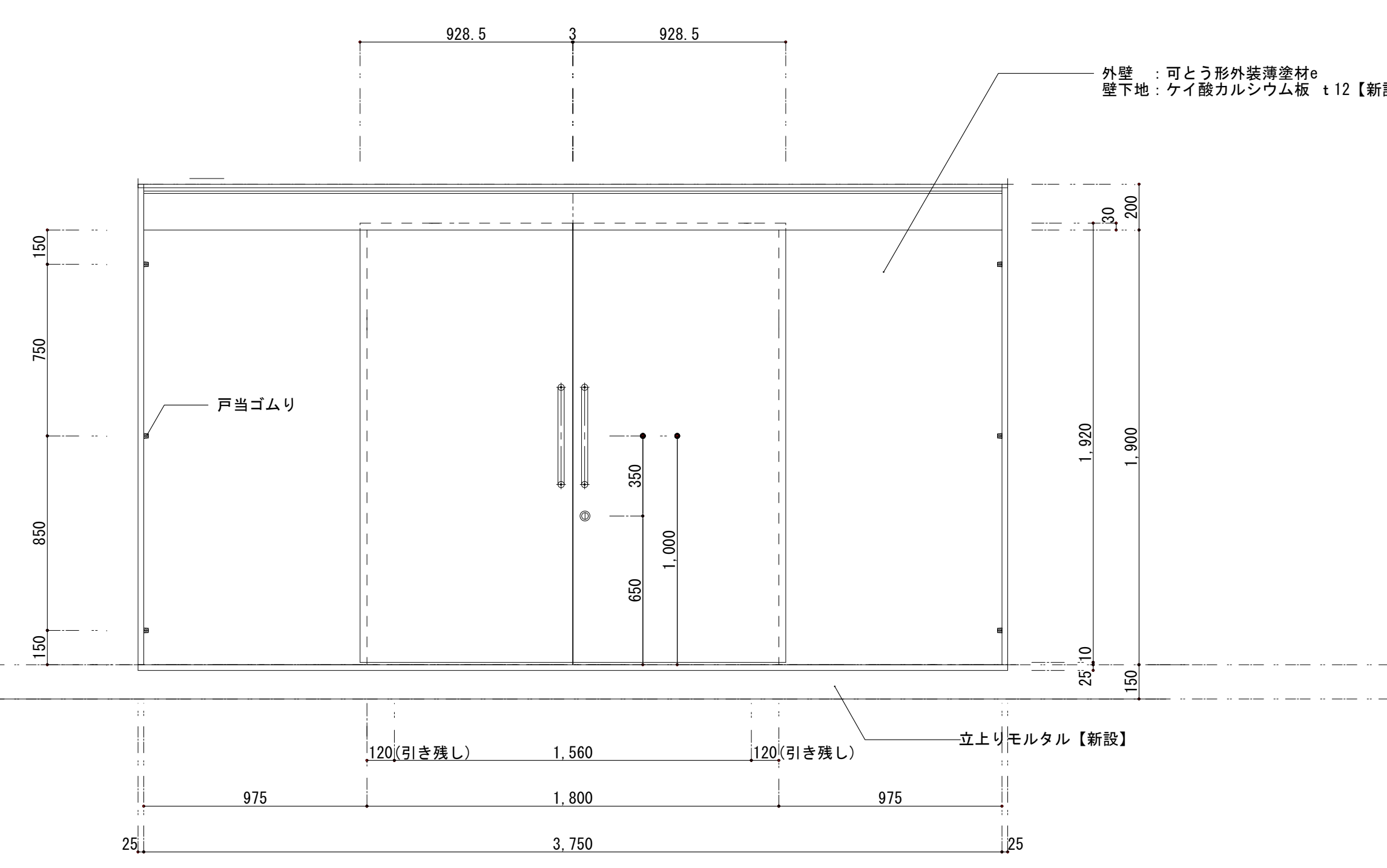
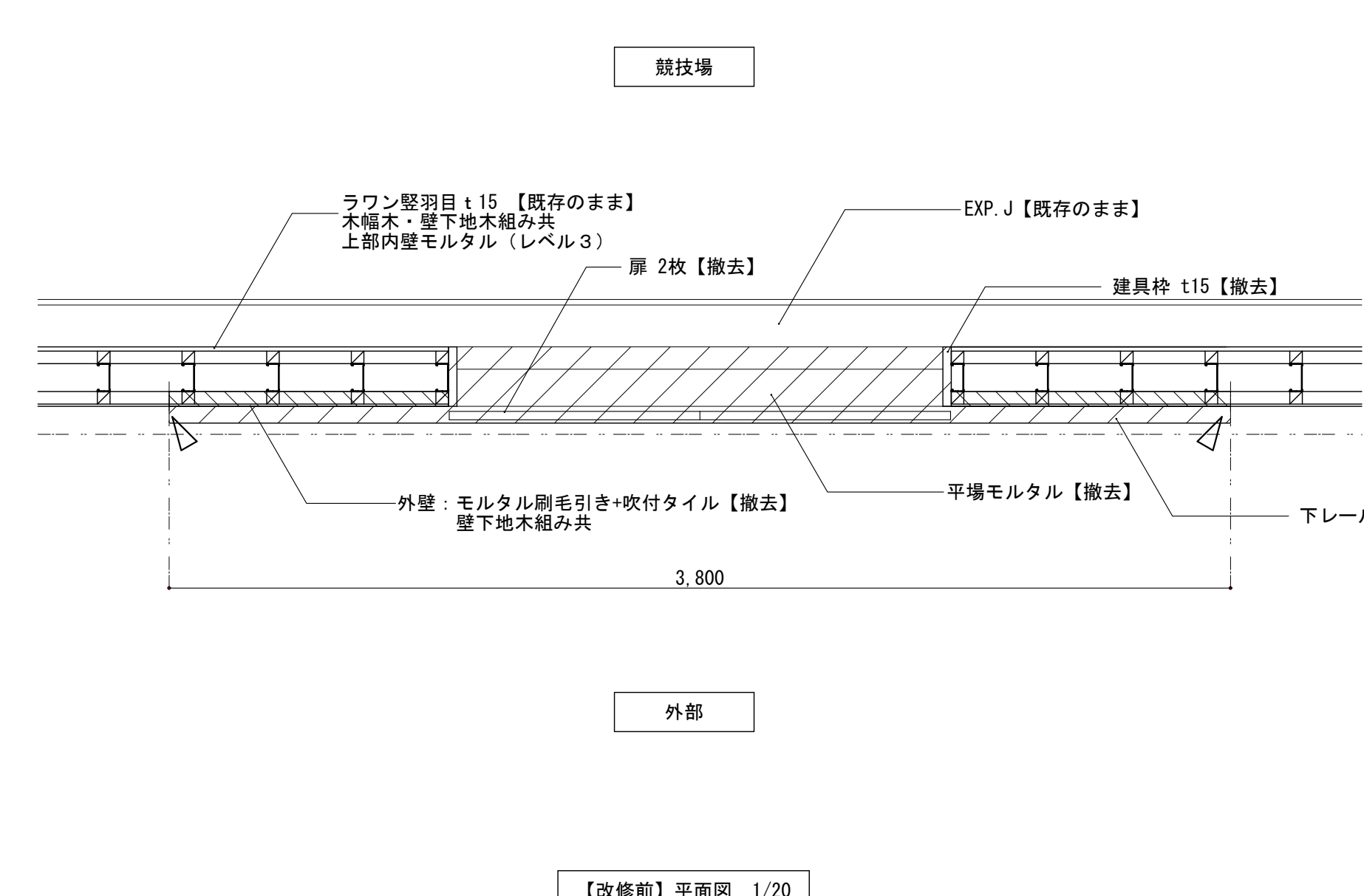
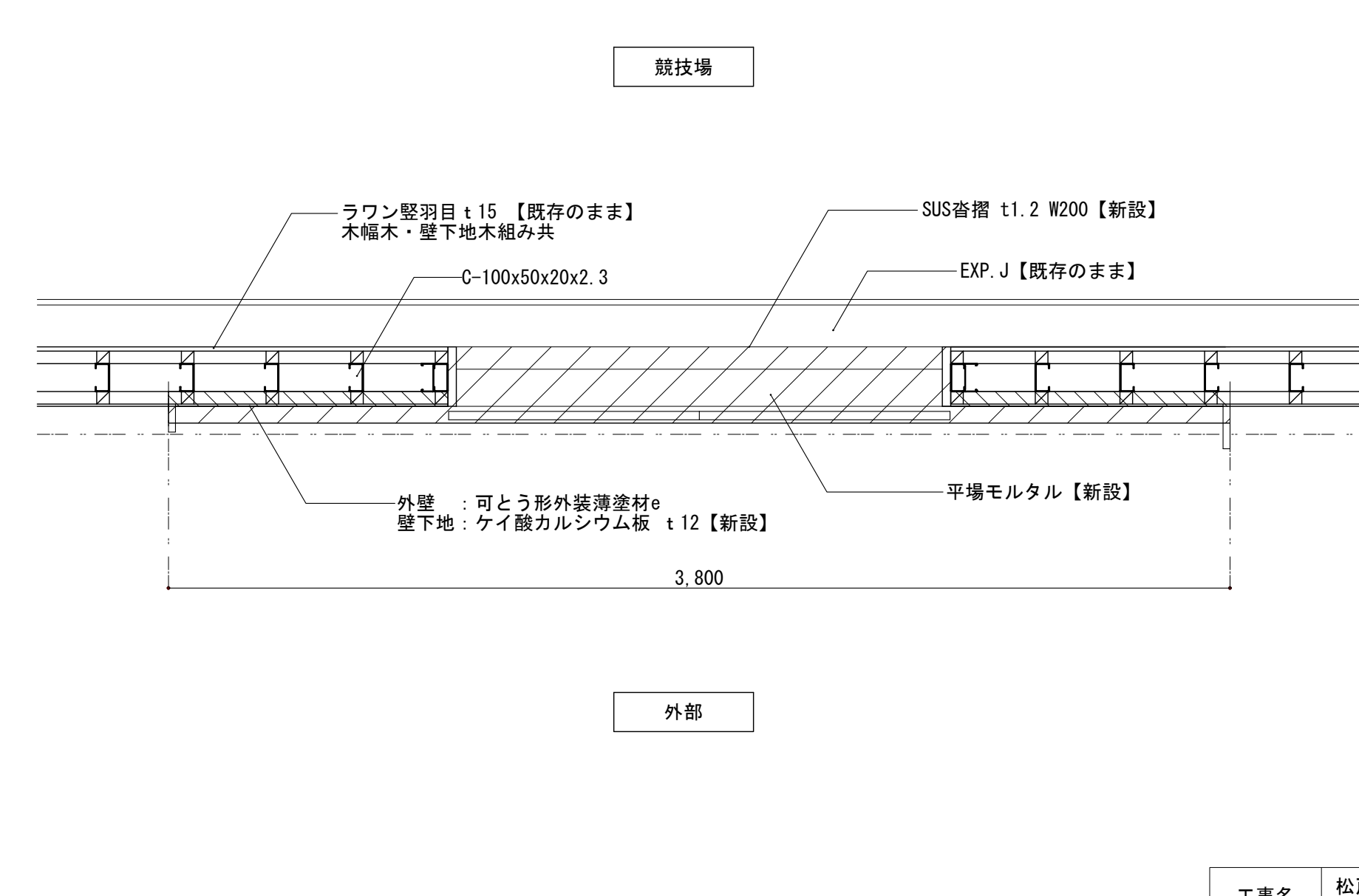
建具名	遮熱フィルム新設面積	外貼	計
4 AW	3.0m×1.8m×30枚=162㎡		

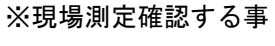
フィルム新設範囲を示す

建具名	割れガラス新設面積	計
4 AW	0.9m×0.9m×5枚=4.05㎡	
4 AW	0.9m×1.0m×1枚=0.9㎡	

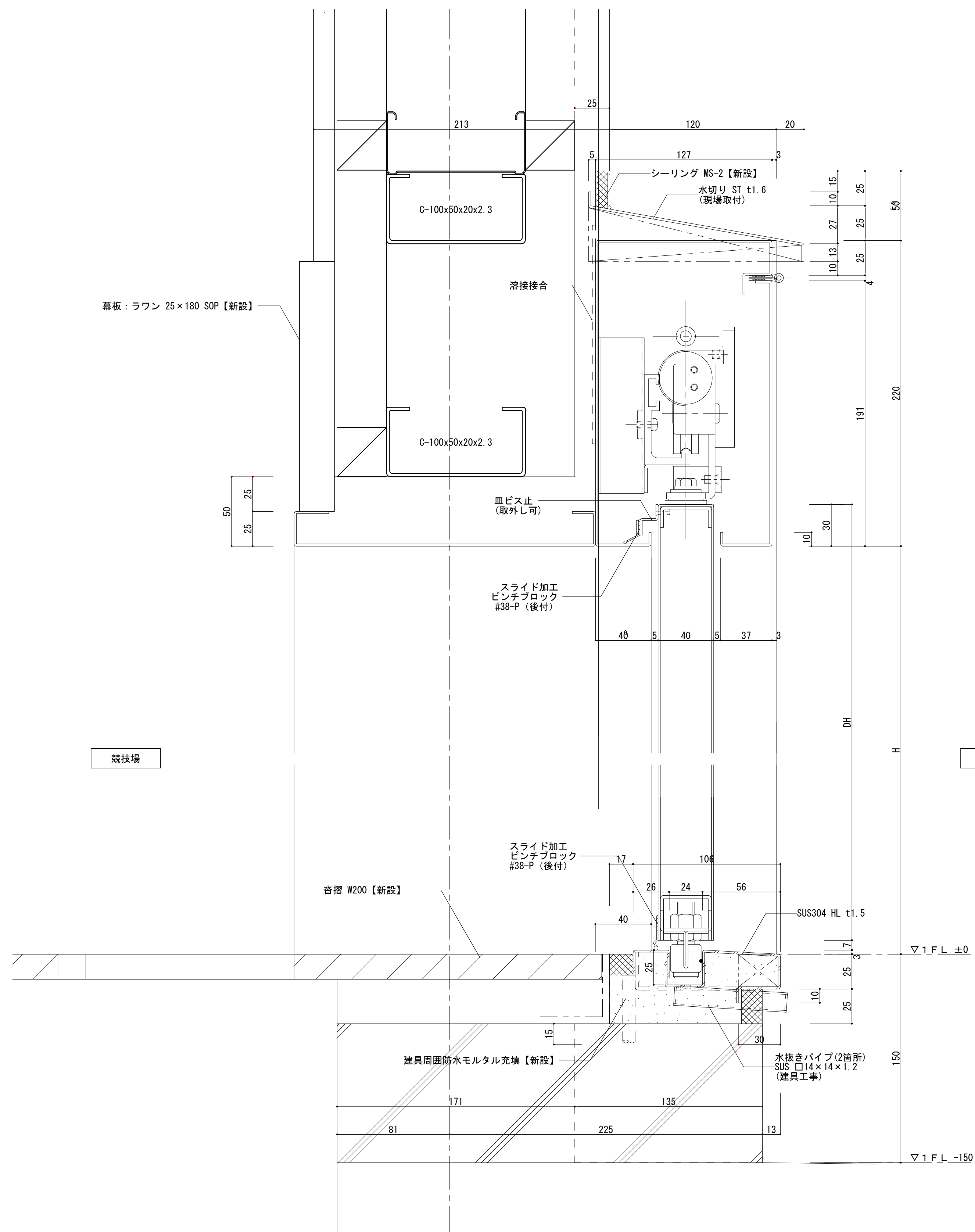
※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立ハケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修後]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・数量	1 SD × 4箇所【撤去】	1 SD × 4箇所【新設】
姿図・寸法		
使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き違い戸	2枚引き違いハンガー戸
材質・仕上	特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊垂鉛メッキ鋼板
ガラス	-	-
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		
平面図	 凡例 カッター入れ 建具撤去範囲を示す 壁撤去範囲を示す	 【改修後】平面図 1/20

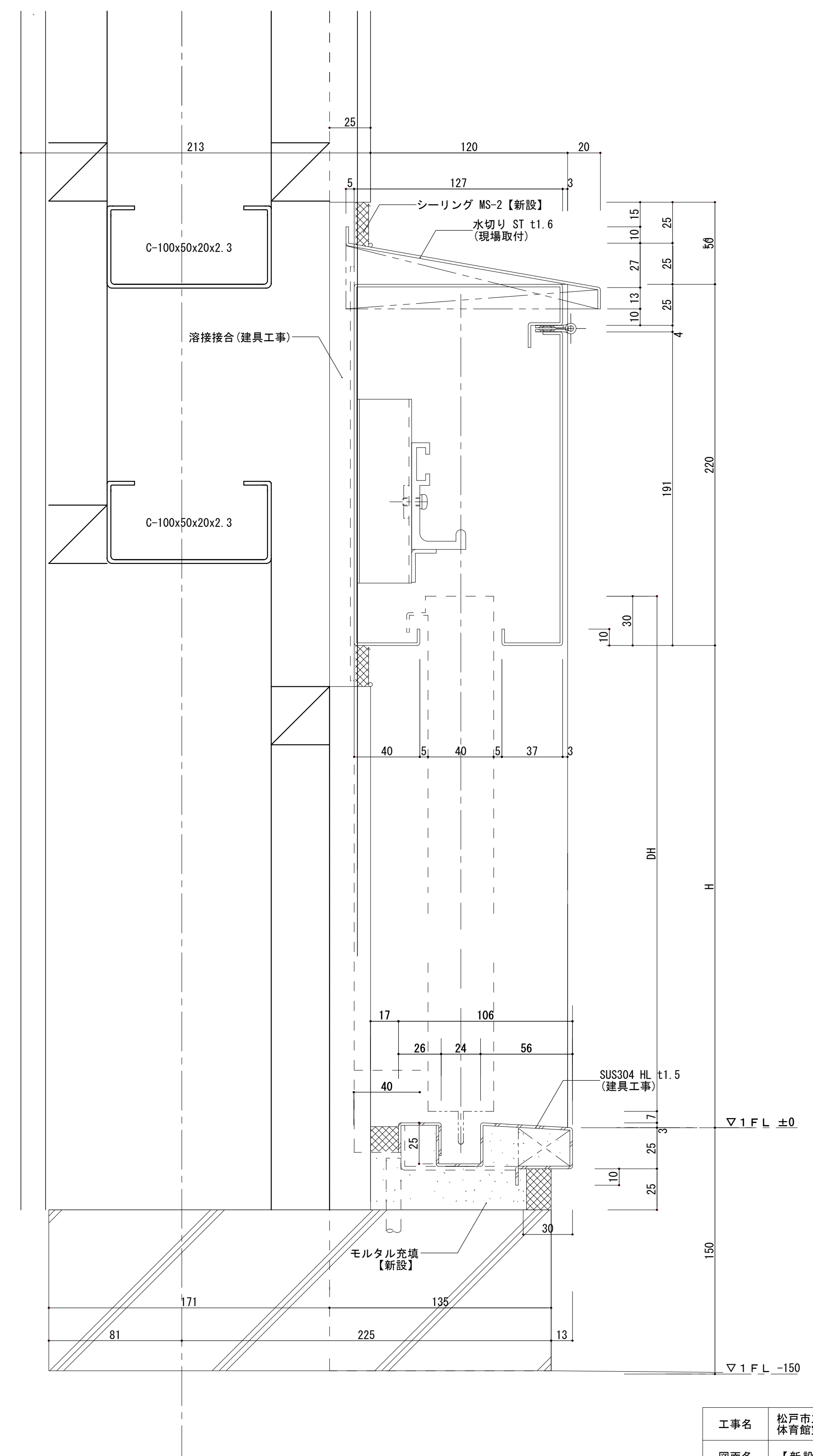


工事名	松戸市立八ヶ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第 272498号 松戸市 街づくり部 建築保全課		



A-A' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

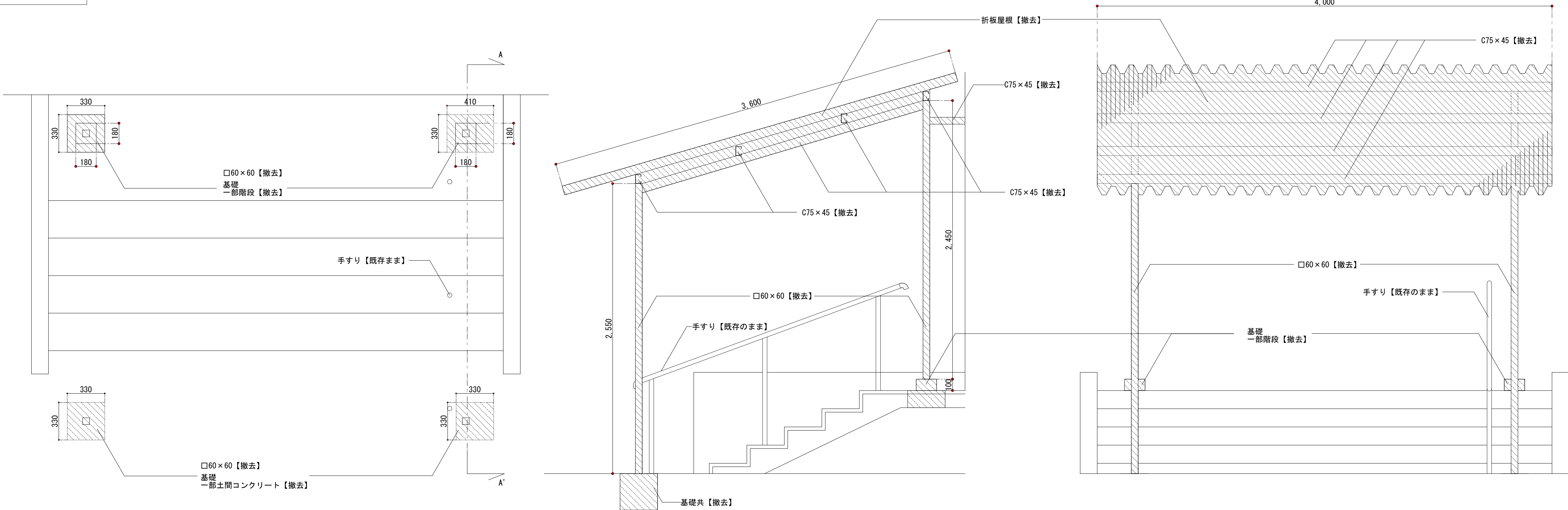


B-B' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立八ヶ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 2 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2306-2686 号 山岡 治 一級建築士大臣登録第 272498 号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

改修前



出入り口屋根平面図 1/20

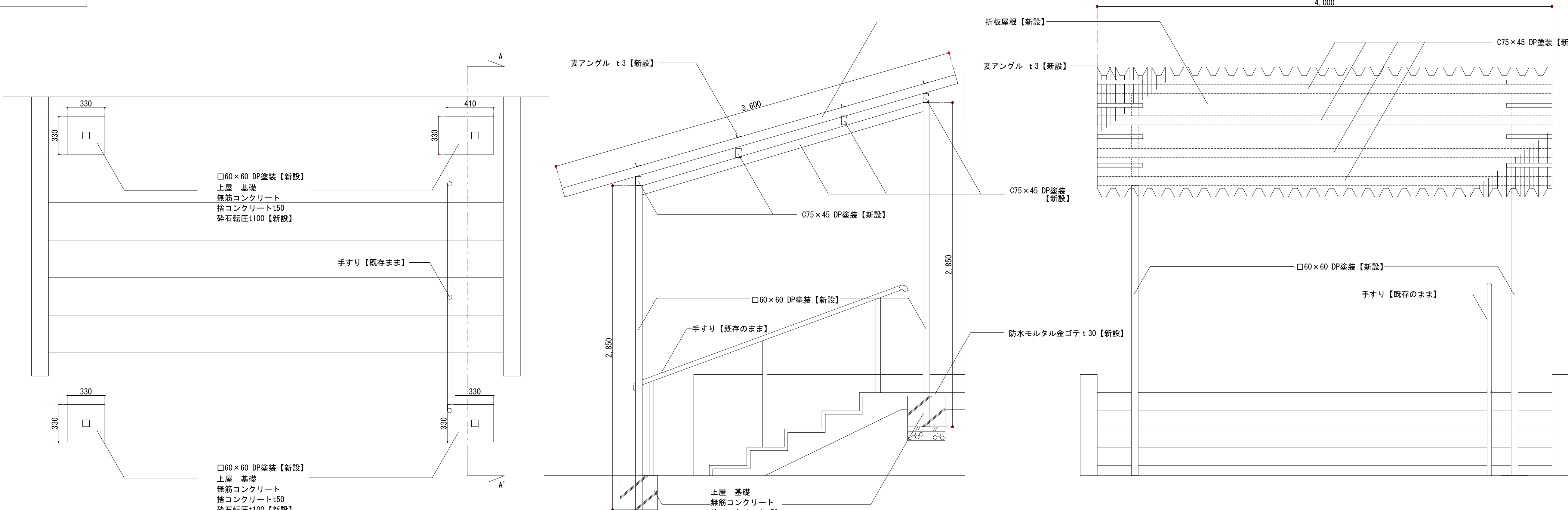
出入り口屋根A-A' 断面図 1/20

出入り口屋根正面立面図 1/20

撤去リスト (1箇所あたり)		撤去箇所2箇所
種類	サイズ	数量
C75×45	L=2450	4本
C75×45	L=4000	4本
□60×60	L=2450	4本
ブレース 10Φ	L=4200	2本
折板屋根	3600×4000	1枚
基礎	180×180×100	2箇所

<凡例>	
	撤去範囲

改修後



出入り口屋根平面図 1/20

出入り口屋根A-A' 断面図 1/20

出入り口屋根正面立面図 1/20

新設リスト (1箇所あたり)		新設箇所2箇所
種類	サイズ	数量
C75×45	L=2450	4本
C75×45	L=4000	4本
□60×60	L=2850	4本
ブレース 10Φ	L=4200	2本
折板屋根	3600×4000	1枚
基礎	姿図参照	4箇所
妻アングル t3	35×35×650	8箇所

※鋼製建具のメンテナンススペースを確保する事

工事名	松戸市立ハケ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修前・改修後】出入り口屋根詳細図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-12
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

仮設凡例

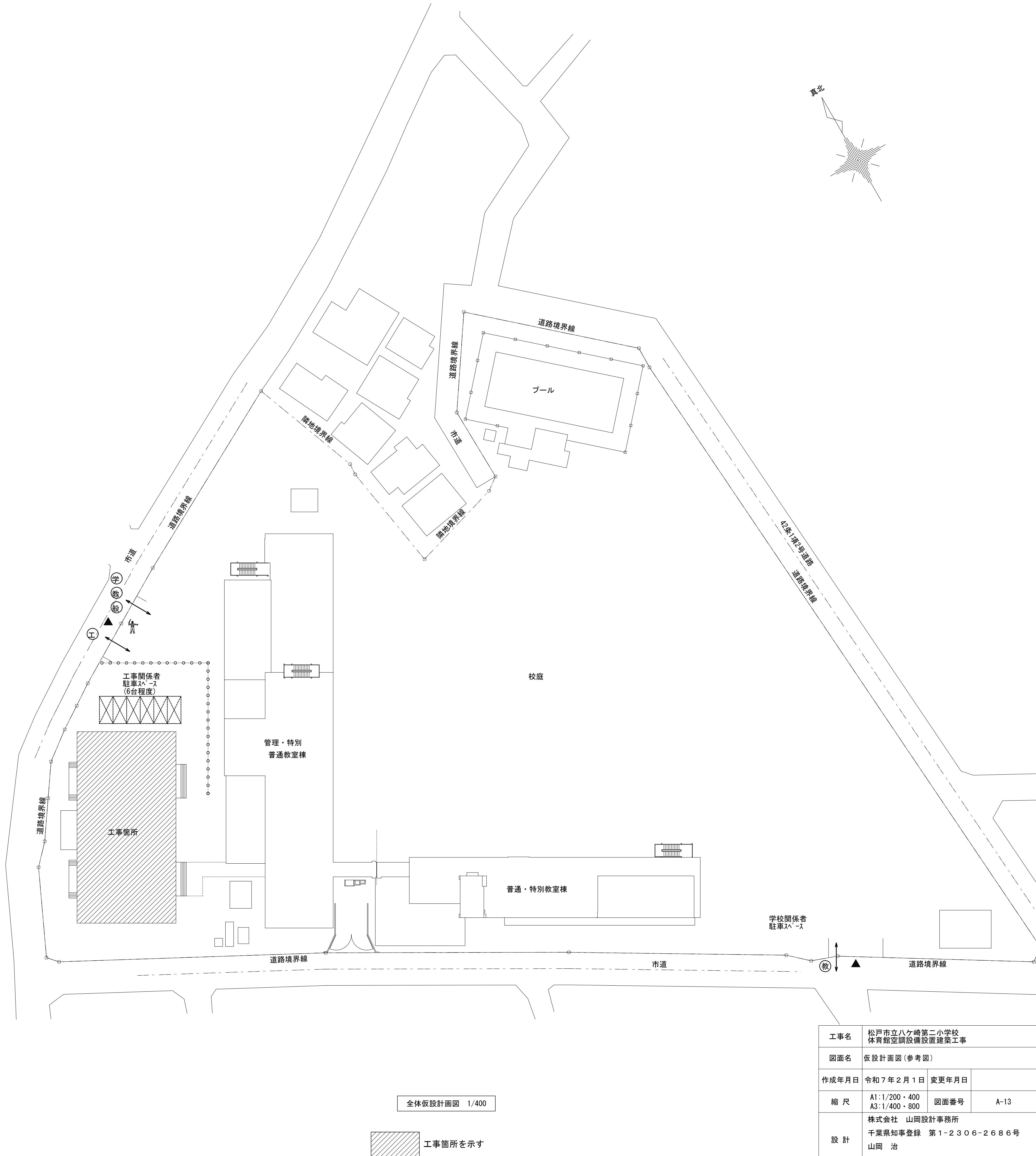
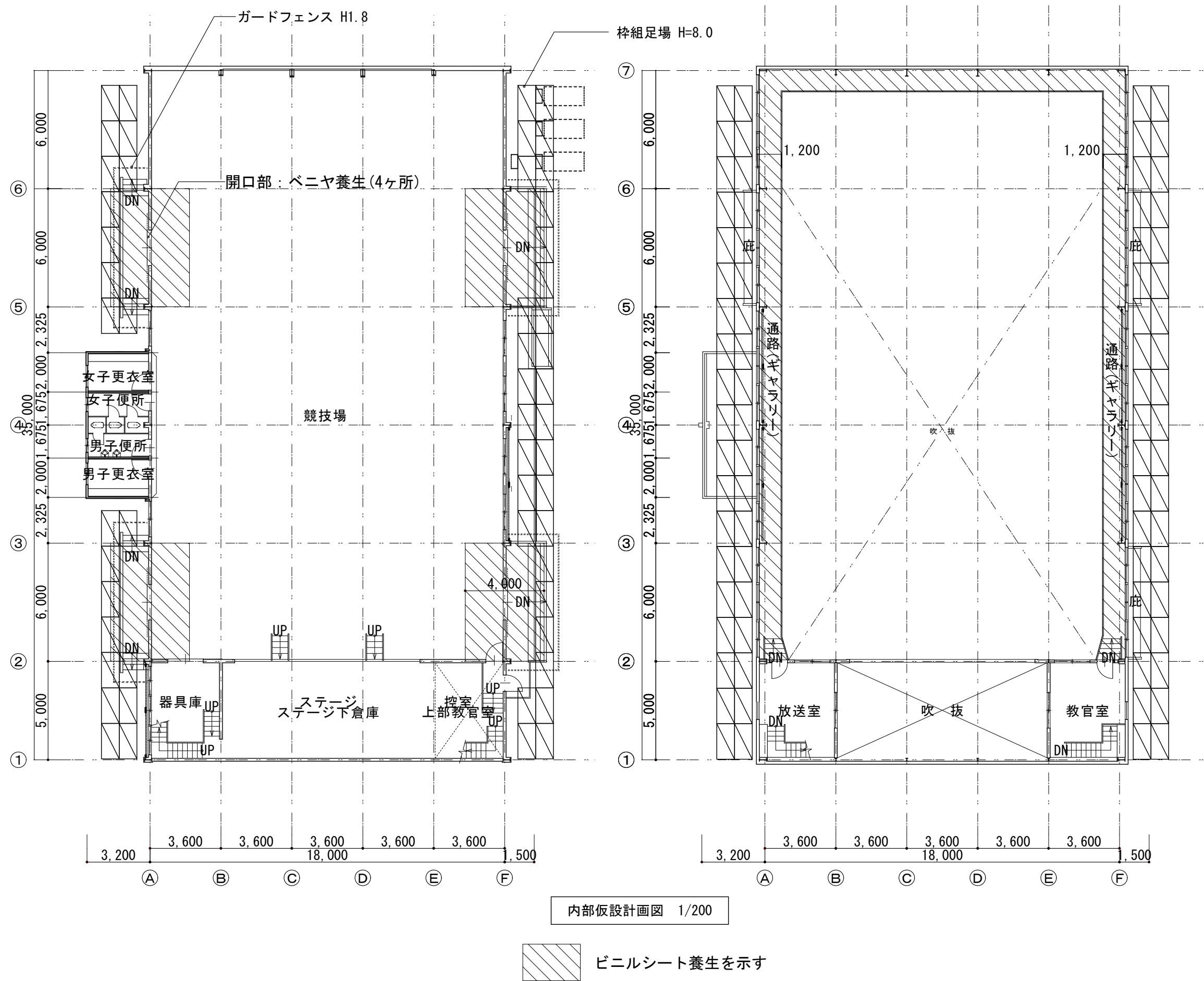
- 敷鉄板 t=22 1.5m×6.0 80枚 1.5m×3.0
- 枠組足場：ネット養生シート(防災1類) W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート(防災1類) W=914
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 40m
- 工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す (学) 生徒・学校関係者を示す
- (教) 教員車両を示す
- (般) 一般車両を示す (工) 工事車両を示す

＜全体仮設計画＞

- 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・パー）を設置する
- 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
- 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
- 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
- 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

- 本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- 仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



工事名	松戸市立八ヶ崎第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計計画(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200・400 A3:1/400・800	図面番号	A-13
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立六実第二小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】銅製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】銅製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	【改修前・改修後】出入口屋根詳細図	1/40
A-13	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		工事設計図		令和6年1月31日	
仕 様 書		章 項 目		特 記 事 項	
I 工事概要		①一般共通事項	① 運用基準等	○ 松戸市建築工事に関する提出書類 ○ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ○ 松戸市建築工事現場表示板仕様	
1. 工事場所			② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※ 適用する	
2. 敷地面積			③ 施工計画書	○ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 ○ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ○ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○ 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。	
3. 改修建物概要			4 電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1. 3. 3] 電気工作物の保安の業務を行うものとする。	
用 途：小学校(体育館) 構 造：S造 階 数：地上2階 建築面積： 延べ面積：636㎡ 最高高さ：9.30m（軒高さ：7.50m）			⑤ 施工条件	※ 現場説明書による	
4. 工事内容			⑥ 発生材の処理等	※ 現場説明書による ○ 場外搬出適正処理	
			⑦ 材料の品質等	[1. 4. 2]	
工事種目			工事範囲		
2 仮設工事			仮囲い・資材置場		
3 防水改修工事			シーリング充填		
4 外壁改修工事		-			
5 建具改修工事		外部建具の新設(外壁含む)、フィルム新設			
6 内装改修工事		-			
7 塗装改修工事		-			
8 耐震改修工事		-			
9 環境配慮改修工事		-			
10 その他					
II 建築工事仕様					
1. 共通仕様					
(1) 図面及び特記仕様に記載されない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和4年版)」(以下、「改修様仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編）(令和4年版)」(以下「様仕」という)による。					
2. 特記仕様					
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は共に適用する。 (3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修様仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、様仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ㊦印は「図等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。					
松戸市建築工事現場表示板仕様					
工事名称 発注者 設計 監理 施工建築 電気機械 緊急連絡先 松戸市 文字(白) 下地(青) ライン(白) 1800 900 (1) 材料 1) 耐力合板(ラワン厚み12mm S0P仕上げ) 2) 枠及び棟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。 (2) 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。					
章 項 目		特 記 事 項	[1. 6. 2]		
⑨ 特別な材料の工法		標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。			
⑩ 技能士		[1. 6. 2]			
適用工事種別		技能検定の職種			
鉄筋工事		・鉄筋施工(鉄筋組立作業)			
コンクリート工事		・型枠施工 ・コンクリート圧送			
鉄骨工事		・とび			
ブロック・ALCパネル工事		・ブロック建築 ・ALCパネル施工			
防水工事		・7mm防水防水工事業 ・合成ゴムシート防水工事業 ・ウレタン系塗装防水工事業 ・シーリング防水工事業			
石工事		・石材施工(石張り施工)			
タイル工事		・タイル張り			
木工事		○ 建築大工			
屋根及びとい工事		・建築板金(内外装板金作業)			
金属工事		・内装仕上げ施工(鋼製下地工事業)			
左官工事		・左官			
建具工事		○ ガサ施工 ・ ガラス施工 ・ 自動ドア施工			
カーテンウォール工事		・カーテンウォール施工 ・ ガサ施工 ・ ガラス施工			
塗装工事		○ 塗装(建築塗装作業)			
内装工事		・プラスチック系床仕上げ工事業 ・ボード仕上げ工事業 ・ 表装(壁装作業)			
植栽工事		・造園			
11 化学物質の濃度測定		[1. 6. 9]			
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・ 行う 測定対象室 ・ 体育館 測定箇所数 ・ 1箇所					
⑫ 完成図等		※作成する ・ 作成しない [1. 8. 1～3][表1. 8. 1] ※完成図 提出部数 ※現場製本図 3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R)) ・黒 金文字製本図 1部 ・施工図 提出部数 ※ 部			
13 完成写真		⑬ 完成写真			
下記のことを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 撮影部数 原版の大きさ(mm) ・カラー ※キャビネ版 外部() 内部() ※1 ・6 ※100×125以上 ・ベタ焼き (他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) ※カラー半切木製パネル 324×400(mm) 外部() 内部() ※2 ・電子データ 外部() 内部() ※2 ※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめベタ焼きを提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)		⑭ 設備工事との取合い			
⑮ 設計GL		※図示 ・設計GL＝現状GL			
⑯ 工事写真		※着工前、完成及び立会写真2部 工事工程写真1部			
⑰ ワンデーレスボンスの実施		ワンデーレスボンスの取り組みについて 1. この工事はワンデーレスボンス実施対象工事である。 「ワンデーレスボンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。 3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。 ※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。			
⑱ 火災保険等		⑲ 火災保険等			
① 足場その他		内部足場 種別 ※脚立、足場板 ・棚足場 [2. 2. 1] 外部足場 手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。 [2. 2. 1][表2. 2. 1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。材料、撤去材等の運搬方法 [2. 2. 1][表2. 2. 1] ・A種 ※B種 ・C種 ○D種 ・E種 ・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。			
② 養生		既存部分の養生 ※ビニールシート ・合板 厚12 [2. 3. 1] 既存家具等の養生 ※ビニールシート ・ 固定家具等の養生 ※行う ・行わない			
3 仮設間仕切り		仮設間仕切り等の種別 [2. 3. 2][表2. 3. 1] 種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 充てん材 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0 ・ラワン) ※無し ・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※12.5 ・) 厚さ mm ・片面 ・C種 ・単管下地 防炎シート ・仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し ・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・有り			
4 監督職員事務所		規模及び仕上げの程度は現場説明書による。 [2. 4. 1]			
⑤ 工事用水		構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる※有償 ・無償 [2. 4. 1] ※子メータを設置する。			
⑥ 工事電力		構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる※有償 ・無償 [2. 4. 1]			
7 防音パネル		※アルミ製(解体作業期間)			
8 仮門		・キャストゲート W= 4.0 m、H= 1.8 m、 1箇所			
⑨ 仮囲い		○ガードフェンス H= 1.8 m 図示 ※成型鋼板 H= 2.0 m、L= m、 箇所			
10 仮設道路		・砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m (砕石は、再生クラッシュランを使用) ・鋼板敷(厚さ mm 幅 mm L= m) 枚			
③ 1 アスファルト防水		[3. 3. 2][表3. 1. 1][表3. 3. 3～10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 保 ※PIB ※B-1 ※B-2 護 ・PIB1 ・TIB1 ・BI-1 ※BI-2 防 ・P2AI ・AI-1 ※AI-2 水 ※P2A ・A-1 ※A-2 露出 ・MAC ・C-1 ※C-2 防水 ・M3D ・POD ・D-1 ※D-2 屋内 ・PIE ・P2E ・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)			
アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3. 2. 2][3. 3. 2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ・普通コンクリート(18N? S=18mm) [3. 3. 2][8. 11. 1] (溶接金網 径6mm 100mm×100mm敷設)		P0D工法の二重ドレン ※設けない ・設ける [3. 2. 5] M3D、POD工法の脱気装置 ※設けない 設ける [3. 3. 3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・除去する [3. 2. 6] 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・ ただし、特定フロンを含まないもの。 [3. 3. 2]			
2 改質アスファルトシート防水		[3. 4. 2][表3. 1. 1][表3. 4. 1～3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 厚さ(mm) ・M4AS工法 ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3 ・M3AS工法 ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6 ・POAS工法 ・M3ASI工法 ・ASI-1 ・ASI-2 ・M4ASI工法 ・POASI工法 脱気装置 ※設けない ・設ける			
3 合成高分子系ルーフィングシート防水		[3. 5. 2][表3. 1. 1][表3. 5. 1～3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 仕上げ塗料等 使用分類 ・POS工法 ・S-F1 ・S-M1 ・カラー ※非歩行 ・S4S工法 ・S-F2 ・S-M2 ・シルバー ・軽歩行 ・S3S工法 ・M4S工法 ・S-M1 ・S-M2 ・POS1工法 ・S3S1工法 ・S1-F1 ・S1-M1 ・S4S1工法 ・S1-F2 ・S1-M2 ・M4S1工法 ・S1-M3 脱気装置 ※設けない ・設ける [3. 5. 3] 目地処理 PCコンクリート [3. 5. 4]			
4 塗膜防水		[3. 6. 2～4][表3. 1. 1][表3. 6. 1] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 ・POX工法 屋根 新規防水層の種類 ・L4X工法 屋根 ・X-1(絶縁工法) ・X-2(密着工法) 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合) ・活膜を残す [3. 2. 6] 脱気装置 ※設けない ・設ける [3. 6. 3]			
5 脱気装置		[3. 3. 2][3. 4. 2][3. 5. 2][3. 6. 2][表3. 1. 1] 種 類 材 質 設置数量 ・平面部脱気型 ・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・約60㎡当たり1箇所 ・ステンレス ・錫鉄 ・立上り部脱気型 ・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・()㎡当たり1箇所 ・ステンレス ・銅			
⑥ シーリング		シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4] [表3. 1. 2] ○シーリング充填 ・シーリング再充填工法 ・シーリング打替え ・抵幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3. 7. 2] [表3. 7. 1] ※下表以外は改修仕様表3. 7. 1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) ・打ち継ぎ目地、伸縮目地 ・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり) ・ステンレス ○建具廻り、金属取合い ○変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし) ・タイル目地 ・ポリサルファイド系(PS-2)			
7 とい		といの材質 [3. 8. 2] [表3. 8. 1] ・配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) ⑩ 鋼管製といの防露 [3. 8. 2] [表3. 8. 3] ・次の箇所は行わない() 防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 掃 除 ロ ※有り ・無し ・ たてどい受金物の取付け [3. 8. 3] ・ 図示			
8 アルミニウム製笠木		[3. 9. 2～3] [表3. 9. 1] 種 類 呼称肉厚(mm) 製品幅(mm) 固定間隔 備 考 ・250形 ※1.6以上 ・240 ・250 固定方法及び間隔は品質計画で 隅角部及び突き当たり部等の ・300形 ※1.8以上 ※300 隔は品質計画で 役物は本体製造所の仕様による。 ・350形 ※2.0以上 ※350 定めたもの 板材折曲げ形の取付工法 ・図示 [3. 9. 3] (13. 3. 2～3) 形 式 ※重ね形 ・はせ縫め形 ・ 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚 ・0.6 ※0.8 材 料 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (規格等) (GLCGR-20-AZ150) 軒先面戸板 ※有り ・無し 断 熱 材 ・有り(種別) 厚さ: (mm) ※無し 耐火性能 ・30分耐火 ※無し			
⑨ 折板葺		[3. 9. 2～3] [表3. 9. 1] 種 類 呼称肉厚(mm) 製品幅(mm) 固定間隔 備 考 ・250形 ※1.6以上 ・240 ・250 固定方法及び間隔は品質計画で 隅角部及び突き当たり部等の ・300形 ※1.8以上 ※300 隔は品質計画で 役物は本体製造所の仕様による。 ・350形 ※2.0以上 ※350 定めたもの 板材折曲げ形の取付工法 ・図示 [3. 9. 3] (13. 3. 2～3) 形 式 ※重ね形 ・はせ縫め形 ・ 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚 ・0.6 ※0.8 材 料 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (規格等) (GLCGR-20-AZ150) 軒先面戸板 ※有り ・無し 断 熱 材 ・有り(種別) 厚さ: (mm) ※無し 耐火性能 ・30分耐火 ※無し			
4 外壁改修工事		1 施工数量調査 [1. 5. 2] 調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上裏含む) ・図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはげれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部			
共通事項		[1. 5. 2] 調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上裏含む) ・図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはげれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部			
工事名		松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事			
図面名		特記仕様書（1）			
作成年月日		令和7年2月1日 変更年月日			
縮 尺		No Scale 図面番号 A-01			
設 計		株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号			
松戸市 街づくり部 建築保全課		松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																											
4 外 壁 改 修 工 事 共 通 事 項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル<table><tr><td>保水率 (%)</td><td>単位容積質量 (kg/ l)</td><td colspan="2">接着強さ (N/?)</td><td>長さ変化率 (%)</td><td>曲げ強さ (N/?)</td></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以上</td><td>4.0以上</td></tr></table> ・ バテ状エポキシ樹脂<table><tr><td>初期硬化性(標準)</td><td>接着強さ(標準)</td><td>圧縮強さ</td><td>曲げ強さ</td><td>硬化収縮率</td></tr><tr><td>2.0N/?以上</td><td>6.0N/?以上</td><td>50.0N/?以上</td><td>30.0N/?以上</td><td>3.0(%)以上</td></tr></table>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ 可とう性エポキシ樹脂<table><tr><td>性能</td><td>常温物性</td><td>低温性</td><td>加熱変化</td><td>引張接着性</td></tr><tr><td>引張強さ</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>最大引張応力 1.0N/?以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr></table>比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ タイル部分張替え工法用材料<table><tr><td>接着強さ</td><td>標準</td><td>低温硬化</td><td>アルカリ温水</td><td>冷熱水中繰返し</td><td>熱劣化</td></tr><tr><td>強度 (N/?)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率 (%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></table>皮膜特性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ (N/?) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 伸び (%) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 6548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/㎡でも安定していること。 a. 外壁は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものではないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. すれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル<table><tr><td>接着強さ</td><td>圧縮強さ</td><td>曲げ強さ</td></tr><tr><td>1.0N/?以上</td><td>20.0N/?以上</td><td>10.0N/?以上</td></tr></table>a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレンー酢ビ系等<table><tr><td>曲げ強さ (N/?)</td><td>圧縮強さ (N/?)</td><td>標準時 (N/?)</td><td>湿潤時 (N/?)</td><td>低温時 (N/?)</td></tr><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table>表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー<table><tr><td>広がり速度 (cm/s)</td><td>長さ変化率 (収縮)</td><td>引張接着性 (材齢28日)</td><td>曲げ性能 (材齢28日)</td><td>吸水性 (72時間)</td><td>耐久性 (劣化曲げ強さ)</td></tr><tr><td>3以上</td><td>3.0%以下</td><td>0.5N/?</td><td>5.0N/?</td><td>15%以下</td><td>6.0N/?</td></tr></table>保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・ 吸水調整材<table><tr><td>項目</td><td>全固形分 (%)</td><td>吸水性 (g)</td><td>接着強度 (N/?)</td><td>界面破壊率 (%)</td></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr></table>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力 1.0N/?以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上	接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化	強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上	曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?	項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下	4-2 外 壁 改 修 工 事 モ ル タ ル 塗 り 仕 上 げ 外 壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う(※監督職員の指示による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 注入工法の種類 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)。 ・ バテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 既存塗りを仕上げる際の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・ 監督職員の指示による) 3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.4.8～9] 改修工法の種類 材 料 品質・規格等 ・ 充填工法 エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル張替え工法 改修標仕4.2.2(7)による 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部：5本/㎡ ※狭幅部：5本/㎡ ※25ml ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※25ml ・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。 ・ 樹脂モルタル T3 4-3 外壁改修工事 1 既存タイル張りの撤去 [4.5.2] 2 ひび割れ部改修工法 改修箇所 ※既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面(・ コンクリート面 ・ モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.5] ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。 ・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修標仕4.5.1による ・ 図示	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部：5本/㎡ ※狭幅部：5本/㎡ ※25ml ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※25ml ・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。 5 目地改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・ 伸縮目地改修工法 [4.1.4][4.5.16] シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1] 種類 ※改修標仕3.7.1による 6 陶磁器タイル張り タイルの種類 [4.2.2][4.5.7～8] 施工箇所 形状寸法 磁器 せつ器 陶器 施ゆう 無ゆう あり なし 標準 特注 再生材の適用 備考 外壁 小口二丁掛け 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、厚膜)の役物は一体成形とする。 タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う 壁タイル張りの工法 [4.5.7～8][表4.5.4] 外装タイル ・ 密着張り ・ マスク張り タイルの試験張り ※行わない ・ 行う	4-4 外壁改修工事 1 既存塗装等の撤去及び下地処理 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工 法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※補強範囲 図示 ・ ひび割れ部改修工法 ※高圧水洗工法 ※塗替え範囲 図示 ・ 浮き部改修工法 加圧力 ※12MPa程度 ・ 欠損部改修工法 ・ 塗膜はく離工法 ※既存仕上面全体 ・ 水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 塗装はく離剤 [4.2.2] ※下地調整材O-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面) 種類、仕上げる形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種 類 呼び名 仕上げる形状 ・ 薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状・さざ波状 ・ ゆず肌状・さざ波状・凸凹状 ・ 砂壁状 ・ 複層仕上塗材 ・ 複層塗材CE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS ・ 可とう形改修用仕上塗材 ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE ・ 可とう形改修塗材CE ・ 可とう形改修塗材CE 耐火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・ コンクリート打放し保護仕上塗材 ※エスケー化研 セラミクリートTR-Si同等とする ・ トップコート 下地調整塗材：シーラー(JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材) 使用箇所：屋上笠木、庇上等 JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材 5 建具改修工事 1 改修工法の適用 [5.1.3] 種 類 かぶせ工法 撤去工法 備 考 ・ アルミニウム製建具 ・ 有り ・ 有り ・ 鋼製建具 〇外部 ・ 有り ・ 有り 建具表参照 内部 ・ 鋼製軽量建具 建具表参照 ・ ステンレス製建具 ・ 自動ドア開閉装置 ・ 重量シャッター ・ 特殊な建具の仮組(建具符号：) [5.1.5] 2 見本の製作等 3 アルミ製建具 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・ A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ・ 図示 ・ B種 S-5 ・ ・ 100 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100	4 網 戸 ⑤鋼製建具 6 鋼製軽量建具 7 ステンレス製建具 8 自動ドア開閉装置 9 自閉式上吊り引戸装置 10 木製建具 ⑪ 建具用金物 12 ガラス 13 ガラス留め材及び溝 ⑭ ガラス用フィルム 15 重量シャッター 16 軽量シャッター	表面処理 [5.2.4][表5.2.2] ・ BA-1種 ・ BA-2種(※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) 屋内建具 表面処理 ※AC-1種又はBC-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・ AG-2種又はBC-2種(※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・ 外部可動式 ※図定式 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.4.4] 特定防火設備戸 ・ 適用する ○建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2] ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鍍面仕上げ [5.6.5] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.1.4] 防火戸 ・ 適用する ※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.8.2～4][表5.8.1～5] 開閉方法 検出装置の種類 ※引き戸 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 多機能トイレ出入口引き戸 ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ ・ 凍結防止装置(適用箇所は建具表による) 品質規格 ※改修標仕5.9.3による。 [5.9.3][表5.9.1] ・ 製造所標準仕様による。 ※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち() 銀板() (16.7.2)(表16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はバニル程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・ 鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※☆☆☆ ・ 非ホルムアルデヒド系接着剤 マスターキー ・ 製作する ※製作しない [5.7.4] 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシリンドラー錠(ドアハンドル)とする。 なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・ 丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ ビボットヒンジ ○建具表による ※建具表による [5.13.2] ・ ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.13.5] 寸法(mm) 色 顔 パターン 防火認定 ※クリア ・ 熱線反射 ※無し ・ 乳白 ・ カラー() ・ 有り ガラス留め材 [5.13.2～3] 建具の種類 種 類 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ○耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材) 名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止率 D1 ・ 目かくしフィルム ○遮熱フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止性能あり 品質JIS A 5759による 仕様一覧 建具参照 シャッターの種類 [5.10.2][表5.10.1] ・ 一般重量シャッター 耐風圧性能()N/㎡ ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧性能()N/㎡ ・ 屋内用防火シャッター ・ 屋内用防煙シャッター 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない [5.10.2] 開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロックング形 ・ オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.10.2] 耐風圧性能()N/㎡
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)																																																																																																	
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上																																																																																																	
初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																																																		
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上																																																																																																		
性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																		
引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力 1.0N/?以上																																																																																																		
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																		
接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化																																																																																																	
強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																	
凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																	
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																																																				
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上																																																																																																				
曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)																																																																																																		
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																		
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																	
3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?																																																																																																	
項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)																																																																																																		
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																		
4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 2 欠損部改修工法(鉄筋爆製補修含む) [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル 3 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.10] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木・バラベツ天端部分) ・ 樹脂モルタル T3 4 巾木モルタル塗	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。 ・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修標仕4.5.1による ・ 図示	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。 ・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修標仕4.5.1による ・ 図示	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 2 欠損部改修工法(鉄筋爆製補修含む) [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル 3 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.10] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木・バラベツ天端部分) ・ 樹脂モルタル T3 4 巾木モルタル塗	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7] 接着剤の種類 品質・規格等 ※ポリマーセメントモルタル ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。 ・ タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.5.8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1] 位置 ※改修標仕4.5.1による ・ 図示	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 2 欠損部改修工法(鉄筋爆製補修含む) [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル 3 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.10] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木・バラベツ天端部分) ・ 樹脂モルタル T3 4 巾木モルタル塗	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 2 欠損部改修工法(鉄筋爆製補修含む) [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル 3 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.10] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木・バラベツ天端部分) ・ 樹脂モルタル T3 4 巾木モルタル塗	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 2 欠損部改修工法(鉄筋爆製補修含む) [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル 3 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.10] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル笠木・バラベツ天端部分) ・ 樹脂モルタル T3 4 巾木モルタル塗	4-1 外壁改修工事 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4] 樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※製造所の仕様による 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] ・ バテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 2 欠損部改修工法(鉄筋爆製補修含む) [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ 充填工																																																																																														

章

5

17

建具改修工事

項目

オーバーヘッド
ドア

特記事項

項目

18

かぎ箱

特記事項

項目

⑥

内装改修工事

項目

①

改修範囲

特記事項

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲
ビニル床シート等の除去
・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て)
カラーフロアの撤去
・機械的除去工法
・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲
・改修箇所内

項目

③

既存壁の撤去並びに下地補修

特記事項

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
○図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強※行う・行わない)

項目

4

木下地等
(AP-1、2)

特記事項

木材の品質 図示
※改修標準仕様書6.5.2による・市販品
代用樹種 ※改修標準仕様6.5.4による
・代用樹種を適用しない箇所()
保存処理木材を適用する箇所()

項目

5

集成材等⑥
(縦線等)

特記事項

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧標準の樹種
※集成材	※一般材	・米桐・なら・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種・3種	・	
・造作用集成材	※1等・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

6

接着剤

特記事項

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

項目

7

防霉、防蟻処理

特記事項

行う箇所()
防霉処理 ※行う(※図示)
防蟻処理 ・行う(※図示)
防霉、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保材用(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

項目

8

床板張り

特記事項

フローリング及び縁甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10]
※無し
下張り用床板
・有リ ※合板 t12mm
・パーティクルボード t15mm
床板
※単層フローリング
(共仕9.19.5.2による)
※F☆☆☆☆・
・縁甲板 ※ひきの

項目

⑨

軽量鉄骨天井下地
(縦線等)

特記事項

野縁等の種類
屋外(※19形 ※25形) 屋内(※19形・25形 ※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート ・使用する(※使用しない)
あと施工アンカーの確認試験 ・行う ※行わない
・図示
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

項目

10

軽量鉄骨壁下地

特記事項

項目

11

ビニル床シート張り

特記事項

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC	※無地・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの	※納物・無地	・	
・防滑性ビニル床シート	・NF・NC	・納物・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法 ※熱溶接工法・突付け(施工箇所:)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

12

ビニル床タイル張り

特記事項

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	QT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	QTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

13

帯電防止床タイル張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2	・体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	・1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、 漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		・1.0×10 ¹⁰ Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

14

視覚障害者用床タイル
(誘導用及び注意喚起用床材)

特記事項

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内 ※塩化ビニル製・磁器又は石器質タイル(※300・)
・レンジョコンクリート製
屋外 ※レンジョコンクリート製・磁器又は石器質タイル(※300・)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

15

ビニル幅木

特記事項

高さ (mm) ・60 ・75 ・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

16

合成樹脂塗床

特記事項

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのエベ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのエベ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆・

項目

17

フローリング張り

特記事項

種類	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大芯積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・フナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・フナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

18

畳敷き

特記事項

下地の種類	畳の種類
改修標準仕様表6.5.10による床組	※B種・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種・

項目

19

ポリスチレン
フォーム床下地材

特記事項

畳下地	厚さ(mm)	※40・65・80
フローリング類	厚さ(mm)	※80・95

項目

20

カーペット敷き

特記事項

・縦じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1~2]

種別	パイル系の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・羊毛系	人体帯電値 ※3kV以下	※無地	
・B種	・紡毛系		・納物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電値3kV以下・
・タフテッドカーペット(JIS L 4405) [6.9.2~3][表6.9.1~2]

パイル形状	パイル長(mm)	工法	備考
・カットパイル	※5~7	※全面接着工法	
・レベーループパイル	※4~6	・グリッパバー工法	
・カット、ループ併用	※4		

帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電値3kV以下(フリーアクセスフロア新設範囲)

種類	厚さ(mm)	規格
・硬質毛セメント板	⑥ 15・20・25	・
・普通毛セメント板	⑥ 15・20・25	・
・ケイ酸カルシウム板	・4・5・6・8・9・10・12	

項目

21

石膏ボードその他の
ボード張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	規格
・硬質毛セメント板	⑥ 15・20・25	・
・普通毛セメント板	⑥ 15・20・25	・
・ケイ酸カルシウム板	・4・5・6・8・9・10・12	

項目

22

吸音材

特記事項

種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25
※グラスウール吸音ボード32K	JIS A 6301	※25

項目

23

壁紙張り
(提示用クロス)

特記事項

壁紙の種類					防火性能	備考
施工箇所	紙	織機	プラ	その他		
		(織物)	(ビニル)	(化学繊維)		
					・不燃・準不燃・難燃	
					・不燃・準不燃・難燃	
					・不燃・準不燃・難燃	
					・不燃・準不燃・難燃	

項目

24

モルタル塗り

特記事項

吸水調整材 [6.15.3]

全面形状	吸水量(g)	接着強度(N/?)	界面破壊率(%)
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類 建築用モルタルに用いるセメント防水剤
混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水比
セメント質量の5% JIS R 5201の試験において 70%以上 95%以上 80%以上
以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内
膨張性のひび割れ及びそりがなくこと。
既製目地材 ※適用しない・適用する

項目

25

タイル張り

特記事項

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状寸法	きじ	うわぐすり	役物	色	再生材の適用⑥	備考
		磁器	石器	陶器	equal	equal	

・汚重タイル t6 10T0ハイドロセラ・フロアPU薄型同等品
役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き ※行わない・行う(※外装タイル・)
内装タイル ※内装タイル接着剤張り JIS A 5548 有機系接着剤
接着剤のホルムアルデヒド ※F☆☆☆☆・

項目

26

セルフペレング材塗り

特記事項

セルフペレング材の種類 [6.17.2][表6.17.1]

種類	フロー値(mm)	凝結時間(分)	終結時間(時間)	圧縮強度(N/?)	下地接着強度(N/?)	表面接着強度(N/?)	長さ変化(%)	衝撃(J)	壁備考
せつこう系	15以上	45以上	20以上	15以上	0.5以上	0.4以上	0.05以下	割れ及び剥がれ	
セメント系	19以上	45以上	20以上	20以上	0.7以上	0.5以上	0.12以下	ないこと	

試験方法：日本建築学会品質規準JASS 15 Ⅱ-103による。

項目

27

断熱材

特記事項

(19.9.2~3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 特定フロンを使用しないもの
・現場発泡断熱材	※3種b(スキン層付)	・接合部分	※25
	・断熱材補修部分	※断熱材一部	※25 特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級・2級

JIS A 9521に基づく発砲プラスチック
断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

項目

28

浴室天井材

特記事項

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	留意事項
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	・準不燃品	※200	・継ぎは継ぎきとし
	・アルマイト処理品		・100	製造所の標準品とする。
・硬質塩化ビニル	・塗装品		※300	
	・木目調		・100	

項目

29

フリーアクセスフロア

特記事項

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	通用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法・溝構法	・1.0 G・0.6 G	・3.000 G・5.000 G	・帯電防止床タイル	・タイルカーペット	
	・パネル構法・溝構法	・1.0 G・0.6 G	・3.000 G・5.000 G	・帯電防止床タイル	・タイルカーペット	
	・パネル構法・溝構法	・1.0 G・0.6 G	・3.000 G・5.000 G	・帯電防止床タイル	・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は各内装工事による。
スロープ及びヒョーダー ※製造所の標準仕様・図示
コンセント等の取付対応 ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20~30パーセント・
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り(※固定式・可変式・施工箇所は図示)

項目

30

可動間仕切

特記事項

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式		※鋼板	※メラミン樹脂又は	・有り	・有り
・スタッドパネル式		(※0.6・0.8)	アクリル樹脂焼付()	・無し	
・パネル式			・	・無し	

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

31

移動間仕切

特記事項

(20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式
・遮音タイプ(36db以上)		※鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は「23壁紙張り」による。

項目

32

トイレブース

特記事項

表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板 t40(アルミ製コーナーエッジ付き 指詰め防止) (20.2.5)
※巻器設置位置については下地補強を行うこと。
・特殊UV塗装硬質セメント板(標準色 アルミ製コーナーエッジ(ステンカラー)付き)
※アルミ製
※ステンレス製
※幅木タイプ(ステンレス製)・足金物タイプ
※防水型(ステンレス巻き)

項目

33

階段滑り止め

特記事項

(20.2.6)

材質	ステンレスSUS304
形状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り(・ステンレス製 ※ビニル製)・無し
幅(mm)	約35
取付工法	※接着工法・埋込工法

項目

34

手すり

特記事項

種類	施工箇所
※笠木受け：アルミ押出材 笠木：半硬質耐候変樹脂 二層成形φ40mm	図示による(機械設備)

項目

35

黒板及び
ホワイトボード

特記事項

(20.2.8)

種類	寸法(mm)	色彩	備考
・黒板	※焼付	※緑・黒	・平面 ・曲面
・ホワイトボード	※ほうろ	※白	・平面 ・曲面

項目

36

表示

特記事項

衝突防止表示 ・図示(市販品・ステンレス製 径約30mm・) (20.2.10)
(・両面・片面)
・無し
表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所 監督職員の承諾する製造所。

項目

37

ブラインド

特記事項

・既存再使用する(養生方法:) (2.3.11)[5.1.6]
・新設する (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※ギヤ式・コード式	※アルミニウム合金製	※25
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

項目

38

ロールスクリーン

特記事項

防炎性能 ※有り
製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する (20.2.13)

施工箇所	装置	性能	備考
	電動	手引 防炎性能	

項目

39

カーテン
(暗幕、縦帳等)

特記事項

・既存再使用する(養生方法：取外し再取付) (2.3.11)[5.1.6]
・新設する (20.2.14)

施工箇所	形式	装置	ひだの種類	性能	備考
	片引	引分	電動	ひも引	手引
				片ひだ	透光
					防炎仕様

項目

40

カーテンレール

特記事項

・既存再使用する
・新設する (5.1.6)
(20.2.14)
材質 JIS A 4802・アルミニウム製 ※ステンレス製
形式 ・片引き・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

項目

41

カーテンボックス及びブラインドボックス

特記事項

※既存再使用する。
・新設する。 (5.1.6)
・市販品(アルミニウム製)
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×150・150×80
色 彩 ※B-1・B-2(※ブラウン・ブラック・ステンレスカラー)
※図示

項目

41

天井点検口

特記事項

材質 ・アルミニウム製(・額縁タイプ・目地タイプ)・既存取外し、再取付

項目

42

床点検口

特記事項

材質 ・アルミニウム製(受け枠 ※アルミ製・ステンレス製)
・ステンレス製(受け枠・ステンレス製(防水、防臭型))

項目

43

鋼製書架及び
物品棚

特記事項

種類	規格等	耐荷重による種類

項目

44

流し台ユニット

特記事項

種類	寸法(L× mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	・900・1200・1500	・トラップ付き	
・コンロ台	・600・700	・バックガード	・有り
・吊り戸棚	・1200・900・600		
・水切り棚	・1200・900	・トラップ付き	
・作業台	・900・1200・1500		

項目

45

屋内掲示板

特記事項

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り・

項目

46

ライニング天板

特記事項

材質 ・メラミンポストフォームt19
奥行き(mm) ※図示
・人工大理石

項目

47

家具
(流し台・棚)

特記事項

材質 ・メラミン樹脂系化粧板
・ SUS製 (12.2.9)(19.7.2)
形状、寸法 ※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

49

室名札等

特記事項

・突出し型 金具：7×12型材、ケース：6×14×6×12樹脂、文字：ｼｸｼ印刷、ﾀｲｽﾞ：270×80H (箇所)
・平付け型 金具：7×12型材、ケース：6×14×6×12樹脂、文字：ｼｸｼ印刷、ﾀｲｽﾞ：270×80H (5 箇所)
・ピクトサイン 材質：7×12 7×14(4×14)樹脂、絵柄：ｼｸｼ印刷、ﾀｲｽﾞ：200×200 (箇所)
※ピクトサイン 消防に確認取次第反映
・階数表示 材質：ｽﾃﾝﾚｽ ｾﾞﾗｲﾝ、文字：ｼｸｼ印刷、ﾀｲｽﾞ150×150 (箇所)

項目

50

鋼製床下地
(体育館用)

特記事項

部材規格 大引き、根太鋼：※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板、垂鉛付着量Z12以上)
U字金具、支持台：※JIS G 3302SGHCと同等以上(垂鉛付着量Z12以上)
縦桁材：※JIS K 6385(A種振振ゴム)
※三洋工業㈱ スリーベース101タイプ同等品とする。

項目

51

アルミ製移動階段

特記事項

・セグー梯 HE9724(アルミ合金製、アルマイト処理焼付塗装)同等品とする。

項目

52

救助袋

特記事項

・垂直式 ○階用

項目

53

シャワー

特記事項

・図示

項目

54

キッチン

特記事項

・図示

項目

55

乾式二重床

特記事項

・図示

項目

56

工事名

特記事項

松戸市立六美第二小学校
体育館空調設備設置建築工事

項目

57

図面名

特記事項

特記仕様書(3)

項目

58

作成年月日

特記事項

令和7年2月1日 変更年月日

項目

59

縮尺

特記事項

No Scale 図面番号 A-03

項目

60

設計

特記事項

株式会社 山岡設計事務所
千葉県知事登録 第1-2306-2686号
山岡 治
一級建築士大臣登録第272498号

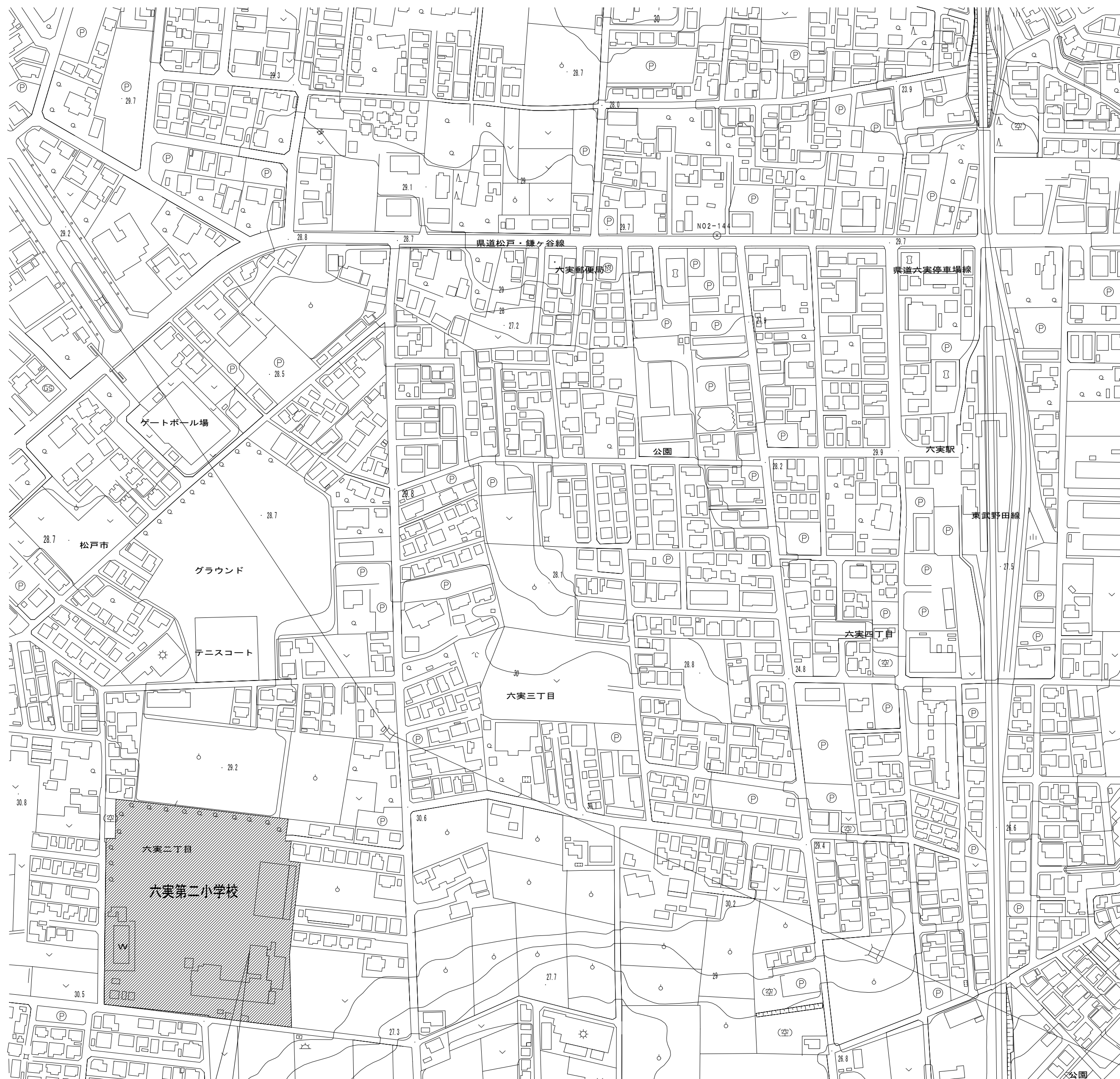
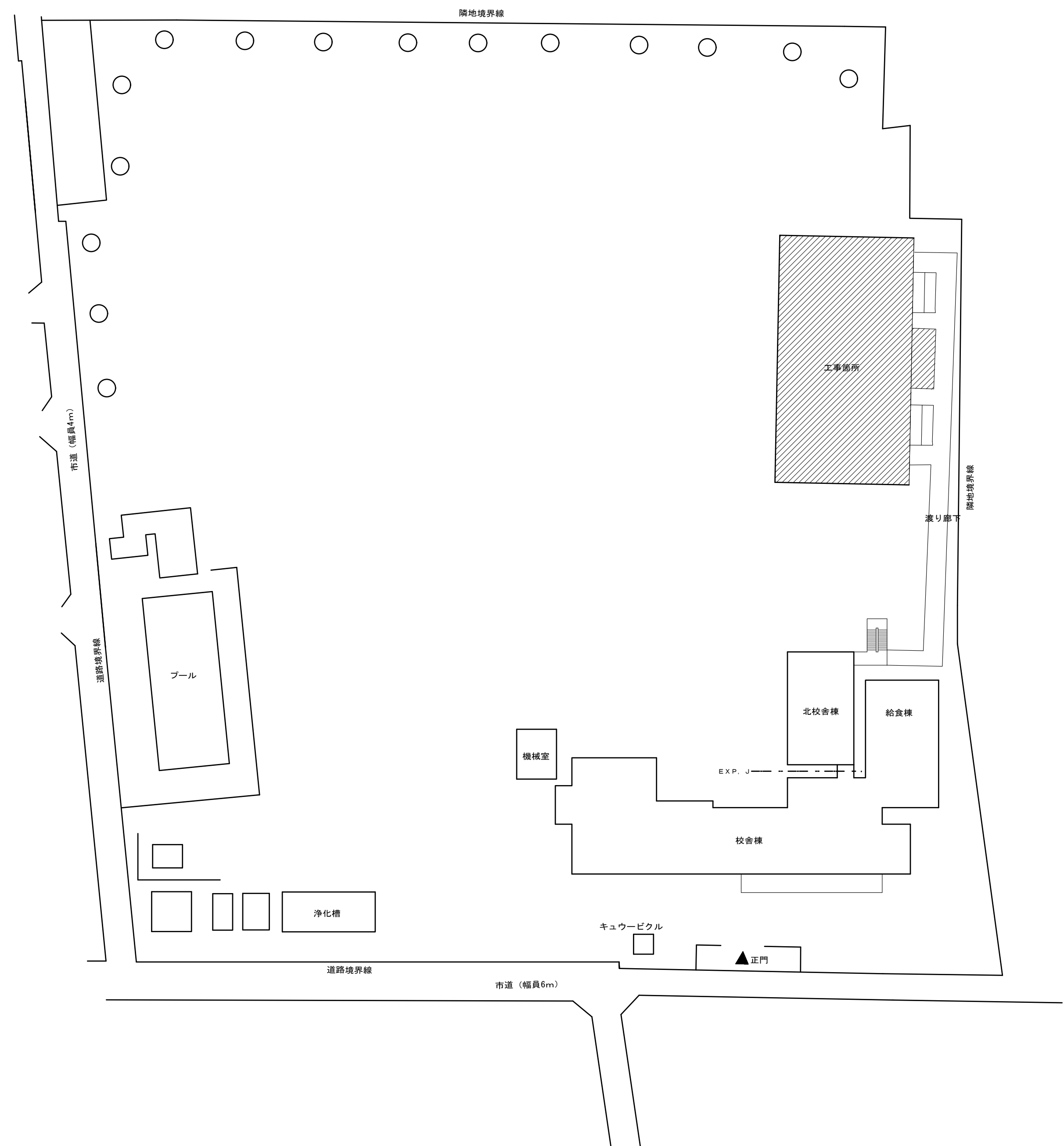
項目

61

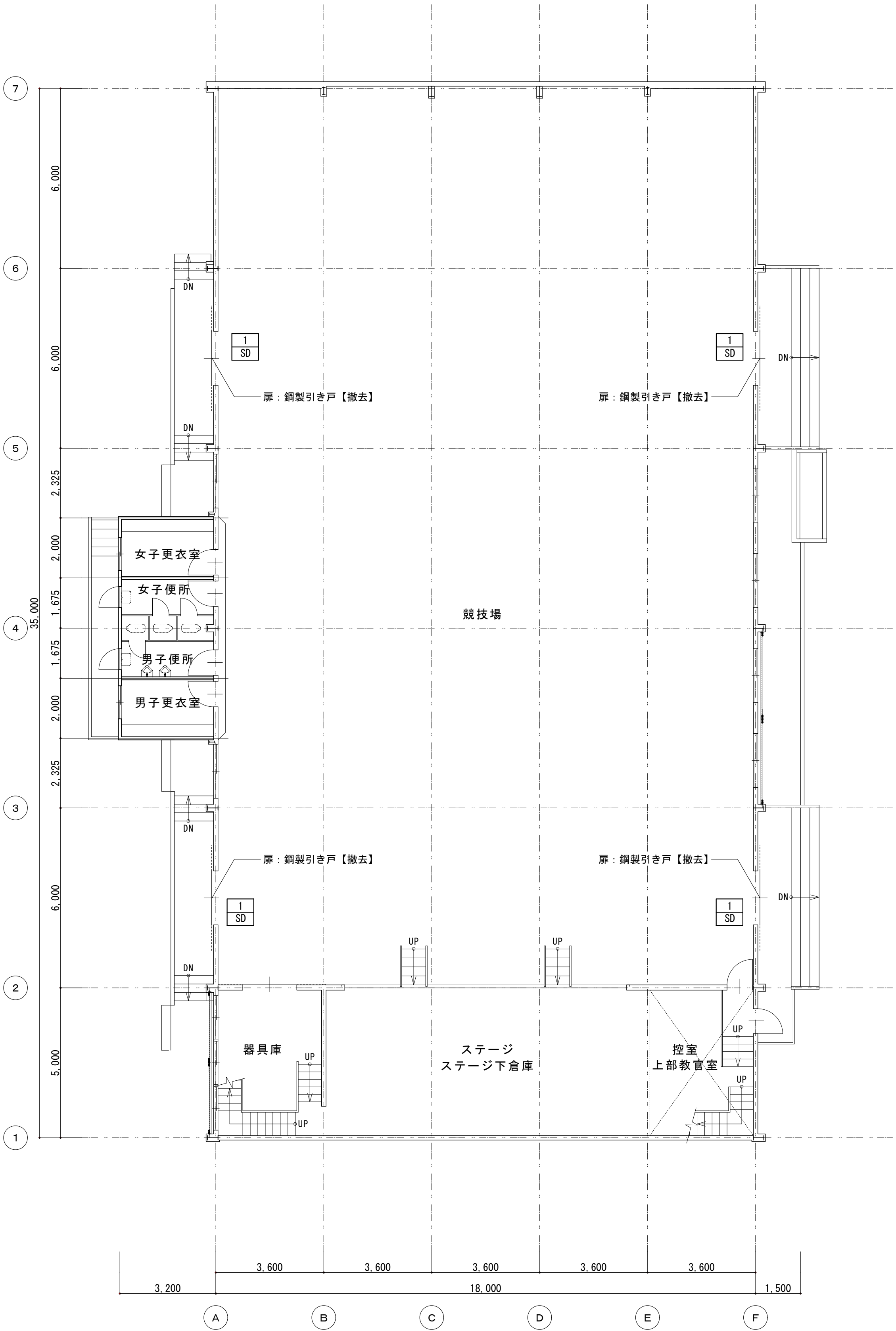
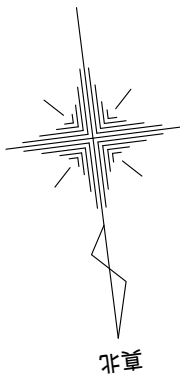
松戸市街づくり部 建築保全課

特記事項

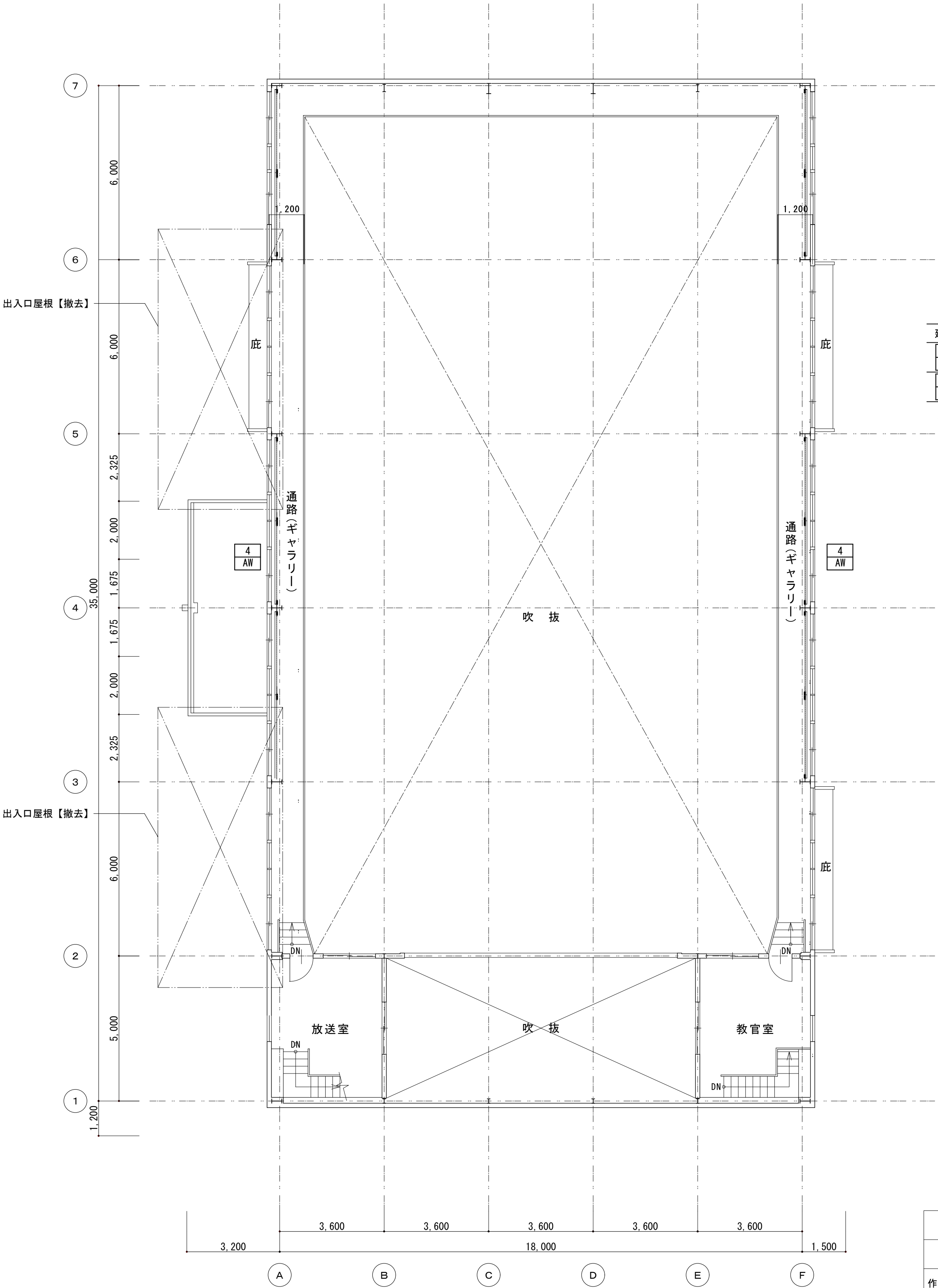
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																				
7 塗装 改修 工事	1 材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7. 1. 2～3] 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7. 1. 8] 監督職員と協議する。	9 環境 配慮 （グリーン） 改修工事	1 一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9. 1. 3] ・ 封じ込め処理 ・ 囲い込み処理除去工法 ・ 除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示 分析によるアスベスト (ｱｸｼﾌﾗｲﾄ、ﾌﾚｼﾌﾗｲﾄ、ﾌｨﾌﾞﾗﾌﾗｲﾄ、ｸﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ、ｸﾛｰﾄﾞﾗｲﾄ、ﾄﾓﾀｲﾄ) 含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない	7 ガラス改修工事	複層ガラスの厚さ 建具表による [9. 4. 2] 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・ U3-2	<table><tr><th colspan="2">工 事 内 容</th><th colspan="2">施 工 区 分</th></tr><tr><th colspan="2">建 築</th><th>電</th><th>気 機 械</th></tr><tr><td rowspan="4">開口部</td><td rowspan="4">鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口</td><td>解体、穴明け</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>鉄筋補強</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>後施工スリーブ（雑壁部分）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>埋戻し、穴埋め（補強筋無し）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口</td><td>埋戻し、穴埋め（補強筋有り）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>開口補強</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>切込み（開口補強有り）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>切込み（開口補強無し）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>点検口</td><td>床、壁、天井</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>配管ビット、トレンチビット</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">トイレ</td><td>大便器・小便器</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>紙巻器</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>トイレ用手摺</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>洗面器（水栓含む）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>掃除用流し（水栓含む）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>廊下流し台（排水トラップ含む）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>廊下流し台用排水栓</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>設備機器用下地補強</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>化粧鏡</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>換気扇</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>換気扇取付用アルミパネル</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>換気扇取付用壁枠</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				工 事 内 容		施 工 区 分		建 築		電	気 機 械	開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け				鉄筋補強				後施工スリーブ（雑壁部分）				埋戻し、穴埋め（補強筋無し）					軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	埋戻し、穴埋め（補強筋有り）				開口補強	○		○	切込み（開口補強有り）	○	○	○	切込み（開口補強無し）	○	○	○	点検口	床、壁、天井	○					配管ビット、トレンチビット						既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業					トイレ	大便器・小便器					紙巻器					トイレ用手摺					洗面器（水栓含む）						掃除用流し（水栓含む）						廊下流し台（排水トラップ含む）						廊下流し台用排水栓						トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）						設備機器用下地補強						化粧鏡						換気扇						換気扇取付用アルミパネル						換気扇取付用壁枠					8 耐震改修工事	『耐震補強工事構造特記仕様書』による。			
	工 事 内 容			施 工 区 分																																																																																																																																																					
	建 築			電	気 機 械																																																																																																																																																				
	開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口		解体、穴明け																																																																																																																																																					
				鉄筋補強																																																																																																																																																					
				後施工スリーブ（雑壁部分）																																																																																																																																																					
				埋戻し、穴埋め（補強筋無し）																																																																																																																																																					
		軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）																																																																																																																																																					
				開口補強	○		○																																																																																																																																																		
				切込み（開口補強有り）	○	○	○																																																																																																																																																		
切込み（開口補強無し）			○	○	○																																																																																																																																																				
点検口	床、壁、天井	○																																																																																																																																																							
	配管ビット、トレンチビット																																																																																																																																																								
	既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業																																																																																																																																																								
トイレ	大便器・小便器																																																																																																																																																								
	紙巻器																																																																																																																																																								
	トイレ用手摺																																																																																																																																																								
	洗面器（水栓含む）																																																																																																																																																								
	掃除用流し（水栓含む）																																																																																																																																																								
	廊下流し台（排水トラップ含む）																																																																																																																																																								
	廊下流し台用排水栓																																																																																																																																																								
	トイレブース（手摺・紙巻器用下地補強含む）																																																																																																																																																								
	設備機器用下地補強																																																																																																																																																								
	化粧鏡																																																																																																																																																								
	換気扇																																																																																																																																																								
	換気扇取付用アルミパネル																																																																																																																																																								
	換気扇取付用壁枠																																																																																																																																																								
2 下地調整		[7. 2. 2～7] [表7. 2. 1～7] <table><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整の種類</th><th>備 考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td>新規面はRA種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>モルタル、プラスター面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>コンクリート、ALC及び押出成形</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>セメント板面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr><tr><td>せっこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種 ※RB種</td><td></td></tr></table> 既存下地面等のひび割れ部補修 ※行う ・ 行わない [表7. 2. 5～6] ※錆止め JIS K 5674	下地面の種類	下地調整の種類	備 考	木部	・ RA種 ※RB種	新規面はRA種	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種		亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※RB種		モルタル、プラスター面	・ RA種 ※RB種		コンクリート、ALC及び押出成形	・ RA種 ※RB種		セメント板面	・ RA種 ※RB種		せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種		2 アスベスト含有吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>2又は3点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>2点</td><td>全工区共通</td></tr><tr><td>処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>2点</td><td></td></tr><tr><td></td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>1点</td><td>空気の流れを確認</td></tr><tr><td></td><td>負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td><td>1点</td><td>除塵装置の性能確認</td></tr><tr><td></td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td></td></tr><tr><td>処理作業後</td><td>処理作業室内</td><td>2点</td><td></td></tr><tr><td>(隔離シート撤去前)</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td>全工区共通</td></tr></table> (注) 処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。 建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	測定時期	測定場所	測定点数	備 考	処理作業前	処理作業室内	2又は3点			施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通	処理作業中	処理作業室内	2点			セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認		負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		処理作業後	処理作業室内	2点		(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通	10 その他	1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 図示 (22. 5. 2) (表22. 5. 1) <table><tr><th>部 位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>所定のスランプ (cm)</th><th>粗骨材の最大寸法 (mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>24</td><td>8</td><td>砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>18</td><td>8</td><td>砂利の場合25 砕石の場合20</td></tr></table> ・ 図示 砂利敷き (22. 9. 2) (表22. 9. 1) 種別 ・ A種 ・ B種	部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25	歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20	2 植栽工事	・ 図示 ・ 樹種 ・ 寸法 ・ 数量 ・ 備考 (22. 3. 2) <table><tr><th>樹 種</th><th>寸 法</th><th>数 量</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																																				
	下地面の種類	下地調整の種類	備 考																																																																																																																																																						
	木部	・ RA種 ※RB種	新規面はRA種																																																																																																																																																						
	鉄鋼面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																							
	亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																							
	モルタル、プラスター面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																							
	コンクリート、ALC及び押出成形	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																							
	セメント板面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																							
	せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※RB種																																																																																																																																																							
	測定時期	測定場所	測定点数	備 考																																																																																																																																																					
処理作業前	処理作業室内	2又は3点																																																																																																																																																							
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通																																																																																																																																																						
処理作業中	処理作業室内	2点																																																																																																																																																							
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																																																																																																																																						
	負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認																																																																																																																																																						
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																							
処理作業後	処理作業室内	2点																																																																																																																																																							
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通																																																																																																																																																						
部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)																																																																																																																																																						
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25																																																																																																																																																						
歩行者用通路	18	8	砂利の場合25 砕石の場合20																																																																																																																																																						
樹 種	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																						
3 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	[7. 4. 3] [表7. 4. 1] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備 考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>下塗り JASS 18 M-304</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ A種 ※B種</td><td>※B種</td><td>穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>中塗り及び上塗り JIS K 5516</td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考	木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304				中塗り及び上塗り JIS K 5516	鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110				中塗り及び上塗り JIS K 5516	4 鉄鋼面耐候性塗料塗り (DP)	[7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] <table><tr><th>下地の種類</th><th>新規塗りの種別</th><th>塗り替えの種別</th><th>備 考</th></tr><tr><td>鉄面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5659</td></tr><tr><td>コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>※A種 ・ B種</td><td>・ A種 ※B種</td><td>JIS K 5658</td></tr><tr><td>下塗り JASS 18 M-109</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考	鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	亜鉛めっき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659	コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658	下塗り JASS 18 M-109				5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	[7. 9. 2] [表7. 9. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660	6 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	[7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	7 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	[7. 11. 2] [表7. 11. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗替えの場合 <table><tr><th>既存塗膜</th><th>下地調整</th><th>種別</th></tr><tr><td>合成樹脂エマルション模様塗り</td><td>※RB種</td><td>※A種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>※O-3種</td></tr><tr><td>平滑な塗料塗り</td><td>※RB種</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td></td><td>・ RC種</td><td>・ O-1種 ・ O-2種</td></tr></table> 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種		・ RC種	※O-3種	平滑な塗料塗り	※RB種	・ A種 ・ B種		・ RC種	・ O-1種 ・ O-2種	8 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	[7. 12. 2] [表7. 12. 1] ・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502	9 オイルステイン塗り (OS)	[7. 13. 2] [表7. 13. 1] ワトコオイル製品同等品とする。	10 木材保護塗料塗り (WP)	[7. 14. 2] [表7. 14. 1] ・ A種 ※B種 JASS 18 M-307	11 ポリウレタン樹脂塗装 (2-UC)	フローリングブロック面の塗り種別 ・ A種 ※B種																																																																																	
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考																																																																																																																																																						
木部	・ A種 ※B種	※B種	下塗り JASS 18 M-304																																																																																																																																																						
			中塗り及び上塗り JIS K 5516																																																																																																																																																						
鉄鋼面	・ A種 ※B種	※B種	穴埋め及びパテかい JASS 18 M-110																																																																																																																																																						
			中塗り及び上塗り JIS K 5516																																																																																																																																																						
下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備 考																																																																																																																																																						
鉄面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																																																																																																																																						
亜鉛めっき面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5659																																																																																																																																																						
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・ B種	・ A種 ※B種	JIS K 5658																																																																																																																																																						
下塗り JASS 18 M-109																																																																																																																																																									
既存塗膜	下地調整	種別																																																																																																																																																							
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種																																																																																																																																																							
	・ RC種	※O-3種																																																																																																																																																							
平滑な塗料塗り	※RB種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																							
	・ RC種	・ O-1種 ・ O-2種																																																																																																																																																							
4 アスベスト含有吹付材囲い込み工事	軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形#300)とし、既存天井面には触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。 ―内部測定点内訳― 〈1階： 点、2階： 点、3階： 点〉 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。	5 アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・ 部分除去 ・ 全面除去 アスベスト含有仕上塗材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (集塵機付きﾍﾞｲｽｸﾗｯﾅｰ工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th>材料名</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム</td><td>・ フェノールフォーム</td></tr><tr><td>・ ロックウール</td><td>・ グラスウール</td></tr></table> 外装材の種類 [9. 3. 2] <table><tr><th></th><th>防火性能</th></tr><tr><td>既存外壁仕上材の撤去</td><td>・ 有り ・ 無し</td></tr><tr><td>下地面の清掃及び下地調整</td><td>※断熱材製造所の指定する仕様</td></tr></table> 通気層 ・ 有り (mm) ・ なし [9. 3. 4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。	材料名	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム	・ ロックウール	・ グラスウール		防火性能	既存外壁仕上材の撤去	・ 有り ・ 無し	下地面の清掃及び下地調整	※断熱材製造所の指定する仕様																																																																																																																																						
材料名	厚さ (mm)																																																																																																																																																								
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム	・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																								
・ 硬質ウレタンフォーム	・ フェノールフォーム																																																																																																																																																								
・ ロックウール	・ グラスウール																																																																																																																																																								
	防火性能																																																																																																																																																								
既存外壁仕上材の撤去	・ 有り ・ 無し																																																																																																																																																								
下地面の清掃及び下地調整	※断熱材製造所の指定する仕様																																																																																																																																																								

 工事場所を示す 工事箇所を示す

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/500, 2500 A3:1/1000, 5000	図面番号	A-05
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100

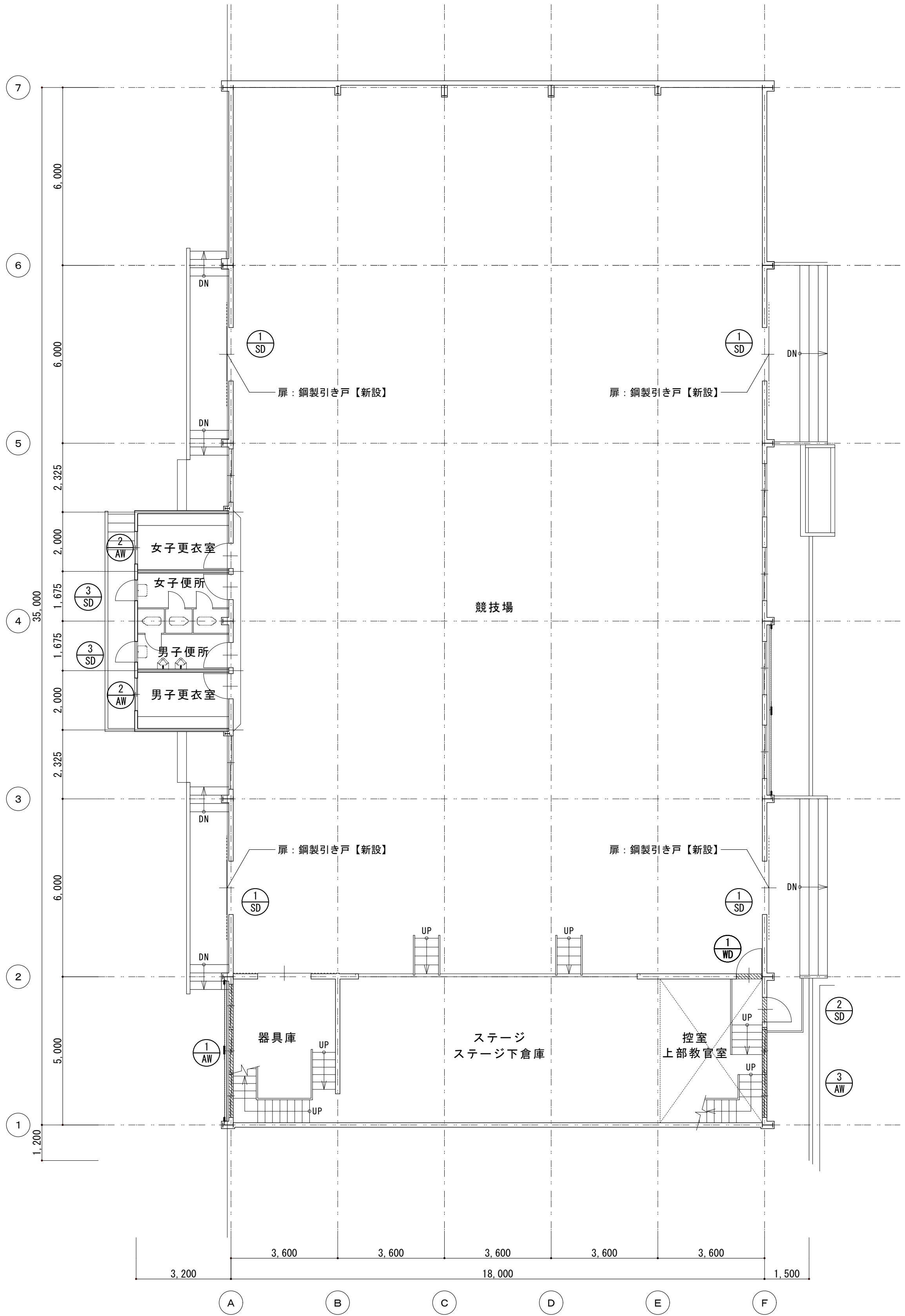
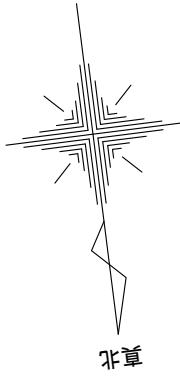


2階平面図 1/100

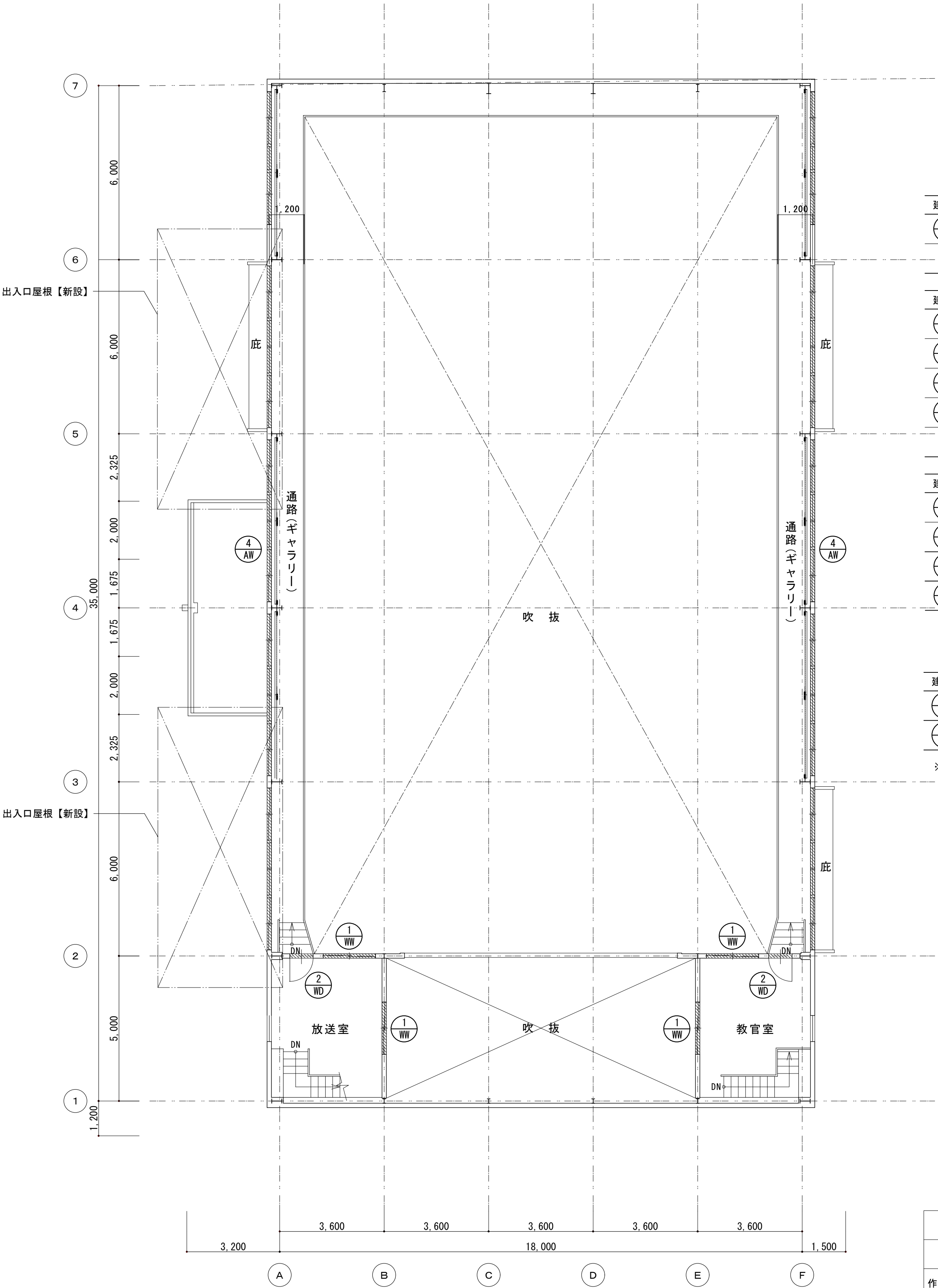
建具名	割れガラス撤去面積 計8.37㎡
4 AW	0.9m×0.9m×7枚＝5.67㎡
4 AW	0.9m×1.0m×3枚＝2.7㎡

※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修前〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

建具名	遮熱フィルム新設面積	外貼	計151.2㎡
④ AW	2.8m×1.8m×3枚=151.2㎡		

建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計7.74㎡
① WW	1.8m×0.6m×4枚=4.32㎡		
② WD	0.63m×0.42m×2枚=0.52㎡		
① AW	1.45m×0.4m×3枚=1.74㎡		
③ AW	1.45m×0.4m×2枚=1.16㎡		

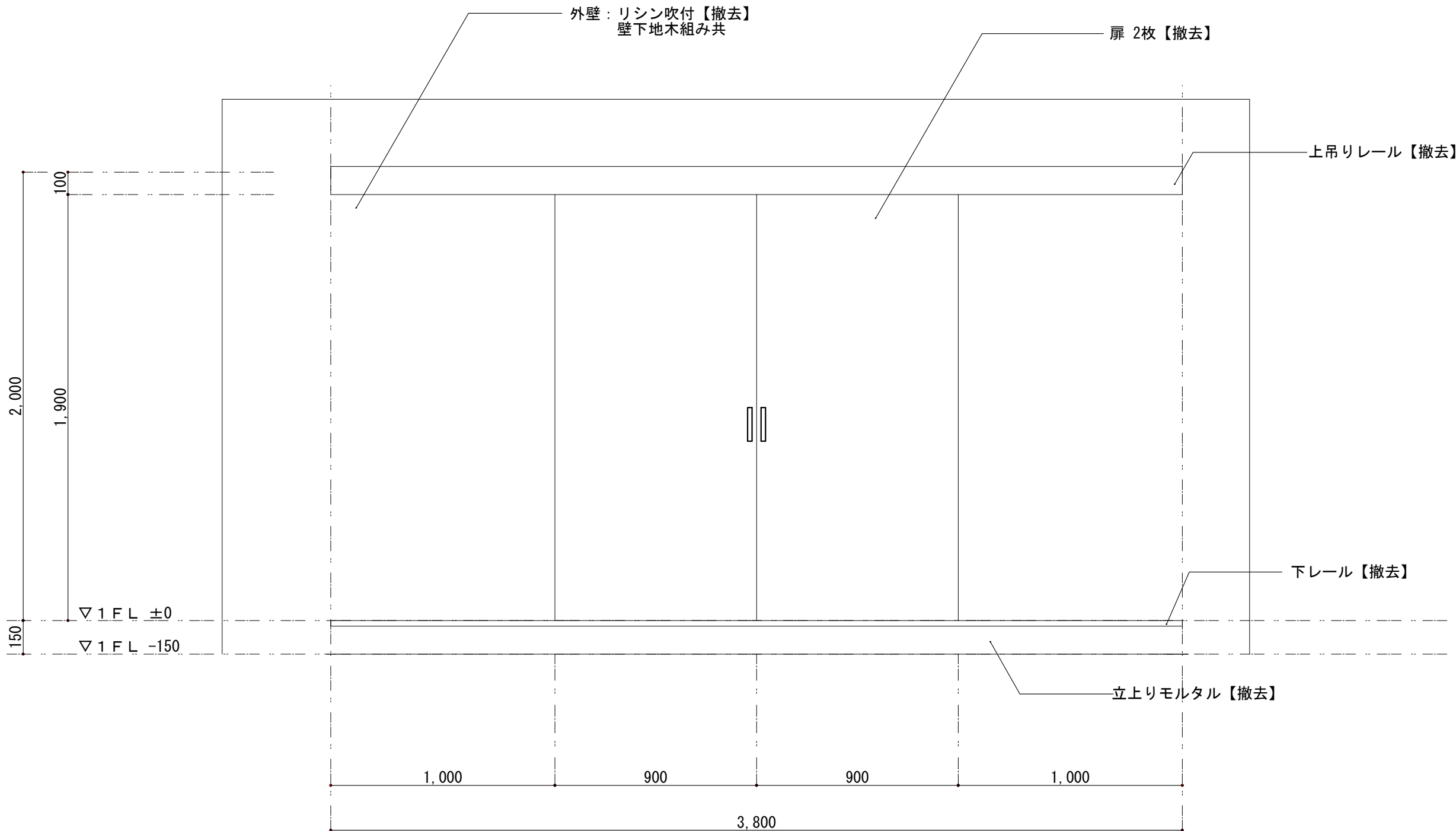
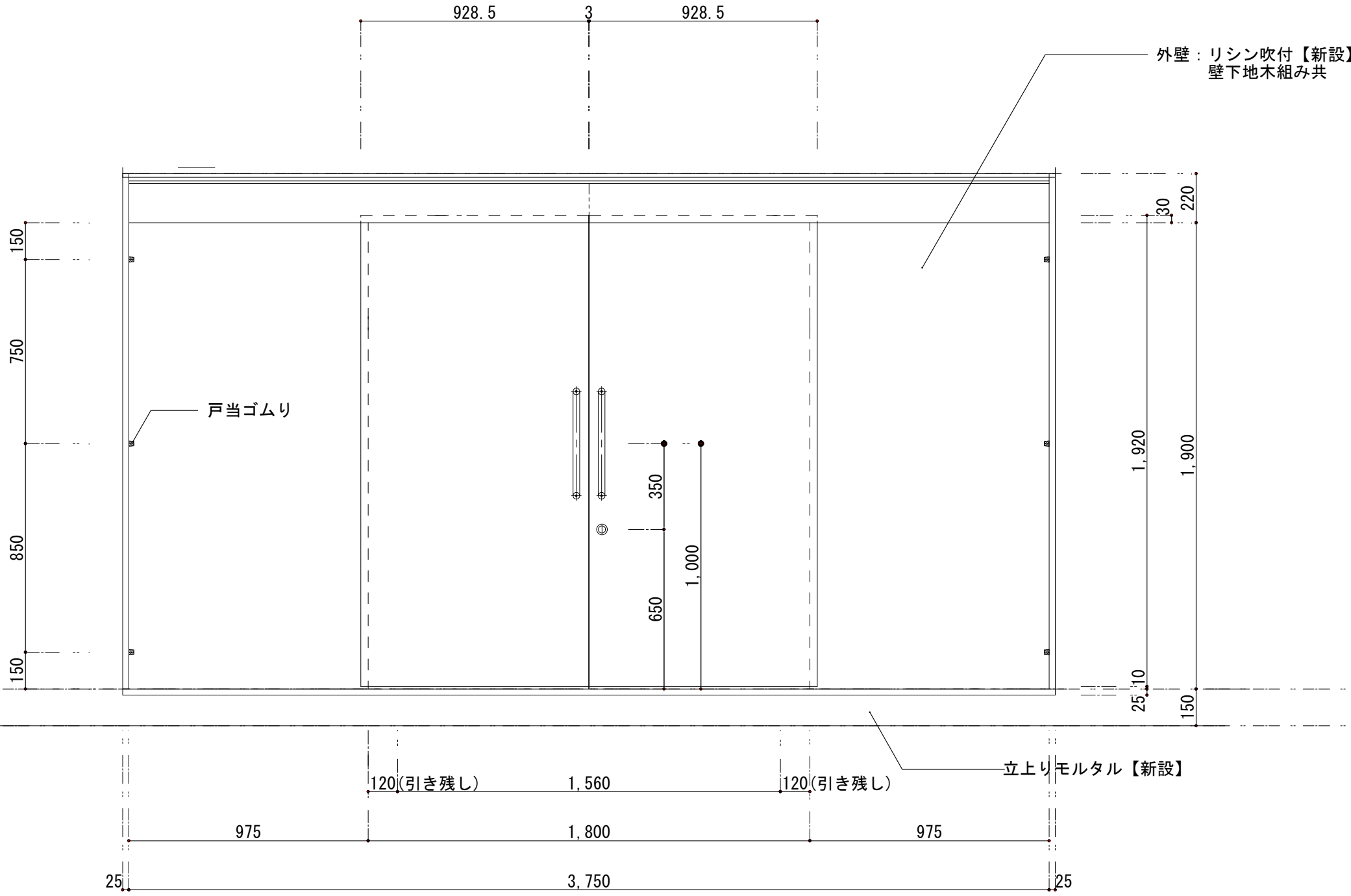
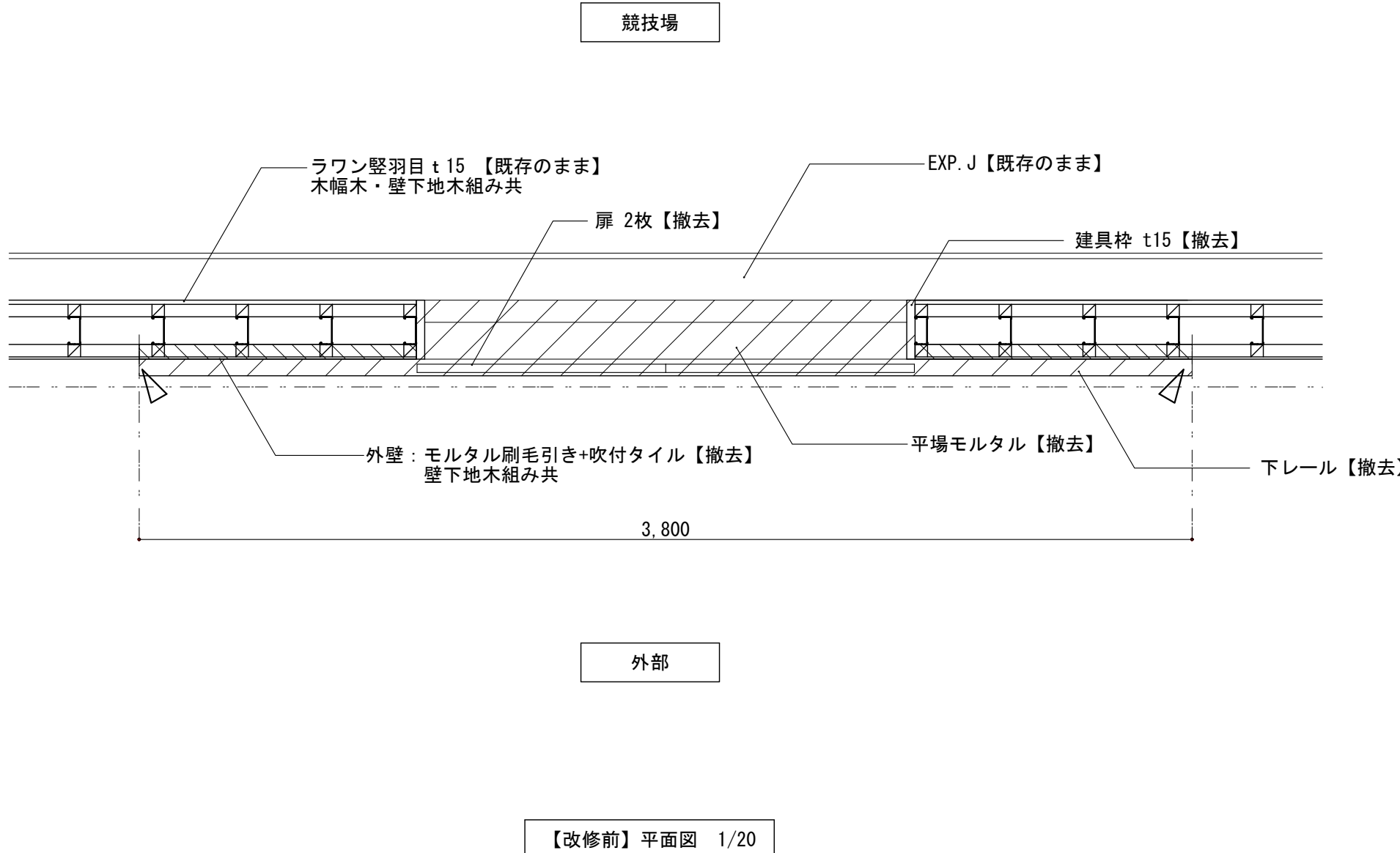
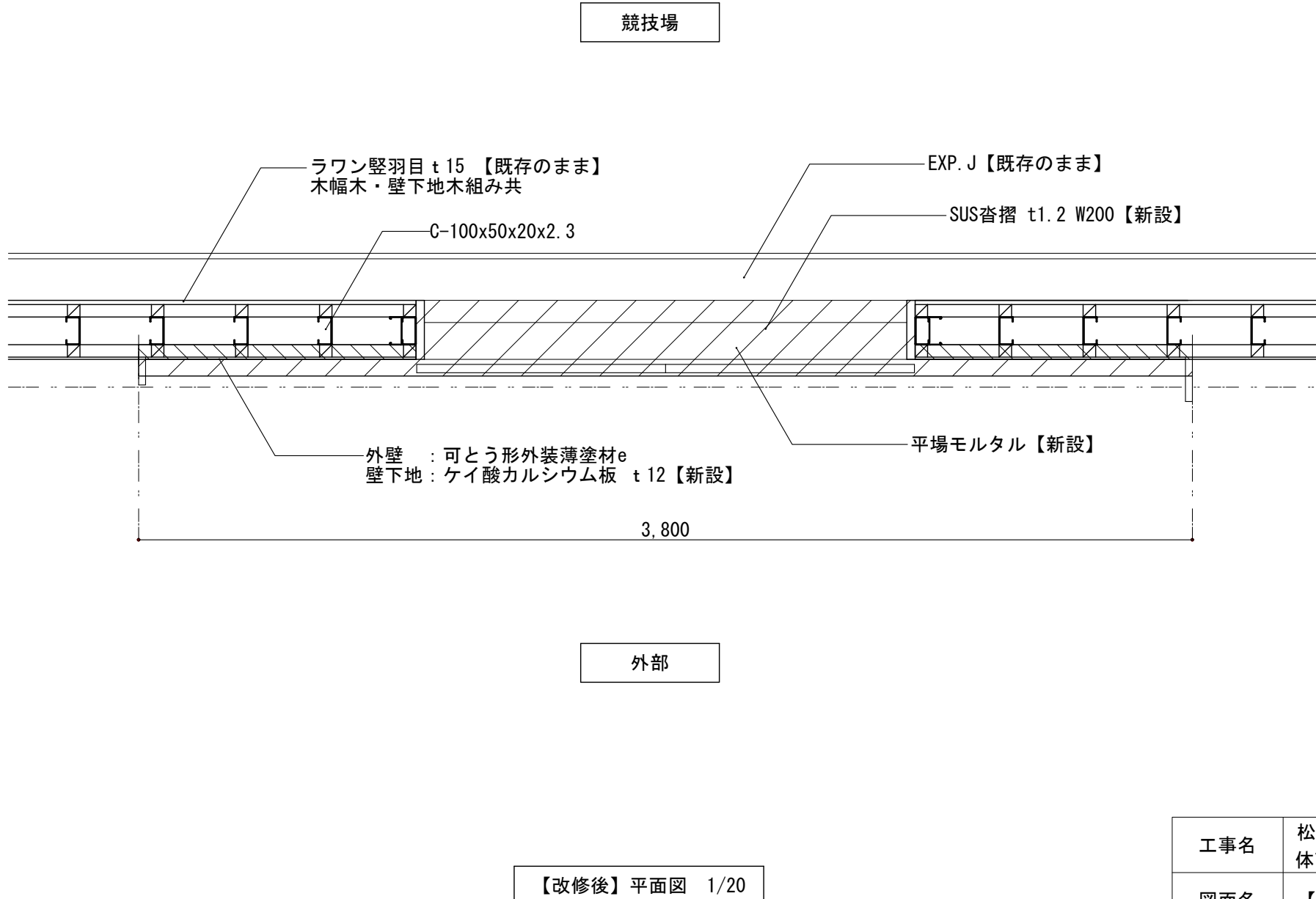
建具名	飛散フィルム新設面積	外貼	計2.77㎡
① WD	0.8m×0.15m=0.12㎡		
② SD	0.4m×0.83m×1枚=0.332㎡		
② AW	1.07m×0.49m×2枚=1.04㎡		
③ SD	0.8m×0.8m×2枚=1.28㎡		

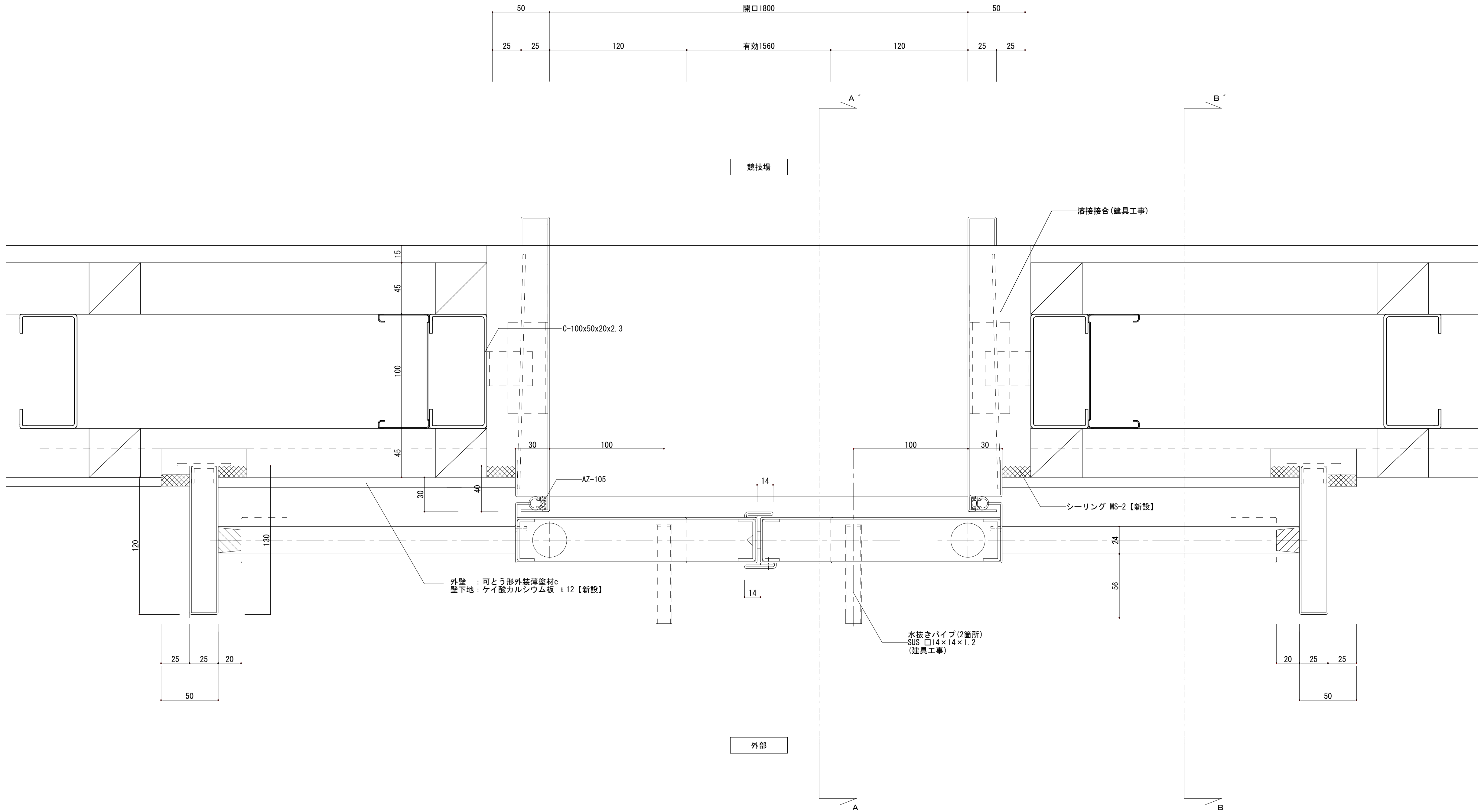
フィルム新設範囲を示す

建具名	割れガラス新設面積	計8.37㎡
④ AW	0.9m×0.9m×7枚=5.67㎡	
④ AW	0.9m×1.0m×3枚=2.7㎡	

※新設箇所について建具表参照

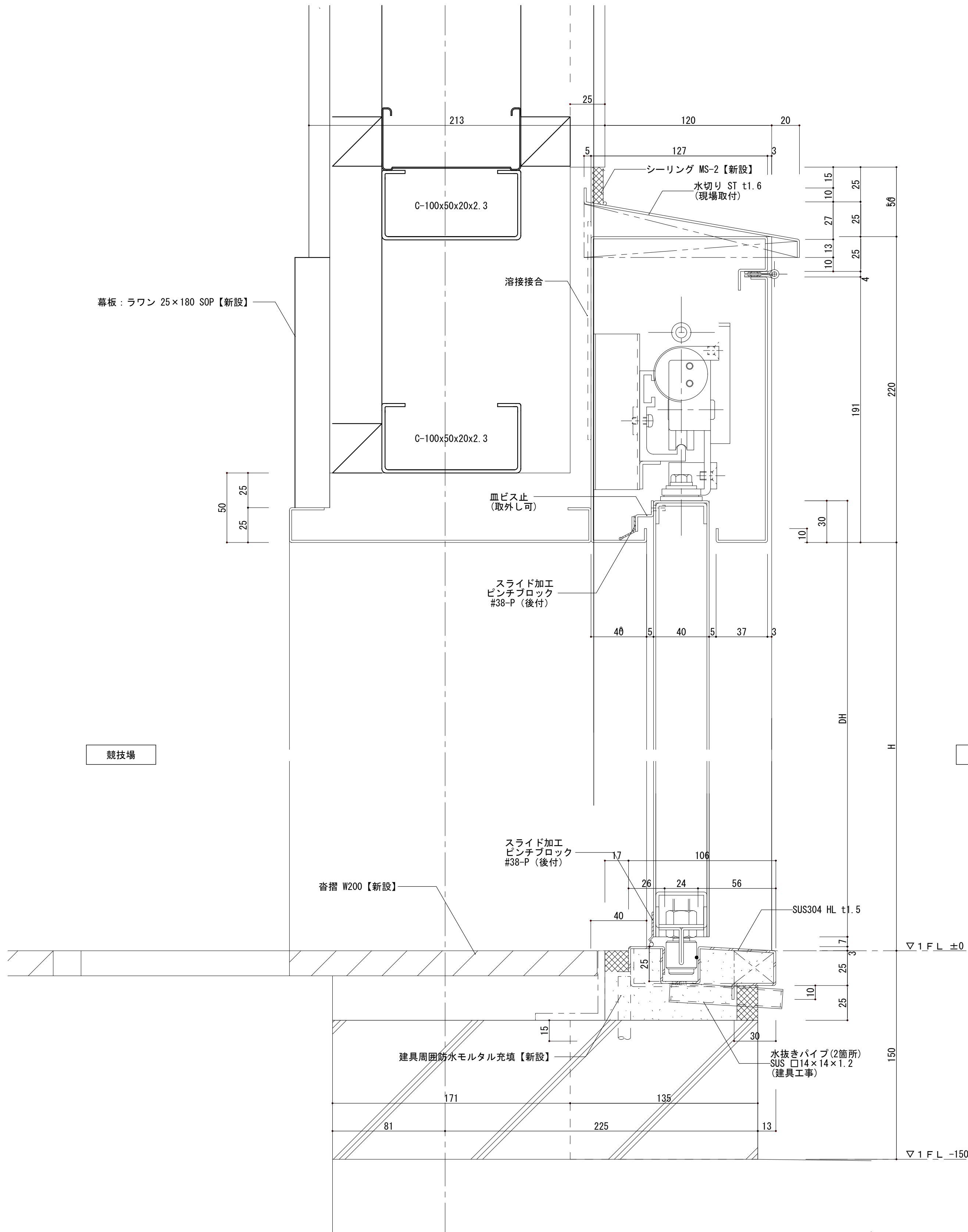
工事名	松戸市立穴実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修後]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・数量		1SD × 4箇所【撤去】	1SD × 4箇所【新設】																								
姿図・寸法																											
	競技場入口		競技場入口																								
形式・名称	2枚引き分け戸		2枚引き分けハンガー戸																								
材質・仕上	特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm		特殊垂鉛メッキ鋼板																								
ガラス	-		-																								
付属金物	2段皿板		ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番																								
備考																											
平面図																											
	凡例 △ カッター入れ 建具撤去範囲を示す 壁撤去範囲を示す																										
		<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">【改修】建具表</td></tr><tr><td>作成年月日</td><td>令和7年2月1日</td><td>変更年月日</td><td></td></tr><tr><td>縮尺</td><td>A1:1/20 A3:1/40</td><td>図面番号</td><td>A-09</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="3">株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号</td></tr><tr><td colspan="4">松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>		工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事			図面名	【改修】建具表			作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日		縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09	設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号			松戸市 街づくり部 建築保全課			
工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事																										
図面名	【改修】建具表																										
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日																									
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09																								
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号																										
松戸市 街づくり部 建築保全課																											



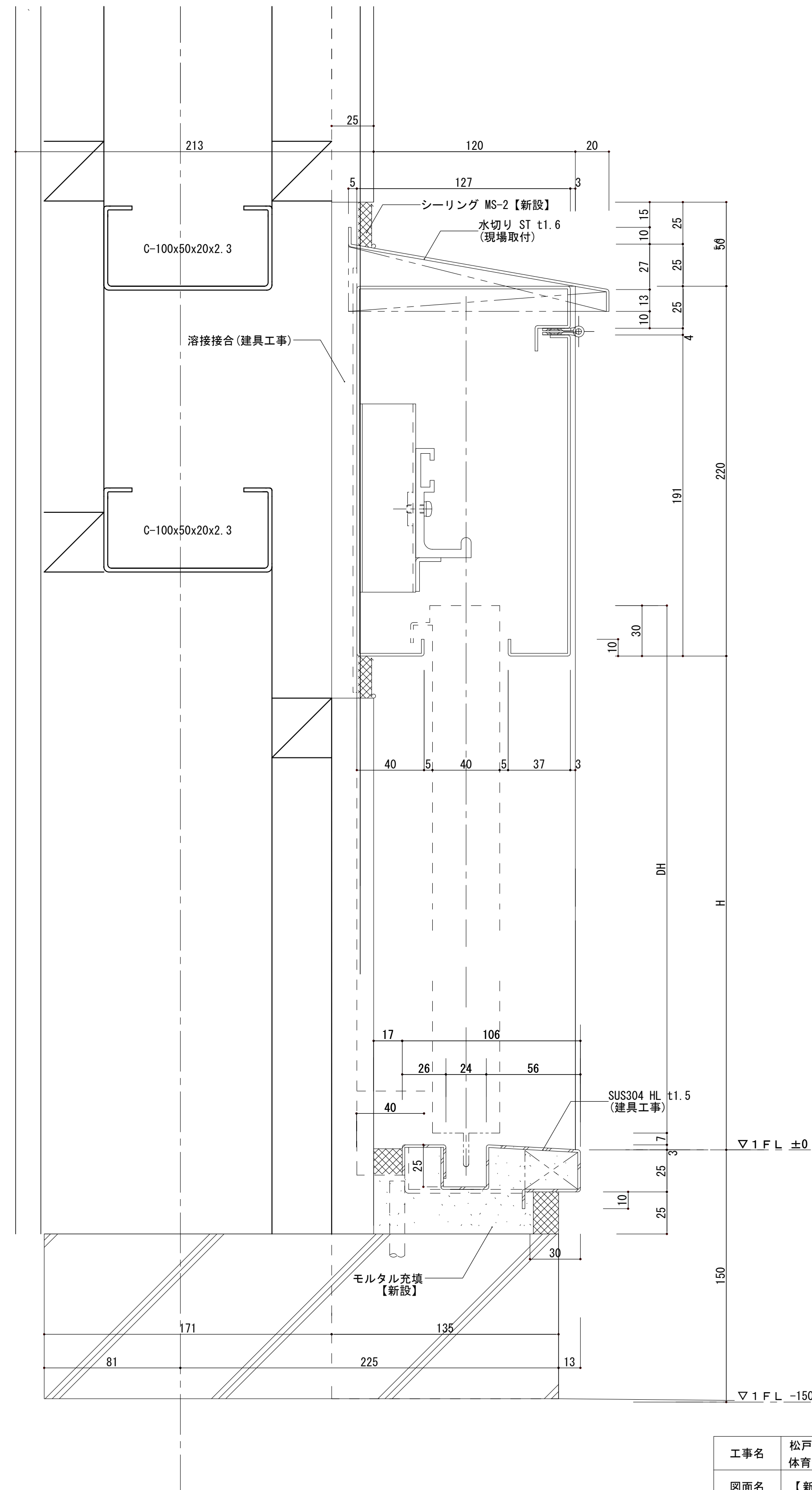
建具平面詳細図 1/2
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図1（参考図）		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



A-A' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

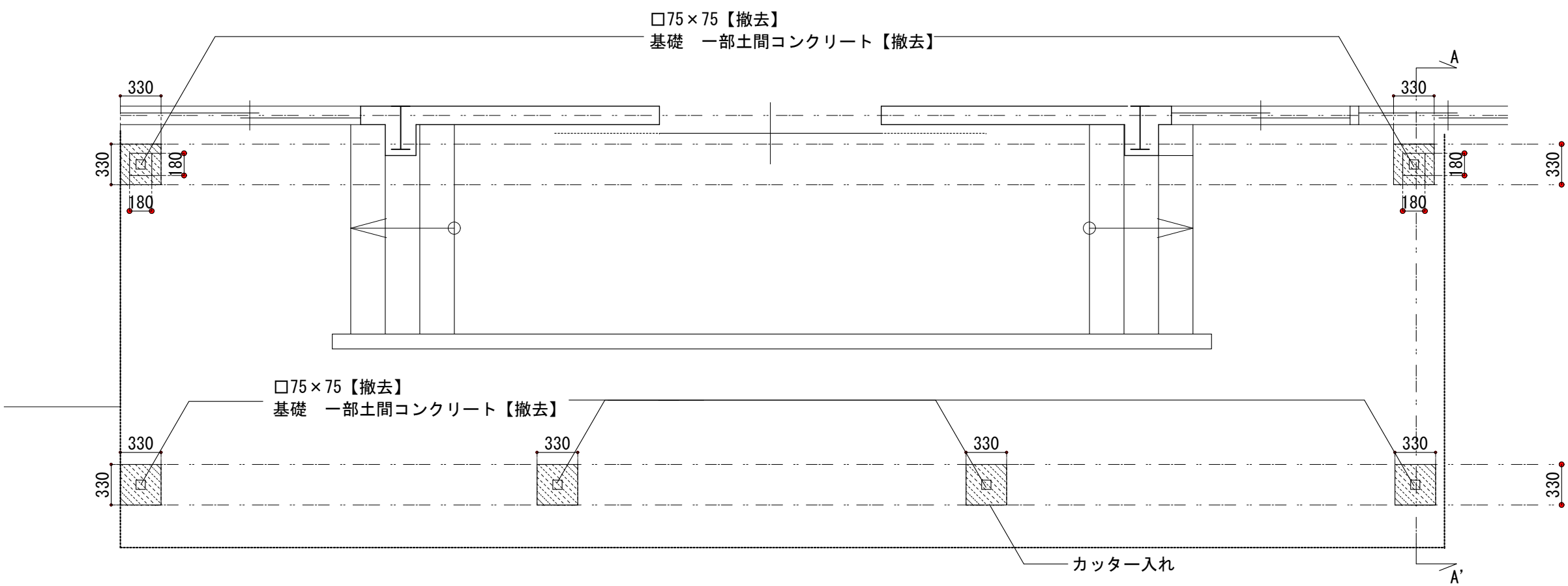


B-B' 建具断面詳細図 1/2

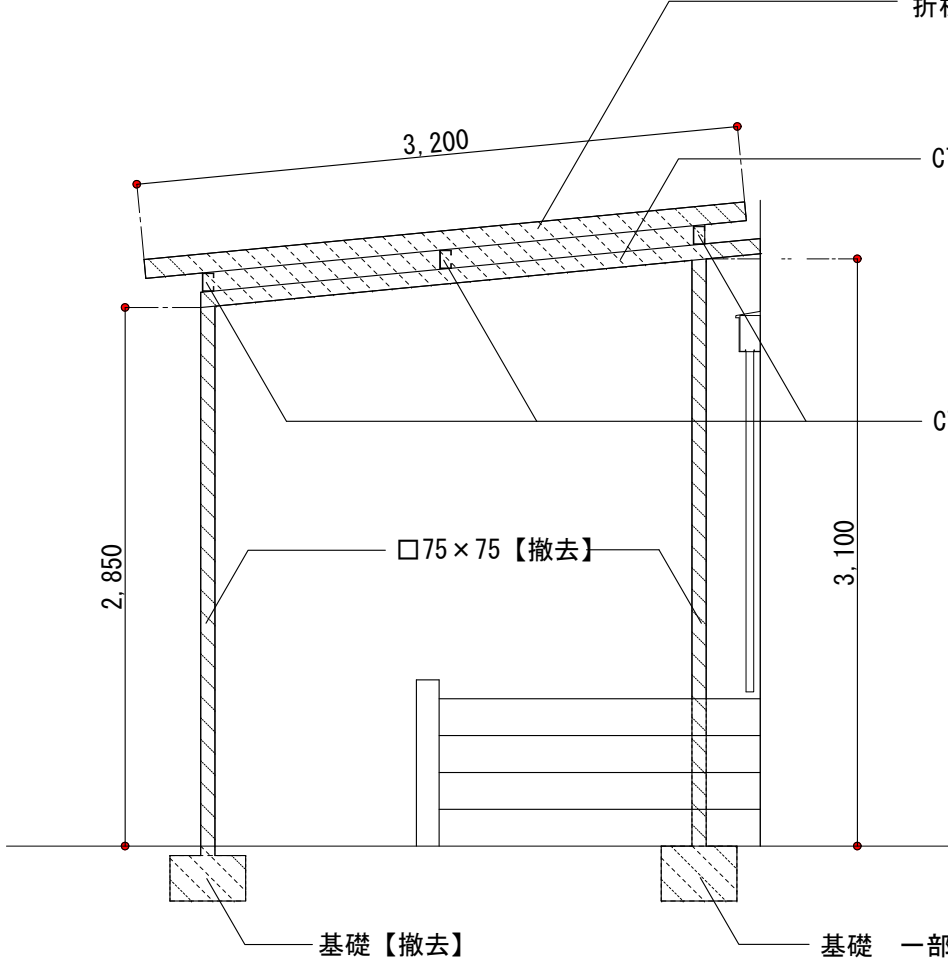
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図2（参考図）		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

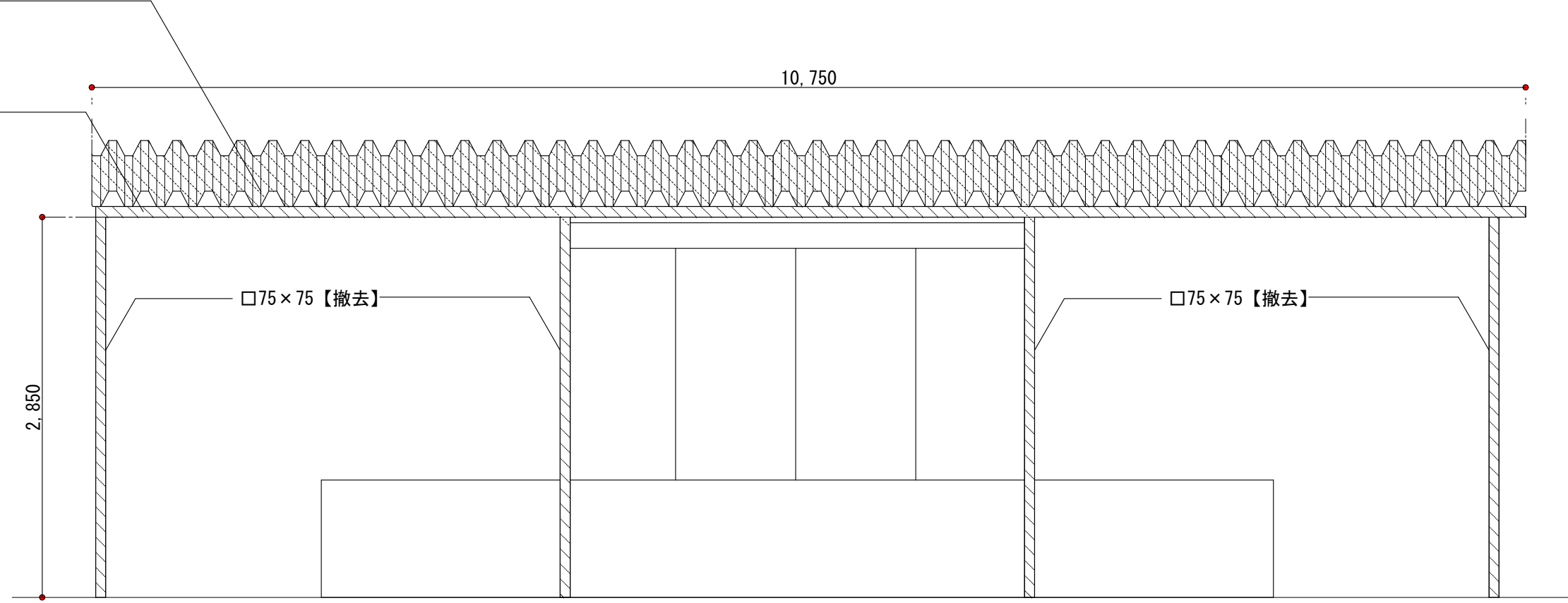
改修前



出入り口屋根平面図 1/40



出入り口屋根A-A' 断面図 1/40

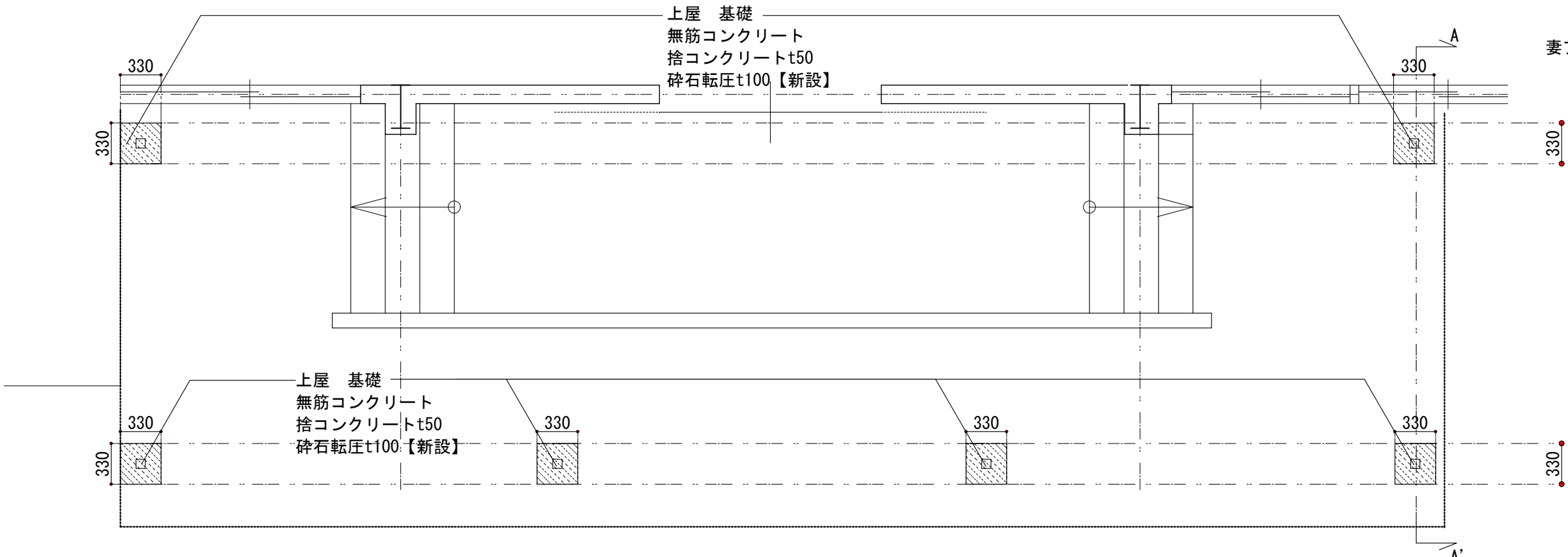


出入り口屋根正面立面図 1/40

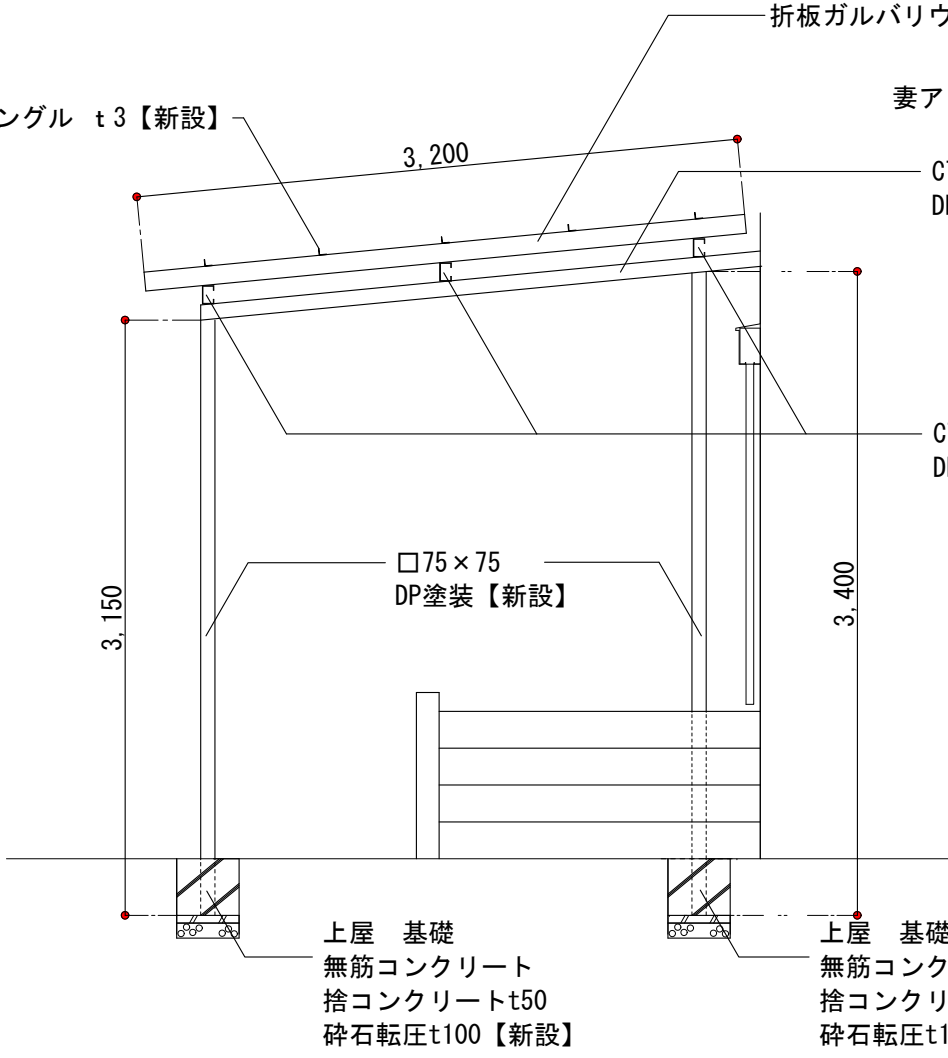
撤去リスト		
種類	サイズ	数量
C75×45	L=3000	8本
C75×45	L=10750	3本
□75×75	L=2850 L=3100	4本 2本
ブレース 10Φ	L=4300	6本
折板屋根	10750×3200	1枚
基礎	240×240×130	2箇所

<凡例>	
	撤去範囲

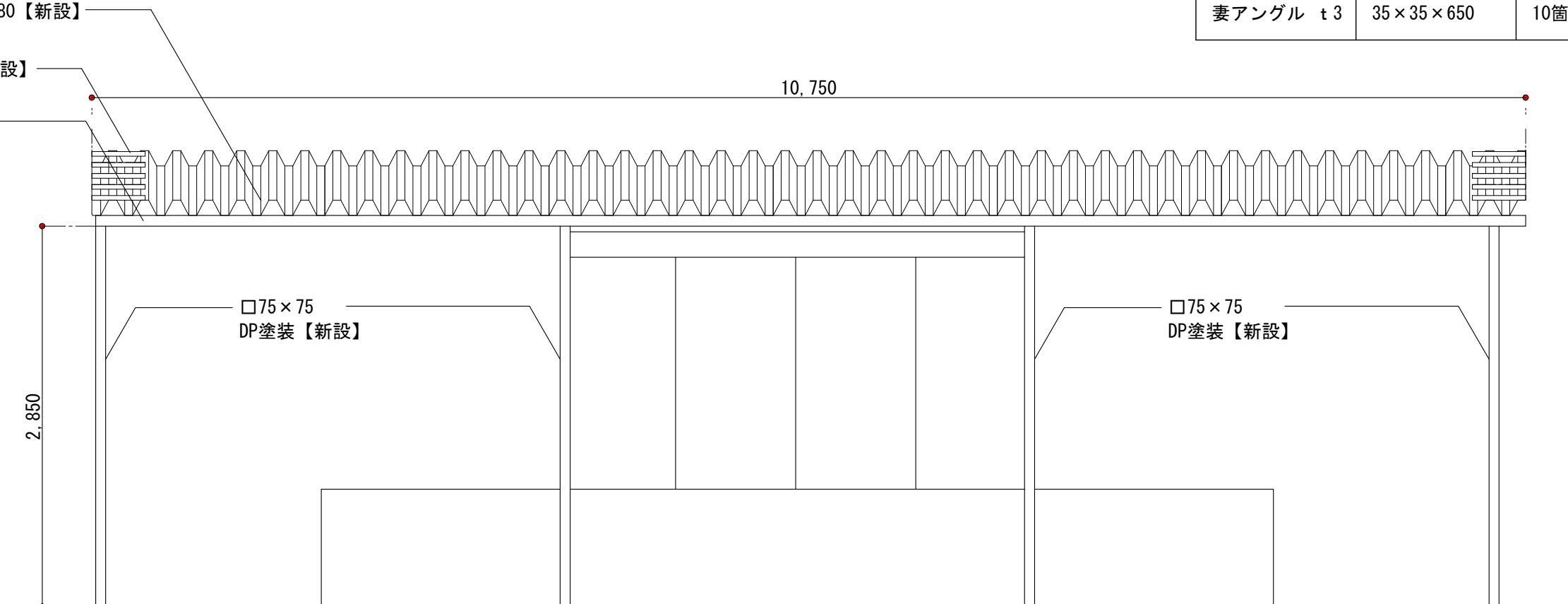
改修後



出入り口屋根平面図 1/40



出入り口屋根A-A' 断面図 1/40



出入り口屋根正面立面図 1/40

新設リスト		
種類	サイズ	数量
C75×45	L=3000	8本
C75×45	L=10750	3本
□75×75	L=3150 L=3400	4本 2本
ブレース 10Φ	L=4300	6本
折板屋根	10750×3200	1枚
基礎	姿図参照	6箇所
妻アンガル t3	35×35×650	10箇所

工事名	松戸市立穴実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修前・改修後】 出入り口屋根詳細図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	A-12
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号 松戸市 街づくり部 建築保全課		

※鋼製建具のメンテナンススペースを確保する事

仮設凡例

- 敷鉄板 t=22 1.5m×6.0
- 枠組足場：ネット養生シート(防災1類) W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート(防災1類) W=914
- ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m
- 仮囲い：カラーコーン・コーンバー 総延長距離 125m
- 工事用仮門：パネルキャスターゲートW4.0×H2.0 (2箇所)
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す
- 学

生徒・学校関係者を示す
- 教

教員車両を示す
- 般

一般車両を示す
- 工

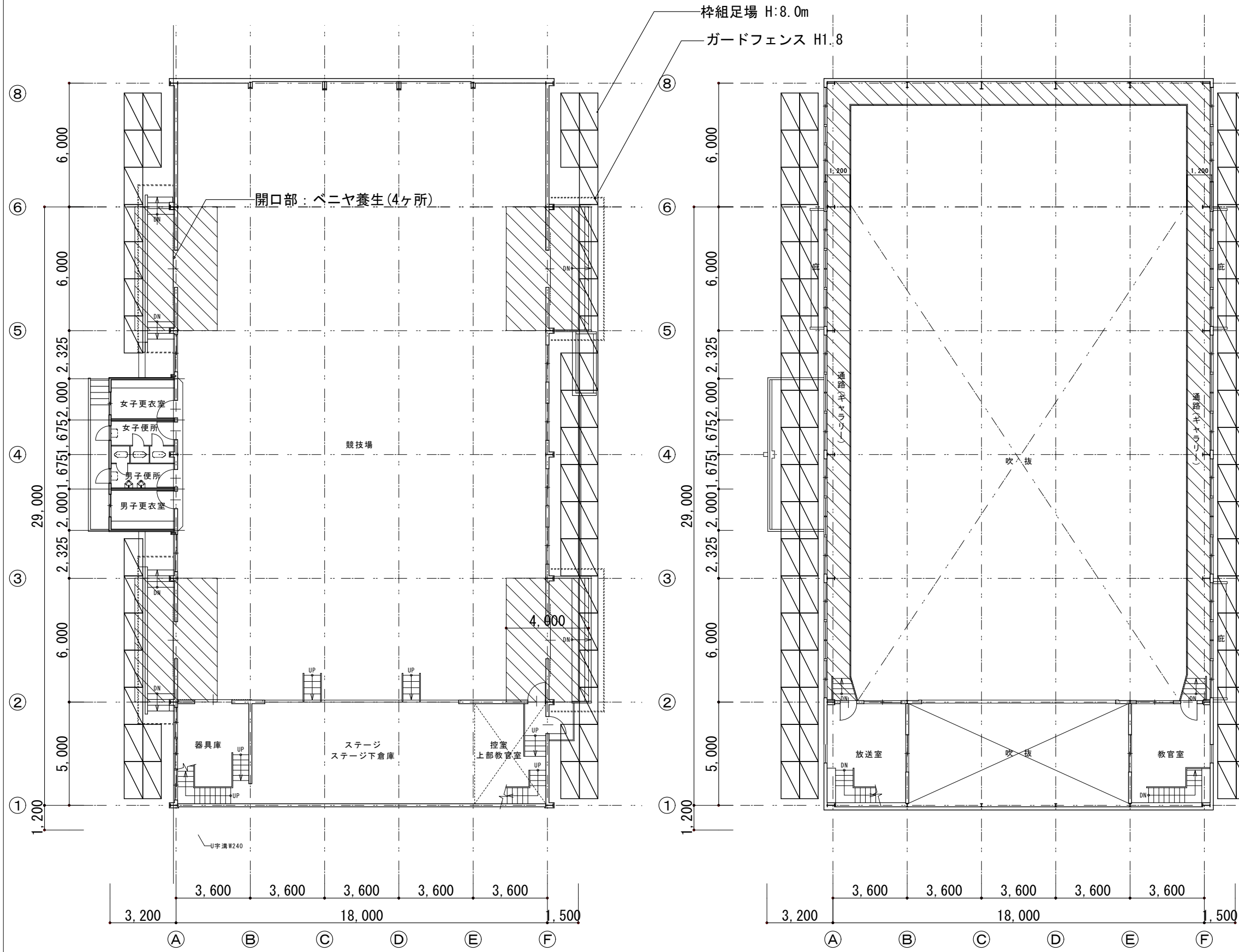
工事車両を示す

＜全体仮設計画＞

- 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・パー）を設置する
- 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
- 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
- 工事に使用する揚重機（クレー車等）は、安全上十分なものを使用すること
- 登下校時の車両の出入りはしないこと

＜特記事項＞

- 本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- 仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

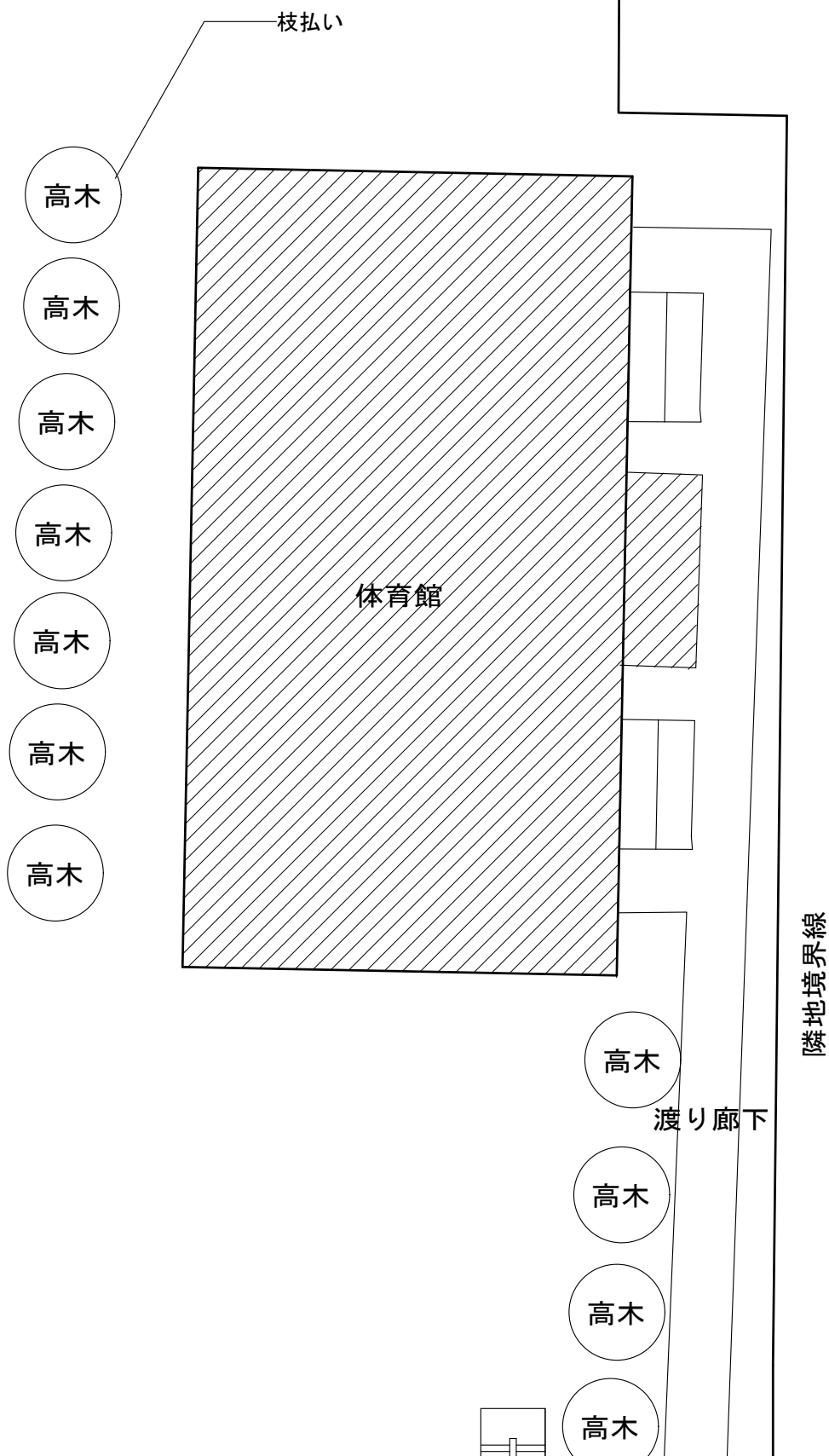


内部仮設計計画図 1/200

ビニルシート養生を示す

全体仮設計計画図 1/300

工事箇所を示す



市道（幅員4m）

道路境界線

プール

浄化槽

道路境界線

市道（幅員6m）

キュービクル

工

学

教

般

正門

校舎棟

機械室

給食棟

北校舎棟

EXP. J

資材置き場

工事関係者
駐車スペース
(6台程度)

工事名	松戸市立六実第二小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計面図(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-13
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】銅製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】銅製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立幸谷小学校 体育館空調設備設置建築工事		工事設計図		令和6年1月31日		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																														
仕 様 書		① 一般共通事項	① ①運用基準等	○ 松戸市建築工事に関する提出書類 ○ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ○ 松戸市建築工事現場表示板仕様		② ②工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 適用する		[1.1.4]		③ ③施工計画書	○ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 ○ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 ○ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 ○ 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。		[1.2.2]		④ ④電気保安技術者	・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、 電気工作物の保安の業務を行うものとする。		[1.3.3]		⑤ ⑤施工条件	※ 現場説明書による		[1.3.5]		⑥ ⑥発生材の処理等	※ 現場説明書による ○ 壊外搬出適正処理		[1.3.12]		⑦ ⑦材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、 JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。		[1.4.2]		⑧ ⑧化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保溫材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品		[1.6.2]		⑨ ⑨特別な材料の工法	横仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		[1.6.2]		⑩ ⑩技能士	適用工事種別		技能検定の職種		[1.6.2]		11 ⑪ 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・ 行う 測定対象室 ・ 体育館 測定箇所数 ・ 1箇所 着工後の測定 ・ 行う 測定対象室 ・ 体育館 測定箇所数 ・ 1箇所		※作成する ・ 作成しない		[1.8.1～3][表1.8.1]		⑫ ⑫完成図等	※作成図 提出部数 ※現場製本図 3部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R）） ・ 黒 金文字製本図 1部 ・ 施工図 提出部数 ※ 部	
1 工事概要			1. 工事場所		松戸市幸谷2 1 2 番地の 2		2. 敷地面積		14.449 m ²		3. 改修建物概要		用 途：小学校（体育館） 構 造：S造 階 数：地上 2 階 建築面積： 延べ面積：637㎡ 最高高さ：9.30m（軒高さ：7.50m）		4. 工事内容		工事種目		工事範囲		2 仮設工事		仮囲い・資材置場		3 防水改修工事		シーリング充填		4 外壁改修工事		-		5 建具改修工事		外部建具の新設（外壁含む）、フィルム新設		6 内装改修工事		-		7 塗装改修工事		-		8 耐震改修工事		-		9 環境配慮改修工事		-		10 その他									
II 建築工事仕様			1. 共通仕様		(1) 図面及び特記仕様に記載されない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準」という。）による。		2. 特記仕様		(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と※印の付いた場合は共に適用する。 (3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、横仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ㊦印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。		松戸市建築工事現場表示板仕様				(1) 材料 1) 耐水合板（ラワン厚み12mm S0P仕上げ） 2) 枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。 (2) 注意事項 1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう 固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。																																															

工事名		松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名		特記仕様書（ 1 ）		
作成年月日		令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺		No Scale	図面番号	A-01
設 計		株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
		松戸市 街づくり部 建築保全課		

4-1
外壁改修工事

コンクリート打放し仕上げ外壁

2 欠損部改修工法
(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4-2
外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

4-3
外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

2 改修材料

・既製調合モルタル
保水率 (%) 70.0以上
単位容積質量 (kg/ l) 1.80程度
接着強さ (N/?) 標準時 0.60以上
温冷繰り返し後 0.40以上
長さ変化率 (%) 0.20以上
曲げ強さ (N/?) 4.0以上
・パテ状エポキシ樹脂
初期硬化性(標準) 接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率
2.ON/2以上 6.ON/2以上 50.ON/2以上 30.ON/2以上 3.0(%)以上
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
・可とう性エポキシ樹脂
性能 常温物性 低湿性 加熱変化 引張接着性
引張強さ 1.ON/2以上 1.ON/2以上 1.ON/2以上 最大引張応力 1.ON/2以上
伸び 30.0%以上 30.0%以上 30.0%以上 破断時の伸び 10.0%以上
比重 表示値±0.10
押出し性 60秒以下
スランプ 3mm以下
加熱減量 5%以下
a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。
・タイル部分張替え工法用材料
接着強さ 標準 低湿硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化
強度(N/?) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上
凝集破壊率(%) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上
皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化
引張強さ(N/?) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上
伸び(%) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上
貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずれ抵抗性があること。
f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。
・エポキシ樹脂モルタル
接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ
1.ON/2以上 20.ON/2以上 10.ON/2以上
a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢系等
曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ(N/?)
(N/?) (N/?) (N/?)
6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上
表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
・ポリマーセメントスラリー
広がり速度 長さ変化率(収縮) 引張接着性(材齢28日) 曲げ性能(変化曲げ強さ) 吸水性(72時間) 耐久性(変化曲げ強さ)
3以上 3.0%以下 0.5N/2 5.ON/2 15%以下 6.ON/2
保水係数 0.35～0.55
粘弾係数 0.50～1.00
・吸水調整材
項目 全面積分(%) 吸水性(g) 接着強度(N/?) 界面破壊率(%)
品質・性能 表示値±1%以内 30分で1g以下 0.98以上 50%以下
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
・Uカットシール材充填工法
充填材料 品質・規格等 備考
・シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタル充填
品質・性能 表示値±1%以内 30分で1g以下 0.98以上 50%以下
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)

4-2
外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

2 ひび割れ部改修工法

3 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

5 巾木モルタル塗

・行う(※監督職員の指示による)

・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)
※樹脂注入工法
[4.1.4][4.4.2][4.5.4]
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※
樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40
注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70
・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130
注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
[4.2.2]
検査(コア抜き) ※行わない
・行う(抜き取り部の補修方法：)
[4.3.4]
・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
充填材料 品質・規格等 備考
・シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
JIA A 6024
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]
(※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面)。
・パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024)
・可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)
・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3]
(※シール工法の範囲・監督職員の指示による)

・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8～9]
改修工法の種類 材 料 品質・規格等
・充填工法 エポキシ樹脂モルタル
・モルタル塗替え工法 改修幅は4.2.2(7)による 塗り厚25mmを超える場合の補修 ※行う ・行わない ・図示

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml

アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 [4.2.2]
注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。 [4.2.2]

・樹脂モルタル T3

4-4
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

1 既存塗装等の撤去及び下地処理

2 下地調整材

3 仕上げ塗材仕上げ

4 その他の仕上げ

4-5
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-1
外壁改修工事

コンクリート打放し仕上げ外壁

2 欠損部改修工法
(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

・行う(※監督職員の指示による)

・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)
※樹脂注入工法
[4.1.4][4.4.2][4.5.4]
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※
樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40
注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70
・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130
注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
[4.2.2]
検査(コア抜き) ※行わない
・行う(抜き取り部の補修方法：)
[4.3.4]
・Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4.1.4][4.2.2][4.3.5～6]
充填材料 品質・規格等 備考
・シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う
ポリウレタン系シーリング材
・可とう性エポキシ樹脂

・タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.7]
接着剤の種類 品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル
・タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1であり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法 [4.1.4][4.5.8]
伸縮調整地及びひび割れ誘発目地位置 ※改修幅仕様表4.5.1による ・図示

4-2
外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

4-3
外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

4-4
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-5
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-6
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-7
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-8
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-9
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-10
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-11
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-12
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-13
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-14
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-15
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-16
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-17
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-18
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-19
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-20
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-21
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-22
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-23
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-24
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-25
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-26
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-27
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-28
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-29
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-30
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-31
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-32
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-33
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-34
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-35
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-36
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-37
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-38
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-39
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-40
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-41
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-42
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-43
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-44
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-45
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-46
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-47
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-48
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-49
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-50
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-51
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-52
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-53
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-54
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-55
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-56
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-57
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-58
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-59
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-60
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-61
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-62
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-63
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-64
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-65
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-66
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-67
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-68
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-69
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-70
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-71
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-72
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-73
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-74
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-75
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-76
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-77
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-78
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-79
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-80
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-81
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-82
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-83
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-84
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-85
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-86
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-87
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-88
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-89
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-90
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-91
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-92
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-93
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-94
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-95
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-96
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-97
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-98
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-99
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-100
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-101
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-102
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-103
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-104
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-105
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-106
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-107
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-108
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-109
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-110
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-111
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-112
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-113
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-114
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-115
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-116
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-117
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-118
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-119
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-120
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-121
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-122
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-123
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-124
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-125
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-126
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-127
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-128
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-129
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-130
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-131
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-132
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-133
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-134
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-135
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-136
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-137
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-138
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-139
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-140
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-141
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-142
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-143
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-144
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-145
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-146
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-147
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-148
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-149
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-150
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-151
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-152
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-153
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-154
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-155
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-156
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-157
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-158
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-159
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-160
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-161
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-162
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-163
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-164
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-165
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-166
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-167
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-168
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-169
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-170
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-171
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-172
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-173
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-174
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-175
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-176
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-177
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-178
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-179
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-180
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-181
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-182
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-183
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-184
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-185
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-186
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-187
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-188
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-189
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-190
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-191
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-192
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-193
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-194
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-195
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-196
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-197
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-198
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-199
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-200
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-201
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-202
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-203
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-204
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-205
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-206
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-207
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-208
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-209
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-210
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-211
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-212
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-213
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-214
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-215
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-216
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-217
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-218
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-219
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-220
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-221
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-222
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-223
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-224
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-225
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-226
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-227
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-228
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-229
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-230
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-231
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-232
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-233
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-234
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-235
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-236
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-237
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-238
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-239
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-240
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-241
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-242
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-243
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-244
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-245
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-246
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-247
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-248
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-249
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-250
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-251
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-252
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-253
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-254
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-255
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-256
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-257
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-258
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-259
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-260
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-261
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-262
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-263
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-264
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-265
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-266
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-267
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-268
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-269
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-270
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-271
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-272
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-273
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-274
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-275
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-276
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-277
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-278
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-279
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-280
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-281
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-282
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-283
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-284
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-285
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-286
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-287
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-288
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-289
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-290
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-291
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-292
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-293
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-294
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-295
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-296
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-297
外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

4-298
外壁改修工事

<

章

5

17

建具改修工事

項目

オーバーヘッドドア

特記事項

項目

18

かぎ箱

特記事項

項目

⑥

内装改修工事

項目

①

改修範囲

特記事項

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲
ビニル床シート等の除去
・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て)
カラーフロアの撤去
・機械的除去工法
・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲
・改修箇所内

項目

③

既存壁の撤去並びに下地補修

特記事項

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
○図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う・行わない)

項目

4

木下地等(AP-1、2)

特記事項

木材の品質 図示
※改修標準仕様書6.5.2による
・市販品
代用樹種 ※改修標準仕様6.5.4による
・代用樹種を適用しない箇所()
保存処理木材を適用する箇所()

項目

5

集成材等⑥(縦線等)

特記事項

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧標準の樹種
※集成材	※一般材	・米桐・なら・しおじ	
・構造用集成材	・1種 ※2種・3種	・	
・造作用集成材	※1等・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等・2等	・	・
ホルムアルデヒドの放散量	※F☆☆☆☆	・	

項目

6

接着剤

特記事項

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

項目

7

防霉、防蟻処理

特記事項

行う箇所()
防霉処理 ※行う(※図示)
防蟻処理 ※行う(※図示)
防霉、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存材(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

項目

8

床板張り

特記事項

フローリング及び縁板張り床
[6.5.8][6.11.2][表6.5.10]

種別	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※無し	※NC	※無地・マーブル柄	※2.5
下張り用床板	※合板	t12mm	
・有り	・パーティクルボード	t15mm	
床板	※単層フローリング(共仕9.5.2による)	ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆	・
・縁甲板		※ひのき	

項目

⑨

軽量鉄骨天井下地(縦線等)

特記事項

野縁等の種類
屋外(※19形・25形) 屋内(※19形・25形 ※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート ・使用する(※使用しない)
あと施工アンカーの確認試験 ・行う ※行わない
・図示
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

項目

10

軽量鉄骨壁下地

特記事項

項目

11

ビニル床シート張り

特記事項

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC	※無地・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの	※納物・無地	・	
・防滑性ビニル床シート	・NF・NC	・納物・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法 ※熱溶接工法・突付け(施工箇所:)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆

項目

12

ビニル床タイル張り

特記事項

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	QT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	QTS		
・ホモジニアスピニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆

項目

13

帯電防止床タイル張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスピニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		1.0×10 ¹⁰ Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆

項目

14

視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)

特記事項

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内 ※塩化ビニル製・磁器又は石器質タイル(※300・)
・レンジョコンクリート製
屋外 ※レンジョコンクリート製・磁器又は石器質タイル(※300・)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆

項目

15

ビニル幅木

特記事項

高さ(mm) ・60 ・75 ・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆

項目

16

合成樹脂塗床

特記事項

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのエ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのエ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆

項目

17

フローリング張り

特記事項

種別	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大芯積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・フナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・フナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

項目

18

畳敷き

特記事項

下地の種類	畳の種類
改修標準仕様表6.5.10による床組	※B種
ポリスチレンフォーム床下地	※C種

項目

19

ポリスチレンフォーム床下地材

特記事項

畳下地	厚さ(mm)	※40・65・80
フローリング類	厚さ(mm)	※80・95

項目

20

カーペット敷き

特記事項

・縦じゅうたん

種別	パイル系の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・羊毛系	人体帯電性	※3kV以下	・無地
・B種	・紡毛系			・納物(標準品)
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電性値3kV以下

項目

21

石膏ボードその他のボード張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	規格
・硬質毛セメント板	15・20・25	
・普通毛セメント板	15・20・25	
・ケイ酸カルシウム板	4・5・6・8・9・10・12	

・ロックウール化粧吸音板 ※フラットタイプ(※9(不燃)・12・)
・凸凹タイプ(※12(不燃)・15・19・)
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用) ※フラットタイプ9(不燃)
・凸凹タイプ(※12・15)(不燃)
・せっこうボード
・不燃積層せっこうボード
・シージングせっこうボード
・強化せっこうボード
・せっこうラスボード
・化粧せっこうボード
・化粧せっこうボード(木目)
・難燃合板
・メラミン樹脂化粧板
・ミディアムデンシティ
・ファイバーボード
・単板張りパーティクルボード
・ハードボーイ(素地)
※規制対象外・第三種
・インジュレーションボード
・フレキシブル板
・(有孔)シナ合板
・構造用合板(機器取付下地)
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する ※適用しない

項目

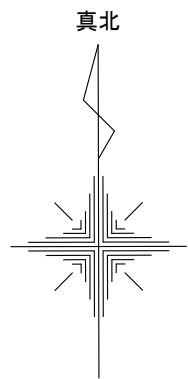
22

吸音材

特記事項

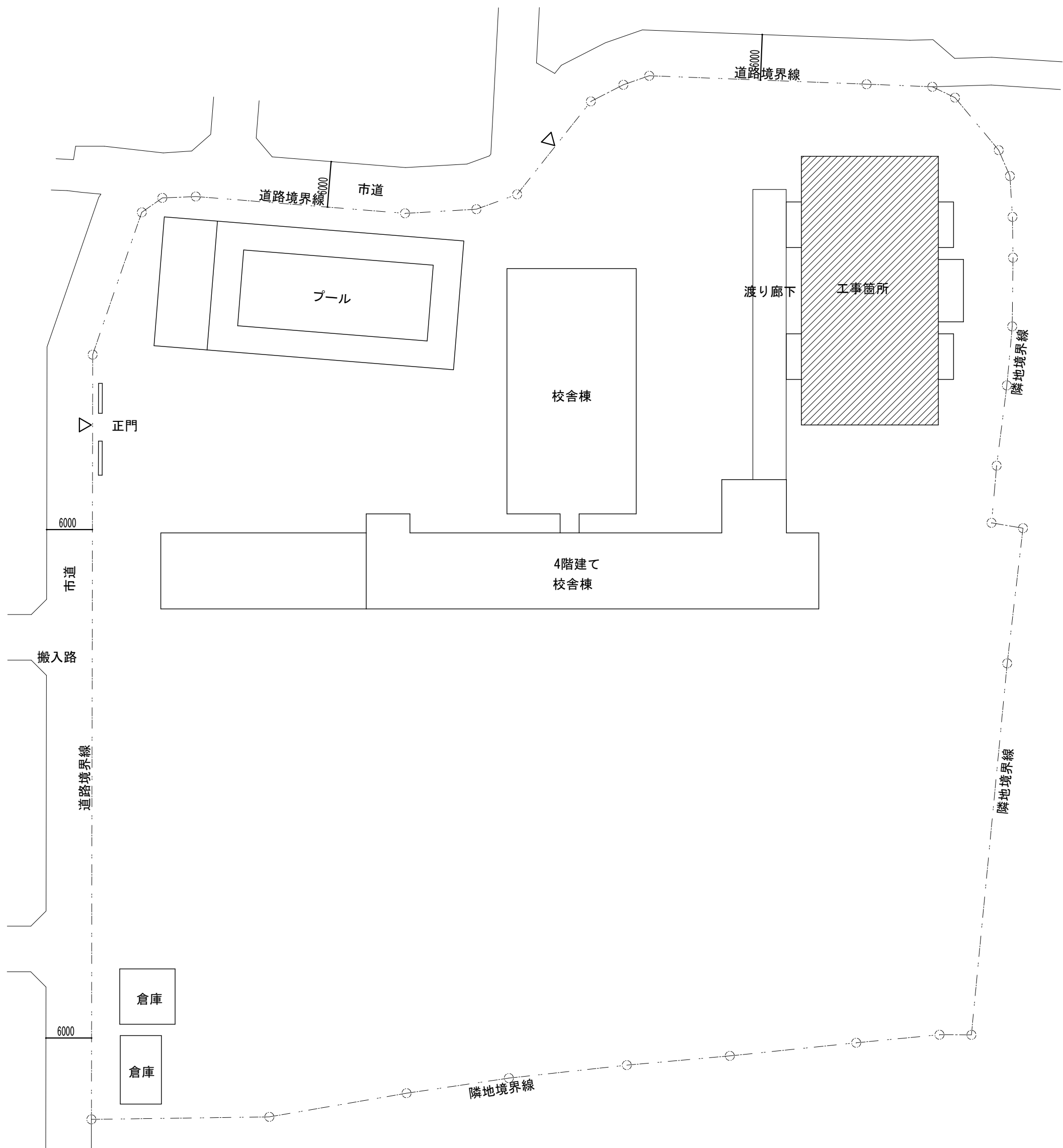
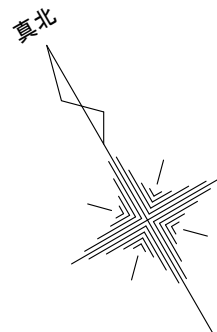
種類

[illegible]



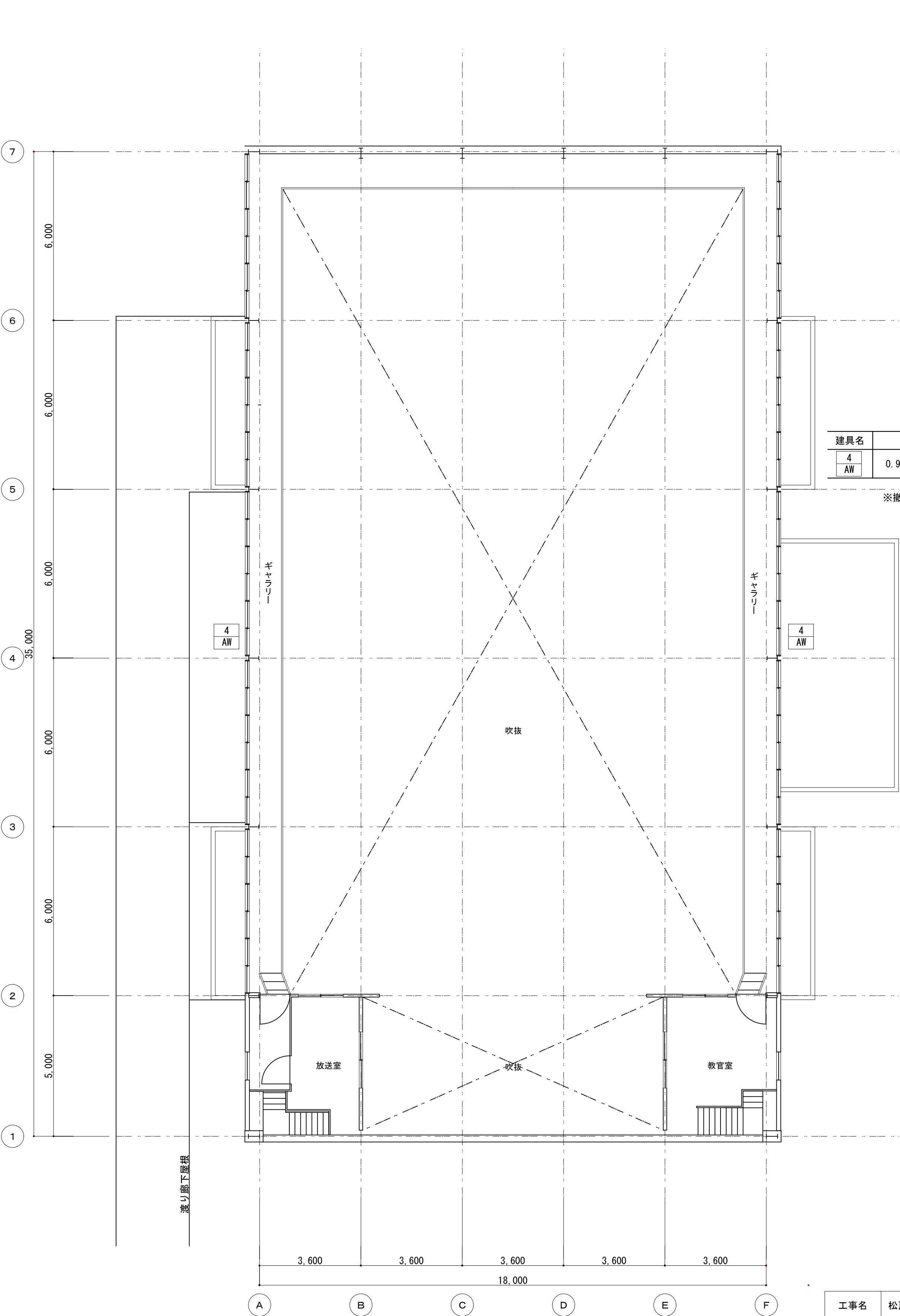
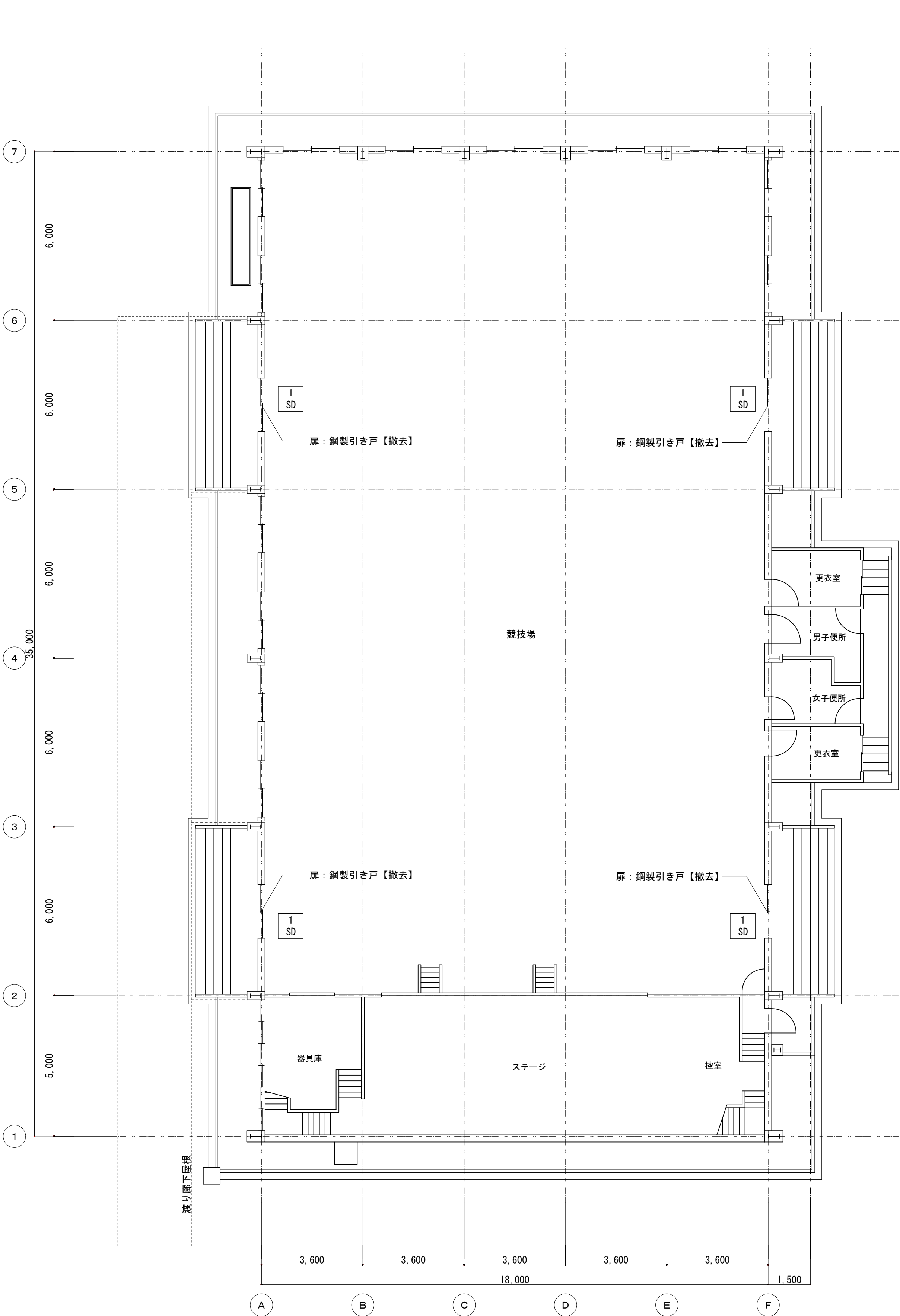
工事場所：松戸市立幸谷小学校
地名地番：松戸市幸谷212番地の2

案内図 1/2500
工事場所を示す



配置図 1/500
工事箇所を示す

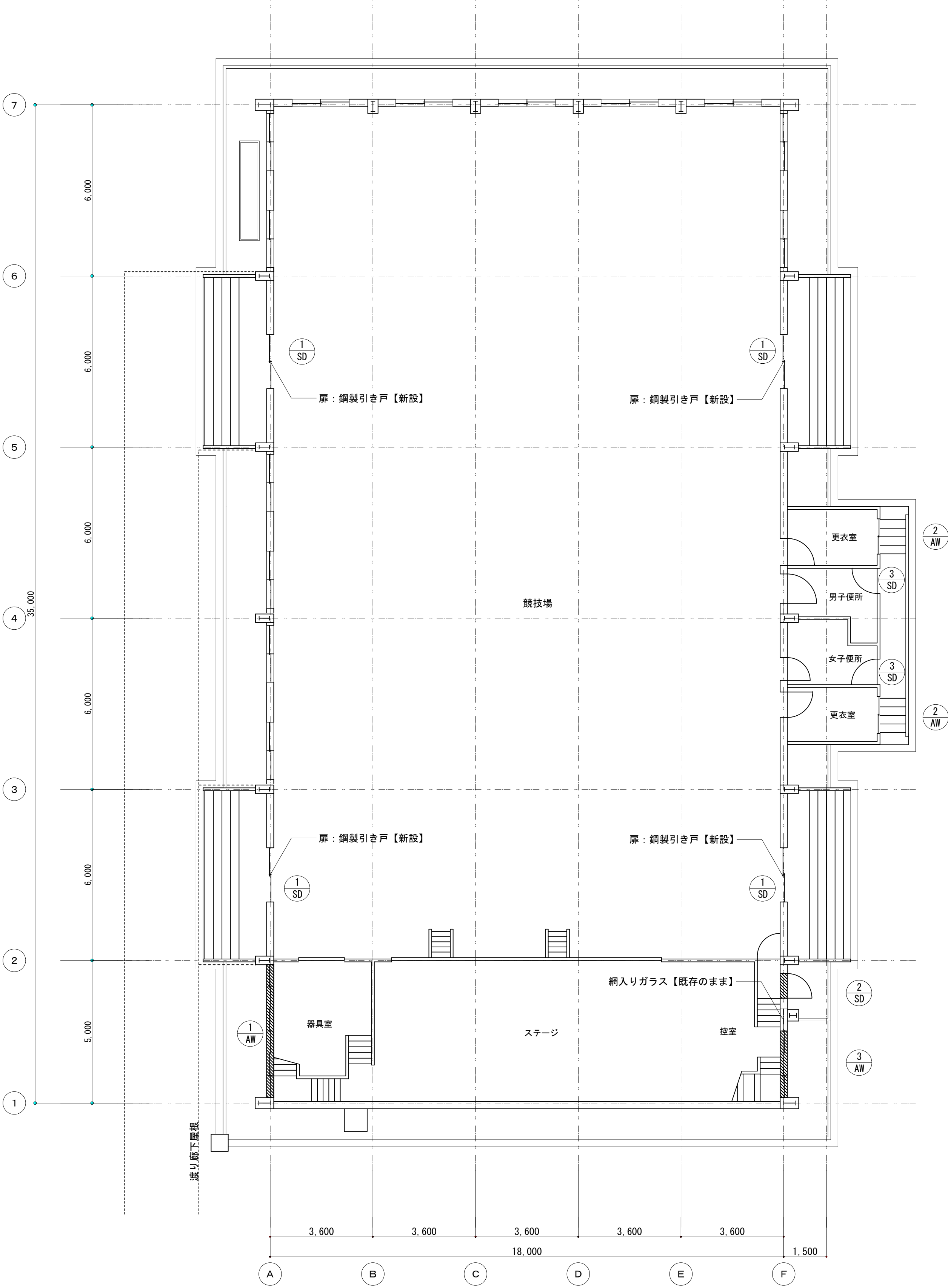
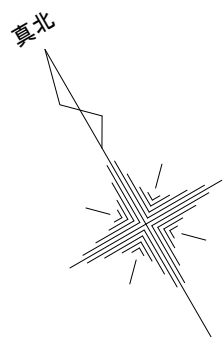
工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500,2500 A3:1/1000,5000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



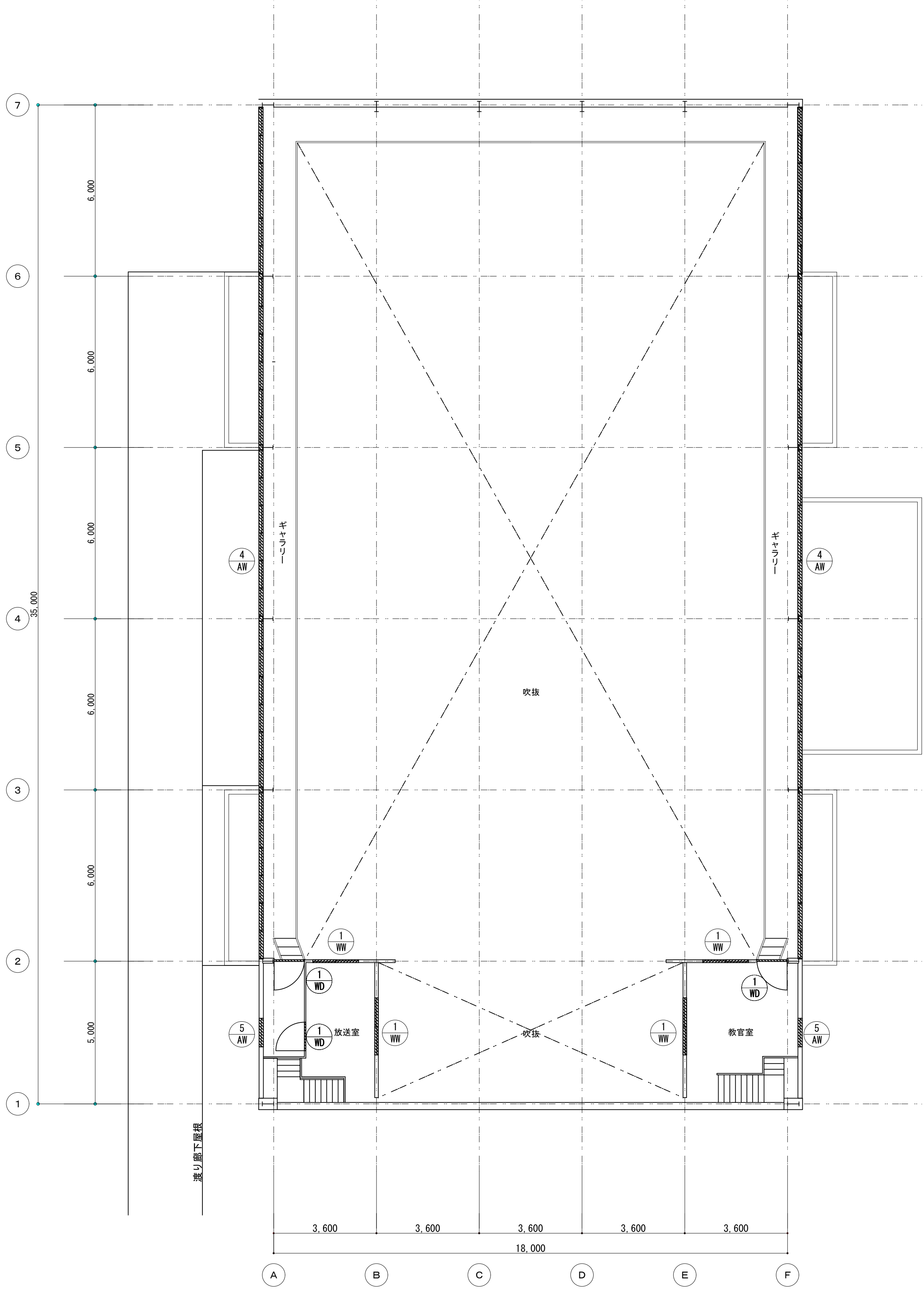
建具名	割れガラス撤去面積 計2.43㎡
4 AW	0.9m×0.9m×3枚＝2.43㎡

※撤去箇所について建具表参照

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修前】各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

建具名	遮熱フィルム新設面積	外貼	計151.2㎡
4 AW	2.8m×1.8m×3枚×10=151.2㎡		

建具名	飛散フィルム新設面積	内貼	計5.11㎡
1 WW	0.6m×1.8m×4枚=4.32㎡		
1 WD	0.63m×0.42m×3枚=0.79㎡		

建具名	飛散フィルム新設面積	外貼	計9.64㎡
1 AW	1.45m×0.4m×3枚=1.74㎡		
2 AW	1.20m×0.49m×2枚=1.17㎡		
3 AW	1.45m×0.4m×2枚=1.16㎡		
5 AW	2.2m×0.9m×2枚=3.96㎡		
2 SD	0.4m×0.83m×1枚=0.332㎡		
3 SD	0.8×0.8m×2枚=1.28㎡		

フィルム新設範囲を示す

建具名	割れガラス新設面積	計2.43㎡
4 AW	0.9m×0.9m×3枚=2.43㎡	

※新設箇所について建具表参照

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修後】各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

[illegible]

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子		方角	東・西・南	北
A	透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	G 飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	H 飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO70S	既存のまま
D	強化型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANO70SX	既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼	遮熱フィルム 3M NANO90S	既存のまま
F	網入り型硝子	外貼	遮熱フィルム 3M NANOMACRX	既存のまま

- ・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン（株）同等品とする。
- ・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
- ・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
ただし、既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表
(外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など)

既存硝子			方角	全方角・内角
G	透明硝子	内貼		飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
H	型硝子	外貼		飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
	強化透明硝子	—		既存のまま
	強化型硝子	—		既存のまま
	網入り透明硝子	—		既存のまま
	網入り型硝子	—		既存のまま

- ・飛散防止フィルムは3Mジャパン(株)同等品とする。
- ・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
- ・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
：既存の網入りガラスが割れている場合は強化と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（１）		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-08
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2306-2686 号 山岡 治 一級建築士大士登録第 272498 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・数量	1 SD × 4箇所【撤去】	1 SD × 4箇所【新設】
姿図・寸法		
使用場所	競技場入口	競技場入口
形式・名称	2枚引き違い戸	2枚引き違いハンガー戸
材質・仕上	特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm	特殊垂鉛メッキ鋼板
ガラス	-	-
付属金物	2段皿板	ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番
備考		
平面図		

【改修前】平面図 1/20

凡例

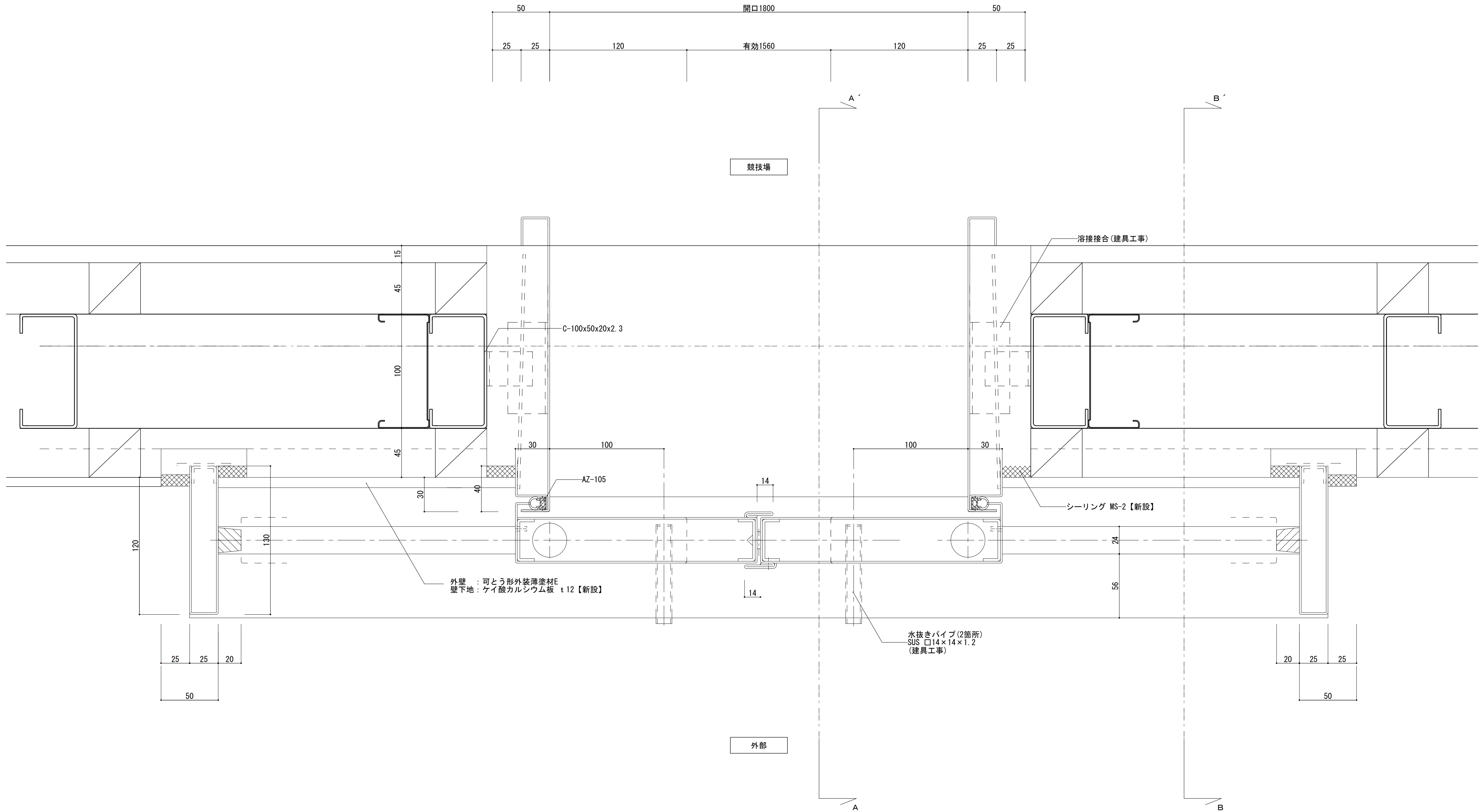
カッター入れ

建具撤去範囲を示す

壁撤去範囲を示す

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（2）		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

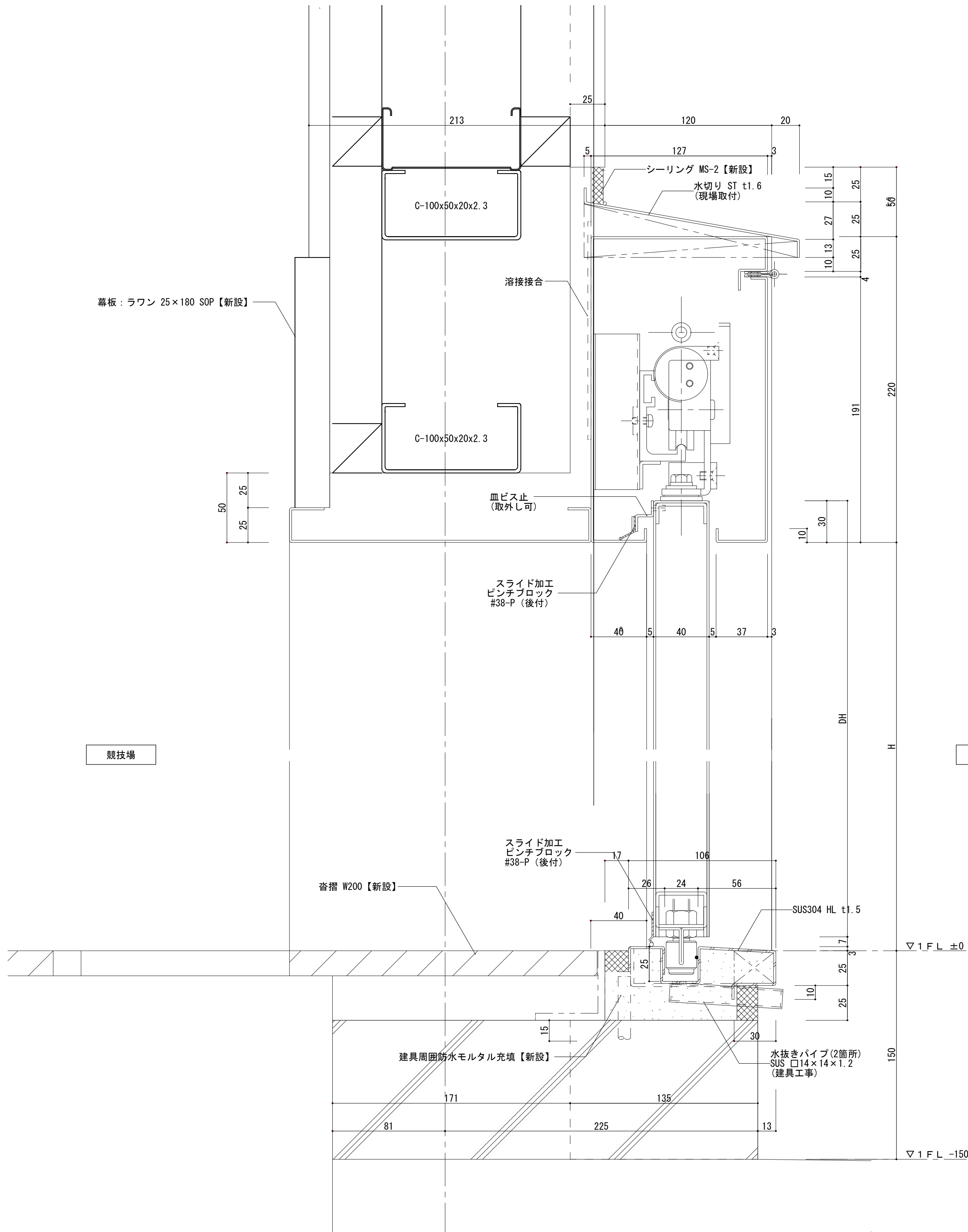
工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【改修】建具表（２）		
作成年月日	令和７年２月１日	変更年月日	
縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第１-２３０６-２６８６号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第２７２４９８号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



建具平面詳細図 1/2

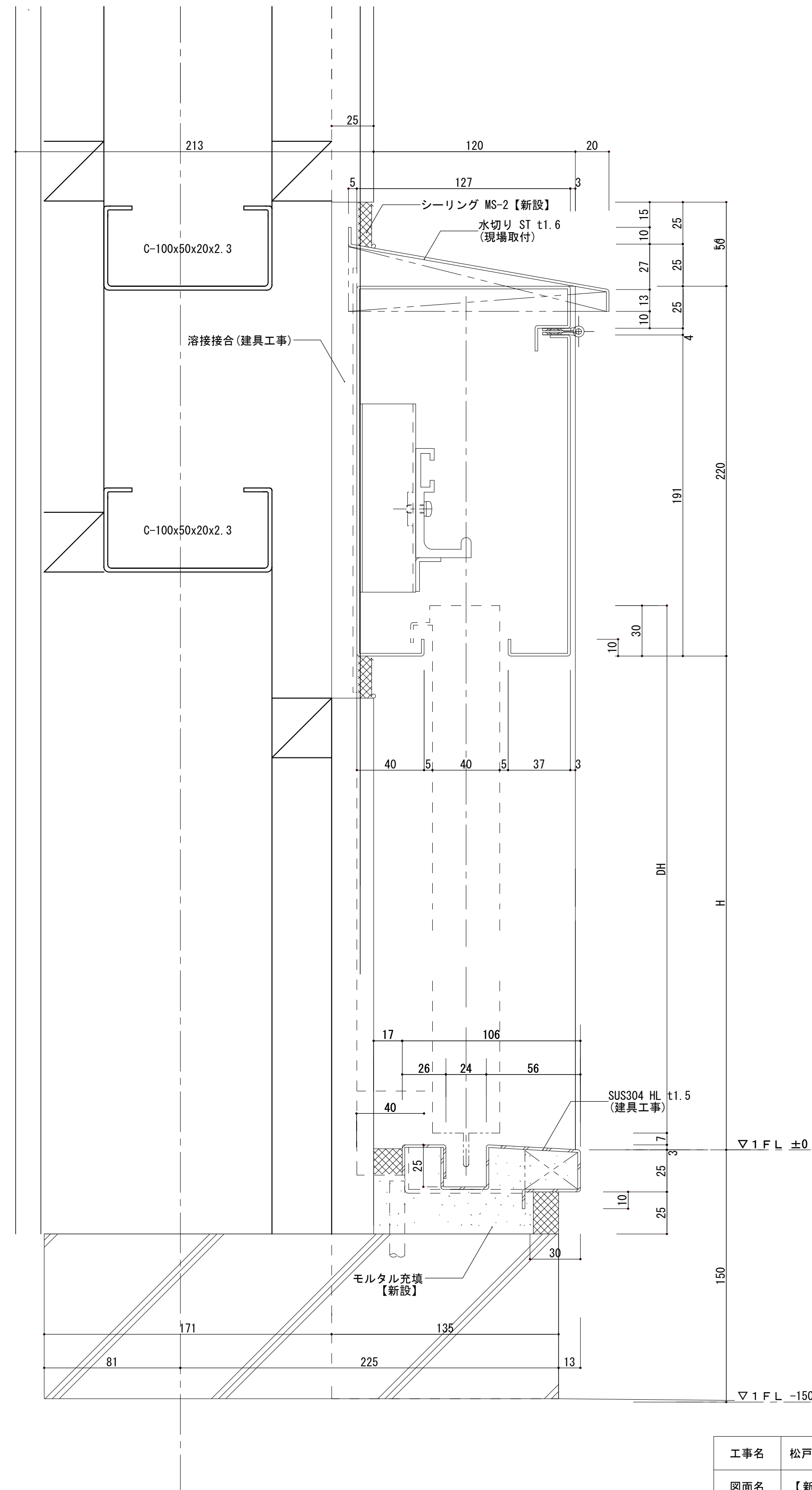
※現場測定確認する事

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1 - 2 3 0 6 - 2 6 8 6 号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第 2 7 2 4 9 8 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



A-A' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事



B-B' 建具断面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立幸谷小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図2(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

 鉄敷板 t=22 1.5m×6.0—

 枠組足場：ネット養生シート(防災1類) W=914×610

 円形足場：ネット養生シート(防災1類) W=914—
 ガードフェンス H1.8 総延長距離 48m

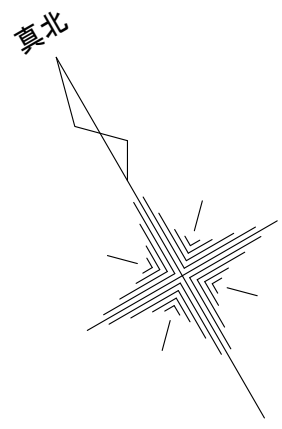
 仮囲い：カラーコーン、コーンパー 総延長距離 25m

 工事用仮門：パネルキャスターゲート W4.0×H2.0 (2箇所)

 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする

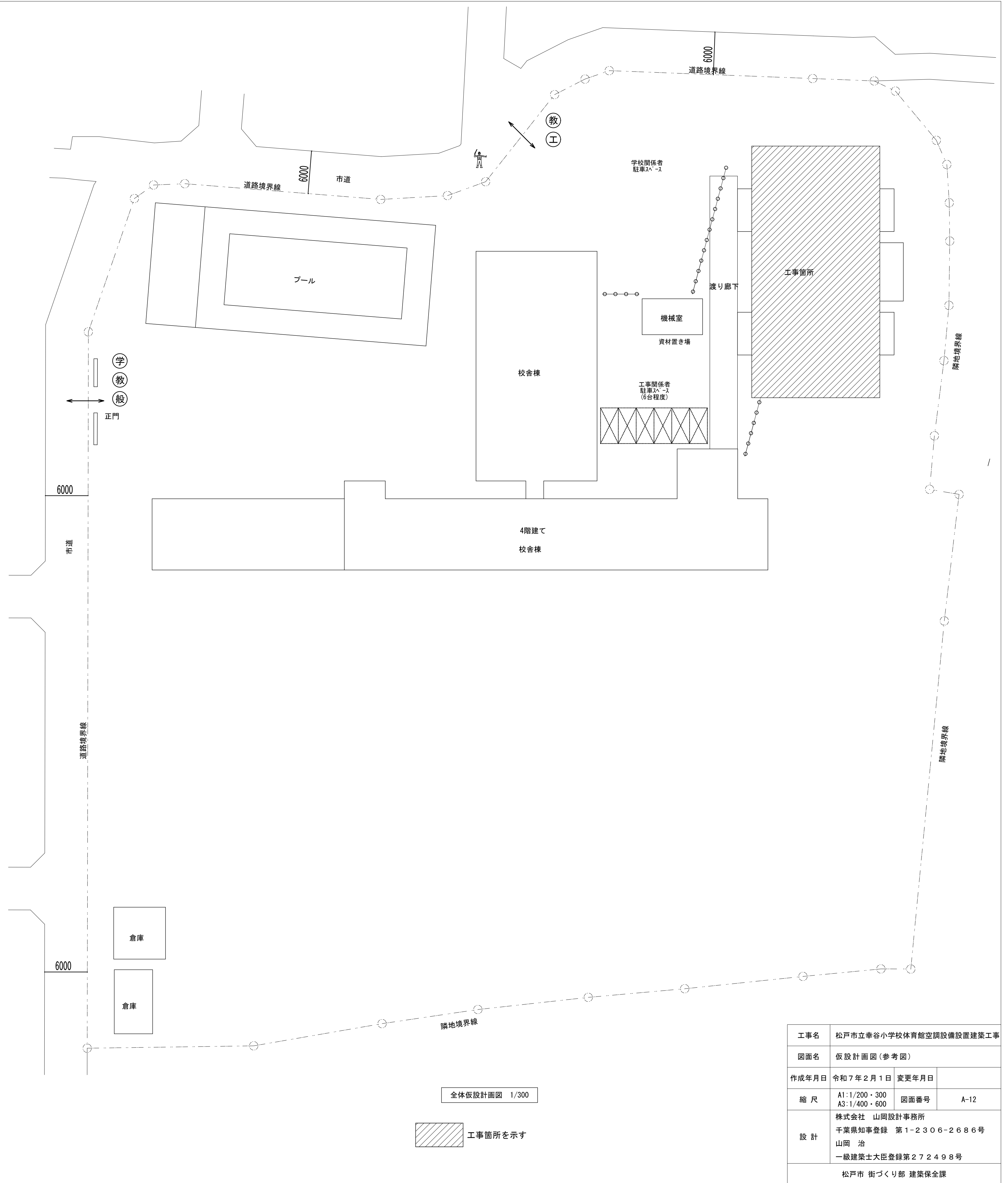
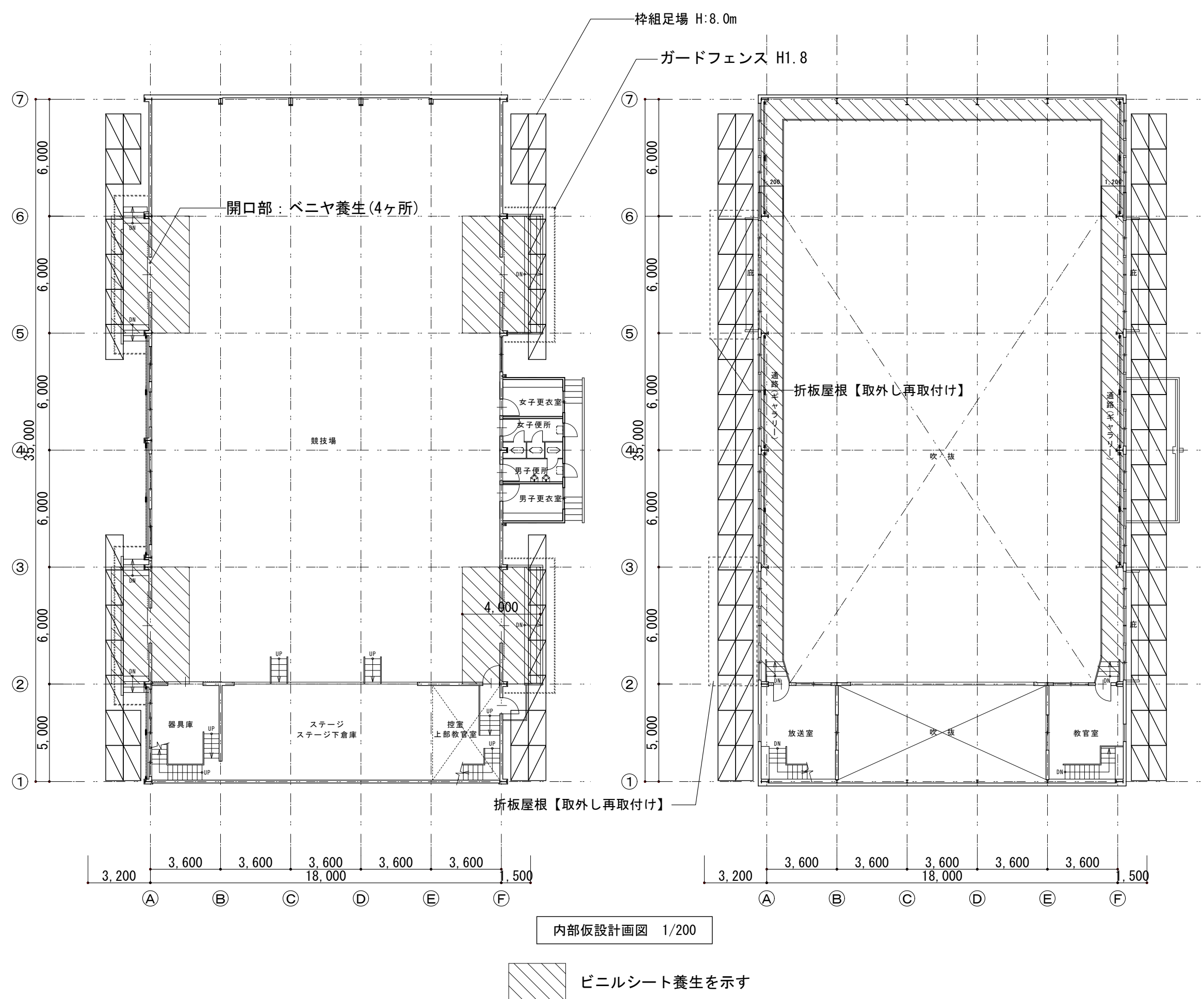
 動線を示す

- (学) 生徒・学校関係者を示す
- (教) 教員車両を示す
- (般) 一般車両を示す
- (工) 工事車両を示す



1. 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
2. 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
3. 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
4. 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
5. 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
6. 登下校時の車両の出入りはしないこと

- ・本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- ・仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。



松戸市立新松戸西小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2500
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表（１）	1/50
A-09	【改修】建具表（２）	1/20
A-10	【新設】鋼製建具詳細図１（参考図）	1/2
A-11	【新設】鋼製建具詳細図２（参考図）	1/2
A-12	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立新松戸西小学校
体育館空調設備設置建築工事

工事設計図

令和6年1月31日

仕 様 書

1 工事概要

1. 工事場所
松戸市小倉1、180番地

2. 敷地面積
17.289㎡

3. 改修建物概要
用 途：小学校(体育館)
構 造：S造
階 数：地上2階
建築面積：
延べ面積：778㎡
最高高さ：12.00m(軒高さ：8.50m)

4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	仮囲い・資材置場
3 防水改修工事	シーリング充填
4 外壁改修工事	-
5 建具改修工事	外部建具の新設(外壁含む)
6 内装改修工事	一部壁張替え
7 塗装改修工事	-
8 耐震改修工事	-
9 環境配慮改修工事	-
10 その他	

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標準」という)による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) ㊦印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様

ライン(白)

工事名称
発注者
設計
監理
施工
建築
電気
機械
緊急連絡先

文字(白)

松戸市

下地(青)

ライン(白)

900

1800

章 項 目

特 記 事 項

① ①運用基準等

② ②工事実績情報サービス(CORINS)への登録

③ ③施工計画書

4 電気保安技術者

⑤ ⑤施工条件

⑥ ⑥発生材の処理等

⑦ ⑦材料の品質等

⑧ ⑧化学物質を放散する建築材料等

⑨ ⑨特別な材料の工法

⑩ ⑩技能士

11 化学物質の濃度測定

⑫ ⑫完成図等

○ 松戸市建築工事に関する提出書類

○ 工事写真の撮り方 建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

○ 松戸市建築工事現場表示板仕様

※ 適用する

○ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。

○ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。

○ 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。

○ 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。

・ 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、

電気工作物の保安の業務を行うものとする。

※ 現場説明書による

※ 現場説明書による

○ 壊外撤出適正処理

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3) 安定的な供給が可能であること。

(4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

2) 保温材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

③下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用

d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用

第三種

①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

③旧JISのEo規格品

④旧JASのFco規格品

仕様に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

適用工事種別

技能検定の職種

鉄筋工事

鉄筋施工(鉄筋組立作業)

コンクリート工事

型枠施工

コンクリート圧送

鉄骨工事

とび

ブロック・ALCパネル工事

ブロック建築

ALCパネル施工

防水工事

アスファルト防水工事作業

合成ゴムシート防水工事作業

ウレタンゴム系塗装防水工事作業

シーリング防水工事作業

石工事

石材施工(石張り施工)

タイル工事

タイル張り

木工事

建築大工

屋根及びびとい工事

建築板金(内外装板金作業)

金属工事

内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)

左官工事

左官

建具工事

サッシ施工

ガラス施工

自動ドア施工

カーテンウォール工事

カーテンウォール施工

サッシ施工

ガラス施工

塗装工事

塗装(建築塗装作業)

内装工事

プラスチック系床仕上げ工事作業

ボード仕上げ工事作業

表装(壁装作業)

植栽工事

造園

※作成する

作成しない

※完成図

提出部数

※現場製本図

3部(A3版第2原図及び電子媒体(CD-R))

・黒

金文字製本図

1部

・施工図

提出部数

※

部

章 項 目

特 記 事 項

13 完成写真

⑭ 設備工事との取合い

⑮ 設計GL

⑯ 工事写真

⑰ ワンダーレスポンスの実施

⑱ 火災保険等

⑳ 仮設工事

㉑ 養生

3 仮設間仕切り

4 監督職員事務所

⑤ ⑤工事用水

⑥ ⑥工事電力

7 防音パネル

8 仮門

⑨ ⑨仮囲い

10 仮設道路

③ ③アスファルト防水

防水改修工事

1 ①アスファルト防水

2 改質アスファルトシート防水

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

・ 分類・規格

撮影面数

撮影部数

原版の大きさ(mm)

・ カラー

外部()

内部()

※1

・6

※100×125以上

・

※カラー半切木製パネル 324×400(mm)

外部()

内部()

※2

・ 電子データ

外部()

内部()

※2

※200万画素以上

※300dpi以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめ焼を提出し確認を受ける。

電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、QD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

※図示

・設計GL＝現状GL

※着工前、完成及び立会写真2部

工事工程写真1部

ワンダーレスポンスの取り組みについて

1. この工事はワンダーレスポンス実施対象工事である。

「ワンダーレスポンス」とは

受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。

ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。

3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。

4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

※火災保険等の証券等の写しの提出提出すること。

内部足場

種別

※御立、足場板

・棚足場

外部足場

手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。

屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。

材料、撤去材等の運搬方法

・A種

※B種

・C種

◎D種

・E種

・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。

既存部分の養生

◎ビニールシート

・合板

厚12

既存家具等の養生

※ビニールシート

固定家具等の養生

※行う

・行わない

仮設間仕切り等の種別

種 別

下 地

仕上材(厚さ mm)

充てん材

塗 装

・A種

※軽量鉄骨

・合板(※9.0・ラワン)

・

・B種

・木下地

※せっこうボード(※12.5

・)

厚さ mm

・片面

・C種

・単管下地

防炎シート

・仮設扉

※木製扉

※合板張り程度

・

※無し

・鋼製扉

※片面フラッシュ程度

・

・有り

規模及び仕上げの程度は現場説明書による。

構内既存の施設

・利用できない

※利用できる

◎有償

・無償

※子メータを設置する。

構内既存の施設

※利用できない

◎利用できる

◎有償

・無償

※アルミ製(解体作業期間)

・キャスターゲート

W= 4.0 m、H= 1.8 m、

1箇所

◎ガードフェンス

H= 1.8 m

図示

※成型鋼板

H= 2.0 m、L= m、

箇所

・砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m

(砕石は、再生クラッシュランを使用)

・鋼板敷(厚さ mm 幅 mm L= m) 枚

アスファルトの種類

※3種

・4種

保護コンクリートのコンクリート種類

普通コンクリート(18N/ ?=18mm)

(消接金網 径6mm 100mm×100mm敷設)

POD工法の二重ドレン

※設けない

・設ける

M3D、POD工法の脱気装置

※設けない

設ける

既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合)

・除去する

断熱工法の断熱材

厚さ(mm)

※25

ただし、特定フロンを含まないもの。

立上り部の保護

・れんがの種類

※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。

・乾式保護材の材料

※押出成形セメント板

厚さ15mm

防水改修工法の種別

施工箇所

新規防水層の種別

厚さ(mm)

・M4S工法

・AS-1

・AS-2

・AS-3

・M3AS工法

・AS-4

・AS-5

・AS-6

・POAS工法

・MSAS1工法

・MAAS1工法

・POAS1工法

脱気装置

※設けない

・設ける

章 項 目

特 記 事 項

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

4 透膜防水

5 脱気装置

⑥ シーリング

7 とい

8 アルミニウム製笠木

9 折板葺

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1~3]

防水改修工法の種類

施工箇所

新規防水層の種別

仕上げ塗料等

使用分類

・POS工法

・S-F1

・S-M1

・カラー

※非歩行

・S4S工法

・S-F2

・S-M2

・シルバー

・軽歩行

・M4S工法

・S-M1

・S-M2

・POS1工法

・S1-F1

・S1-M1

・S3S1工法

・S1-F2

・S1-M2

・S4S1工法

・S1-M3

・M4S1工法

脱気装置

※設けない

・設ける

目地処理

PCコンクリート

[3.6.2~4][表3.1.1][表3.6.1]

防水改修工法の種類

施工箇所

新規防水層の種別

・POX工法

屋根

・X-1(絶縁工法)

・L4X工法

屋根

・X-2(密着工法)

既存透膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合)

・活膜を残す

脱気装置

※設けない

・設ける

[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]

種 類

材 質

設置数量

・平面部脱気型

・ポリエチレン樹脂

・ABS樹脂

・約50㎡当たり1箇所

・立上り部脱気型

・合成ゴム

・塩化ビニル樹脂

・()㎡当たり1箇所

・ステンレス

・銅

シーリング改修工法の種類

①シーリング充填

・シーリング再充填工法

・シーリング打替え

・拡張シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

シーリング材の種類、施工箇所

※下表以外は改修標準表3.7.1を標準とする

施工箇所

シーリング材の種類(記号)

・打ち継ぎ目地、伸縮目地

・ポリウレタン系(PU-2)(仕上げあり)

◎建具廻り、金属取合い

◎変成シリコン系(MS-2)(仕上げなし)

・タイル目地

・ポリサルファイド系(PS-2)

といの材種

・配管用鋼管

※カラー硬質塩化ビニル管

・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU)

鋼管製といの防露

・次の箇所は行わない()

防露材のホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆

・

掃 除 口

※有り

・無し

・

たてどい受金物の取付け

・図示

[3.9.2~3][表3.9.1]

種 類

呼称肉厚(mm)

製品幅(mm)

固定間隔

備 考

・250形

※1.6以上

・240

・250

固定方法及び間隔は品質計画で

隅角部及び受金り部等の

・300形

※1.8以上

※300

隅は品質計画で

役物は本体製造所の仕様に

・350形

※2.0以上

※350

定めたもの

よる。

板材折曲げ形の取付工法

・図示

[3.9.3](13.3.2~3)

形 式

※重ね形

・はげ締め形

・

形状(mm)

山高()

山ピッチ()

板厚

・0.6

※0.8

材 料

※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯

(規格等)

(GGLCOR-20-AZ150)

軒先面戸板

※有り

・無し

断 熱 材

・有り(種別)

厚さ：

mm)

※無し

耐火性能

・30分耐火

※無し

工事名

松戸市立新松戸西小学校
体育館空調設備設置建築工事

図面名

特記仕様書(1)

作成年月日

令和7年2月1日

変更年月日

縮 尺

No Scale

図面番号

A-01

設 計

株式会社 山岡設計事務所
千葉県知事登録 第1-2306-2686号
山岡 治
一級建築士大臣登録第272498号

松戸市 街づくり部 建築保全課

		特 記 事 項						章 項 目		特 記 事 項									
4 外壁改修工事 共通事項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル 保水率 (％) 単位容積質量 (kg/ l) 接着強さ (N/?) 長さ変化率 (％) 曲げ強さ (N/?) 70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以上 4.0以上 ・ バテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 2.0N/?以上 6.0N/?以上 50.0N/?以上 30.0N/?以上 3.0(％)以上 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15％～85％)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 性能 常温物性 低温性 加熱変化 引張接着性 引張強さ 1.0N/?以上 1.0N/?以上 1.0N/?以上 1.0N/?以上 最大引張応力 1.0N/?以上 伸び 30.0％以上 30.0％以上 30.0％以上 30.0％以上 破断時の伸び 10.0％以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5％以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45％～85％)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ・ タイル部分張替え工法用材料 接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強度 (N/?) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 凝集破壊率(％) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上 皮膜特性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ (N/?) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 伸び(％) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/㎡でも安定していること。 a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものではないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20％)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. すれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル 接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ 1.0N/?以上 20.0N/?以上 10.0N/?以上 a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20％)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等 曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ (N/?) (N/?) 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 長さ変化率(収縮) 引張接着性(材齢28日) 曲げ性能(材齢28日) 吸水性(72時間) 耐久性(劣化曲げ強さ) 3以上 3.0％以下 0.5N/? 5.0N/? 15％以下 6.0N/? 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 ・ 吸水調整材 項目 全固形分(％) 吸水性(g) 接着強度 (N/?) 界面破壊率 (％) 品質・性能 表示値±1％以内 30分で1g以下 0.98以上 50％以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。						4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁											
	2 欠損部改修工法 (鉄筋補修含む)	・ 充填工法 エポキシ樹脂モルタル (JIS A 6024) ポリマーセメントモルタル						4.1 既存モルタル塗りの撤去 2 ひび割れ部改修工法 ・ 行う(※監督職員の指示による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.2][4.4.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・ シーリング用材料 ※1成形成又は2成形成 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う ・ 可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024 ・ シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4.1.4][4.2.2][4.4.7] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)。 ・ バテ状エポキシ樹脂 (JIA A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4.2.2][4.6.3] (※シール工法の範囲 ・ 監督職員の指示による)						4 浮き部改修工法 5 巾木モルタル塗					
	3 浮き部改修工法	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (モルタル塗木・パラベット天端部分) 樹脂モルタル T3						[4.1.4][4.4.10]											
	4 巾木モルタル塗	・ 樹脂モルタル T3																	

		特 記 事 項						章 項 目		特 記 事 項					
4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.5.9～15][表4.4.3～4] 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※狭幅部：5本/m ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 [4.2.2] 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度とする。 [4.2.2] 塗り仕上げ外壁						4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁							
	2 下地調整材	[4.2.2][4.6.3] 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1～4] 工 法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※補強範囲 図示 ・ ひび割れ部改修工法 ・ 高圧水洗工法 ※塗替え範囲 図示 ・ 浮き部改修工法 ・ 加圧力 ※12MPa程度 ・ 欠損部改修工法 ・ 塗膜はく離工法 ※既存仕上面全体 ・ 水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 塗装はく離剤 [4.2.2] ※下地調整材0-1 (既存リシン面) [4.2.2][4.6.3] ※微弾性フィラー (既存吹付タイル面) 種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4] 種 類 呼び名 仕上げの形状 ・ 薄付仕上塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S ・ 複層塗材OE ・ 可とう形複層塗材OE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材OE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE ・ 防水形複層塗材RS ・ 可とう形改修用仕上塗材 ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材OE 防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2](15.6.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。 ※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。 ・ コンクリート打込し保護仕上塗材 ※エスケー化研 セラミクリートTR-SI同等とする ・ トップコート 下地調整塗材：シーラー (JIS A6909 建築仕上塗材用下塗材) 使用箇所：屋上笠木、庇上部等 JIS表示：JIS A6906 建築用仕上塗材						4 浮き部改修工法							
	4 その他の仕上げ	[5.1.3] 種 類 かぶせ工法 撤去工法 備 考 ・ アルミニウム製建具 ・ 有り ・ 有り ・ 鋼製建具 ① 外部 ・ 有り 建具表参照 ・ 鋼製軽量建具 ・ ステンレス製建具 建具表参照 ・ 自動ドア開閉装置 ・ 重量シャッター ・ 特殊な建具の仮組(建具符号：) [5.1.5] 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 特見込み(mm) 施工箇所 ・ A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ・ 図示 ・ B種 S-5 ・ ・ 100 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100						4 浮き部改修工法							
	5 建具改修工事	[5.2.2][表5.2.1] 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 特見込み(mm) 施工箇所 ・ A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ・ 図示 ・ B種 S-5 ・ ・ 100 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100						4 浮き部改修工法							
	2 見本の製作等	[5.1.5] ・ 特殊な建具の仮組(建具符号：) [5.1.5] 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 特見込み(mm) 施工箇所 ・ A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ・ 図示 ・ B種 S-5 ・ ・ 100 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100						4 浮き部改修工法							
	3 アルミ製建具	[5.2.2][表5.2.1] 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 特見込み(mm) 施工箇所 ・ A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ・ 図示 ・ B種 S-5 ・ ・ 100 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100						4 浮き部改修工法							

		特 記 事 項						章 項 目		特 記 事 項					
4 網戸	⑤ 鋼製建具	[5.4.2][表5.4.1] 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備 ・ 適用する [5.4.4] ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2] ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・ 適用する [5.1.4]						4 網戸							
	6 鋼製軽量建具	[5.5.2][表5.5.1～2] 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・ 適用する [5.1.4]						4 網戸							
	7 ステンレス製建具	[5.6.2] 簡易気密型ドアセットの適用は特記による 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・ 適用する [5.1.4]						4 網戸							
	8 自動ドア開閉装置	[5.8.2～4][表5.8.1～5] ※製造所標準製作の規定寸法許容差による 開閉方法 検出装置の種類 ※引き戸 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 多機能トイレ入出口戸 ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ ・ 凍結防止装置(適用箇所は建具表による)						4 網戸							
	9 自閉式上吊り引戸装置	[5.9.3][表5.9.1] 品質規格 ※改修標準5.9.3による。 ・ 製造所標準仕様による。						4 網戸							
	10 木製建具	[16.7.2][表16.7.2] ※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち() 鍍板() ふすまの上張り ※新島の千度度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・ 鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※☆☆☆☆ ・ 非ホルムアルデヒド系接着剤						4 網戸							
	⑪ 建具用金物	[5.7.4] マスターキー ・ 製作する ※製作しない 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシンダー錠(ドアハンドル)とする。 なお、錠前錠は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・ 丁番(内部建具については、軸を鉄釘としてもよい) ・ ビットヒンジ ・ 建具表による ※建具表による ・ ガラスブロック 改修標準5.13.5						4 網戸							
	12 ガラス	[5.13.2] 寸法(mm) 色 調 パターン 防火認定 ※クリア ・ 熱線反射 ※無し ・ 乳白 ・ カラー() ・ 有り ガラス留め材及び溝 [5.13.2～3] 建具の種類 種 類 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ・ 耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材) 名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止率 DI ・ 目かきフィルム ・ 遮熱フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止性能あり 品質JIS A 5759による 仕様一覧 建具表参照						4 網戸							
	13 ガラス留め材及び溝	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類 ・ 一般重量シャッター 耐風圧性能()N/m ² ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧性能()N/m ² ・ 屋内用防火シャッター ・ 屋内用防煙シャッター 品質JIS A 4705による 開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない						4 網戸							
	15 重量シャッター	[5.11.2][表5.10.1] 開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3] 形状 ※インターロック形状 ・ オーバーラッピング形 [5.11.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.10.2] 耐風圧性能()N/m ²						4 網戸							

		特 記 事 項						章 項 目		特 記 事 項					
4 網戸	⑤ 鋼製建具	[5.4.2][表5.4.1] 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備 ・ 適用する [5.4.4] ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1～2] ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・ 適用する [5.1.4]						4 網戸							
	6 鋼製軽量建具	[5.5.2][表5.5.1～2] 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による ・ 建具表による 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・ 適用する [5.1.4]						4 網戸							
	7 ステンレス製建具	[5.6.2] 簡易気密型ドアセットの適用は特記による 耐風圧性能の適用は建具表による 表面仕上げ ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・ 適用する [5.1.4]						4 網戸							
	8 自動ドア開閉装置	[5.8.2～4][表5.8.1～5] ※製造所標準製作の規定寸法許容差による 開閉方法 検出装置の種類 ※引き戸 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 多機能トイレ入出口戸 ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ ・ 凍結防止装置(適用箇所は建具表による)						4 網戸							
	9 自閉式上吊り引戸装置	[5.9.3][表5.9.1] 品質規格 ※改修標準5.9.3による。 ・ 製造所標準仕様による。						4 網戸							
	10 木製建具	[16.7.2][表16.7.2] ※建具表による。 かまち戸の樹種 かまち() 鍍板() ふすまの上張り ※新島の千度度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表16.7.3) ・ 鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) ※☆☆☆☆ ・ 非ホルムアルデヒド系接着剤						4 網戸							
	⑪ 建具用金物	[5.7.4] マスターキー ・ 製作する ※製作しない 建具用金物 [5.7.2][表5.7.1～3] 錠類はシンダー錠(ドアハンドル)とする。 なお、錠前錠は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ・ 丁番(内部建具については、軸を鉄釘としてもよい) ・ ビットヒンジ ・ 建具表による ※建具表による ・ ガラスブロック 改修標準5.13.5						4 網戸							
	12 ガラス	[5.13.2] 寸法(mm) 色 調 パターン 防火認定 ※クリア ・ 熱線反射 ※無し ・ 乳白 ・ カラー() ・ 有り ガラス留め材及び溝 [5.13.2～3] 建具の種類 種 類 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 ・ 耐火シーリング材(トップライト部ガラス留め材) 名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止率 DI ・ 目かきフィルム ・ 遮熱フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止性能あり 品質JIS A 5759による 仕様一覧 建具表参照						4 網戸							
	13 ガラス留め材及び溝	[5.10.2][表5.10.1] シャッターの種類 ・ 一般重量シャッター 耐風圧性能													

章

5

17

建具改修工事

項目

オーバーヘッドドア

特記事項

項目

18

かぎ箱

特記事項

項目

⑥

①改修範囲

特記事項

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。
・図示の範囲
ビニル床シート等の除去
・仕上げ材のみ(接着剤とも)
・モルタル下地とも(※図示の範囲・除去範囲全て)
カラーフロアの撤去
・機械的除去工法
・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲
・改修作業の案内

項目

③

既存壁の撤去並びに下地補修

特記事項

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
○図示
・モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強※行う・行わない)

項目

4

木下地等(AP-1、2)

特記事項

木材の品質 図示
※改修標準仕様書6.5.2による
・市販品
代用樹種 ※改修標準仕様6.5.4による
・代用樹種を適用しない箇所()
保存処理木材を適用する箇所()

項目

5

集材材等⑥(縦線等)

特記事項

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集材材	※一般材	・米桐・なら・しおじ	
・構造用集材材	・1種 ※2種・3種	・	
・造作用集材材	※1等・2等	・タモ	
・化粧ばり造作用集材材	※1等・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

6

接着剤

特記事項

※F☆☆☆☆
・非ホルムアルデヒド系接着剤

項目

7

防霉、防蟻処理

特記事項

行う箇所()
防霉処理 ※行う(※図示)
防蟻処理 ※行う(※図示)
防霉、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。

項目

8

床板張り

特記事項

フローリング及び縁甲板張り床 [6.5.8][6.11.2][表6.5.10]
※無し
下張り用床板
・有リ ※合板
・パーティクルボード
床板
※単層フローリング
(共仕9.19.25による)
・縁甲板
ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・
※ひのき

項目

9

軽量鉄骨天井下地

特記事項

野縁等の種類
屋外(※19形 ※25形) 屋内(※19形・25形 ※角スタッド工法 50形)
既存の埋込みインサート ・使用する ※使用しない
あと施工アンカーの確認試験 ・行う ※行わない
・図示
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

項目

11

ビニル床シート張り

特記事項

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC	※無地・マーブル柄	※2.5
・発泡層のあるもの	※納物・無地	・	
・防滑性ビニル床シート	・NF・NC	・納物・無地	・2.5
・防汚性ビニルシート			・2.0

工法 ※熱溶接工法・突付け(施工箇所:)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

12

ビニル床タイル張り

特記事項

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	QT	※2	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	QTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

13

帯電防止床タイル張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	性能
※コンポジションビニル床タイル	※2	・体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ホモジニアスビニル床タイル	4.0又は4.5	・1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、 漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
		・1.0×10 ¹⁰ Ω未満

接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

14

視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)

特記事項

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする。
屋内 ※塩化ビニル製・磁器又は石器質タイル(※300・)
・レンジョコンクリート製
屋外 ※レンジョコンクリート製・磁器又は石器質タイル(※300・)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

15

ビニル幅木

特記事項

高さ(mm) ・60・75・100
接着剤のホルムアルデヒド放散量 JIS A 5536 ※F☆☆☆☆・

項目

16

合成樹脂塗床

特記事項

種類	仕上の種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのエ工法(※平滑・防滑) ・厚膜流しのエ工法(※平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法(※平滑・防滑) ・薄膜型塗床工法(※平滑)

ホルムアルデヒド放散量 JIS K 5970 ※F☆☆☆☆・

項目

17

フローリング張り

特記事項

種類	材種	工法	仕上塗装等	備考
・天然木化粧複合フローリング	※なら	※直張り工法(C種)	※塗装品	
・大型積層フローリング	・ガバ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
・単層フローリング	・フナ	・特殊張り(体育館床)	※無塗装品	
	・ガバ	・モルタル埋め込み	・塗装品	
・フローリングブロック	・フナ	・直張り	※塗装品	

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・

項目

18

畳敷き

特記事項

下地の種類	畳の種類
改修標準仕様表6.5.10による床組	※B種・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種・

項目

19

ポリスチレンフォーム床下地材

特記事項

畳下地	厚さ(mm)	※40・65・80
フローリング類	厚さ(mm)	※80・95

項目

20

カーペット敷き

特記事項

・縦じゅうたん

種類	パイル系の種類	帯電性	色柄等	備考
・A種	・羊毛系	※3kV以下	※無地	
・B種	・紡毛系		・納物(標準品)	
・C種	・紡毛系			

帯電性(JIS L 1021-16) ※人体帯電値3kV以下・

項目

21

石膏ボードその他のボード張り

特記事項

種類	厚さ(mm)	規格
・硬質毛セメント板	⑥	・15・20・25
・普通毛セメント板	⑥	・15・20・25
・ケイ酸カルシウム板	④	・5・6・8・9・10・12

・ロックウール化粧吸音板
※フラットタイプ
(※9(不燃)・12・)
・凸凹タイプ
(※12(不燃)・15・19・)
・ロックウール化粧吸音板
(軒天井用)
※フラットタイプ9(不燃)
・凸凹タイプ(※12・15)(不燃)
・せっこうボード
・不燃積層せっこうボード
・シージングせっこうボード
・強化せっこうボード
・せっこうラスボード
・化粧せっこうボード
・化粧せっこうボード(木目)
・難燃合板
・メラミン樹脂化粧板
・メディアムデンシティ
・ファイバーボード
・単板張りパーティクルボード
・ハードボーイ(素地)
※規制対象外・第三種
・インシュレーションボード
A級(・天井仕上・内装仕上・)
・9・12・15・18・
・フレキシブル板
厚さ・5.0・8.0
・(有孔)シナ合板
厚さ・5.0・9.0
厚さ・24・12
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
・適用する ※適用しない

項目

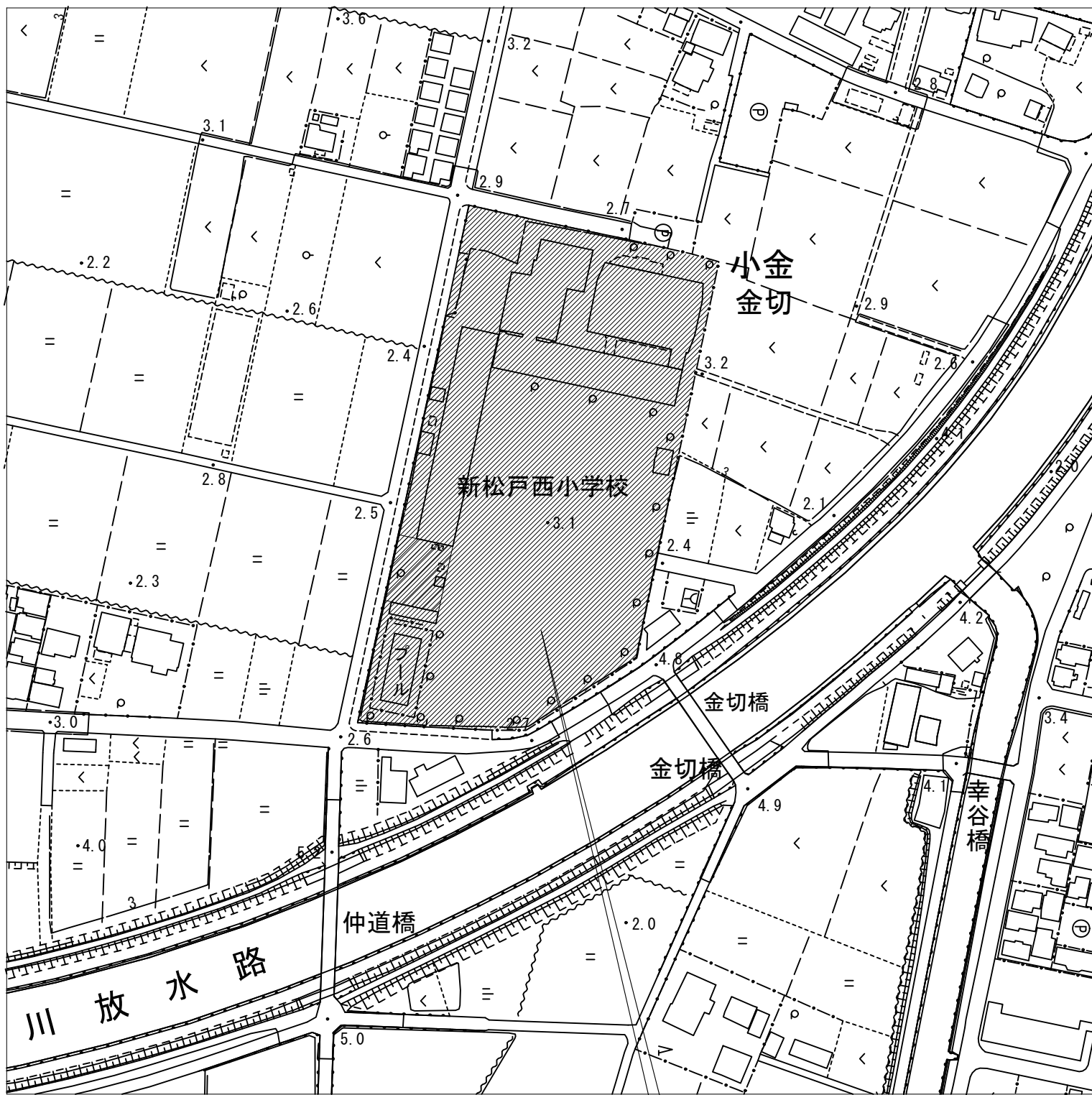
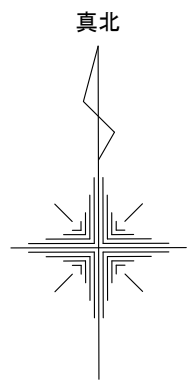
22

吸音材

特記事項

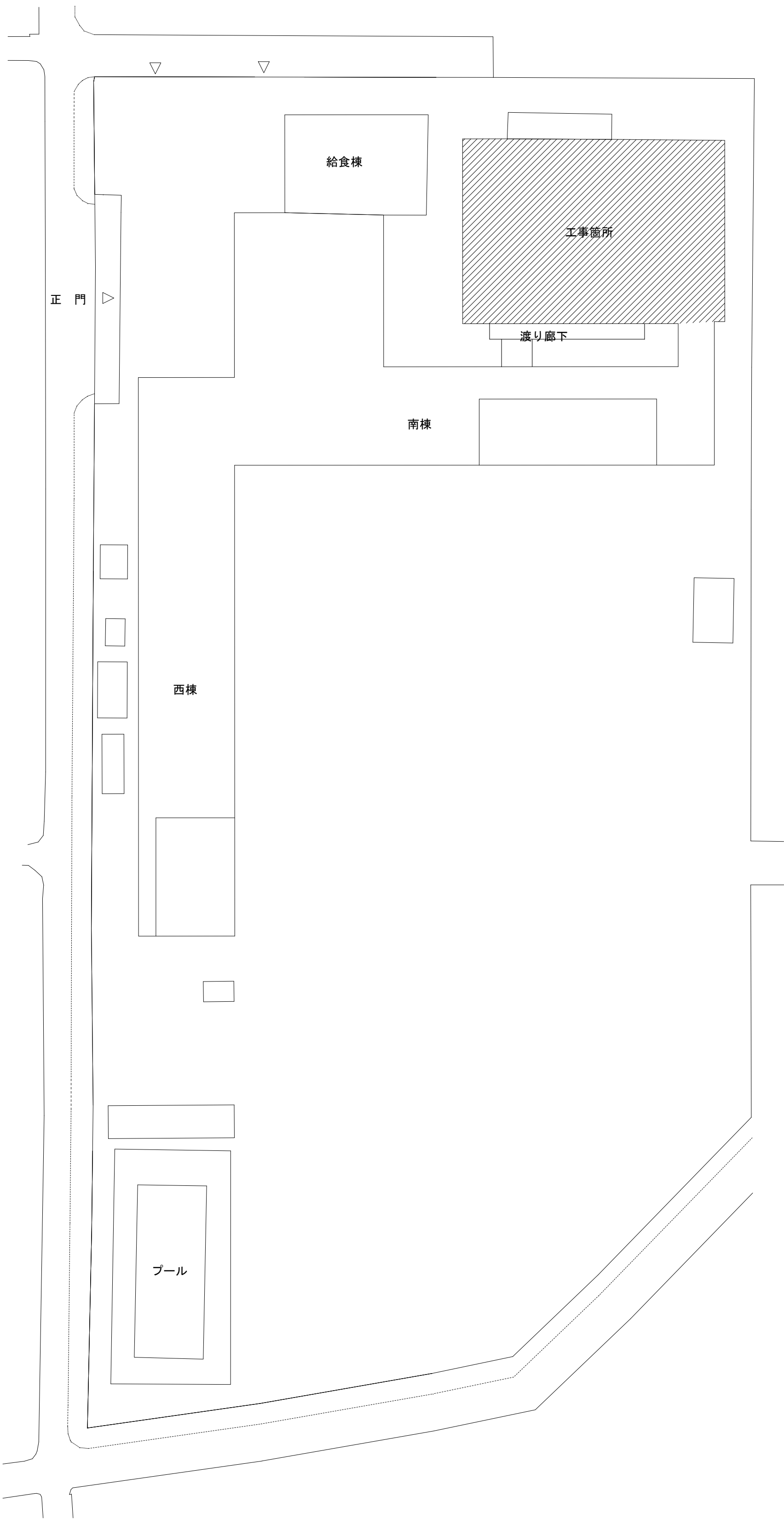
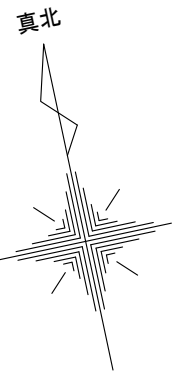
種類	規格番号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	JIS A 6301	※25
※		

[illegible]



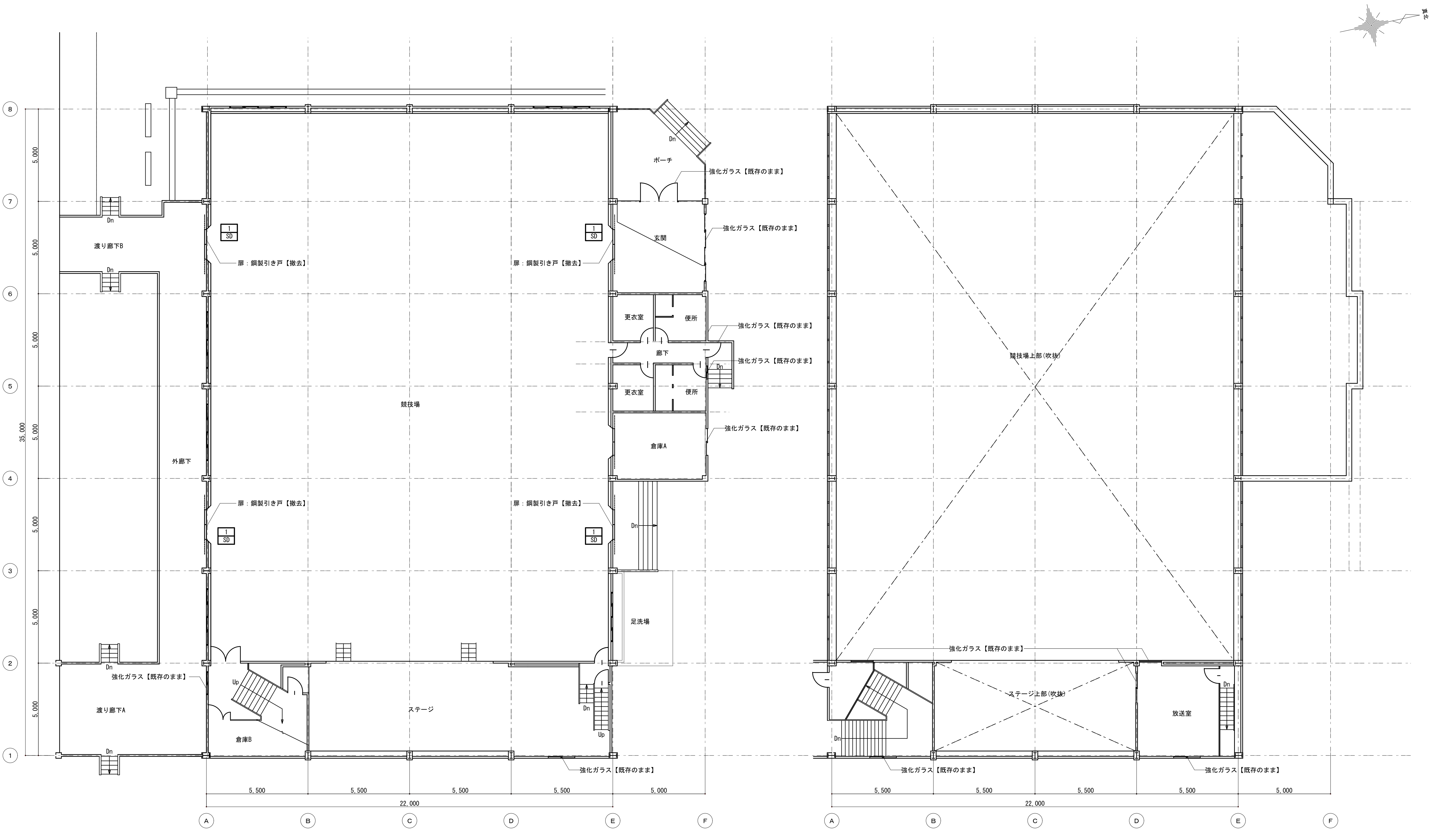
工事場所：松戸市立新松戸西小学校
地名地番：松戸市小金1-180番地

案内図 1/2500
工事場所を示す



配置図 1/500
工事箇所を示す

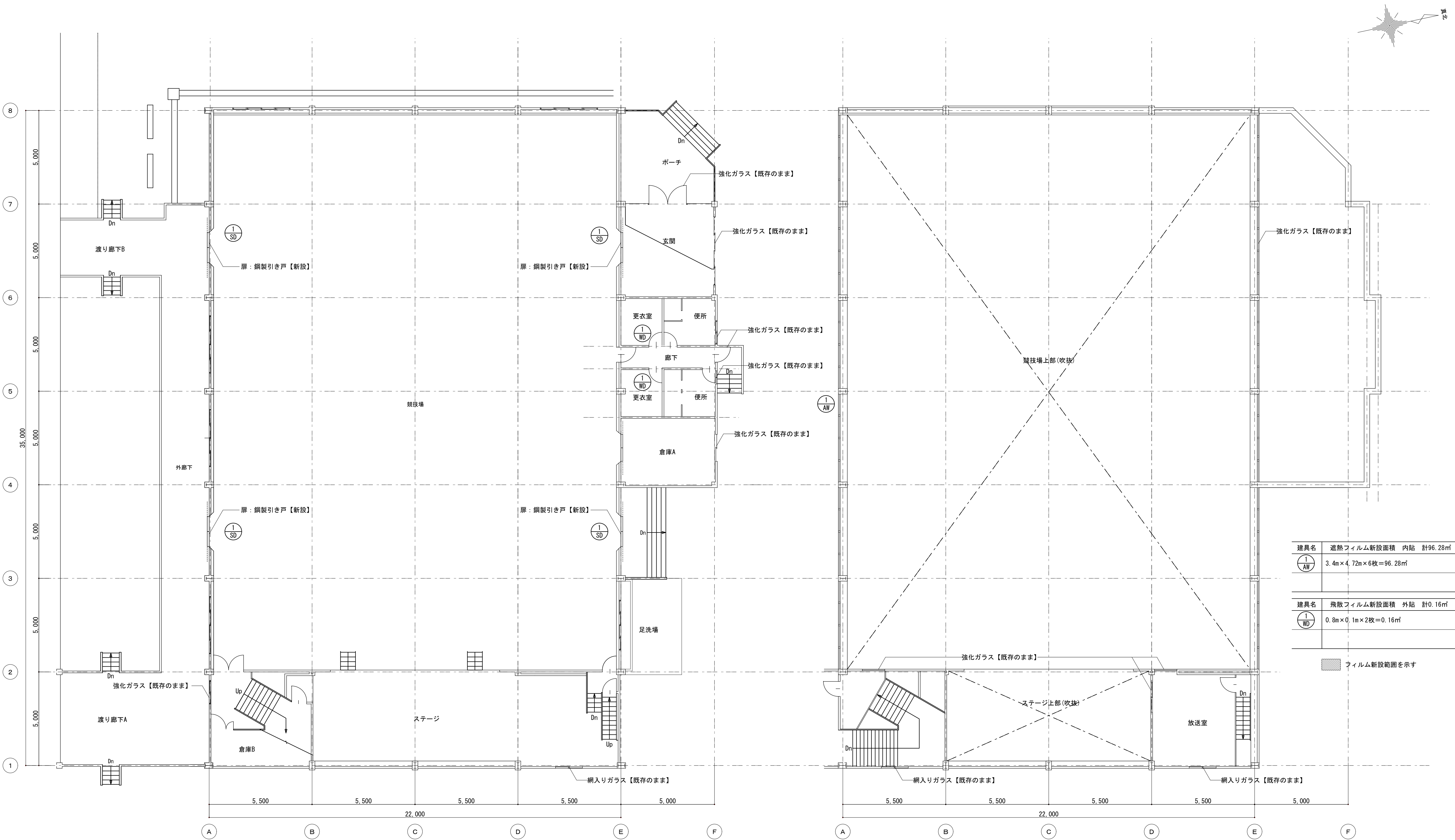
工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500, 2500 A3:1/1000, 5000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100

2階平面図 1/100

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



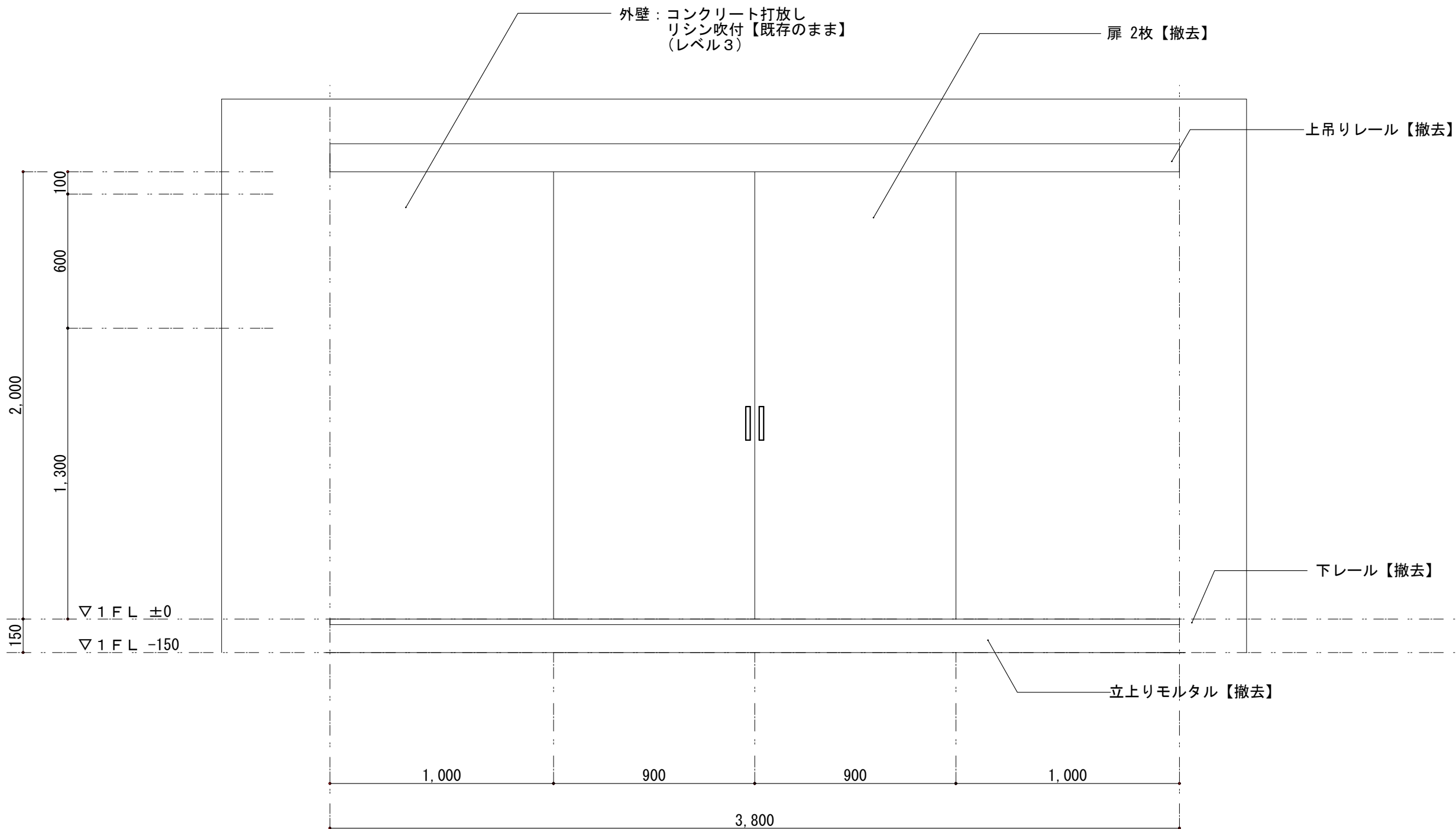
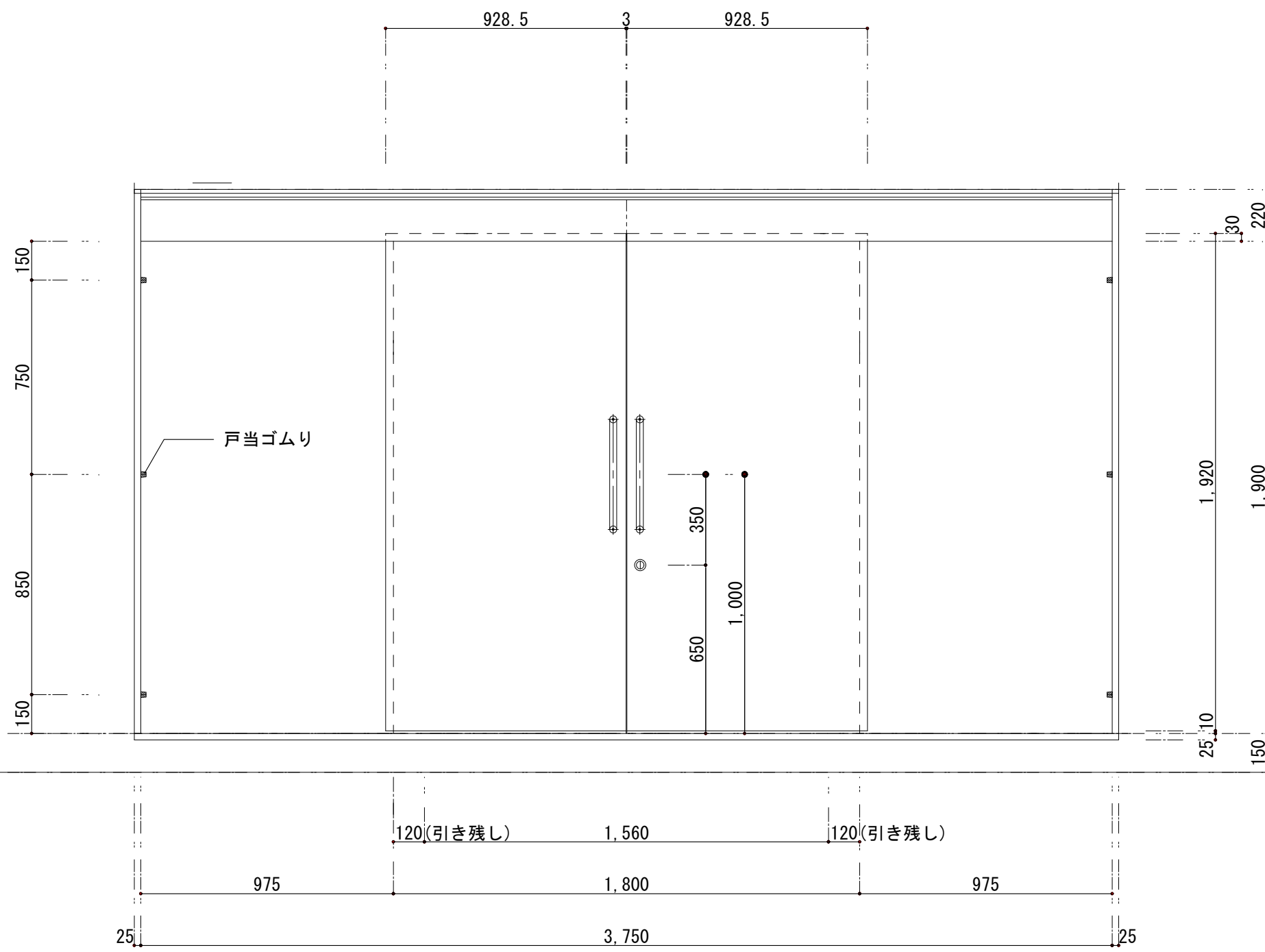
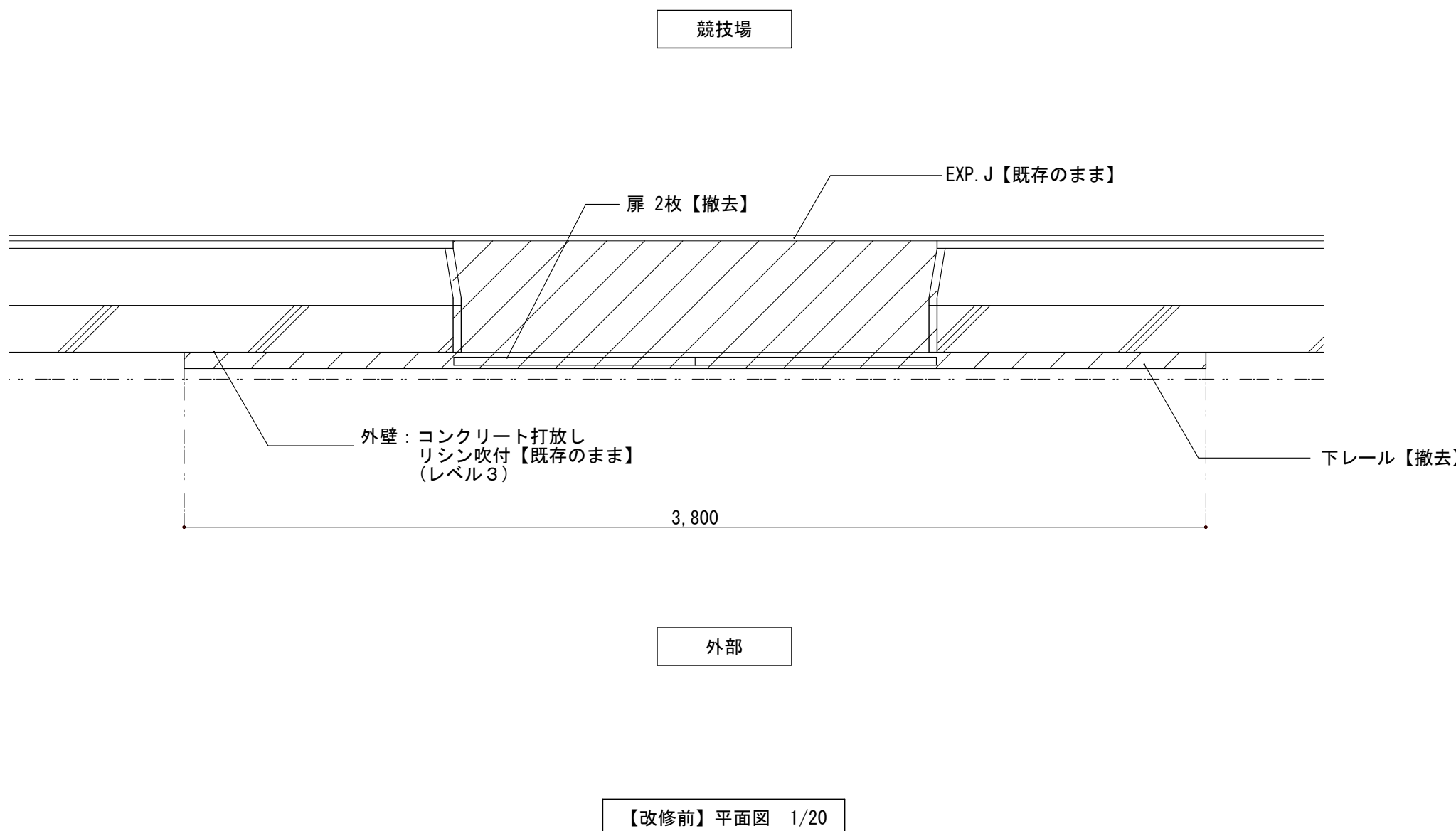
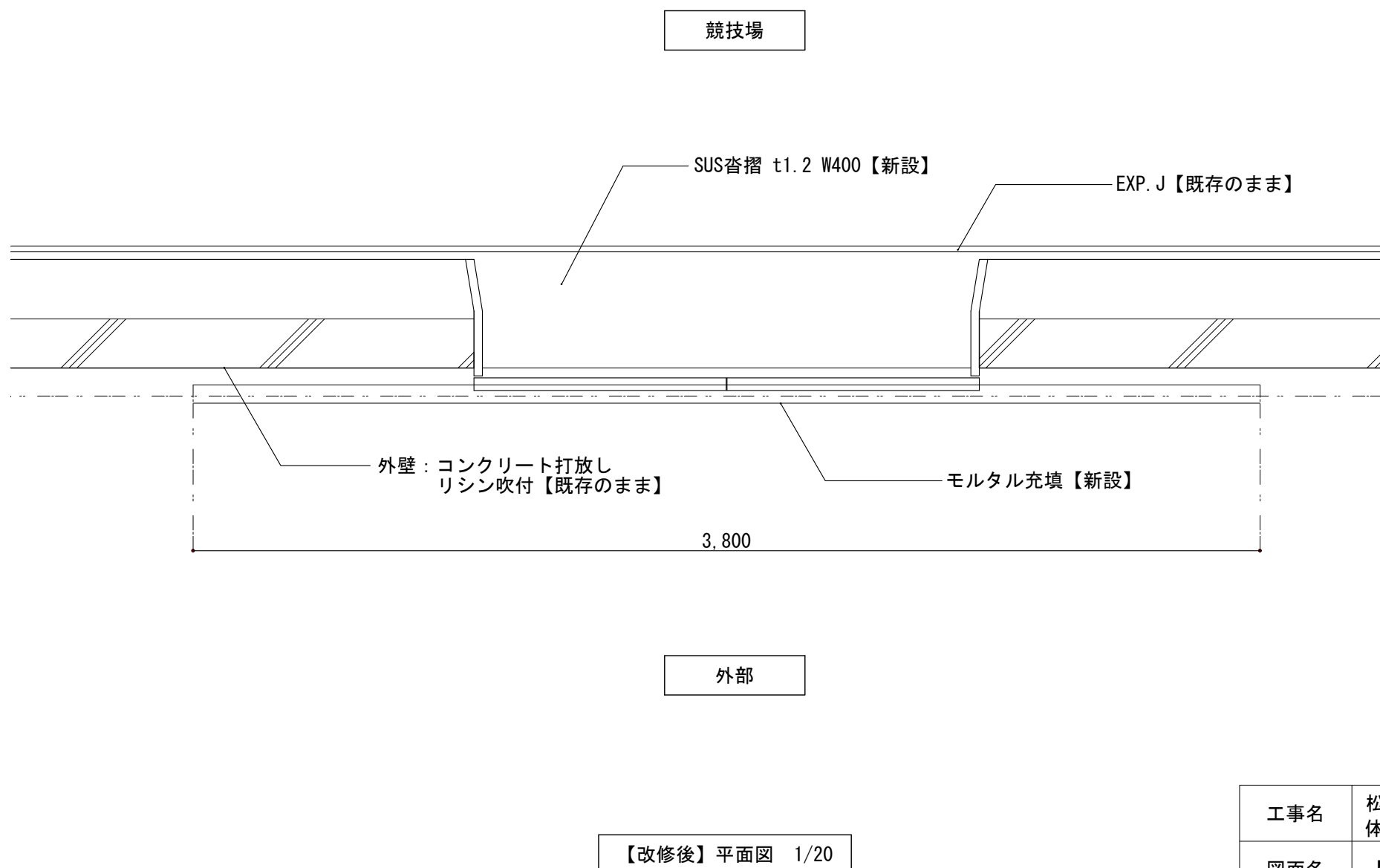
建具名	遮熱フィルム新設面積	内貼	計96.28㎡
$\textcircled{\text{I AW}}$	3.4m×4.72m×6枚＝96.28㎡		
建具名	飛散フィルム新設面積	外貼	計0.16㎡
$\textcircled{\text{I WD}}$	0.8m×0.1m×2枚＝0.16㎡		

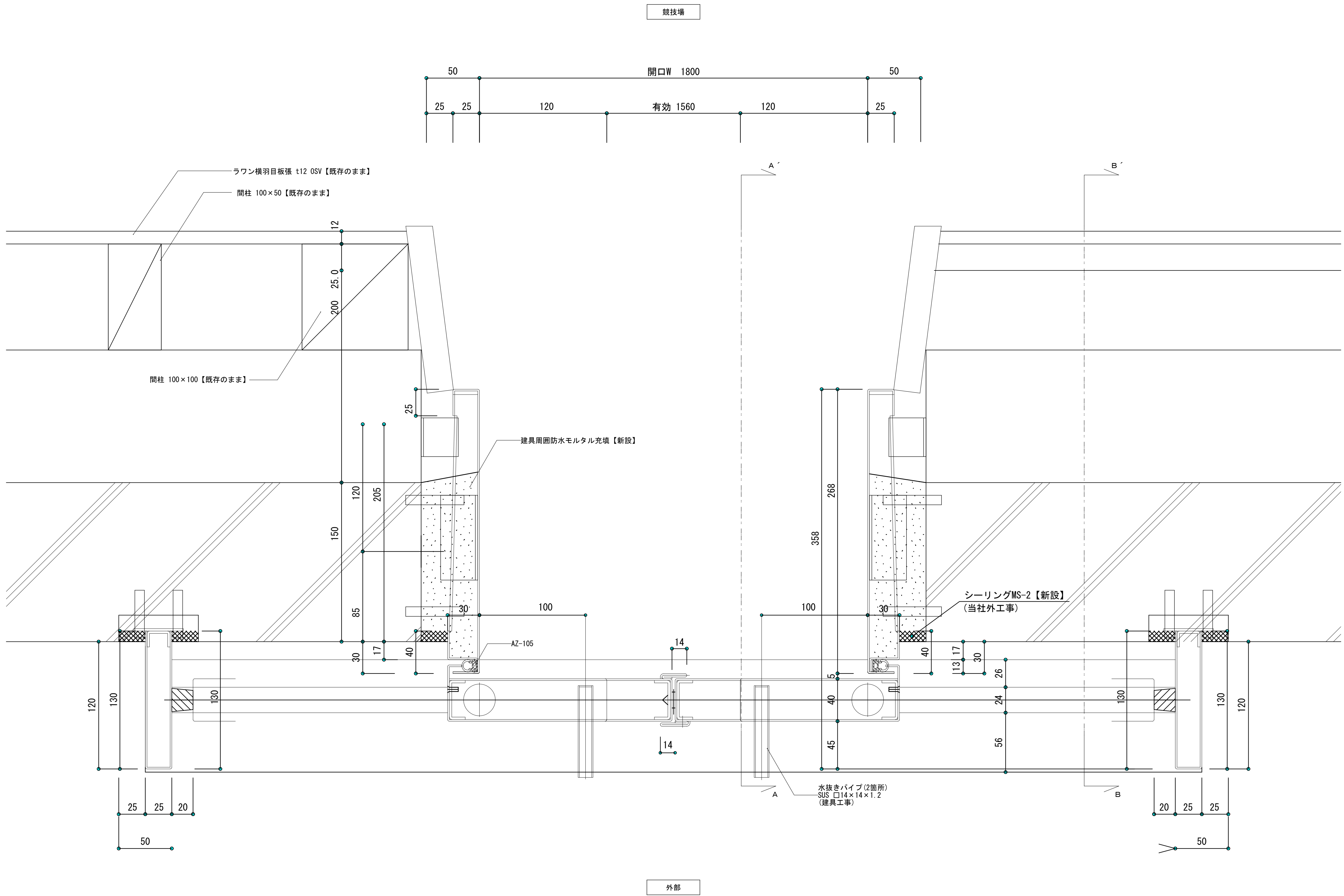
 フィلم新設範囲を示す

1階平面図 1/100

2階平面図 1/100

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修後〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

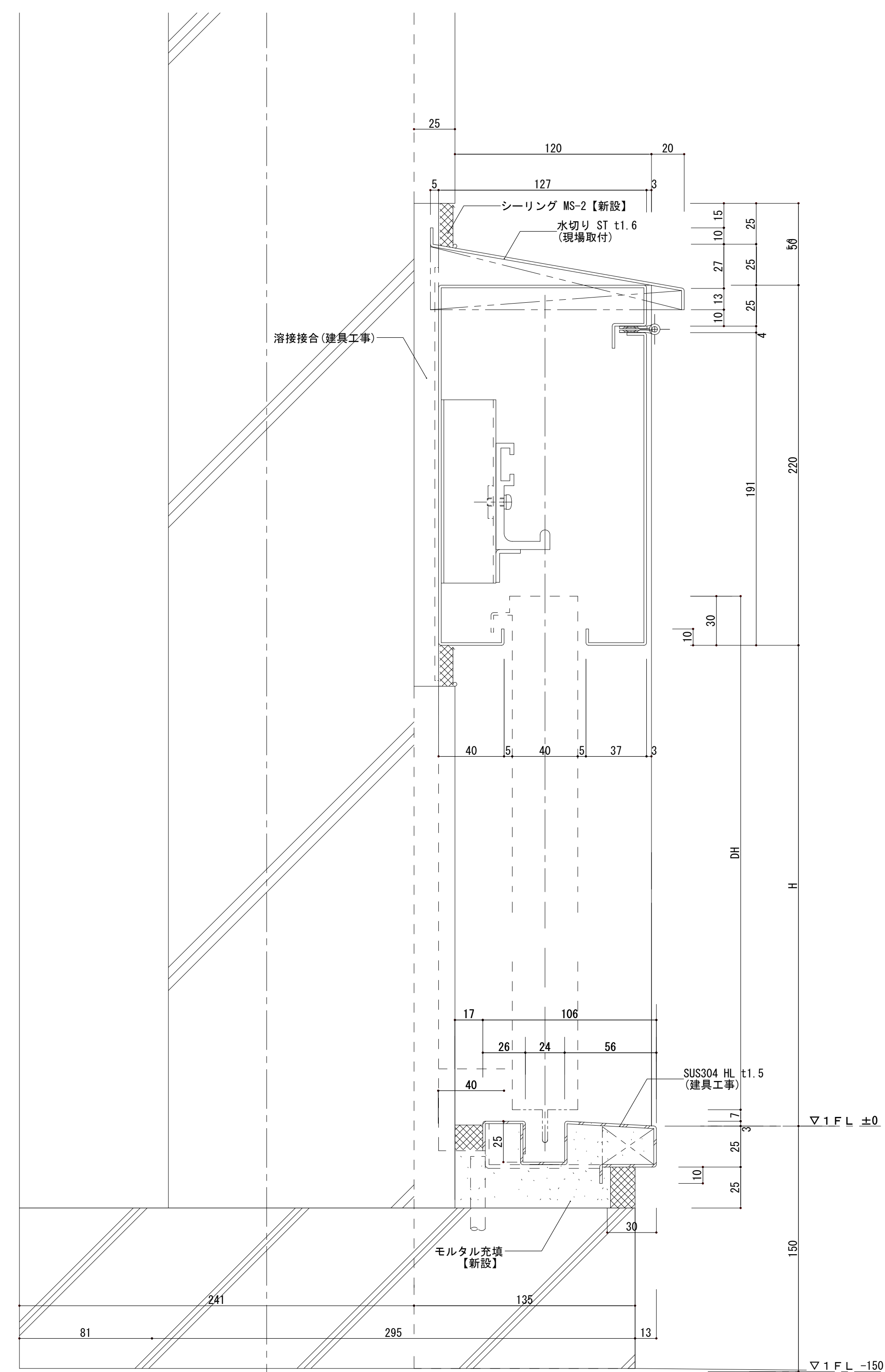
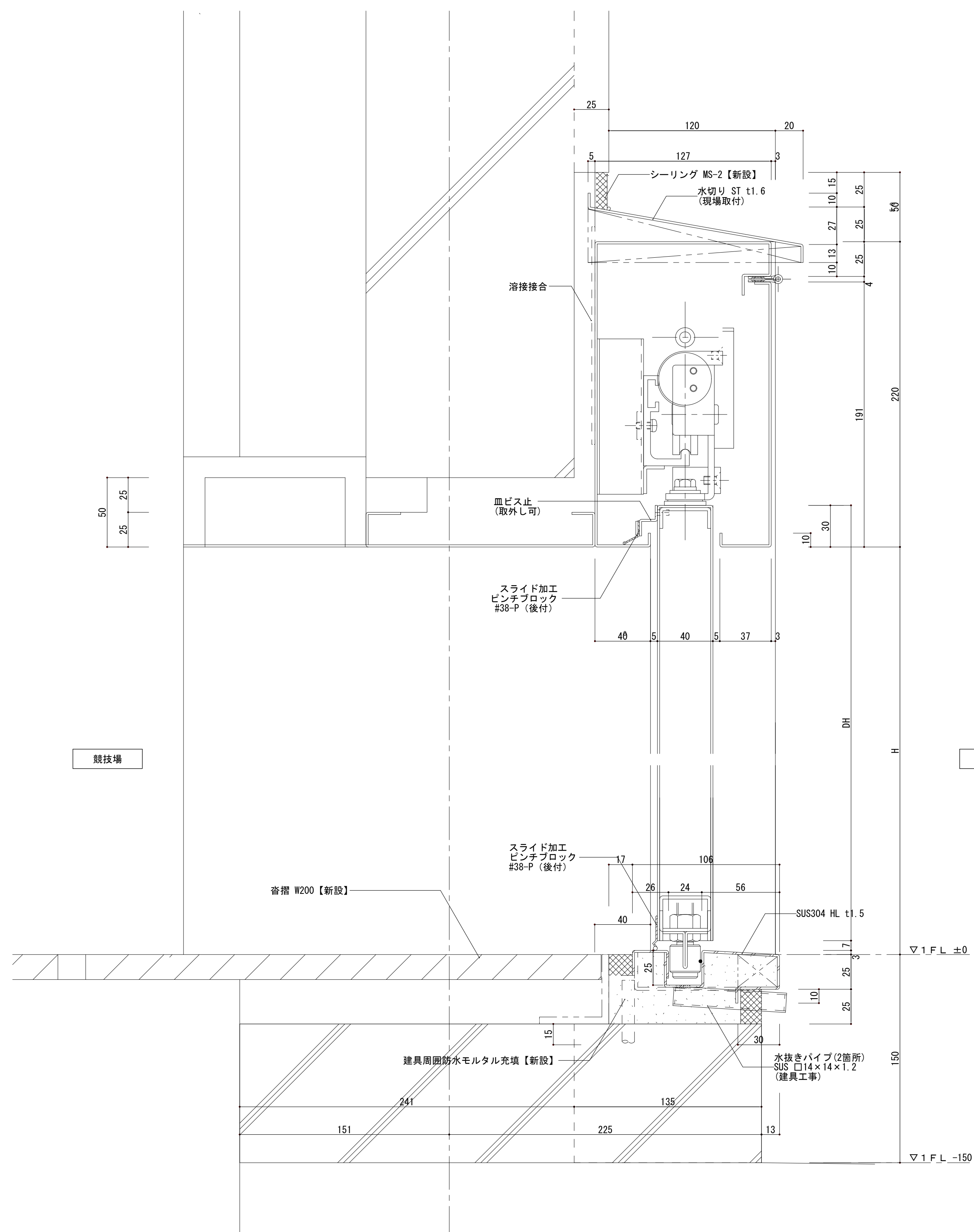
記号・数量		1 SD × 4箇所【撤去】		1 SD × 4箇所【新設】																									
姿図・寸法																													
使用場所		競技場入口		競技場入口																									
形式・名称		2枚引き分け戸		2枚引き分けハンガー戸																									
材質・仕上		特殊垂鉛メッキ鋼板 1.0mm		特殊垂鉛メッキ鋼板																									
ガラス		-		-																									
付属金物		2段皿板		ドアハンドル、引戸錠、ガイドローラー、駆動装置、戸当たりゴム、点検口丁番																									
備考																													
平面図																													
				<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">【改修】建具表（2）</td></tr><tr><td>作成年月日</td><td>令和7年2月1日</td><td>変更年月日</td><td></td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>A1:1/20 A3:1/40</td><td>図面番号</td><td>A-09</td></tr><tr><td>設 計</td><td colspan="3">株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号</td></tr><tr><td colspan="4">松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>		工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事			図面名	【改修】建具表（2）			作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日		縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09	設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号			松戸市 街づくり部 建築保全課			
工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事																												
図面名	【改修】建具表（2）																												
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日																											
縮 尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	A-09																										
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号																												
松戸市 街づくり部 建築保全課																													



建具平面詳細図 1/2

※現場測定確認する事

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図 1 (参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-10
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1 - 2 3 0 6 - 2 6 8 6 号 山 岡 治 一級建築士大臣登録第 2 7 2 4 9 8 号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	【新設】鋼製建具詳細図2(参考図)		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/2 A3:1/4	図面番号	A-11
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全体		

工事名	松戸市立新松戸西小学校 体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計面図(参考図)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 1 日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-12
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第 1-2-30-6-2-686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第 272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書（１）	No Scale
A-02	特記仕様書（２）	No Scale
A-03	特記仕様書（３）	No Scale
A-04	特記仕様書（４）	No Scale
A-05	案内図・配置図	1/500・2000
A-06	【改修前】各階平面図	1/100
A-07	【改修後】各階平面図	1/100
A-08	【改修】建具表	1/50
A-09	仮設計画図（参考図）	1/200・300

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	No Scale	図面番号	A-00
設 計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

[illegible]

		特 記 事 項					章 項 目		特 記 事 項							特 記 事 項																																																																																																																																																																																
4 外 壁 改 修 工 事 共 通 事 項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル <table><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/ l)</th><th colspan="2">接着強さ (N/?)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強さ (N/?)</th></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以上</td><td>4.0以上</td></tr></table> ・ バテ状エポキシ樹脂<table><tr><th>初期硬化性(標準)</th><th>接着強さ(標準)</th><th>圧縮強さ</th><th>曲げ強さ</th><th>硬化収縮率</th></tr><tr><td>2.0N/?以上</td><td>6.0N/?以上</td><td>50.0N/?以上</td><td>30.0N/?以上</td><td>3.0(%)以上</td></tr><tr><td colspan="5">a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</td></tr></table> ・ 可とう性エポキシ樹脂<table><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低温性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr><tr><td>引張強さ</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr><tr><td>比重</td><td colspan="4">表示値±0.10</td></tr><tr><td>押出し性</td><td colspan="4">60秒以下</td></tr><tr><td>スランプ</td><td colspan="4">3mm以下</td></tr><tr><td>加熱減量</td><td colspan="4" rowspan="4">5%以下</td></tr><tr><td colspan="5">a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</td></tr></table> ・ タイル部分張替え工法用材料<table><tr><th>接着強さ</th><th>標準</th><th>低温硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷熱水中繰返し</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>強度 (N/?)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率 (%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></table><table><tr><th>皮膜物性</th><th>標準</th><th>高温</th><th>低温</th><th>アルカリ温水</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>引張強さ (N/?)</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td></tr><tr><td>伸び (%)</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td></tr></table> 貯蔵安定性 容量と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/㎡でも安定していること。 a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. すれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル<table><tr><th>接着強さ</th><th>圧縮強さ</th><th>曲げ強さ</th></tr><tr><td>1.0N/?以上</td><td>20.0N/?以上</td><td>10.0N/?以上</td></tr><tr><td colspan="3">a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。</td></tr><tr><td colspan="3">b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr><tr><td colspan="3">c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。</td></tr><tr><td colspan="3">d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。</td></tr><tr><td colspan="3">e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。</td></tr></table> ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等<table><tr><th>曲げ強さ (N/?)</th><th>圧縮強さ (N/?)</th><th>標準時 (N/?)</th><th>湿潤時 (N/?)</th><th>低温時 (N/?)</th></tr><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table> 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー<table><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th></tr><tr><td>3以上</td><td>3.0%以下</td><td>0.5N/?</td><td>5.0N/?</td><td>15%以下</td><td>6.0N/?</td></tr></table> 保水係数 0.35～0.55 粘潤係数 0.50～1.00 ・ 吸水調整材<table><tr><th>項目</th><th>全固形分 (%)</th><th>吸水性 (g)</th><th>接着強度 (N/?)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr><tr><td colspan="5">均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr></table>					保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上	a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。					c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。					性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上	比重	表示値±0.10				押出し性	60秒以下				スランプ	3mm以下				加熱減量	5%以下				a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。					c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。					接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化	強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化	引張強さ (N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上	a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。			b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。			c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。			d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。			e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。			曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?	項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下	均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					4-2 外 壁 改 修 工 事 モ ル タ ル 塗 り 仕 上 げ 外 壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う(※監督職員の指示による)	4 浮き部改修工法	[4. 1. 4] [4. 5. 9～15] [表4. 4. 3～4]
		保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)																																																																																																																																																																																									
		70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上																																																																																																																																																																																									
		初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																																																																																																																																										
		2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上																																																																																																																																																																																										
		a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																														
		b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。																																																																																																																																																																																														
		c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。																																																																																																																																																																																														
		性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																																																																																																										
		引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上																																																																																																																																																																																										
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																																																																																												
比重	表示値±0.10																																																																																																																																																																																															
押出し性	60秒以下																																																																																																																																																																																															
スランプ	3mm以下																																																																																																																																																																																															
加熱減量	5%以下																																																																																																																																																																																															
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。																																																																																																																																																																																																
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。																																																																																																																																																																																																
接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化																																																																																																																																																																																											
強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																																																																																																											
凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																																																																																																											
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化																																																																																																																																																																																											
引張強さ (N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																																																																																																																																											
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上																																																																																																																																																																																											
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																																																																																																																																														
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上																																																																																																																																																																																														
a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。																																																																																																																																																																																																
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。																																																																																																																																																																																																
d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。																																																																																																																																																																																																
e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。																																																																																																																																																																																																
曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)																																																																																																																																																																																												
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																																																																																												
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																											
3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?																																																																																																																																																																																											
項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)																																																																																																																																																																																												
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																																																																																																												
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																
2 ひび割れ部改修工法	・ 既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 4. 2] [4. 4. 5] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4. 2. 2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4. 3. 4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]<table><tr><th>注入工法の種類</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・	注入工法の種類	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		・ シール工法(亀裂が0.2mm未満) [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 7] (※既存モルタル面 ・ 既存躯体コンクリート面)。 ・ バテ状エポキシ樹脂 (JIA A 6024) ・ 可とう性エポキシ樹脂 (JIS A 6024)	・ 既存塗ら仕上げ材の撤去及び補修 [4. 2. 2] [4. 6. 3] (※シール工法の範囲 ・ 監督職員の指示による)	3 欠損部改修工法	・ 既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 4. 8～9] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>材 料</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>・ 充填工法</td><td>エポキシ樹脂モルタル</td><td></td></tr><tr><td>・ モルタル塗替え工法</td><td>改修標仕4. 2. 2(7)による</td><td>塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示</td></tr></table>	改修工法の種類	材 料	品質・規格等	・ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル		・ モルタル塗替え工法	改修標仕4. 2. 2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示	4 浮き部改修工法	[4. 1. 4] [4. 5. 9～15] [表4. 4. 3～4] <table><tr><th rowspan="2">改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th><th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/㎡)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th><th rowspan="2">充填量</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr><tr><td>・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td></td><td></td><td rowspan="2">※25ml</td></tr><tr><td>・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td></td><td></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25ml</td></tr></table> アンカーピン [4. 2. 2] 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。 注入口付アンカーピン [4. 2. 2] 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径6mm程度とする。	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		充填量	一般部	指定部	一般部	指定部	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml	・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml	・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	5 巾木モルタル塗	4-3 外 壁 改 修 工 事 タ イ ル 張 り 仕 上 げ 外 壁	1 既存タイル張りの撤去	・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲 ・ 4-1による [4. 5. 2] 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・ 張り付けモルタルまで ・ タイルのみ	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・ 既存タイル撤去面(・ コンクリート面 ・ モルタル面) ※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 5] <table><tr><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr></table> 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 注入材料 [4. 2. 2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4. 3. 4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去部分) [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5～6]<table><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table>	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		充填材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂			3 欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 7] <table><tr><th colspan="2">接着剤の種類</th><th colspan="2">品質・規格等</th></tr><tr><td colspan="2">※ポリマーセメントモルタル</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">・ タイル部分張替え工法用接着剤</td><td colspan="2">「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。</td></tr></table> ・ タイル張替え工法 [4. 1. 4] [4. 5. 8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4. 5. 8] [表4. 5. 1] 位置 ※改修標仕表4. 5. 1による ・ 図示	接着剤の種類		品質・規格等		※ポリマーセメントモルタル				・ タイル部分張替え工法用接着剤		「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。																																																													
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																																																																																																													
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																																																																																												
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																												
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																												
注入工法の種類	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																														
・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																														
・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																																																																																															
改修工法の種類	材 料	品質・規格等																																																																																																																																																																																														
・ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																															
・ モルタル塗替え工法	改修標仕4. 2. 2(7)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・ 行わない ・ 図示																																																																																																																																																																																														
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		充填量																																																																																																																																																																																											
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																												
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml																																																																																																																																																																																											
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																																												
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																																																																																																																																																											
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																																																																																																																																																											
ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																													
0.2以上～1.0未満	※200～300	※																																																																																																																																																																																														
充填材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																														
・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																														
・ 可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																
接着剤の種類		品質・規格等																																																																																																																																																																																														
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																
・ タイル部分張替え工法用接着剤		「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ I であり監督職員の承諾するもの又は特記による。																																																																																																																																																																																														
4-1 外 壁 改 修 工 事 コ ン ク リ ー ト 打 放 し 仕 上 げ 外 壁	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td></tr></table> 樹脂注入工法 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上～0.3未満 ※ 50～100 ※40 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 注入材料 [4. 2. 2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き取り) ※行わない [4. 3. 4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法：) ・ Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]<table><tr><th>充填材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ シーリング用材料</td><td>※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・ 行う</td></tr><tr><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td><td>JIA A 6024</td><td></td></tr></table>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による		充填材料	品質・規格等	備 考	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・ 行う	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024		2 欠損部改修工法 (鉄筋爆製補修含む)	・ 充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7] ・ エポキシ樹脂モルタル (JIS A 6024) ・ ポリマーセメントモルタル	3 浮き部改修工法	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 4. 10] (モルタル笠木・バラベツト天端部分)	4 巾木モルタル塗	・ 樹脂モルタル T3																																																																																																																																																																					
	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																											
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																												
	充填材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																													
	・ シーリング用材料	※1成形成又は2成形成 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタル充填 ※行わない ・ 行う																																																																																																																																																																																													
	・ 可とう性エポキシ樹脂	JIA A 6024																																																																																																																																																																																														
	4 外 壁 改 修 工 事 共 通 事 項	2 改修材料	・ 既製調合モルタル <table><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/ l)</th><th colspan="2">接着強さ (N/?)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強さ (N/?)</th></tr><tr><td>70.0以上</td><td>1.80程度</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以上</td><td>4.0以上</td></tr></table> ・ バテ状エポキシ樹脂<table><tr><th>初期硬化性(標準)</th><th>接着強さ(標準)</th><th>圧縮強さ</th><th>曲げ強さ</th><th>硬化収縮率</th></tr><tr><td>2.0N/?以上</td><td>6.0N/?以上</td><td>50.0N/?以上</td><td>30.0N/?以上</td><td>3.0(%)以上</td></tr><tr><td colspan="5">a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</td></tr></table> ・ 可とう性エポキシ樹脂<table><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低温性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr><tr><td>引張強さ</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td><td>1.0N/?以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr><tr><td>比重</td><td colspan="4">表示値±0.10</td></tr><tr><td>押出し性</td><td colspan="4">60秒以下</td></tr><tr><td>スランプ</td><td colspan="4">3mm以下</td></tr><tr><td>加熱減量</td><td colspan="4" rowspan="4">5%以下</td></tr><tr><td colspan="5">a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。</td></tr><tr><td colspan="5">c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</td></tr></table> ・ タイル部分張替え工法用材料<table><tr><th>接着強さ</th><th>標準</th><th>低温硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷熱水中繰返し</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>強度 (N/?)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>凝集破壊率 (%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></table><table><tr><th>皮膜物性</th><th>標準</th><th>高温</th><th>低温</th><th>アルカリ温水</th><th>熱劣化</th></tr><tr><td>引張強さ (N/?)</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td></tr><tr><td>伸び (%)</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td></tr></table> 貯蔵安定性 容量と粘土に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8N/㎡でも安定していること。 a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. すれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。 ・ エポキシ樹脂モルタル<table><tr><th>接着強さ</th><th>圧縮強さ</th><th>曲げ強さ</th></tr><tr><td>1.0N/?以上</td><td>20.0N/?以上</td><td>10.0N/?以上</td></tr><tr><td colspan="3">a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。</td></tr><tr><td colspan="3">b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr><tr><td colspan="3">c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。</td></tr><tr><td colspan="3">d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。</td></tr><tr><td colspan="3">e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。</td></tr></table> ・ ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等<table><tr><th>曲げ強さ (N/?)</th><th>圧縮強さ (N/?)</th><th>標準時 (N/?)</th><th>湿潤時 (N/?)</th><th>低温時 (N/?)</th></tr><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table> 表面状態 垂れの下のり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ ポリマーセメントスラリー<table><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th></tr><tr><td>3以上</td><td>3.0%以下</td><td>0.5N/?</td><td>5.0N/?</td><td>15%以下</td><td>6.0N/?</td></tr></table> 保水係数 0.35～0.55 粘潤係数 0.50～1.00 ・ 吸水調整材<table><tr><th>項目</th><th>全固形分 (%)</th><th>吸水性 (g)</th><th>接着強度 (N/?)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr><tr><td colspan="5">均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</td></tr></table>					保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上	a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。					c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。					性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上	比重	表示値±0.10				押出し性	60秒以下				スランプ	3mm以下				加熱減量	5%以下				a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。					c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。					接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化	強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化	引張強さ (N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上	a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。			b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。			c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。			d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。			e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。			曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?	項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下	均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					4-2 外 壁 改 修 工 事 モ ル			
			保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強さ (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/?)																																																																																																																																																																																								
			70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上																																																																																																																																																																																								
			初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																																																																																																																																									
2.0N/?以上			6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上																																																																																																																																																																																										
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。																																																																																																																																																																																																
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。																																																																																																																																																																																																
性能			常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																																																																																																										
引張強さ			1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上																																																																																																																																																																																										
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																																																																																												
比重	表示値±0.10																																																																																																																																																																																															
押出し性	60秒以下																																																																																																																																																																																															
スランプ	3mm以下																																																																																																																																																																																															
加熱減量	5%以下																																																																																																																																																																																															
a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																
b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。																																																																																																																																																																																																
c. 常温・常湿(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。																																																																																																																																																																																																
接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化																																																																																																																																																																																											
強度 (N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																																																																																																											
凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																																																																																																											
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化																																																																																																																																																																																											
引張強さ (N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																																																																																																																																											
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上																																																																																																																																																																																											
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																																																																																																																																														
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上																																																																																																																																																																																														
a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。																																																																																																																																																																																																
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。																																																																																																																																																																																																
d. 形状に異常が無く、垂れが生じないこと。																																																																																																																																																																																																
e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。																																																																																																																																																																																																
曲げ強さ (N/?)	圧縮強さ (N/?)	標準時 (N/?)	湿潤時 (N/?)	低温時 (N/?)																																																																																																																																																																																												
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																																																																																												
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																											
3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?																																																																																																																																																																																											
項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/?)	界面破壊率 (%)																																																																																																																																																																																												
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																																																																																																												
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。																																																																																																																																																																																																

[illegible]

7 塗装改修工事

1 材料

塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。
屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は
監督職員と協議する。
[7.1.2～3] [7.1.9]

2 下地調整

[7.2.2～7] [表7.2.7～7]

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種 ※RB種	新規面はRA種
鉄鋼面	・RA種 ※RB種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種	
モルタル、プラスチック面	・RA種 ※RB種	
コンクリート、ALC及び押出成形	・RA種 ※RB種	
セメント板面	・RA種 ※RB種	
せつこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種	

既存下地面等のひび割れ部補修
※行う ・行わない
※錆止め JIS K 5674
[表7.2.5～6]

3 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)

[7.4.3] [表7.4.1]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
木部	・A種 ※B種	※B種	下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516
鉄鋼面	・A種 ※B種	※B種	穴埋め及びバテかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516

4 鉄鋼面耐候性塗料塗り (DP)

[7.8.2～4] [表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別	塗り替えの種別	備考
鉄面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
亜鉛めっき面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5659
コンクリート、押出成形セメント板面	※A種 ・B種	・A種 ※B種	JIS K 5658

下塗りJASS 18 M-109

5 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)

[7.9.2] [表7.9.1]

新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの種別 ・A種 ※B種
下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660

6 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)

[7.10.2] [表7.10.1]

新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

7 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)

[7.11.2] [表7.11.1]

新規の塗りの種別 ・A種 ※B種
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種別
合成樹脂エマルジョン模様塗塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種
	・RC種	・C-1種 ・C-2種

下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663

8 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)

[7.12.2] [表7.12.1]

・A種 ※B種
1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502

9 オイルステイン塗り (OS)

[7.13.2] [表7.13.1]

ワトコオイル製品同等品とする。

10 木材保護塗料塗り (WP)

[7.14.2] [表7.14.1]

・A種 ※B種
JASS 18 M-307

11 ポリウレタン樹脂塗装 (Z-UC)

フローリングブロック面の塗り種別 ・A種 ※B種

8 耐震改修工事

『耐震補強工事構造特記仕様書』による。

1 一般事項

[9.1.3]

アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法
・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法
アスベスト含有建材除去後の仕上り工事 ・図示
分析によるアスベスト (7/25/3/16、7/25/16、7/25/16/16、7/25/16/16) 含有の調査
・行う (下表による) ・行わない

材料名	調査方法	1材料あたりの試料数
	・JIS A 1481による	※3

吹付アスベストの施工数量調査を行う。
アスベスト粉塵濃度測定 ※行う
測定時期及び場所等については下表による。

測定時期	測定場所	測定点数	備考
処理作業前	処理作業室内	2又は3点	
	施工区画周辺又は敷地境界	2点	全工区共通
処理作業中	処理作業室内	2点	
	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除塵装置の性能確認
	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後	処理作業室内	2点	
(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	全工区共通

(注) 処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。
処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。
建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

2 アスベスト含有吹付材囲い込み工事

経鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ (核スタッド工法 65φ@300) とし、既存天井面には触れない。
関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課
・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署
養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。
アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を実施する。
―内部測定点内訳―
＜1階： 点、2階： 点、3階： 点＞
詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。

4 アスベスト成形板の処理工事

[9.1.5]

処理を行うアスベスト成形板の仕様等 ・仕上表による

材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1) アスベスト成形板使用部位の確認。
(2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。
(3) アスベスト成形板使用数量の確認。

5 アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法
(1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。
(2) 試験的除去は剥離剤併用手工具ケレン工法にて実施。
アスベスト含有仕上塗材除去作業の方法 ・部分除去 ・全面除去
アスベスト含有仕上塗材部分除去作業
(1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。
(2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。
(集塵機付きケレン工法同等とすること)
(3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。
(4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)
石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
(5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)
(6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。
(7) 関係官公署に届出を行う。
(大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署)
(8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

6 外断熱改修工事

[9.3.2]

断熱材の種類

材料名	厚さ (mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム
・ロックウール	・グラスウール

外装材の種類 [9.3.2]

	防火性能
既存外壁仕上材の撤去	・有り ・無し

[9.3.3]
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様
通気層 ・有り (mm) ・なし [9.3.4]
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける。
特記無き事項は、製造所の仕様による。

7 ガラス改修工事

[9.4.2]

複層ガラスの厚さ 建具表による
断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-U1 ・U3-U2

8 屋上緑化改修工事

[9.6.2]

特記事項は図示

9 透水性アスファルト舗装改修工事

[9.7.3] [表9.7.3]

路盤材料
※再生クラッシャーラン (RC-40)
・クラッシャーラン (C-40) 又はクラッシャーランスラグ (CS-40)
透水性の高いものを使用する。
[9.7.3]
道断層及び凍上抑制層の材料
・道断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切込み砂利 ・砂
厚さは図示
[9.7.3] [表9.7.1]
盛土に用いる材料
・A種 ※種 ・C種 ・D種
[9.7.3] [表9.7.2]
路床安定処理
※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰 () ・消石灰 ()
添加量 kg/? (目標CBR ※5以上 ・
路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土)
路床締固め度の試験 ※行う
[9.7.6] [表9.7.5]
アスファルト混合物
車道部 ※改質アスファルト I 型
歩道部 ※ストレートアスファルト
[9.7.9]
透水性舗装
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

10 その他

1 舗装工事
(22.5.2) (表22.5.1)

部 位	設計基準強度 (N/mm2)	所定のスランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)
車路及び駐車場	24	8	砂利の場合25又は40
			砕石の場合20又は25
歩行者用道路	18	8	砂利の場合25
			砕石の場合20

・図示
砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)
種別 ・A種 ・B種
2 植栽工事
(22.3.2)

植 樹	図示	寸 法	数 量	備 考

工 事 内 容

施 工 区 分

建 築 電 気 機 械

開口部

鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口

解体、穴明け
鉄筋補強
後施工スリブ (雑壁部分)
埋戻し、穴埋め (補強筋無し)
埋戻し、穴埋め (補強筋有り)

軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口

開口補強
切込み (開口補強有り)
切込み (開口補強無し)

点検口

床、壁、天井
配管ビット、トレンチビット

既設配管、ダクト撤去に伴うアスベスト除去作業

トイレ

大便器・小便器
紙巻器
トイレ用手摺
洗面器 (水栓含む)
掃除用流し (水栓含む)
廊下流し台 (排水トラップ含む)
廊下流し台用横水栓
トイレブース (手摺・紙巻器用下地補強含む)
設備機器用下地補強
化粧鏡
換気扇
換気扇取付用アルミパネル
換気扇取付用壁枠

工事名

松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事

図面名

特記仕様書 (4)

作成年月日

令和7年2月1日 変更年月日

縮 尺

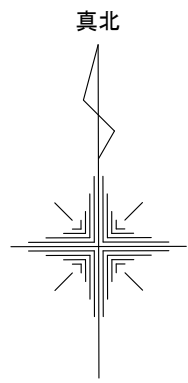
No Scale 図面番号

A-04

設 計

株式会社 山岡設計事務所
千葉県知事登録 第1-2306-2686号
山岡 治
一級建築士大臣登録第272498号

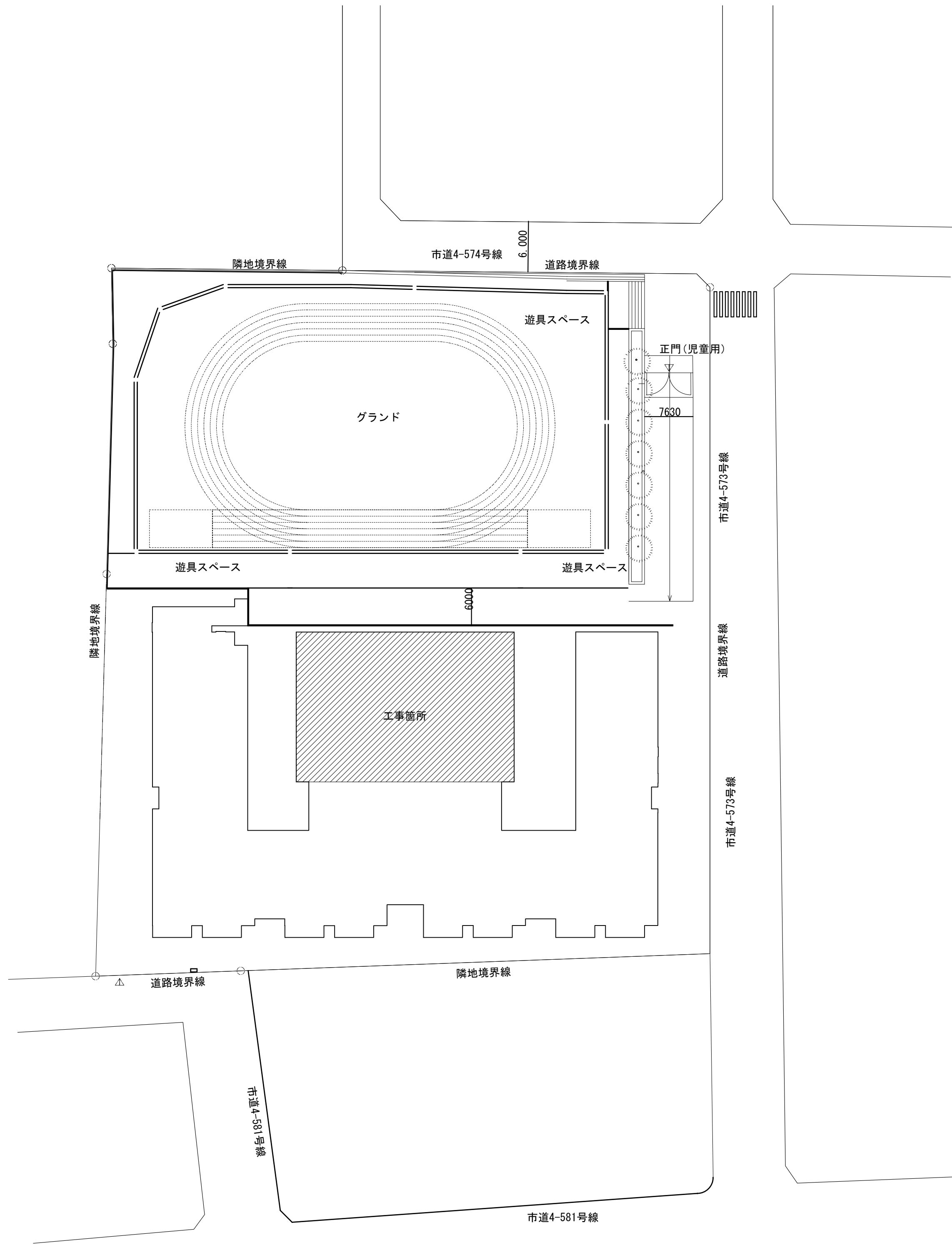
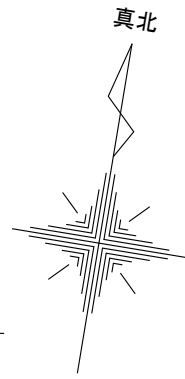
松戸市 街づくり部 建築保全課



工事場所：松戸市立東松戸小学校
地名地番：松戸市紙数1丁目19番地の1

案内図 1/2000

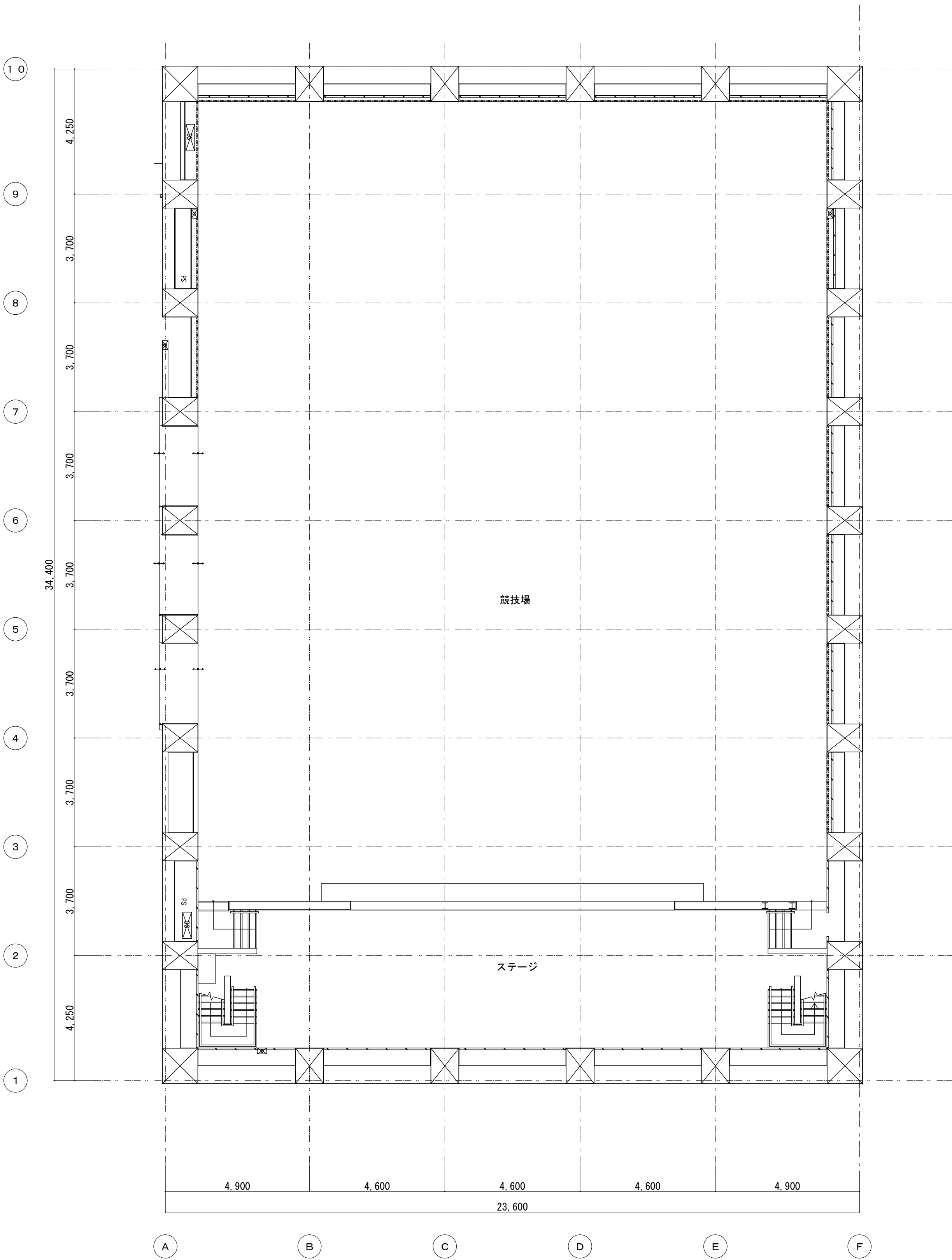
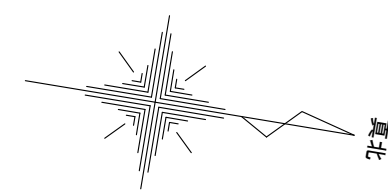
工事場所を示す



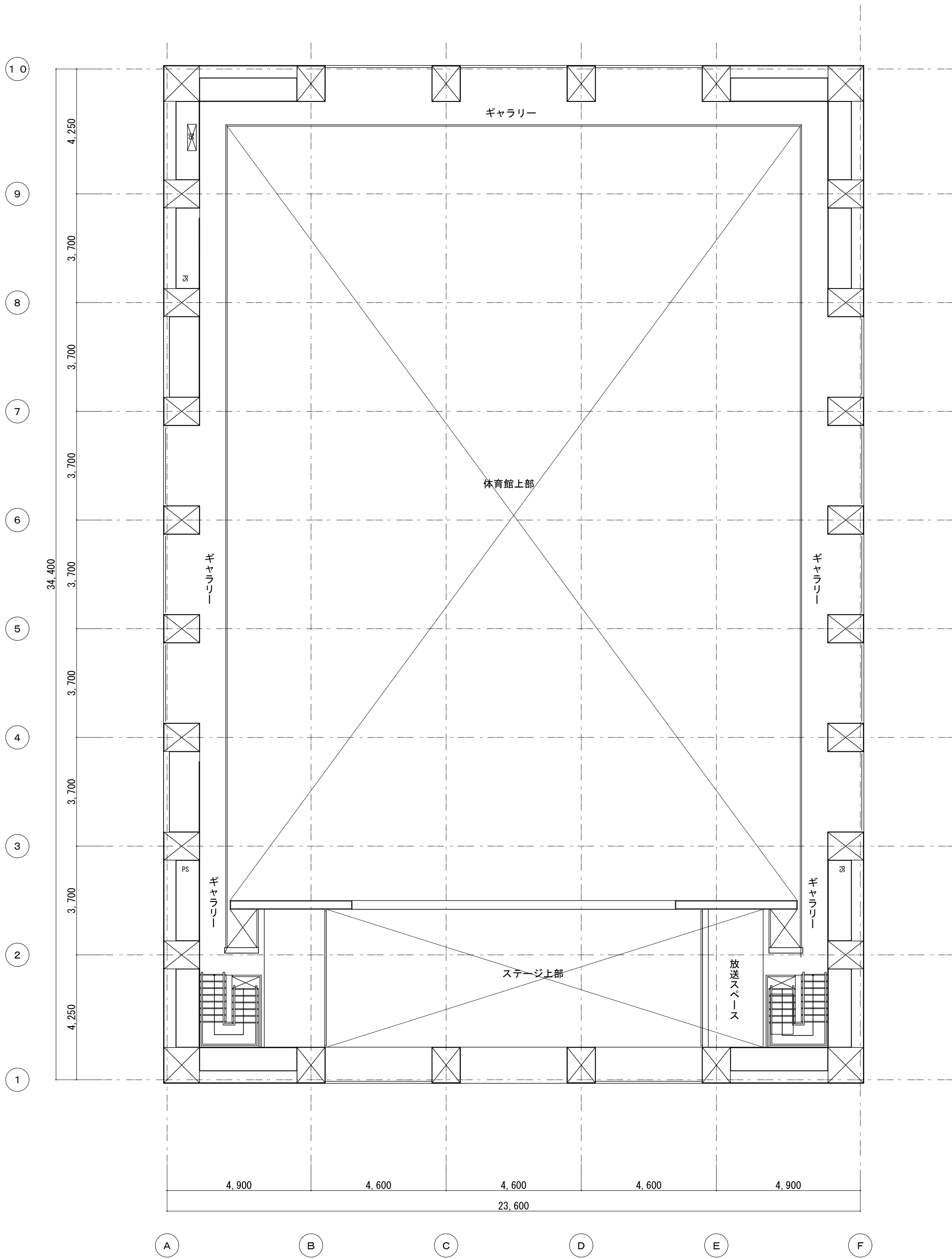
配置図 1/500

工事箇所を示す

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/500,2000 A3:1/1000,4000	図面番号	A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

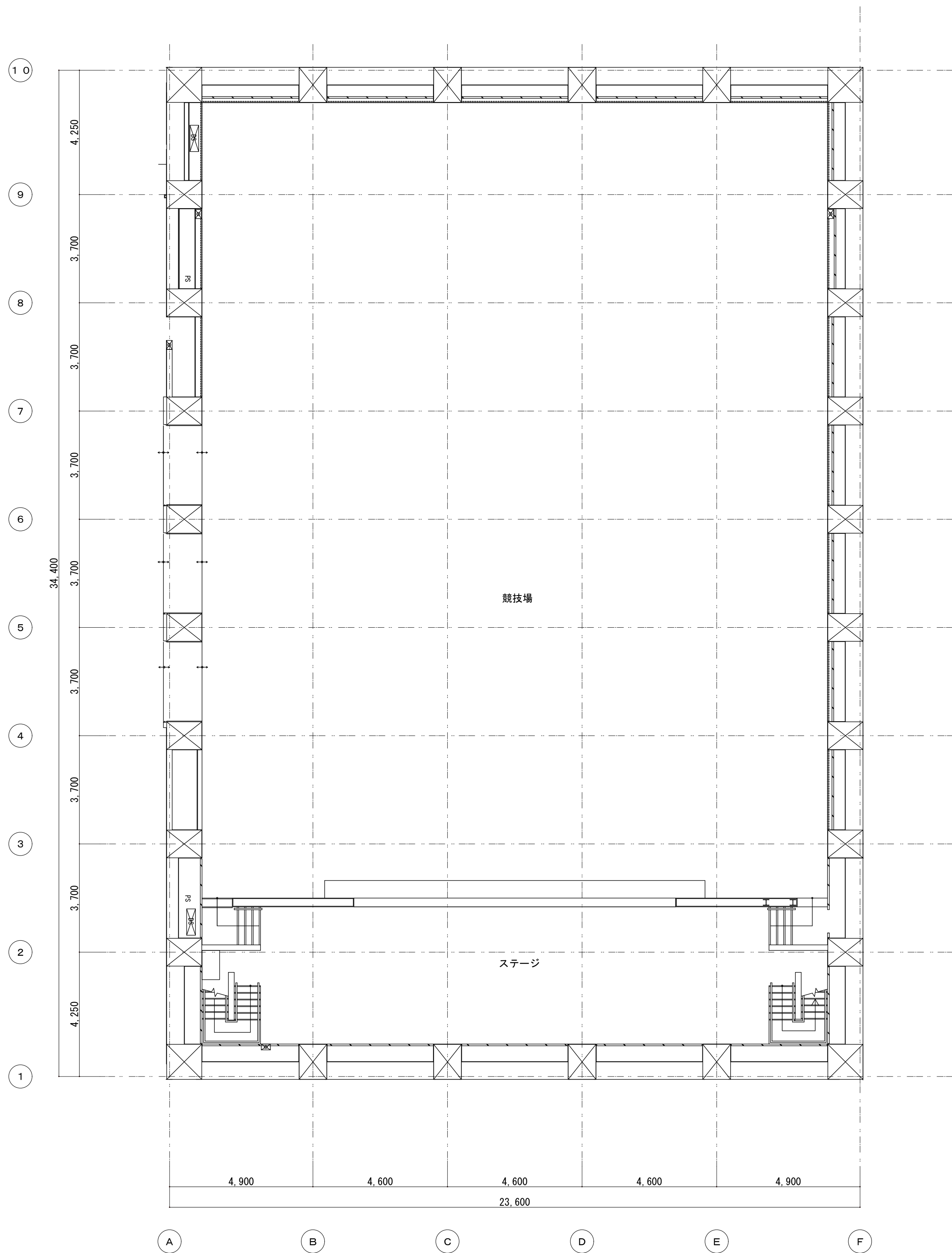
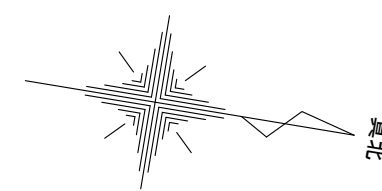


1階平面図 1/100

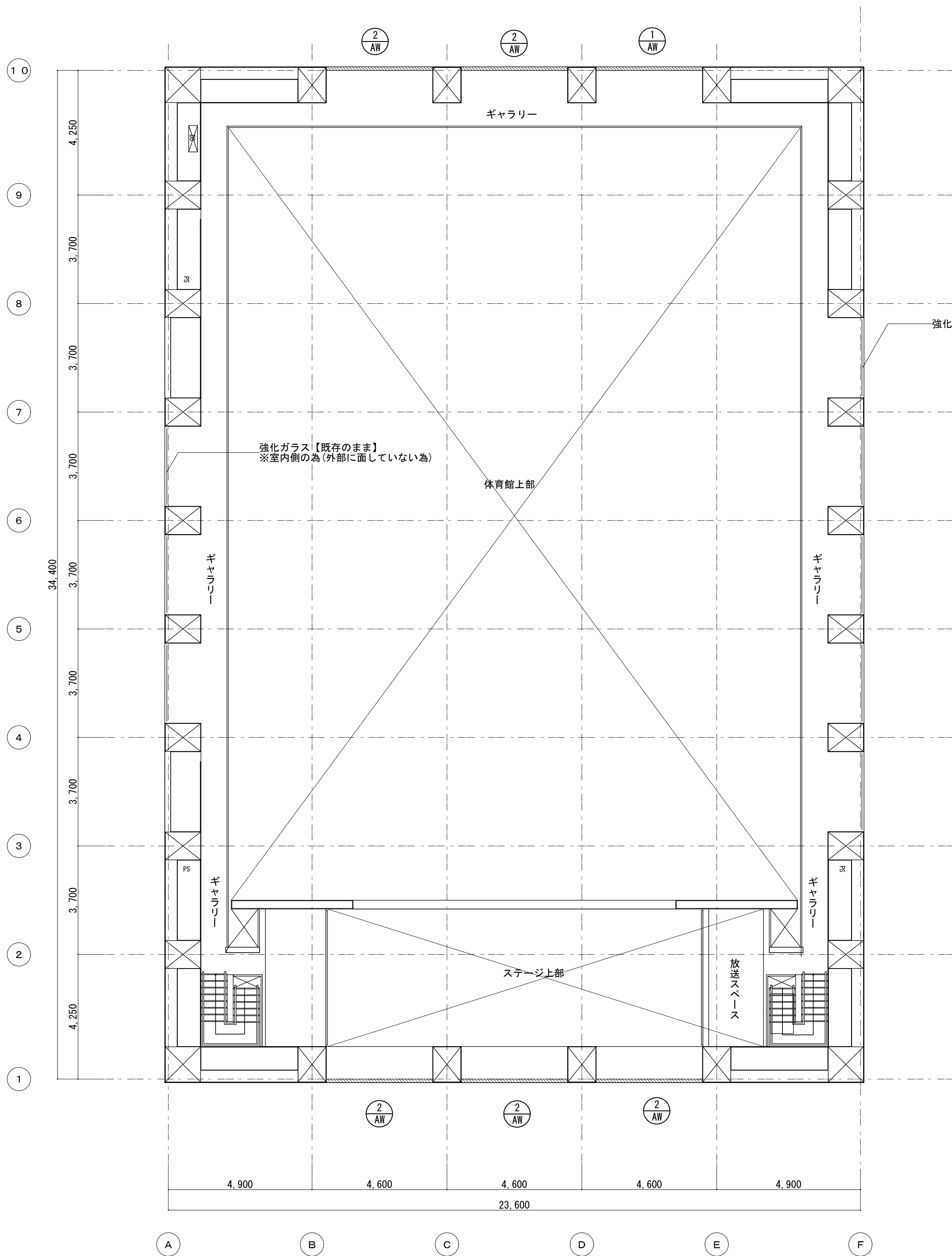


2階平面図 1/100

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	[改修前]各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

建具名	遮熱フィルム新設面積	内貼	計61.2㎡
1 AW	3.5m×2.91m×1枚=10.185㎡		
2 AW	3.5m×2.91m×5枚=50.925㎡		

フィルム新設範囲を示す

強化ガラス・フィルム【既存のまま】

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	〔改修後〕各階平面図		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数		1 AW 片引きドア FIX	1ヶ所	2 AW FIX	5ヶ所				
姿 図	▽FL 2,080 170 660 2,910 3,500			3,500 2,910					
場所	ギャラリー			ステージ・ギャラリー					
硝子種類	強化透明硝子t=6.0			強化透明硝子t=6.0					
硝子サイズ	姿図参照			姿図参照					
備 考	フィルムタイプ・C			フィルムタイプ・C					
記号・名称・個数									
姿 図									
場所									
硝子種類									
硝子サイズ									
備 考									
記号・名称・個数									
姿 図									
場所									
硝子種類									
硝子サイズ									
備 考									

■遮熱・飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場の窓）

既存硝子		方角		東・西・南		北	
A	透明硝子	内貼		遮熱フィルム 3M NANO70S		G	飛散防止フィルム 3M SH2CLAR
B	型硝子	外貼		遮熱フィルム 3M NANO70SX		H	飛散防止フィルム 3M SH2CLAX
C	強化透明硝子	内貼		遮熱フィルム 3M NANO70S			既存のまま
D	強化型硝子	外貼		遮熱フィルム 3M NANO70SX			既存のまま
E	網入り透明硝子	内貼		遮熱フィルム 3M NANO90S			既存のまま
F	網入り型硝子	外貼		遮熱フィルム 3M NANOMACRX			既存のまま

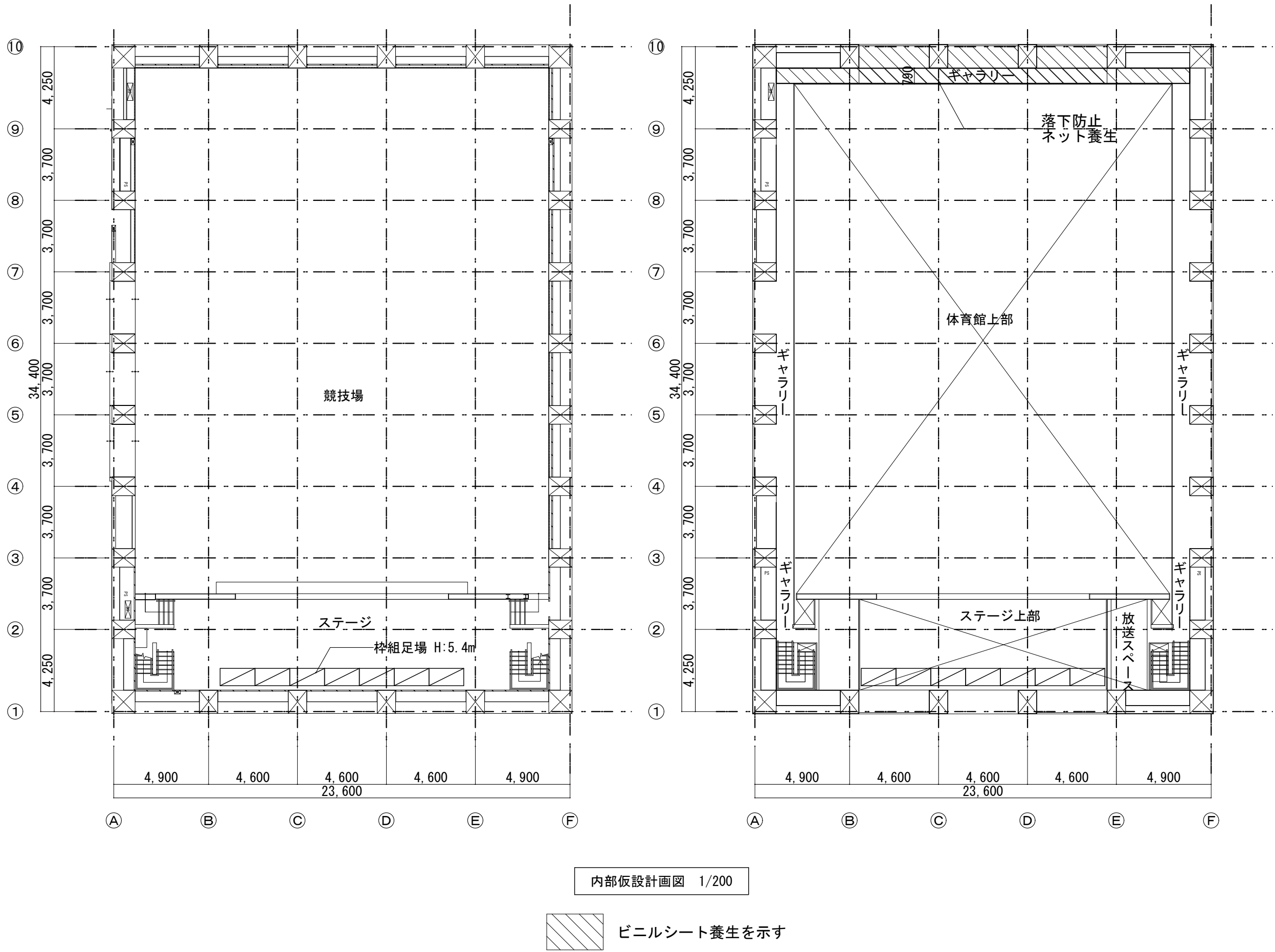
- ・遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン（株）同等品とする。
- ・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
- ただし、北側の強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
- ・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
- ：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

■飛散防止フィルム貼り仕様一覧表（外部に面するアリーナ・ギャラリー・競技場以外の窓・・・放送室、器具庫、控室、便所など）

既存硝子		方角		全方角・内部	
G	透明硝子	内貼		飛散防止フィルム 3M SH2CLAR	
H	型硝子	外貼		飛散防止フィルム 3M SH2CLAX	
	強化透明硝子	—		既存のまま	
	強化型硝子	—		既存のまま	
	網入り透明硝子	—		既存のまま	
	網入り型硝子	—		既存のまま	

- ・飛散防止フィルムは3Mジャパン（株）同等品とする。
- ・既存の飛散防止フィルムは原則、貼替えとする。
- ただし、強化ガラス・網入りガラスに飛散防止フィルムが貼ってある場合は既存のまま。
- ・硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する。
- ：既存の網入りガラスが割れている場合は既存と同じ硝子に交換する。

工事名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事				
図面名	【改修】建具表				
作成年月日	令和7年2月1日		変更年月日		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100		図面番号		A-08
設計	株式会社 山岡設計事務所				
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号				
	山岡 治				
	一級建築士大臣登録第272498号				
	松戸市 街づくり部 建築保全課				



<全体仮設計画>

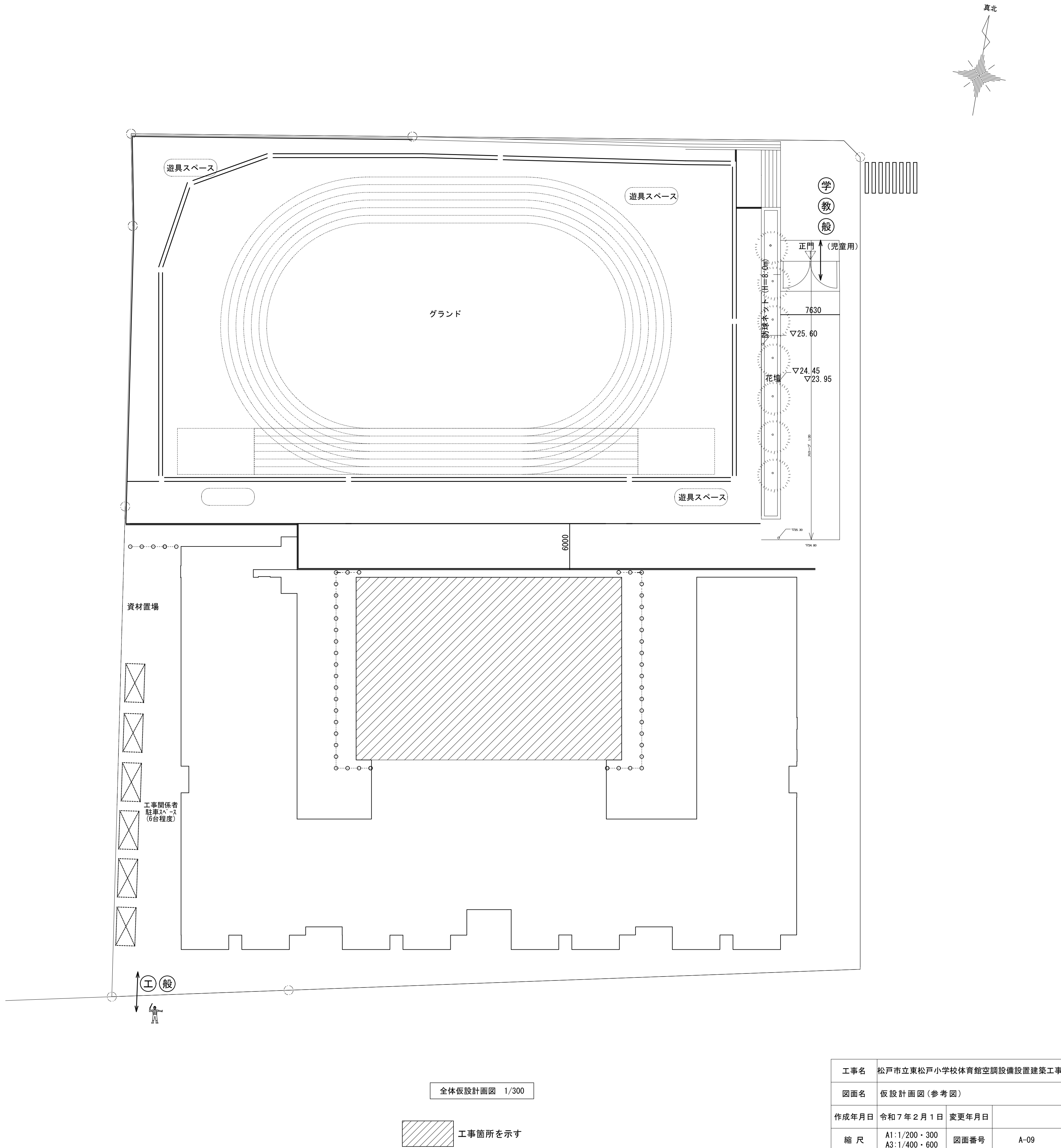
- 学校関係者及び近隣への安全対策として仮囲い（カラーコーン・バー）を設置する
- 足場設置部及び工事車両出入り部には、交通整理員を適宜配置し安全で適切な交通誘導を行うこと
- 工事表示看板（工事名称、発注者、施工者、連絡先）900×600程度を公衆の見やすい場所に設置とする
- 工事に使用する重機は、低振動タイプのもとし低速走行にて振動を抑えるものとする
- 工事に使用する揚重機（クレーン等）は、安全上十分なものを使用すること
- 登下校時の車両の出入りはしないこと

<特記事項>

- 本図面は参考図として、工事を行う際に、必要な仮設を検討し、請負者負担で設置すること。
- 仮設設置を行う前に、監督者・学校・監理者の承諾を得ること。

仮設凡例

- 敷鉄板 t=22 1.5m×6.0
- 枠組足場：ネット養生シート（防災1類） W=914・610
- 円形足場：ネット養生シート（防災1類） W=914
- 仮囲い：成型鋼板 H2.0
- 仮囲い：カラーコーン、コーンバー 総延長距離 39m
- 工事用仮門：パネルキャスターゲート W4.0×H2.0
- 交通誘導員を示す 工事車両搬出入時に適宜配置とする
- 動線を示す
- 学 生徒・学校関係者を示す
- 教 教員車両を示す
- 般 一般車両を示す
- 工 工事車両を示す



工 事 名	松戸市立東松戸小学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計計画図（参考図）		
作成年月日	令和7年2月1日	変更年月日	
縮 尺	A1:1/200・300 A3:1/400・600	図面番号	A-09
設 計	株式会社 山岡設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2306-2686号		
	山岡 治		
	一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

1. 工事名称 松戸市立寒風台小学校ほか8校体育館空調設備設置建築工事

2. 工事場所 松戸市松戸新田316番地の25ほか8か所

3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 8年 3月19日 まで

4. CADデータの貸与 ☒有 ☐無

※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。

※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。

※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。

※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	■電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	□試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■1 工事記録写真 ■2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳 写真帳	1 1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □1 建築物等の利用に関する説明書 ■2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） ■3 機器性能試験成績書 ■4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□5 総合試運転報告書 □6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 松戸市立寒風台小学校ほか8校体育館空調設備設置建築工事
2. 工事場所 松戸市松戸新田316番地の25ほか8か所
3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 8年 3月 19日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備 考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	□ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	□ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	■ 17 部分使用		
	□ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
	□ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	